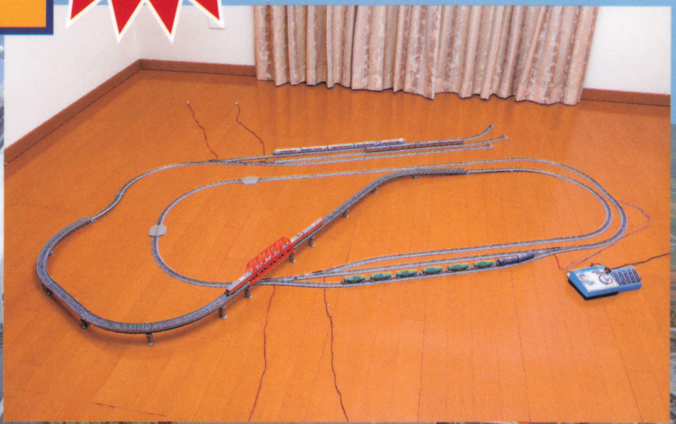
RM MODELS ARCHIVE
NEKO MOOK 1117
鉄道ホビダス

Q&A 鉄道模型 Nゲージ 超入門

スタートセットから
レイアウトまで
Nゲージの本当に知りたかったこと、
Q&Aでなんでも解決!!



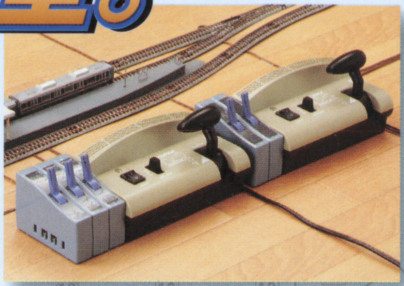
KATO vs TOMIX
レールセットから始める
フロアーレイアウト

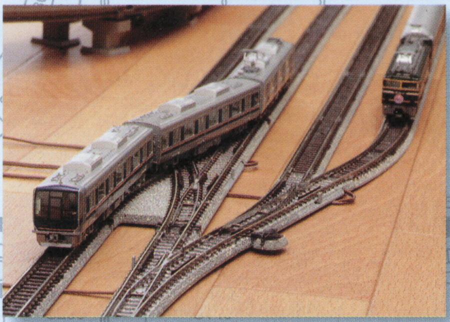
総力取材!
東京・秋葉原VS大阪・日本橋
鉄道模型店MAP

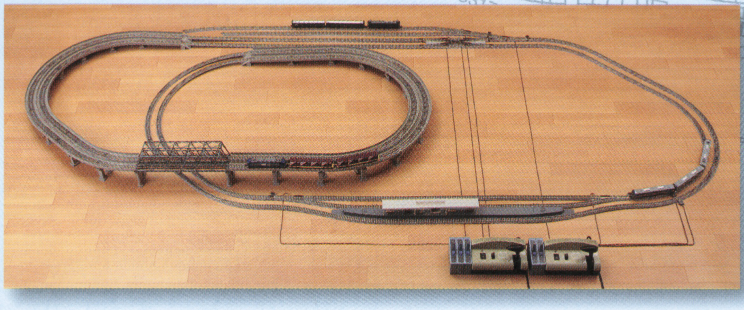
NEKO PUBLISHING CO.,LTD.

TOMIX

システマチックな鉄道模型。







トミックス総合カタログの、お求めは鉄道模型お取り扱い販売店で！

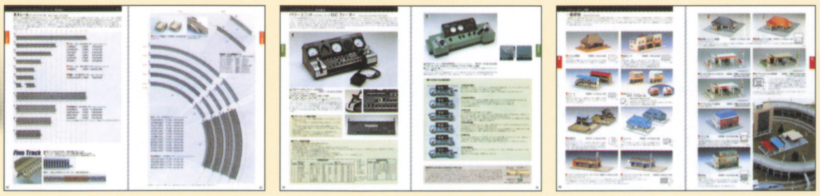
高品質な鉄道模型を簡単に運転できる… それがトミックス。

トミックスは鉄道模型に必要な各製品を、カテゴリー別に分類し製造しています。それらを組み合わせることで、誰でも簡単に鉄道模型を楽しむことができます。
例えばトミックスならレールを接続するときも容易で、かつ独自の規格に基づく豊富な製品群により、さまざまなレールの延長、拡大、レール配置が実現可能です。
また車両製品は、鉄道史上貴重な車両からJRの最新車両、カラフルな私鉄車両まで、あらゆる形式を網羅。
コントローラーも操作性を最優先したタイプから、列車の走行音や駅のアナウンスが楽しめるサウンド付きの運転台型まで、皆様のお好みでチョイスできます。
この先進のシステム性をご理解いただくために、総合カタログをぜひご一読ください。

トミックスの全製品情報を集約!!

好評発売中

トミックス製品の全製品情報を一冊にまとめました。実車や製品の特集の他、独自の規格に基づいた使い方を掲載しています。例えば、最新のNゲージ製品を詳細に解説した「New Products Review」、キハ20系をテーマにした「特集Ⅰ」、そして“ファイントラック”について解説した「特集Ⅱ」など、盛り沢山の内容で読みごたえ十分です。



2007-2008年版
トミックス総合カタログ
<7029>¥1,890
（本体価格¥1,800）

トミックス製品情報やお取り扱い販売店は、トミーテックホームページをご覧ください。

http://www.tomytec.co.jp/

販売元：**株式会社トミーテック**
〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10
（株）トミーテック　お客様相談室トミックス係
TEL.03-3695-3161（代）
（月～金曜10～12・13～17時／祝・祭・休日を除く）

広く限りなく深い Nゲージワールド

レールの幅は1cmにも満たないたった9mm。実物の1:150というある意味極小のスケールで再現される鉄道の世界。それがNゲージワールドです。車輌にこだわるもよし、情景にこだわるも良し、思い思いの場所・時代を自由気ままに表現できるのがこの世界の良いところ。巻頭グラフではそんなNゲージの世界の魅力の一端を紹介しましょう。

▲国鉄型の黄色い電車が活躍していた、ちょっと前までの秋葉原駅を再現したジオラマ。大都会の喧騒を手ごろなサイズで再現できるのもNゲージならでは。
ジオラマ製作：根本貫史

PHOTO：青柳　明、羽田　洋、斉藤豪志、市原　純、RMM

憧れの車輌を我が手に…

あなたが鉄道に興味を持ったきっかけは何でしたか？
ある日目にした特急列車？
家族旅行で乗車した新幹線？
はたまたおぼろな記憶のいにしえの列車…？
Nゲージの世界で、あなたの憧れの車輌を
思うままに再現してください。

▲今や風前の灯状態となってしまった東海道・山陽ブルートレイン。力強いフォルムのEF66が朝もやを突いてS字カーブを往く…。

▼代掻きの終わった水田に、東北特急のエースだったキハ81系〈はつかり〉が身を映す。優雅なフォルムに伝統の特急色を纏った姿は永遠の憧れ。
レイアウト製作：平柳　聡

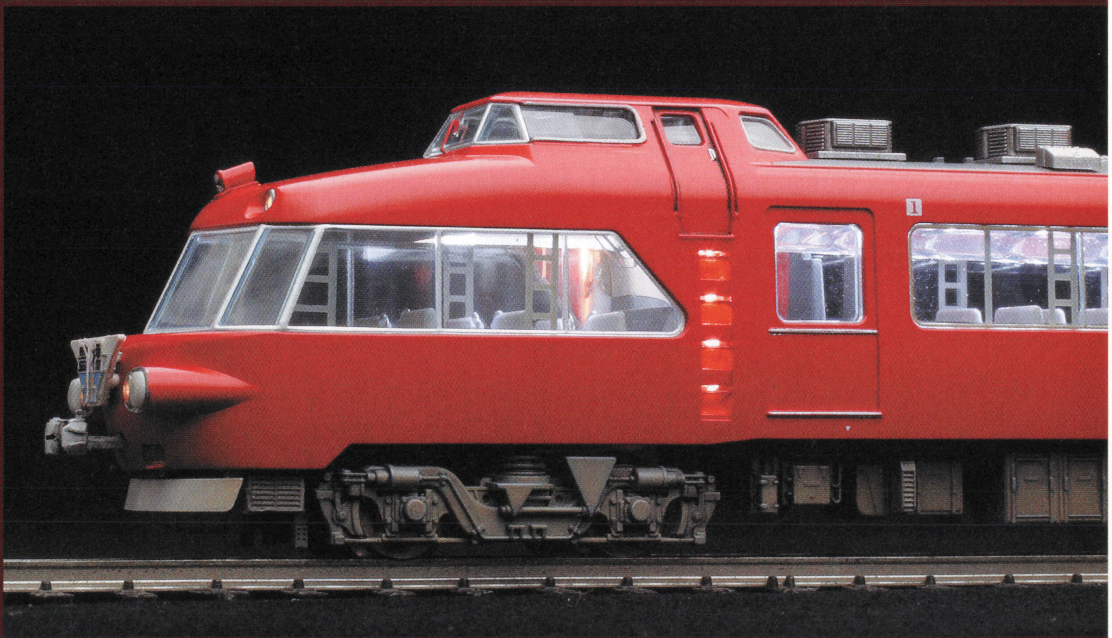
▲現代の鉄道シーンの象徴である新幹線。このE4系MAXはその中でも特異なフォルムで見る者に強い印象を残す。

▼C62重連〈ニセコ〉…!!　1970年代初頭の「SLブーム」に熱くなったファンにとってはいつまで経っても魂を揺さぶられる光景のはずだ。

車輌を作る飾る集める

Nゲージ趣味の最も間口の広い分野は車輌コレクションでしょう。好みの車輌をポツポツ買い集めているだけでも、気付けばその人なりの立派なコレクションが出来上がっているのが楽しいところ。その車輌自体、買ったままでもOKですが、手を加えてよりリアルな仕上がりとすることができればこれはまた嬉しいものです。そして究極の目標としてはそれを見栄え良くディスプレイしたホビールーム…！

▲作りつけのディスプレイラックにNゲージ車輌を「見える状態」で収納。せっかく集めたNゲージたち、ケースの中にしまっておくだけではもったいない。　ホビールームオーナー：中島信一



▲小さなNゲージにとことん情熱と努力を傾けた作品。運転席へのステップの照明までを再現している。「作品」のコレクションは、「製品」のそれとは満足度が違う。
車輌製作：牛久保孝一

▲時折メーカーから発売されるコレクターズアイテム的なセット。希少価値がコレクションの楽しみを高めてくれる。

THE COLLECTION

485系の仲間たち

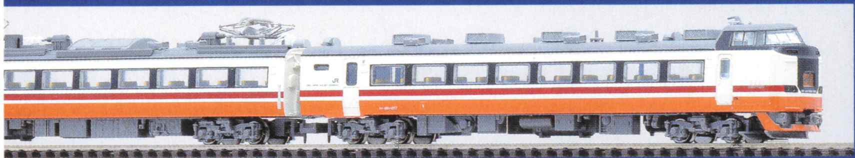
国鉄時代の1964年に始祖的存在である481系が登場して既に44年。今なお各地で活躍を続けている名特急電車485系。非常にバリエーションが多く、また根強いファンもいるため、Nゲージでもたくさんの種類が発売されています。ここに挙げたのはここ数年に発売されたものだけですが、これだけで立派なコレクションとなってしまいます。

▲485系の決定版的存在、非貫通先頭車の300番代。【TOMIX製品】

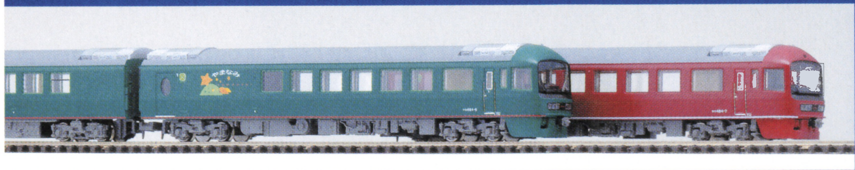
▲カラフルな〈きりしま&ひゅうが〉。改造先頭車のクモハ485も連結されている。【マイクロエース製品】

▲豊肥本線水前寺までDE10と電源車を連結して乗り入れていた〈有明〉。【マイクロエース製品】

▲新宿から東武線へ乗り入れ、スペーシアと共演している〈日光・きぬがわ〉。【ラウンドハウス製品】



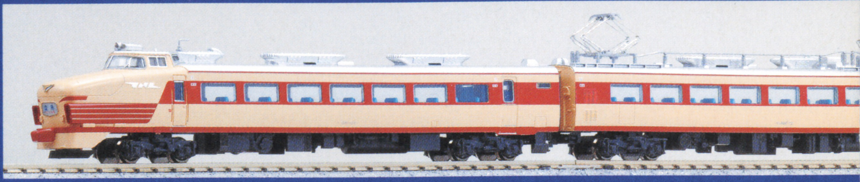
▲〈日光・きぬがわ〉編成が、改造される前年の夏の期間だけこの姿だった〈あいづ〉2005年仕様。【マイクロエース製品】



▲ボディを載せ換えたお座敷電車「やまなみ」「せせらぎ」も485系一族。【マイクロエース製品】

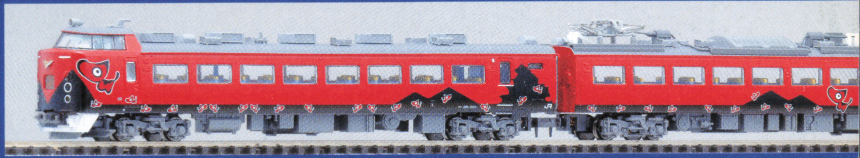
▲ジョイフルDC「ゆぅトピア和倉」と併結で活躍していた頃の〈雷鳥〉。【TOMIX製品】

▲今なお北陸本線で活躍中、国鉄特急色の〈雷鳥〉。パノラマグリーン車を連結する。【TOMIX製品】



▲485系の全盛期、1970年代のイメージでまとめられたボンネット〈雷鳥〉。【KATO製品】

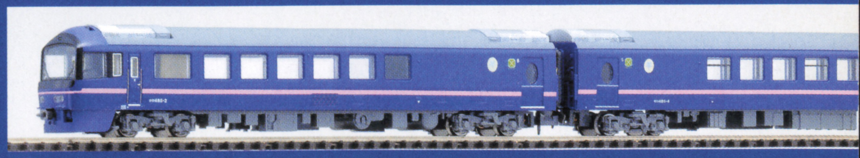
▲九州独特の真っ赤なレッドエクスプレス、〈にちりん〉。【マイクロエース製品】



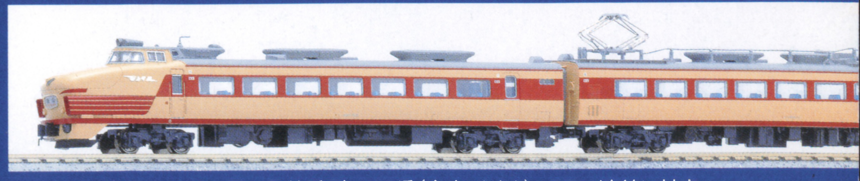
▲会津地方の観光キャンペーンで「あかべぇ」を描かれた印象的な〈あいづ〉。【マイクロエース製品】

▲1990年代の485系のエース的存在、〈スーパー雷鳥〉。先頭はパノラマグリーン車だ。【TOMIX製品】

▲〈スーパー雷鳥〉の増結編成には改造先頭車クモハ485-200の姿も。【TOMIX製品】



▲こちらもお座敷改造された「華」。鉄道車輌としては極めて珍しい紫色系のボディ。【マイクロエース製品】



▲信越本線・碓氷峠越え用の兄弟系列、489系〈白山・あさま〉。EF63連結に対応。【KATO製品】

地面を作る思い切り走らせる

▲ホームレイアウトとしては最も巨大なレベルの一作。新幹線フル編成が快調に走り回る様は見事としか言いようがない。　　レイアウト製作：橋本正規

Nゲージが他のスケールの鉄道模型よりも有利な点は、なんと言ってもレイアウトを展開しやすいことでしょう。必要面積が比較的小さく済み、またシステマティックなレール製品のラインナップによって誰でも簡単に線路配置を組むことが可能です。長編成が複数走り回る巨大レイアウトも夢ではありませんが、ミニレイアウトも「込められた夢の大きさ」では負けないことでしょう。

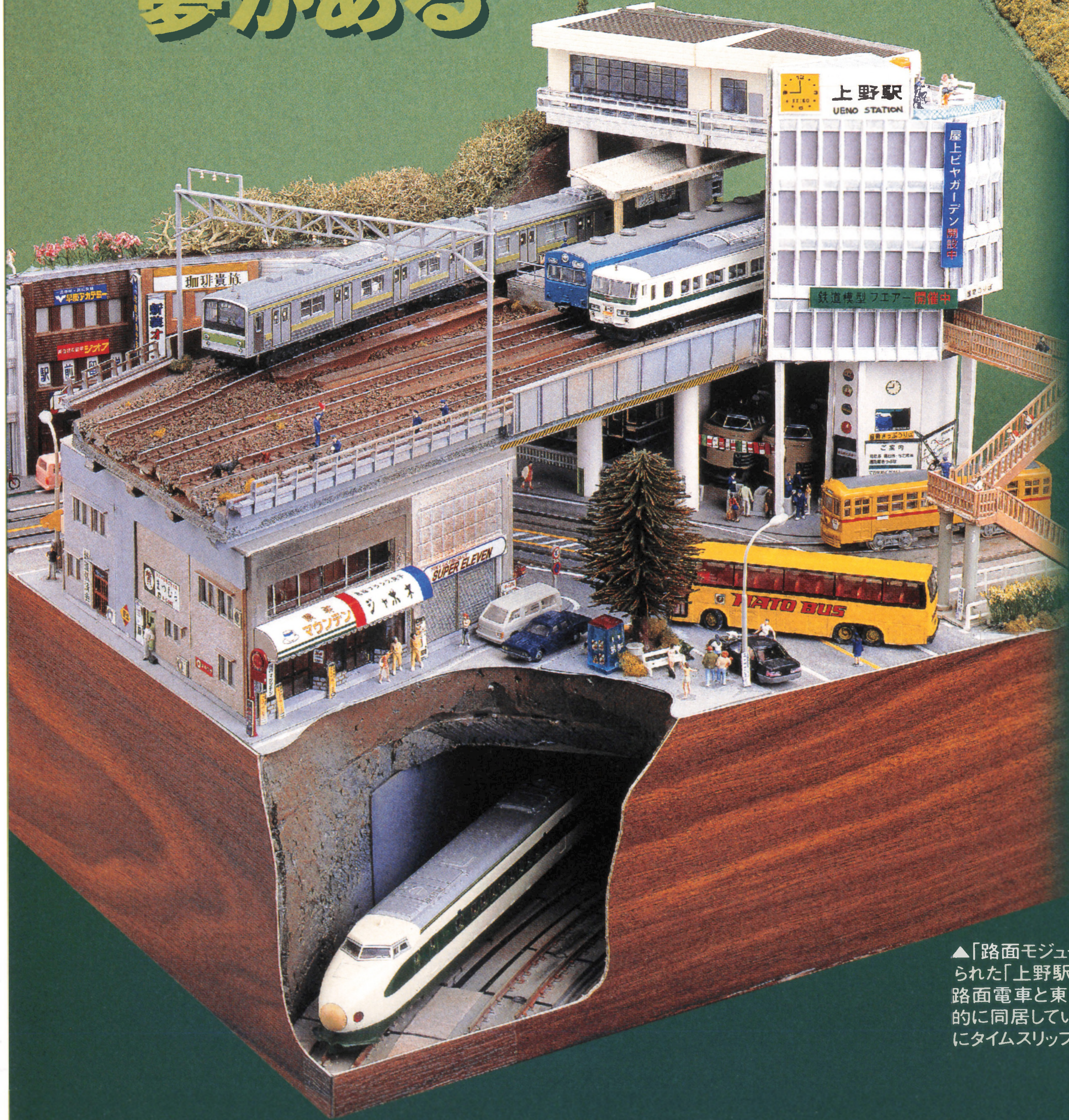
▲ガレージの中2階、ロフト的なスペースに作られたレイアウト。横幅は6.5m、奥行きは1.5mに及んでいる。

▲オーナーの橋本氏。息子さんや親戚の子供たちとも一緒にNゲージを楽しんでいる。

◀「鉄コレ」発売に刺激を受け、その運転を存分に楽しむコンセプトで作られた「花芋鉄道地鉄線」。駅は富山地方鉄道に実在するものを自作した。
製作：久松　潔

右のポッケにゃ夢がある ミニレイアウトにも夢がある

▲今は廃止となってしまった、名鉄谷汲線のエッセンスを取り入れた「名電谷喰線」。サイズは600×900mm。手前の駅は黒野駅をモチーフとして車庫も併設されている。
製作：山田　司



▲「路面モジュール」規格（79頁参照）で作られた「上野駅しのばず・広小路口界隈」。路面電車と東北新幹線は実物では時代的に同居していないが、模型ならでは自由にタイムスリップ感覚で作り上げた一作。
製作：石川陽一

カント付きカーブでリアルなお座敷運転

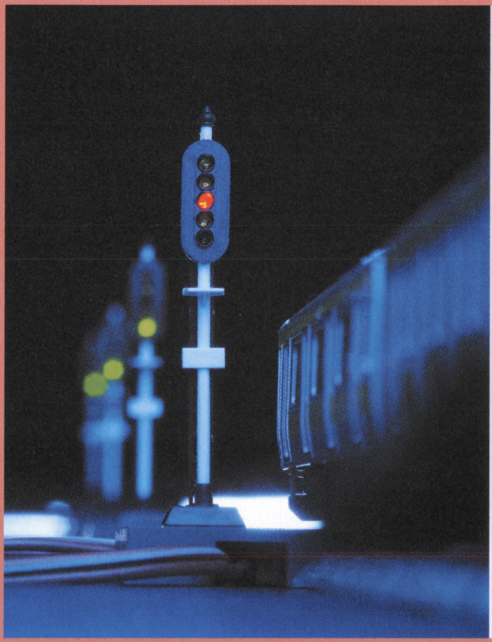
Nゲージレールの世界で最新のトレンドが、カーブでの傾き＝カントを表現すること。KATOから発売となった複線線路シリーズは、Nゲージレールでは世界で初めてカントを実現して話題を呼びました。フロアーレイアウトのリアル感を一層高めてくれるアイテムです。なおTOMIXでもカント付きレールを現在開発中です。

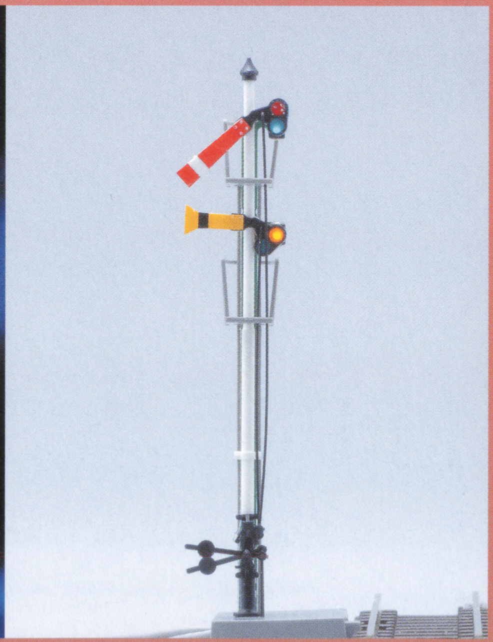
サウンドコントローラーで運転士気分

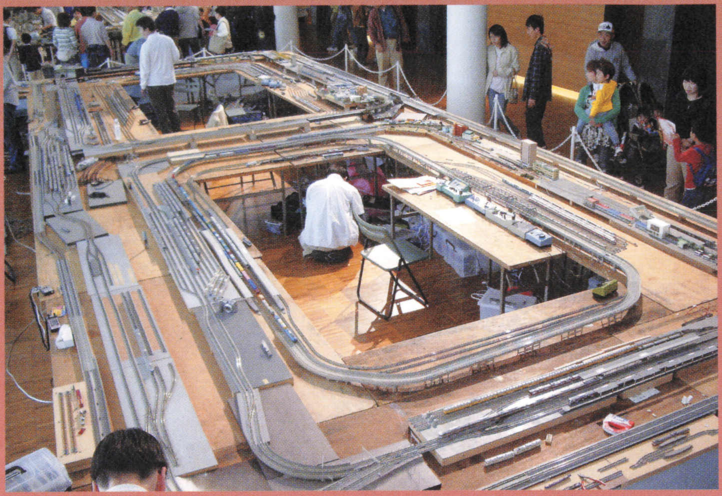
数あるNゲージ用コントローラーの中でも最高峰に位置するのが、TOMIXの「N-S2-CL」です。ブレーキ、マスコンの2ハンドル式という操作自体の楽しみもさることながら、操作と連動して奏でることができるサウンドシステムが注目の的。電気機関車からディーゼルカーまで、複数のサウンドの選択も可能です。同社から発売のカメラカーシステムと組み合わせるとさらに運転の醍醐味が感じられることでしょう。

光とアクション、信号機で遊ぶ

Nゲージの世界では、信号機も実物同様に点灯させることが可能です。豆粒よりはるかに小さな色灯が美しく点灯する様子は車輌の走行以上に人を惹き付ける魅力を放ちます。しかも色灯式だけでなく、TOMIXからは腕木式信号機まで発売されました。郷愁を感じさせる情景には欠かせない名役者と言えるでしょう。また同様に点灯・アクション機構を盛り込んだ踏切システムも各社から発売されています。



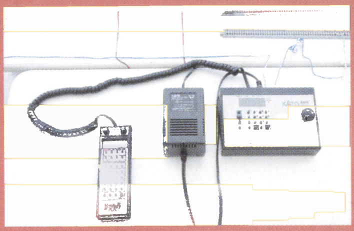




▲クラブレイアウトでDCCを採用すると、こんな複雑なレイアウトでもリアルな運転が楽しめる。レイアウト製作：結伝社

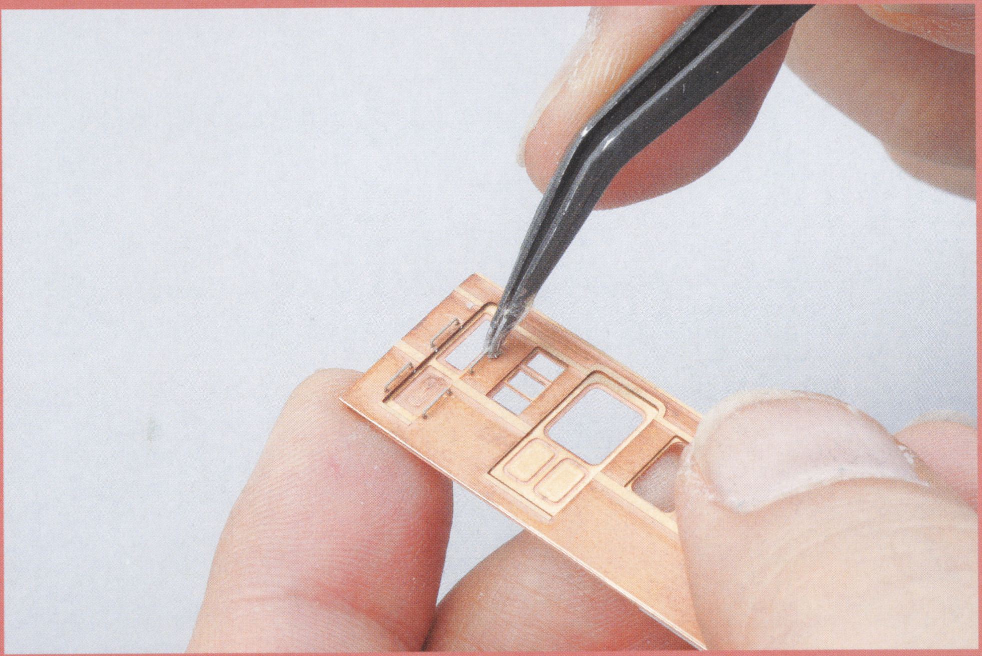
新たな潮流、DCC

DCCとはデジタル・コマンド・コントロールを意味し、簡単に言えば車輌に電子基板を搭載して、手元の操作で自由自在に動かすことができるというシステムです。従来はハイアマチュアでないとなかなか手が出なかった領域ですが、最近はKATOが非常に力を入れており、比較的容易にスタートできる体制ができつつあります。「なくても困らない」けど「あれば確実に世界が広がる」アイテムと言うことができるでしょう。



クラフトの楽しみは不滅です

鉄道模型は「買う」だけで完結するような狭い趣味ではありません。キットをベースに、あるいは素材から完全に自作して、という楽しみもあるのです。その素材もプラスティックはもちろん、金属（主に真鍮）、レジン、紙といろいろなものが選べます。市販品とは一味違う、自分だけの車輌を手にする喜びは、実際に手を動かした人だけが味わえる特権です。



鉄コレ、Bトレは今が旬!

Nゲージの規格を巧く取り入れつつ、食玩の方法論も取り入れて安価でユニークな商品となっているのが、トミーテックの「鉄道コレクション」とバンダイの「Bトレインショーティー」。共に製品のままではトイ的ですが、別売りのNゲージ化パーツを使うことで、我らがNゲージワールドに簡単に溶け込んでくれます。今一番熱く、面白いジャンルと言えばこの両者かもしれません。

Q&A
鉄道模型Nゲージ超入門

CONTENTS

カラーグラフ
広く限りなく深いNゲージワールド …… 3

超入門編Q&A …… 14

Nゲージのできるまで …… 18
関水金属(KATO)埼玉工場

SINCE 1965
Nゲージの辿った軌跡　山下貴久雄 …… 22

スタート編Q&A …… 26

スタートセットから始めよう！ …… 28
フロアーレイアウト　KATO編 …… 32
フロアーレイアウト　TOMIX編 …… 38
いつでも快適走行で気分爽快！
レールクリーニングとメンテナンス …… 44

車輌編Q&A …… 48

徹底解剖！　Nゲージのメカニズム …… 50
これを見れば恐れるに足らず
ユーザー取付パーツ、オプションパーツの取付方 …… 54
快調走行は足元から・・・
車輌のクリーニングとメンテナンス …… 66

キット編Q&A …… 70

気軽にチャレンジ！
グリーンマックスの塗装済一体キット …… 72

レイアウト編Q&A …… 78

超保存版　徹底技法解説
実録！ 碑文谷電鉄のできるまで　根本貫史 …… 80
ガンケースに「地球の一部」が入ってた　林 義泰 …… 104

その他編Q&A …… 105

ショップ編Q&A …… 106

Nゲージ、初めてのお買い物はココで！ …… 108
鉄道模型店東のメッカ　東京・秋葉原MAP …… 111
鉄道模型店西のメッカ　大阪・日本橋MAP …… 113

ショップガイド …… 117
全国Nゲージショップリスト …… 121

読者プレゼントのお知らせ …… 130

Q&A
鉄道模型
Nゲージ超入門

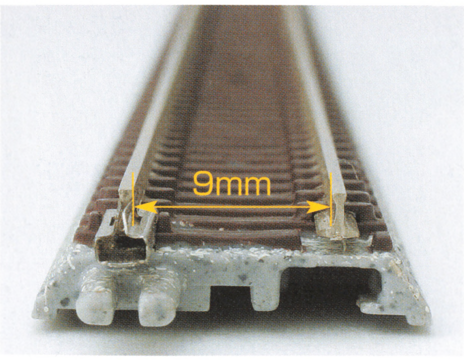
本文執筆・まとめ：佐々木大悟、佐藤哲朗、鈴木重幸、編集部
PHOTO：青柳　明（RMM）、羽田　洋、
佐々木大悟、佐藤哲朗、鈴木重幸
（必要に応じて各記事にも記載）

超入門編

▲市販の車輌・線路・建物だけでも写真のようなシーンを再現できるNゲージの世界。とはいえ誰もが最初は知らないことばかり。そんな疑問にお答えします。

Q1 「Nゲージ」って何ですか?

A1 Nゲージとは、線路の幅が9mmで統一された規格の鉄道模型です。英語の「Nine」、ドイツ語の「Neun」など、「9」を指す単語の頭文字「N」が名称の由来。これは世界中で統一された規格なので、基本的に国内外を問わずどのメーカーの車輌でも同じ線路の上を走ることができるのです。



▲線路の幅、厳密に言えばレールの内側同士の距離が9mmで統一されているのがNゲージ。世界中の車輌がこのレールの上を走ることができるのである。

Q2 鉄道模型ってオモチャじゃないの?

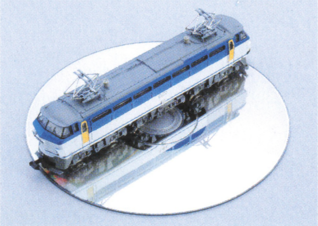
A2 模型とは読んで字の如し、事物の「型(かたち)」を「模する(似せて作る)」もの。鉄道であれば、車輌やレールを可能な限り実物と同じ形で再現したものこそが「鉄道模型」と呼ばれるのです。例えば、チビっ子たちに人気のプラレールなどは、車輌のデザインも可愛らしくデフォルメされて走行装置も線路も実物と全く違う形になっているので、NゲージやHOゲージに比べれば「オモチャ」であると考えられるのです※1。

一方、Nゲージの車輌は統一された縮尺で実物を縮小したモデルです。線路に関して言えば形だけではなく、ポイントや信号などでは動作もできるだけ実物に近づけて作られているのです。日本型で言えば、実物を車輌のみならず風景までそっくりそのまま1:150の大きさに縮小した世界を再現できるということがNゲージの魅力であり、「鉄道模型」と呼ばれる理由でもあるのです。

▲Nゲージ車輌(右下)とプラレールを並べて見れば一目瞭然。小さいNゲージの方が精細なディテールで、より実物に近い姿となっている。

Q3 Nゲージって随分小さいけれど、縮尺ってどのくらいなの?

A3 日本国内では実物の1:150と考えて基本的にOK。新幹線やアメリカ型、イギリス以外のヨーロッパ型は1:160、イギリス型は1:148です。なぜバラバラなのかというと、国ごとに大きさや線路の幅が異なる車輌を線路幅9mmに合わせて縮小しているから。だから欧米大陸に比べて車輌の小さい日本やイギリスでは大き目の縮尺となっているのです※2。



◀CDの上に乗ってしまうほど小さなNゲージの車輌。日本型の場合、これが実物の1/150の大きさである。

※1　プラレールは模型じゃない?

本文に記したようにNゲージとの比較で言えばオモチャとされるプラレール。一般的にも玩具として広く認識されているが、実物の鉄道を模して作られたものに違いはなく、広義の意味では「模型」とも呼べる。実際問題として、模型かそうでないかの境界線は実はそんなに厳密なものではないのである。

※2　大きなNゲージ?

9mm幅の線路で1:80〜1:87スケールの鉄道模型も存在する。これはナローゲージと呼ばれており、Nゲージとは区別されるのが一般的。線路幅の小さい軽便鉄道などを16番・HOゲージと同じ縮尺で楽しむための規格である。

Q4 Nゲージってどこで買えばいいのでしょうか?

A4 まずは鉄道模型の専門店を訪ねてみるのが一番無難と言えるでしょう。豊富な経験・専門知識を持つ店主・スタッフに相談すれば、心強い味方になってくれるでしょう。また、主要メーカーの製品であれば他の模型店やデパート・百貨店、家電量販店などでも取り扱っている所があります。近所に上記のようなお店がない、忙しくて店まで足を運べないという方にはインターネット通販という手もあります。ネコ・パブリッシングの「鉄道ホビダス(http://rail.hobidas.com/)」をはじめ、様々な鉄道模型の通販サービスが充実しています。

こうした模型取扱ショップの上手な使い分け方については、106頁からもご覧下さい。

Q5 鉄道模型って精密で壊れやすそうですが、取扱上の注意点があれば教えてください。

A5 鉄道模型はある意味精密機械ですので、おっしゃる通り取扱にはある程度の注意が必要です。まず手に持つ時ですが、ボディの中央部、やや下寄りを親指と人差し指・中指で挟むようにして持ち上げるのが基本。ボディ下縁部に指を引っ掛けるようにして持つ習慣をつけておくと、必要以上にボディを指紋で汚すことも少なくなるでしょう。くれぐれも机や床の上などに落としたりしないように…! プラ製のボディは容易にヒビが入ったり割れたり欠けたりしてしまいます。運転が終わったら、元々製品が入っていたクリアーケースやブックケースに戻しましょう。破損を防ぐだけでなく、ホコリを被るのを避けるためでもあります。また保管の際には窓際など、直射日光が当たる所に置くのは厳禁です。塗装の色あせにつながりますし、もし高温状態に置かれたら変形することも考えられます。また押入れの中など湿気が高いところに長期間保管するのも考え物。金属部分の腐食や、シールなどの紙系材質部分の劣化につながります。

長期間遊んだ結果、ボディがうっすら汚れてくることもありますが、シンナーやベンジンなどの溶剤でボディを拭くのはもってのほか! 塗装が剥げたりプラが侵されたりします。また走行系にホコリを巻き込んだり、車輪そのものが汚れてくることもありますが、そのあたりは66頁からの記事をご覧下さい。

Q6 Nゲージを始めたいけれど、何から買えば良いの?

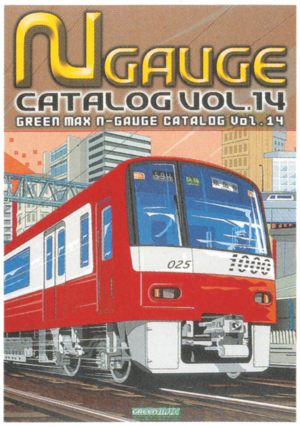
A6 オススメは各主要メーカーから発売されているカタログです。TOMIX、KATO、マイクロエース、グリーンマックスよりカタログが発売されており、別項で紹介した鉄道模型取扱店で入手できます。特に初心者であればTOMIX・KATO両方のカタログを購入してレールのシステムを比較すると良いでしょう。レールの規格・種類やコントローラーの機能など各メーカーにそれぞれの特徴があります。基本的にレールの混用はできないので、自分の好みに合うものを事前に決めておくと後々後悔せずにすむでしょう。

また、カタログ発売後の最新情報については年に数回発行されるTOMIX『キロポスト』やKATOの『KATO NEWS』、マイクロエースの『マイクロエースタイムズ』といった小冊子でチェックすることができます。

▲TOMIXから発売されているカタログ。初心者にぜひ手にして欲しい一冊。

▲KATOカタログは2008年から市場在庫品・発売予定品に絞った年刊方式に変わった。

▲現時点で最新のマイクロエース・カタログ。現在はさらに沢山の製品が発売中である。



▲グリーンマックスのカタログ。『RM MODELS』付録として増補版も発行された。

Q7 Nゲージって何で動くのですか? ひょっとして電池?

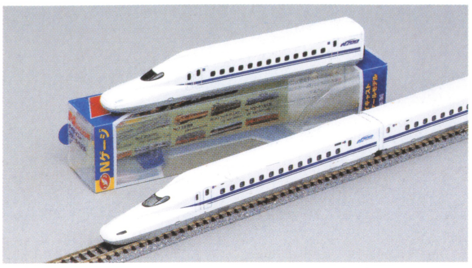
A7 確かにNゲージは電気で動くのですが、プラレールのように電池を車輌に載せるわけではありません。

Nゲージ車輌は2本のレールから車輪を通して電気を取り、動力車のモーターを回して走行します。そのレールにはフィーダーと呼ばれるコードを使って専用の電源装置(コントローラー)※3から電気が供給されます。電源装置はコンセントから電力を取る形が一般的です。走行中は線路に電気が流れています。進行方向右側がプラス、左側がマイナスの直流で電圧は最大で12V。電流自体は微弱なので触って感電することはありませんが、レールの上に金属を置いたり飲み物をこぼしたりするとショートして車輌や電源装置などが損傷する場合もあるので注意してください。

▲電源装置(コントローラー)の一例(KATO製パワーパックスタンダード)。手前のフィーダー付き線路を接続することで車輌に電気を供給する。

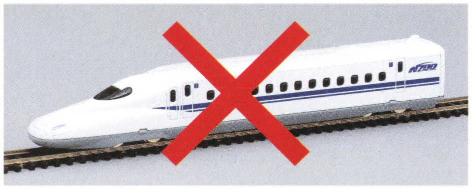
※3 電源装置の名称
TOMIXでは「パワーユニット」、KATOでは「パワーパック」とメーカー毎に違った名前が違っているが、基本的に果たす役割は同じ。電源供給と制御を1つの機械にセットしているのでこのように呼ばれている。

Q8 駅の売店などで売っている「Nゲージ」って、鉄道模型のNゲージの仲間なんですか？



▲「Nゲージ」を名乗るダイキャストモデル（奥）。手前のNゲージ車輌にも一見似ているようだが…。

A8 トレーンが発売しているダイキャスト製の車輌シリーズのことですね。確かに9mmゲージのレールの上に乗せることはできますが、鉄道模型というよりは玩具と考えるのが一般的です。やはり本家のNゲージに比べれば各部の表現は大味で、かつ縮尺自体もかなり大きめかつ車輌によってバラバラなのでNゲージの規格からは大きく外れた存在です。さらに言えば動力を搭載しておらず、手押し走行を前提に作られている点も大きな違い。左右の車輪は電気的に絶縁されていないので、下の写真のようにレールに乗せるのは厳禁！　ショートを生じて、発熱や機器損傷の原因になります。



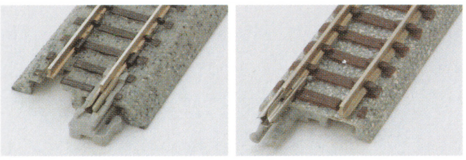
▲トレーンの「Nゲージ」は左右の車輪を絶縁していないので、Nゲージ線路に乗せるのは厳禁！

Q9 Nゲージのレールはいくつかのメーカーから出ているようですが、車輌と同じメーカーのものでないとダメなのでしょうか？

A9 現在日本では、KATOのユニトラック、TOMIXのファイントラックという2種類の道床付きレール※が手に入ります。ですがその上に載せて走らせる車輌は、メーカーを問いません。Q1でお答えしたように、Nゲージは「線路の幅が9mm」という点で世界中で統一された鉄道模型ですので、外国のメーカーのNゲージでももちろん走らせることができるのです。

Q10 それでは、その2種類のレールについて、混ぜて使うことはできるのですか？　あるいはどちらかに統一した方が良いのでしょうか？　そしてコントローラーも同じメーカーにする必要があるのでしょうか？

A10 レールの端っこ、ジョイント部分（下写真参照）を比べてみれば一目瞭然ですが、2種類のレールは接続の構造が全く異なるため、通常はつなぐことができません。また基本となる寸法もお互い異なるため、混用した場合、綺麗なプランが組めなくなる可能性が高いです。コントローラー類も、コネクターがそれぞれ専用の形状をしていますので、やはり基本的にレールと同じメーカーのものにする必要があります。ですので初心者の方には、どちらのレールを選ぶかである程度真剣に悩んでいただきたいのです。本書の26頁からの記事を参考にしていただければと思います。基本のルールは、「車輌は各社OK、レールは1社で統一」ということになりますね。



▲左はKATOのユニトラック、右はTOMIXのファイントラック。直接連結することはできない。

Q11 メーカーの違う車輌製品同士を、連結して走らせることはできるのでしょうか？

A11 一昔前であれば回答は単純に「全く問題ありません」で済んだのですが、最近は、各メーカーごとに外観・機能に独自の工夫を盛り込んだカプラー（連結器）を採用することが多くなり、特に電車や気動車などは同一メーカーでないと普通に連結することは難しくなってきました。ただ、機関車とそれに牽かせる客車、貨車との間では「アーノルトカプラー※」と呼ばれる世界共通の連結器を用いることで、メーカーの枠を超えて混用することが基本的に可能です。製品状態でそれと異なるカプラーが付いている製品でも、交換用のアーノルトカプラーが付属していることが多いので、ご安心ください。

▲左のKATO製EF64と右の河合商会製タキ5450は、ともにアーノルトカプラーで連結が可能。

Q12 とりあえずNゲージを始める前に人がやってるのを見たいんだけど、お店以外でそういうイベントとか場所ってありませんか？

A12 一番有名と言えるのが、「JAM」の愛称で親しまれている「国際鉄道模型コンベンション」（主催：日本鉄道模型の会※）。主に東京ビッグサイトで毎年8月に開催され、Nゲージをはじめとする様々なジャンルの鉄道模型に関わる個人・サークル・メーカー・販売店等が集う日本国内で最大規模の鉄道模型イベントです。サークル等による運転会の様子を間近で見られる他、ジュニア・カレッジ・プログラムなど体験型の催しもあるので「軽く鉄道模型の世界に触れてみたい」という方にはオススメです。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？

また、毎年恒例で開催されている東京の松屋銀座「鉄道模型ショウ」や大阪の「キッズランド鉄道模型ショー」なども気軽に参加できるNゲージのイベントとしても有名です。ここ数年は鉄道ブームと言われていて、他にも鉄道模型に関する催し物が増えているので、こまめにチェックすると良いでしょう。

▲昨年のJAMこと国際鉄道模型コンベンションの様子。今年2008年は8月8～10日の日程で開催予定。

道床付きレール
Nゲージの線路は取り扱いの便を考えて、レール・枕木・バラストが一体になった形態が一般的となっており、これを道床付きレールと呼んでいる。

日本鉄道模型の会
鉄道模型の普及と技術の進歩発展を目指し、鉄道模型を趣味とする全ての人々の相互交流を促進することを目的としたNPO（特定非営利活動法人）。国際鉄道模型コンベンションの「JAM」は、同会の英語名である「Japan Association of Modelrailroaders」の頭文字を取ったものである。

アーノルトカプラー
ドイツのアーノルト社（当時）が開発したことから命名された、Nゲージでは世界標準とされるカプラー。近年では列車の固定編成化や細密化の傾向によりその大柄な形態は避けられがちだが、今もってNゲージで最も汎用性のあるカプラーであることに変わりはない。

Q13 Nゲージってどんなメーカーから発売されているのですか？

A13 初心者にも扱いやすいプラスティック製の完成品モデルをメインに発売している主なメーカーはTOMIX、KATO、マイクロエース、グリーンマックス、MODEMO、河合商会（順不同）の6社。この他、ワールド工芸やキングスホビーなど金属製モデルをメインに発売しているメーカーもあります。好みの車種や予算に合わせて選ぶと良いでしょう。

●KATO（関水金属）

日本におけるNゲージ業界のパイオニア。ユニトラックと呼ばれる道床付きレールを中心としたレールシステム、それに合わせた規格で展開するストラクチャー（情景）シリーズの「ジオタウン（102頁参照）」など、車輌に限らない総合的な商品展開が特徴です。車輌のラインナップは全般的に網羅しており、特に機関車とJR新型車輌に強みがあります。実車の魅力を再現する様々なギミックと、シャープなディテール表現が盛り込まれた高いクオリティはユーザーに広く支持されています。また、運転の楽しみの幅をさらに広げるDCC※と呼ばれるシステムの導入にも積極的で、最近の製品ではそれに必要なデコーダー※という部品を容易に取り付けられるようになっています。

●TOMIX（トミーテック）

こちらも日本を代表するNゲージの老舗メーカー。レールシステム等を含めた総合メーカーを自認するだけあって、製品のラインナップは車輌からレール、周辺アクセサリーに至るまで極めて豊富。新幹線に関しては営業用の全系列が揃う充実ぶり。国鉄型特急・急行用車輌を中心に展開している「HG」製品はボディマウント式TNカプラー※の標準装備などリアルな形態を徹底的に追求したシリーズで人気を集めています。

ミニカーブレールや電動Y字ポイント、リアルなサウンドを楽しめるコントローラーのTCSパワー＆サウンドユニットN-S2-CLなど、運転面に関しても様々なアプローチから独特の製品を次々と開発しています。

●マイクロエース

急速な新製品発売ペースで一気に大手メーカーの地位まで駆け上がったメーカー。かつての社名から「アリイ」と呼び親しむユーザーも少なくありません。製品ラインナップのほとんどが車輌製品で、同一形式で複数の仕様・時代設定を作り分けて同時に発売するバリエーション展開が特徴。国鉄・JR系に関して全般的に網羅しています。特に蒸気機関車のラインナップは圧倒的。同時に私鉄車輌の製品化にも積極的です。原則的に車番等の標記類は全て印刷済、アンテナ等の細かいパーツも出荷段階で全て取付済で、買ってすぐに完成状態で運転できる点もユーザーの支持を集めている理由の一つとなっています。

●グリーンマックス

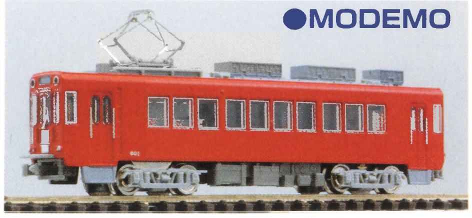
GMの愛称でも親しまれている老舗メーカー。プラモデルのような組立式キットのメーカーとして独自のポジションを長く保ってきました。「創る愉しみいっぱい！」のフレーズと共に発売された車輌・ストラクチャーキットの数々には今も根強いファンが存在。今はより簡単に完成できる塗装済キット、そして塗装済完成品の発売にも力を入れており、特に私鉄車輌のラインナップが充実していると言えます。

●MODEMO（ハセガワ）

飛行機のプラモデルメーカーとして有名なハセガワの鉄道模型ブランド。路面電車や、江ノ電・箱根登山鉄道などの小型車輌に限れば他のメーカーの追随を許さない圧倒的なラインナップを誇ります。その中には美しい印刷で表現された様々なラッピング車輌も数多く含まれており、コレクションアイテムとしても人気を集めています。もちろん小さくても動きは非常にスムーズで、最近の製品ではライト点灯のギミックも搭載しています。

●河合商会

専ら国鉄時代の貨車製品を次々と製品化しているメーカー。二軸貨車からボギー車まで、様々な種類の貨車を2～4輌セットで販売。近年発売された製品では積荷や防水シートを再現するドレスアップパーツが付属するなど、購入後に一手間加えて楽しむ工夫も盛り込まれています。



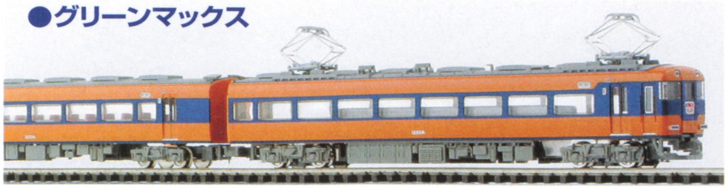
▲路面電車・小型電車を中心に製品化しているMODEMO。写真は名鉄モ600形。

▲国鉄型の貨車と言えば河合商会の製品は外せない。写真はタキ5450形各種。

▲日本Nゲージのパイオニアメーカー・KATO。写真は223系2000番代新快速。

▲Nゲージ界のトップメーカー・TOMIX。写真はE233系0番代中央線。

▲驚異的な発売ペースでユーザーを圧倒するマイクロエース。写真は12系「やすらぎ」。

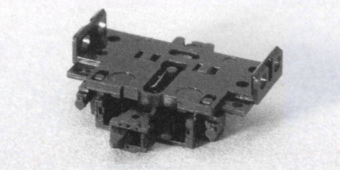


▲キット・塗装済完成品の両方を発売しているグリーンマックス。写真は近鉄スナックカー（塗装済完成品）。

DCC
デジタル・コマンド・コントロールの略で、デジタル信号をレールに流して車輌やポイントなどに直接命令を送って制御する鉄道模型の制御方式。一つのレールで複数の編成を別々に制御するなど、従来にない高度な運転も可能とするシステム。

デコーダー
市販車輌に搭載することで、DCC運転を可能とする装置。列車個別の運転を可能とするほか、室内灯・前照灯の点滅など多機能な制御を可能とする。

TNカプラー
TOMIXが独自に開発した連結器シリーズ。密連型、密着自動連結器型など実車に合わせて様々な形態のものが用意されており、中でも伸縮機能付きで連結面間隔が狭く、外観のリアルなボディマウント式は絶大な人気を集めている。



Q14 とてもよく出来ているNゲージ。こんな精密なもの、いったいどこでどうやって作られているのでしょうか？

Nゲージのできるまで

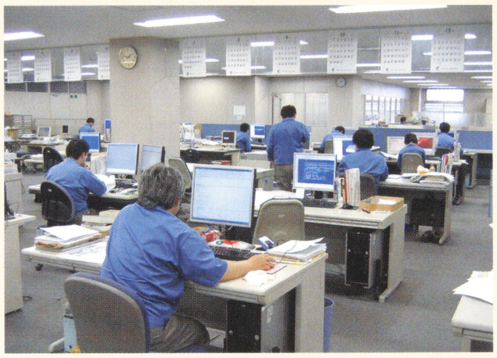
関水金属（KATO）埼玉工場

TEXT：編集部
PHOTO（特記以外）：KATO

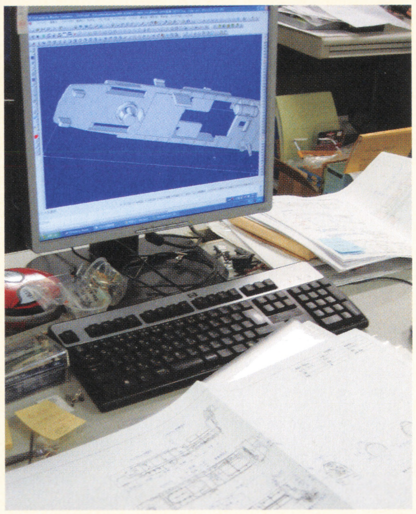
▲1997年に開設された関水金属埼玉工場新社屋。ここでNゲージを中心とした鉄道模型の設計から部品作り、組立、完成品の梱包に至るまでが一貫して行なわれている。

A14 Nゲージと一言で言っても、素材はプラ製、金属製、レジン製といろいろありますが、ここでは最も一般的なプラ製品のできるまでを取り上げましょう。取材に協力していただいたのは、関水金属（KATO）の埼玉工場（埼玉県鶴ヶ島市）。昨今、製造を中国などで行なっているメーカーも多い中、同社は車輌については頑なに国内製造を貫き、その高いクオリティとリーズナブルな価格は他の追随を許さないところです。ちなみにこの埼玉工場、鉄筋7階建て、床面積10,500㎡と、さすがに鉄道模型のトップメーカーの主力工場だけに、堂々たる規模を誇っています。

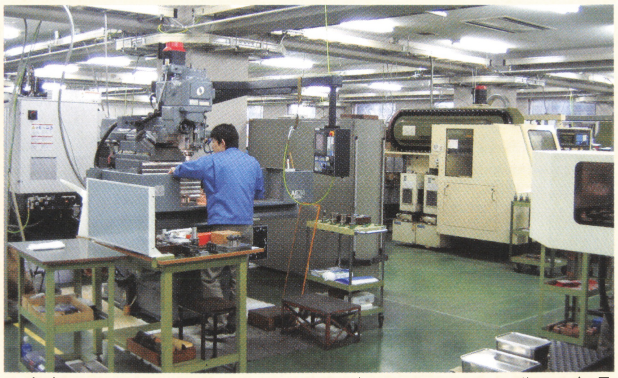
❶ 設計



▲実車の資料を元に、模型製作用の図面が作成されます。単に実車寸法を縮尺で割るだけでなく、部品分割や材質、金型※製作をも考慮し、CAD/CAM※を用いて設計が行なわれます。

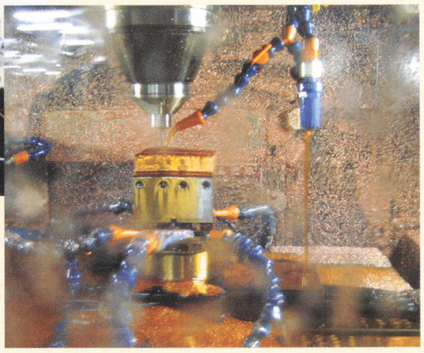


❷ 金型製作



▲各部品の設計が終了したら、そのデータを元にそれぞれの部品ごとの金型が彫られます。金型はいわば部品の形を金属のかたまりに写し取ったもので、高度な加工精度を要します。

◀金型の加工は、「マシニングセンター」と呼ばれるコンピューター直結の自動加工機械にプログラムを入力することにより、ほとんどの加工が自動的に進められます。



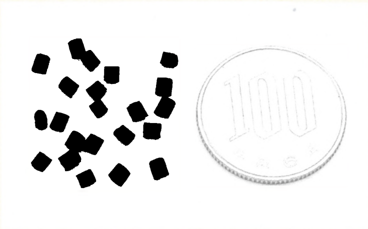
▶切削加工中の様子です。回転する刃物が自動的に上下して金属を切削します。周囲のパイプからは、摩耗や発熱を防止するための切削油が常に流れています。

金型（かながた）
ここではプラスティック原料を押し込むための、部品と同じ形状を持つ空洞が彫り込まれている金属製の「型」を指す。いわば「たいやきプレート」が非常に高度化・精密化したものと考えると理解しやすいだろう。一般的に固定側・可動側と呼ばれる二方向の開閉機構を持っていて、その開閉によって部品が成形・排出されるため、閉じた際に高温に熱せられた材料が漏れることのないよう、非常に高い精度が要求される。

CAD/CAM（キャド／キャム）
設計作業を紙の図面上で線を引いて行なうのではなく、コンピューターにデータを入力することで線を引いて形を決め（CAD）、さらにその形状データを元に金型を自動的に彫込するためのプログラム作成（CAM）までを行なうシステム。最初の設計データが加工工程まで保たれるほか、コンピューター上で形状や部品組み合わせのシミュレーションが可能であるなど利点も多く、現在では世界的に普及した生産技術だが、関水金属では1980年代から採用され、当時から注目されていた。

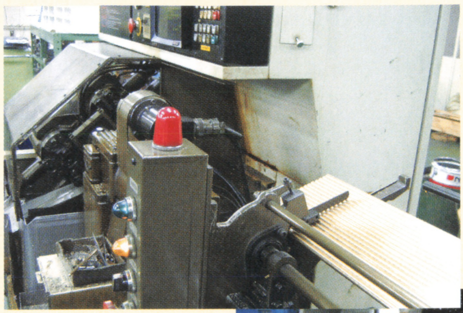
③ 成形

▶Nゲージの構成部材の大半を占めるプラスティックは、石油を原料とする合成樹脂を粒状化したペレットと呼ばれるもの（右写真で粒状のもの）から作られます。P：RMM

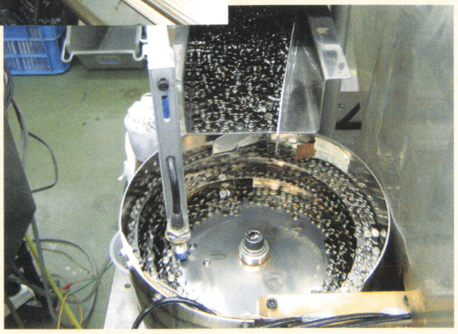


◀金型があらかじめセットされた巨大な射出成形機※の中にてペレットを高温で溶かし、金型内に押し込みます。冷却後に金型を開けば、プラスティック部品が出来上がりです。

④ 部品製作

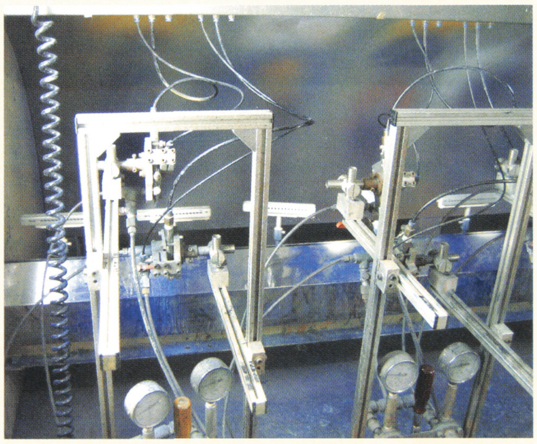


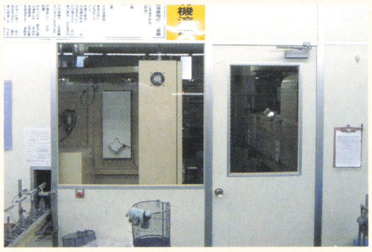
◀Nゲージ部品の大半はプラスティック製ですが、車輪や集電バネなど金属の部品も欠かせません。車輪は金属棒を自動旋盤で加工することにより、その形状が作られます。



▶自動旋盤にて加工された車輪部品に、自動的に車軸を打ち込んでいくための機械です。これらの専用化された生産機器の設計・製作も自社工場内で行なわれています。

⑤ 塗装

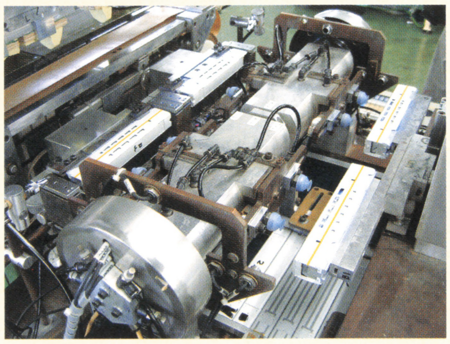




▲部品を着色する塗装工程には有機溶剤を用いますので、人が直接作業することは望ましくありません。そのため塗装作業現場はブースとして区切られ、作業が無人化されています。

◀上写真左下に見えるコンベアーにてブース内へと運ばれてきた部品は、一つずつ角度を変えながら、何方向からも自動的に塗料が吹き付けられます。

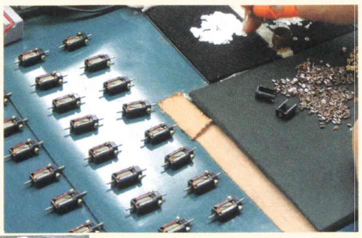
⑥ 印刷



▲塗装だけでは表現しきれない細かい帯や車号標記などは、版を使った印刷工程にて入れられます。写真のローター印刷機では、一度に複数箇所の自動印刷が可能となります。

⑦ 組立

▶熟練した職人の手で、次々に部品が組み立てられていきます。写真はモーターの組立工程で、鉄道模型の要と言えるところだけに、非常に精度の高い仕事が要求されます。



◀広大な組立職場では、手先の器用な女性従業員が大きな戦力となっています。分業によって数多くの部品が組み立てられ、だんだんと鉄道模型の形に近付いていきます。

⑧ 出荷

▶工場内で出荷チェックのうえパッケージされた製品は、そのまま段ボール箱に詰められて、日本国内はもとより海外にも出荷されます。

▲出来上がったNゲージ鉄道模型。たった1輌の模型も、実に多くの工程と人の手を経て作られているということがお解りいただけたことでしょう。P：RMM

射出成形機（しゃしゅつせいけいき）
プラスティック製品を作る機械の一種で、注入されたペレットを高温で溶解し、あらかじめ成形機内にセットされた金型内の空洞にそれを押し込み、冷却してプラスティックが固まった後に金型を開いて部品を排出するという一連の機能を持つ。高温・高圧で注入される材料に対し、金型が開かないよう高圧で押さえつける機能があるため、機械は全長数メートルもあり、成形される部品に対し非常に巨大な規模となる。

Q15 「Bトレインショーティー」ってどういうものですか？ Nゲージに関係あるみたいですが…。

A15 「Bトレインショーティー」とはバンダイが発売しているNゲージサイズのデフォルメ車輌ミニモデルシリーズです。1:150スケールの車体断面やリアルさはそのままに、長さ方向だけを1輌あたり約60mmに短縮。基本的に組立式キットの形態で販売されています。中身の見えないブラインド方式※の1輌売りと、車種を明らかにした2〜8輌のセットの2形態での販売が行なわれています。

製品を素組みした状態は飾るだけのトイに近いものですが、最大の特徴として、オプションでKATO製の小型車両用動力ユニット・小型台車、パンタグラフに交換することが可能な構造となっていて、簡単にNゲージの線路の上を走らせられるようになっている点が挙げられます。元々鉄道模型の世界では、全長を短く改造して可愛らしい外見にする「ショーティー」という楽しみ方のジャンルがあり、その流れで考えればBトレインショーティーも鉄道模型の仲間と考えることができます。

組立には接着剤は一切不要で簡単。各商品の単価もNゲージ車輌に比べれば非常に安いので、初心者の方にもオススメのシリーズです。

▲素組状態のBトレインショーティー。

▲Nゲージ化パーツ組込みで走行させることもできる。

Q16 Nゲージって小さいのになんでこんなに値段が高いのですか？

A16 確かに一般的な金銭感覚から考えれば「高い」と思ってしまうのも仕方がないかもしれませんね。ライトや動力関係のギミックを組み込む関係上、同じようなサイズのミニカーなどと比べるとプラ製量産品としては高いと思われても仕方ありません。それだけ精密なメカが詰まっている、ということでもあります。

ただ、金額相応の満足感を得られるかどうかは結局のところ、楽しみ方次第ではないでしょうか。飾る、走らせる、付属部品やステッカーで自分好みの列車・編成に仕立てる、あるいは塗り替えや改造でその過程を楽しむ、レイアウトやジオラマを作る等々、様々な楽しみ方の可能性があるのが鉄道模型の世界です。買ったままの状態で押入れにしまい込むのが一番もったいない話で、もったいないと思うのなら色々な方法でそのモデルを遊び倒して、自分なりの楽しみ方を探してみるのも鉄道模型との付き合い方の一つだと思います。

Q17 コンビニで「鉄道コレクション」という商品を発見。手頃な価格と昔懐かしい車種のラインナップに魅せられて購入したのですが、説明書を見ると、別売りの走行用パーツでNゲージ鉄道模型として楽しめるように書いてあります。本当にこの低価格で、高価な鉄道模型と遜色ないモノになるのでしょうか？

A17 「鉄道コレクション」はTOMIXと同じトミーテックから発売されているNゲージサイズのディスプレイモデルです。Nゲージ車輌として発売されているものと比べても、プラスティック製のパンタグラフがトイっぽい感じがする以外は遜色のない出来だと思います。

この「鉄コレ」のウリとなるのが質問にもある通り、別売りの動力ユニットや走行用パーツ使用によってNゲージの線路上を走らせることが可能なように設計されている点。その動力ユニットも通常のNゲージ用に比べれば安価で販売されています。対応する部品の番号は鉄コレのパッケージに書いてあるので、模型店などでそれを伝えれば迷うことなく購入できるでしょう。さらに、TOMIXの分売パーツを使ってパンタグラフやベンチレーター等をディテールアップさせるという裏技的な楽しみ方もあります。

販売形態は中身の見えないブラインド方式が中心で、一部イベント限定品や鉄道会社オリジナル品などでオープンパッケージ販売となっているものもあります。ラインナップは1〜3輌でまとまる形式が中心で、TOMIXのミニカーブレール※を通過可能なよう配慮されており、一昔前の地方ローカル私鉄を小レイアウトで再現、といった楽しみ方もできます。

▲Nゲージ化も容易な鉄道コレクション。

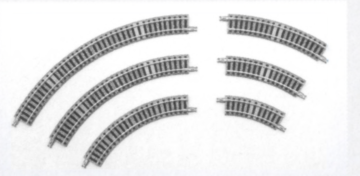
Q18 以前はNゲージと言えば単品発売がほとんどだったと思うのですが、久しぶりに戻ってきたら今はセット販売がメインなのですね。それではセットで買うのとバラで買うのと、どっちが得ですか？ また、同じ種類でも「基本セット」と「増結セット」というのがありますが、増結セットの方が安い値段なので得なのでしょうか？

A18 以前の単品発売がメインだった頃は、どうしても在庫状況に偏りが生じ、ある特定の形式は余っているのに別の形式はどこを探しても売っていない、という状況がまま見られました。また多くのユーザーが長編成を指向するようになったこともあり、現代はセット販売花盛りとなっています。メーカー、小売店、ユーザー全てにとって都合が良い販売方法なのですね。

さて、同じ形式がセットと単品で発売されている場合、単品で揃えてもセットで購入しても大きな差がない場合がほとんどです。例えば、KATOの201系中央線色では基本セットの定価が¥13,230(税込)で、単品で同等の編成を揃えた場合(パンタ形状など若干仕様は異なる)の税込定価の合計が

ブラインド方式
Bトレインショーティーや鉄道コレクションに代表されるコレクションモデルや他ジャンルのいわゆる「食玩」でよく用いられる販売方法。中の見えないパッケージで梱包され、複数あるラインナップのどれが入っているかは「買ってからのお楽しみ」。編成物を揃えるには沢山買うか、開封売り・中古で中身のわかる状態で販売している店舗を探すことになる。

ミニカーブレール
TOMIXのレール・ファイントラックの一種で、半径103・140・177mmという従来よりも急なカーブのラインナップ。Bトレインや鉄コレなど小型車輌を省スペースで走らせるにはピッタリだが、車輌によっては通過できないので事前に確認が必要となる。



¥12,601となります。¥629の差は、ケース等の違いもあるので誤差の範囲と言えるでしょう。また最近ではセット売りが中心となっていて、単品だけで編成を揃えること自体が難しくなっているので、比較自体が無意味とも言えます。

そして基本セットと増結セットの違いですが、増結セットは多くの場合、割高なモーター車が含まれないためセット全体としては安く感じられるに過ぎません。当然増結セットだけで走らせることは不可能で、系列によっては先頭車のライトすら点灯しないのです。ですから、最初に買うべきは基本セットということになります。

▲現在も編成物以外の車輌は単品販売されている。

▲編成物はセット販売が中心となっている。

Q19 雑誌や模型店の店頭でたまに見かける言葉ですが、「フル編成」って一体何のことですか?

A19 フル編成の「フル」とは英語の「full」、つまり「満たす」「いっぱい」という意味なので、実物の編成を再現するのに十分な輌数・車種が全て揃った編成を指すと考えれば良いでしょう。例えば、山手線のE231系500番代であれば実物通りの11輌が揃った編成のことを「フル編成」と呼ぶのです。

ただ、ちょっと難しい話をすると、実物の編成は季節による増車・減車などで必ずしも輌数が決まっているわけではなく、何をもって「フル編成」と考えるかはケース・バイ・ケース。また、実物通りでなくとも、単に基本セット+増結セットの組み合わせを指してフル編成と呼ぶ人もいます。

とかく「実物と同じ編成がいい」と考えがちで、フル編成指向となる方も多いかと思いますが、ご自宅のレイアウトでその輌数の編成が走らせられるかということなどをよく考えて、メーカーの販売戦略に踊らされずに楽しむのが良いのではないかと思います。

Q20 鉄道で旅行するのが好きで、Nゲージで旅先の思い出を再現したいのですが、車輌の形式などの詳しい知識はありません。実物の鉄道に詳しくないと鉄道模型は楽しめないのでしょうか?

A20 実物の鉄道に対する専門的知識に乏しいからといって、鉄道模型が楽しめないということはありません。所詮は趣味、まずは肩の力を抜いて現時点で自分なりの鉄道に対するイメージを投影するところから始めれば良いのです。極端な話、買う時に形式などが分からなくてもお店のスタッフに相談して探してもらえば良いのです。そういう意味でも初めての方には、量販店よりも模型専門店の方がオススメですね。

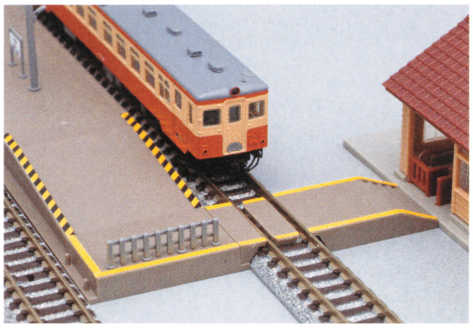
しかし実際の鉄道に対する理解が深まれば、より深く鉄道模型を楽しめるのも確かでしょう。例えば車輌の機能や構造、つなぎ方や、駅構内の線路配置、列車の運行ダイヤについて、実物を観察したり専門書やインターネットを調べたりすれば、模型のディテールや機能の意味が徐々に見えてきます。また、逆に模型を手にすることで実物を知るということも少なくありません。

▲Nゲージで大事なのは、知識よりもまずは実物に対する思い入れ。旅の思い出をモデルで再現するのもまた一興。P:羽山　健

その新しい発見でさらに模型を見る目が変わって…。そうするうちに、あなたの鉄道模型趣味も更に有機的な実りあるものとなっていくはずです。

Q21 駅を置きたいのですが、TOMIXの線路にKATOの駅を置いても大丈夫ですか?

A21 鉄道模型の世界では、建物類のミニチュアを「ストラクチャー」と言います。そのストラクチャーの中でも、レールとは関係のない、例えば住宅や商業ビルなどはどんなメーカーのものでも全く問題なく混用できるのですが、こと駅ホームや電車庫といった、レールと密接な関係のあるものに関しては、複線間隔や道床の厚みなどが同じメーカーのレールに専用のものとして合わせてありますので、混用は難しいのです。もちろん、工作を加えて他社のレールに合わせて使うのも楽しいものですが、最初のうちはレールと駅は同じメーカーで揃えておきましょう。



▲駅のホームは線路の規格に合わせて作られている。

Q22 鉄道模型はNゲージだけじゃないんですよね?

A22 縮尺の違いで、もっと大きな16番(通称HOゲージ、1:80)、Oゲージ(1:45)、1番ゲージ(1:32)などが昔から存在し、根強いファンがいます。特に16番はNゲージメーカーのKATO、TOMIXからも製品が出ていますので、Nゲージャーにとっても親しみやすいですね。より迫力を味わいたいなら検討する価値ありです。またより小さい方向ですと、Zゲージ(1:220)というのが最近出回り始めました。Nゲージよりさらに小さなスペースでレイアウトが可能なのが特長と言えるでしょう。

▼日本初のNゲージ量産品、カトー(関水金属)のC50とオハ31。当時の世界規模で見ても非常にハイレベルの製品。ただし現行の製品とは全く異なるものである。(大田治彦『紀元前N世紀』※より転載)

Q23 Nゲージは、一体いつ頃から始まって、どんな進化をしてきたのでしょうか?

SINCE 1965…
Nゲージの辿った軌跡

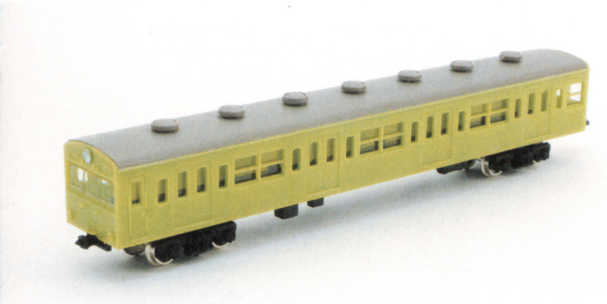
TEXT:山下貴久雄
PHOTO(特記以外):青柳　明(RMM)

A23 ■C50から全てが始まった

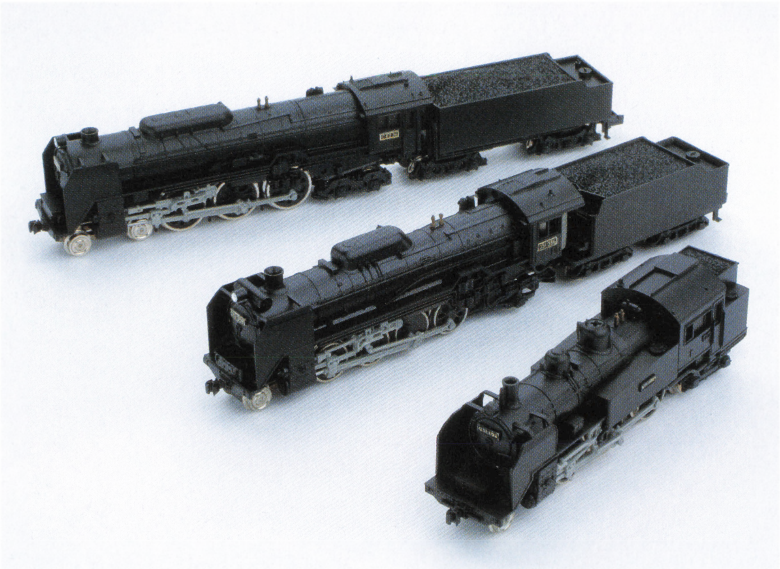
日本のNゲージは1965(昭和40)年、カトー(関水金属)のC50とオハ31によりスタートしました。ヨーロッパではそれより少し先に登場していましたがその差はわずか数年で、しかも製品のレベルは最初からかなり高いものでした。さらに線路なども初期の段階から供給され、早くもNゲージを車輌のみならず周辺まで含めたシステム全体として捉え、「運転のためのゲージである」という認識が強かった点が注目されます。

最初は"グリコのおまけ"などと言われ、まだ16番※が全盛の時代だけあって、決して順調というわけではなかったようですが、徐々に普及し、翌年には103系やトキ15000が製品に加わりました。その後もEF70、コンテナ貨車、20系客車、ワキ10000などが年2、3点ずつのペースでラインナップに加わりながら、技術的にもどんどん向上していきました。動力装置の構成や性能、塗装やレタリング※が日進月歩で良くなっていった、まさに黎明期の頃です。

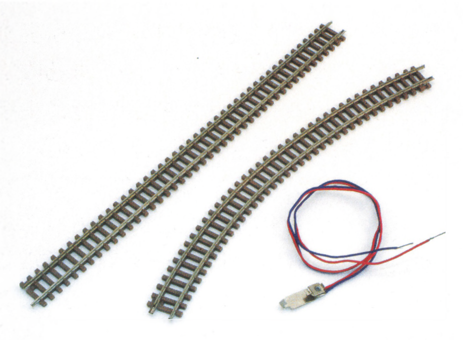
1970年代に入り、SL廃止ブームが訪れ、各地で3重連などが人気を集めたのもこの頃でしたが、カトーもそれに呼応してか、相次いでC11、C62、D51の3形式が登場となりました。電気機関車や電車の新製品追加がない中でのSLばかりのリリースは、やはりこのブームと無関係ではなさそうです。この時代まで、概ね日本のNゲージはカトーが独占的な状況にありました。



▲カトーの103系の初期製品。写真はボディ色をプラの成型色で再現した仕様。ボディの基本金型自体はいまだに現役である。(大田治彦『紀元前N世紀』より転載)



◀1970年代初頭、相次いで国鉄の代表的なSLがカトーから発売となった。写真奥からC62、D51、C11で、ディテール、プロポーション、走行性いずれも非常に良く、SLブームに沸く日本列島で人気を集めた。C62が新規製品の発売により生産中止となったが、他の2形式はほぼそのままの仕様で現役製品である。



▲初のNゲージなので、線路もカトーが自社開発した。この茶色枕木仕様は極初期にのみ見られたもの。(大田治彦『紀元前N世紀』より転載)

▲大手としては2社目となるトミーのNゲージへの参入。当初はまだ「トミックス」ブランドではなく「トミーナインスケール」ブランドであった。製造は香港で、ややトイっぽい部分も見られたが、何より安価なためNゲージの普及に貢献した。写真は初期の代表的な動力車、ED75と2軸貨車。

『紀元前N世紀』
月刊RM MODELS 125～128、130、132、134、136、139号に連載された記事で、世界レベルで概観したNゲージの起源と、関水金属の初期製品についての考察をまとめたもの。関水のNゲージ誕生40周年を記念しての記事だった。

16番
Nゲージより一回り大きいサイズの鉄道模型で、日本型の場合縮尺が1:80、線路の幅(ゲージ)が16.5mmになるもの。HOゲージと呼ばれることも多い。

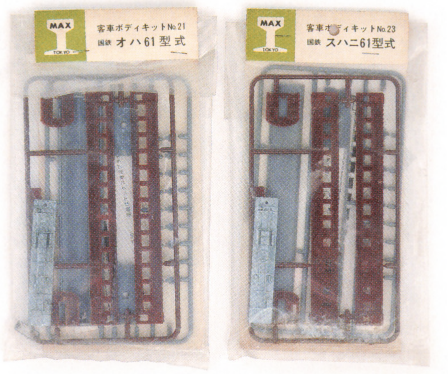
レタリング
ここでは模型の塗装後、印刷などにより施す標記類や帯(細い線)のこと。

■1970年代、Nゲージブームへ

そして1973(昭和48)年、トミーが現在のトミックスの前身にあたるトミーナインスケールブランドにて国鉄貨車7形式9点を新規にリリースしました。香港製による安価でよく出来た貨車を…という趣旨で、翌1974年にはED75などの製品展開があり、一時代を築きました。

また、同じ1974年にはグリーンマックス(当初はマックス)も61系客車とナハ10のプラキットをリリースさせ、これ以後ストラクチャー※関連まで手を広げ、プラキットという新境地を開拓することになりました。

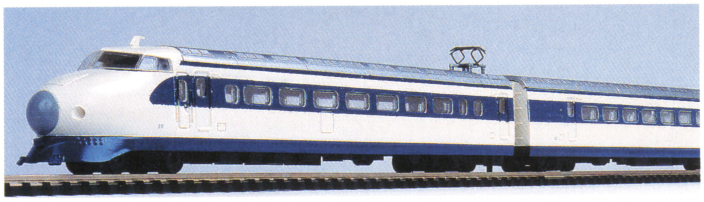
▲1978〜1981年頃、年少者を中心とした実物のブルートレインブームが巻き起こり、それと連動してNゲージもまさにブームと言える状況となった。当時ブームの中心世代だった小学校高学年〜中学生くらいの方が、成人された現代においてもNゲージャーの中で多数派を占めていると言われる。



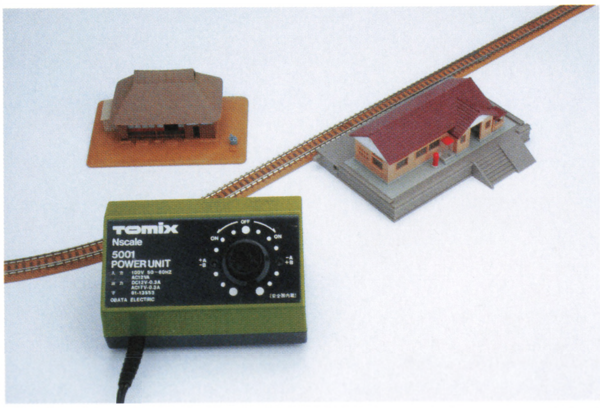
▲マックス(後のグリーンマックス)より画期的なプラキットスタイルのNゲージ客車が発売となった。写真はオハ61とスハニ61。いずれも小改良を経て現役製品である。
P:羽田　洋

続く1975(昭和50)年には、何とあの学習教材出版の学研が新幹線(0系)をリリースし、Nゲージ界に参入しました。知育トイ事業の一環としてNゲージを捉え、一時期製品を供給していたことは、今や記録に値します。

そして1976(昭和51)年、トミックスが誕生しました。国産の技術による全く新しいレールシステムを中心としたNゲージ製品といったコンセプトで、車輌に限らず、ストラクチャー等の周辺製品まで体系的に、システムとして展開し始めたのが画期的でした。とりわけ道床※付のレールは極めて扱いやすく、それまでの固定式線路※に取って代わり、以後爆発的に普及してNゲージ人口の増加に大いに寄与しました。Nゲージが16番に対抗する力を持ち始めたのもこの頃であり、以前は鉄道模型を始める際にどちらにしようかと迷ったりしたものでしたが、これ以後急速に最初からNゲージが選択される時代になっていくのでありました。



▲あの学研がNゲージを発売していた。最初の製品はまだ他社が手を出していなかった0系新幹線だった。
P:羽田　洋



▲トミックスブランド開始と同時に、日本初のプラ道床付きレールが用意された。茶色い道床のレールと緑色のパワーパックは当時目覚しい普及度を見せたもの。日本型完成ストラクチャーも発売され、レイアウトの普及に拍車をかけた。

やがてブルートレインブームの時代を迎えます。Nゲージでも当時EF65 1000番代と24系25形が複数社から競作になり、熾烈なバトルを展開しました。中でもカトーのEF65は同社で空前の売上を記録したと言われます。当時は街のおもちゃ屋さんからスーパー、文房具店やカメラ屋さんなどにもNゲージが置かれ、いたる所で目にすることができた程でしたから、この時代がいかに凄かったかというのを思わせます。まさにブルトレブームがあったからこそのNゲージブームであり、この辺りからようやく大衆化し、Nゲージが市民権を得るに至りました。これらは1978(昭和53)〜1981(昭和56)年頃のことです。

ブルトレブームに端を発し、L特急※や『銀河鉄道999※』、「いい旅チャレンジ20,000km※」など、鉄道趣味全般が広く世の中で流行りました。おもちゃに模型に、筆箱やゲーム等各種グッズ類まで、これほどまでに一般に普通の趣味として隅々まで浸透した時代はいまだかつてありません。これで一気にNゲージが小学校低学年層まで普及し、Nゲージブームの牽引役となりました。第1回目の全日本鉄道模型ショウが科学技術館で開催されたのも1979(昭和54)年のことで、後に松屋銀座に場を移し、現在まで続く毎年恒例の一大イベントとなるのでありました。当時Nゲージを始めた方が、今でも多くやっていらっしゃることでしょう。そんな時代だけに、Nゲージ界にも新規に参入するメーカーが続出し、エンドウ、しなのマイクロや永大、中村精密などがこの時期に参入しました。しかしながら、少々加熱し過ぎた感もあり、永大は間もなく撤退に追い込まれ、しなのマイクロは新たにマイクロエースが引き継ぎました。この時に誕生したマ

ストラクチャー
レイアウトに置くための、駅やホーム、建物類。

道床(どうしょう)
レールの、枕木下にある砂利(バラスト)部分。

固定式線路
レールと枕木のみで道床の部分がない線路。床置きでは不安定気味となるため、フロアーレイアウトには不向きで、ボード等に打ち付けて使用する必要があった。

L特急
当時の国鉄が導入した「数自慢、カッキリ発車、自由席」というキャッチフレーズの特急列車群。特急列車の大衆化を実現した。

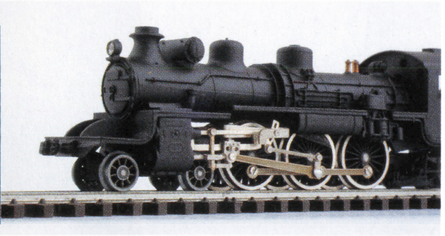
『銀河鉄道999』
松本零士氏原作のマンガ及びアニメで、C62の牽く旧型客車列車の特急〈999＝スリーナイン〉号が宇宙空間を旅するという設定で人気を集めた。その人気を受けて、国鉄でも同名のミステリートレインを走らせたこともあった。

「いい旅チャレンジ20,000km」
1979年より10年間に渡って展開された国鉄のキャンペーンで、路線ごとに起点から終点までを乗りつぶし、それを証明写真によって事務局に認定してもらって、最終的には国鉄全路線(当時20,000kmを超えていた)完乗を目指すというものだった。

◀16番メーカーとして有名なエンドウも、この時期Nゲージに進出した。金属製ボディが特徴で、写真の近鉄30000系は当時のヒット商品。

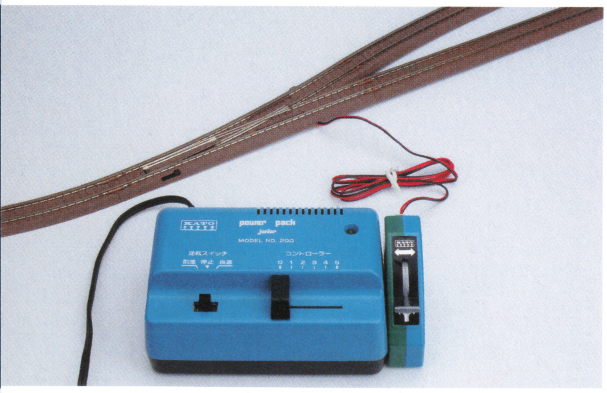
◀同じく16番メーカーのしなのマイクロも、金属ボディで私鉄電車などを多数発売したが、ブームのさなかに撤退。写真は営団6000系。

◀プラモメーカーの永大が発売したプラ製のキハ58系。永大の撤退後は学研に引き継がれた。



◀やはり16番メーカーだった中村精密（ナカセイ）も、金属製蒸機とプラ製客車でNに進出。写真は最初の製品であるC51。

◀しなのマイクロの流れを引き継いだマイクロエース。材質をプラに改め、185系などを発売。この製品は長いブランクを経たものの現代のカタログにも復活して掲載されている。



▲トミックスの後を追うように、カトーも道床付きレール、ユニトラックを発売。現在のものとは異なり、PC枕木で茶色成型だった。ポイントマシン内臓のポイントは当時画期的だった。

イクロエースが、現在隆盛を極める同メーカーの前身となるのでありました。

1980（昭和55）年にはカトーのユニトラックが登場し、ここで今に続くレールの2大巨頭が出揃いました。関連ストラクチャーまで一体となった斬新なレールシステムは大いに話題を呼び、以後トミックスと人気を2分するようになるのでありました。

■1980〜90年代、安定期

ポスト・ブルトレブーム以降の1980年代は、ファミコン等TVゲームの台頭もあって、徐々に落ち着きを取り戻した時代でした。1980年頃のNゲージブームをピークに複数社が群雄割拠したNゲージ界でしたが、概ね1985年頃までにカトー、トミックス、グリーンマックスの“3強”に整理、淘汰されました。一貫してトップメーカーのカトー、大幅に技術水準を上げてカトーに匹敵するまでの成長を遂げたトミックス、前2社がなかなか手掛けない私鉄や旧型国電等を中心にプラキットで独自の存在感を放っていたグリーンマックスの時代が、以後概ね20世紀一杯まで続きました。

1987（昭和62）年、国鉄がJRになり、世の中もバブル景気に沸いて、Nゲージ界にも豪華な傾向が現れたりしました。この時期のカトー製品は室内灯を標準装備としたものも何点かありました。また、フライホイール※を初搭載した同社のEF81がリニューアルされたユニトラックと共に通産省（当時）のグッドデザイン商品に選ばれたのもこの時期です。

1990年代に入り、それまでの、より新しいものが求められた時代から、古くて魅力的なものが改めて見直される傾向が現れるようになりました。1993（平成5）年末に完全新規で再登場となったトミックスのキハ58系には伸縮式密自連形TNカプラーが採用され、以後HGシリーズ※と呼ばれるようになり、同社の一大ブランドを確立するようになりました。他方、河合商会がかつてのトミックス香港製貨車を引継ぎ、リリースし始めたのも1991（平成3）年のことでした。当初はトミックス時代ほぼそのままでの生産が主体でしたが、やがて独自のアレンジが施されるようになりました。

グリーンマックスは、初の塗装済キットとなる東武10030系（10050系）を1993（平成5）年にリリースし、これ以後塗装済キットの時代に突入しました。従来からのキットというあり方に対する、1つの転換点として記録されます。

▶GMは1990年代に入り塗装済キットを手がけるようになった。写真はその最初の製品である東武10030系。

1997（平成9）年の長野行新幹線開業に伴う碓氷峠廃止は、一般人まで巻き込んで、意外なまでのブームになりました。ブームを上手く我が手に取り込んだトミックスは、前年発売のEF63を中心に数々の製品をリリース。一方カトーも廃止間際に189系「さようならあさま」セットを発売。このセットは異常なまでの大人気となり、大騒ぎとなったことは今でも語り草になっています。

▲1997年の実物の碓氷峠廃止とリンクして、Nゲージの世界でも関連製品が人気を集めた。それから11年を経て、現代でもまた新製品が登場する人気ジャンルである。

■21世紀、新たなパワー現る

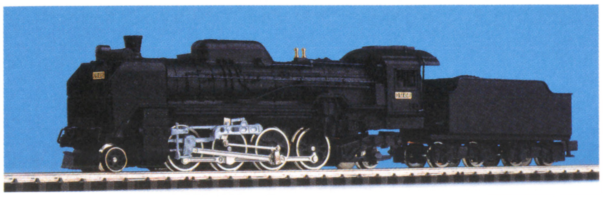
長らく3強体制でしたが、1990年代後半に入ると、現在主流となる2つのメーカーが登場しました。1996（平成8）年末にマイクロエースがD51 2種を、1998（平成10）年にはモデモが旧型客車と、今やすっかりおなじみとなった路面電車製品（都電6000形、桃太郎電鉄）を登場させるに至っております。マイクロエースはその後、蒸気機関車以外の製品も手掛けるようになり、徐々にペースが上がり、今に続く流れとなりました。

ミレニアムの年、2000（平成12）年には、第1回国際鉄道模型コンベンション（JAM※）が開催されました。メーカーの垣根を越えた新たな鉄道模型愛好家の集まりは、その後年々規模を増し、今やすっかり定着し

フライホイール
モーター軸に取り付ける円筒状の金属の部品のこと。詳しくは50頁参照。

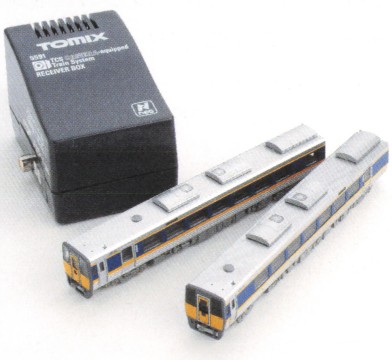
HGシリーズ
「High Grade」を意味する。TOMIXのラインナップの中でも、よりコアなファン向けの形式（主に国鉄型の特急・急行型電車と、急行・一般型気動車など）に採用されるグレードで、TNカプラーが標準装備とされるなど、一段高いクオリティとなっているのが特徴。

JAM
正確にはJAMとは「日本鉄道模型の会」というNPO団体だが、JAMが主催する毎年夏のコンベンションも通称JAMと呼ばれることが多い。鉄道模型の普及、ファン同士の相互交流を目標としている。

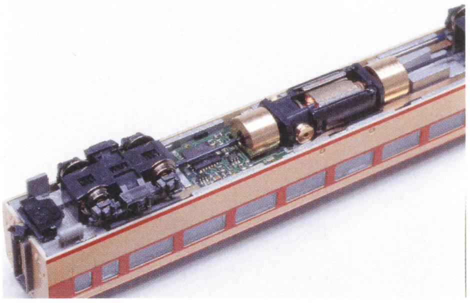


▲マイクロエースが長いブランクから覚めて新たに発売したD51。その後の怒涛のような新製品開発は有名。

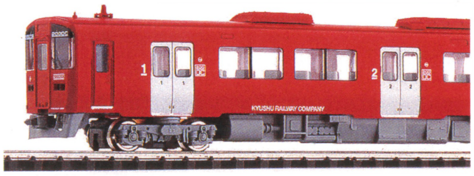
▲プラモメーカーのハセガワが展開するMODEMOブランド。路面電車は得意分野の一つで、今や同社の独壇場と言える。



◀▲同じくトミックスの「TCS車載カメラシステムセット」。使い方もごく簡単で、今までにない楽しみを提供するアイテムとしてファンに歓迎された。



▲一方のカトーはDCCの普及に邁進。近年の製品はデコーダーがワンタッチで取付可能となっている。
P:KATO



▲ついにGMも完成品を発売する時代に。写真のキハ200以来、快調に製品をリリースしている。一方のプラキットは近年CROSS POINTブランドとして限定発売されている。

たイベントへと成長しました。

そして21世紀になり、最新のエレクトロニクスやITを活かし、従来なかった新しい楽しみ方が増えました。まずトミックスは、様々な"鉄道の音"を演出したりして楽しめるコントローラー「TCSパワー&サウンドユニットN-S2-CL」を2002(平成14)年にリリース。実物そっくりなサウンドを奏でながら運転するという楽しみ方を提案して大きな反響を呼びました。さらにもう1つが、2004(平成16)年登場の「TCS車載カメラシステムセット」。超小型カメラを搭載した列車から実写の画像をリアルタイムに画面に映し出すことにより、かつては絶対できなかった実車さながらの運転士気分をNゲージの世界で手軽に体験できるようになりました(この楽しさは、実際に1度でもやってみるとおわかりいただけると思います)。一方カトーは近年順次DCC(デジタル・コマンド・コントロール※)への対応製品を増やし、別途デコーダー※パーツを搭載させることによって、同一線路上における複数列車の個別制御など、従来できなかったような運転形態を可能としております。

他方、グリーンマックスは2002(平成14)年、ついに完成品でキハ200系をリリース。これ以降、同社も完成品シリーズが中心の時代へと移っていくのでありました。

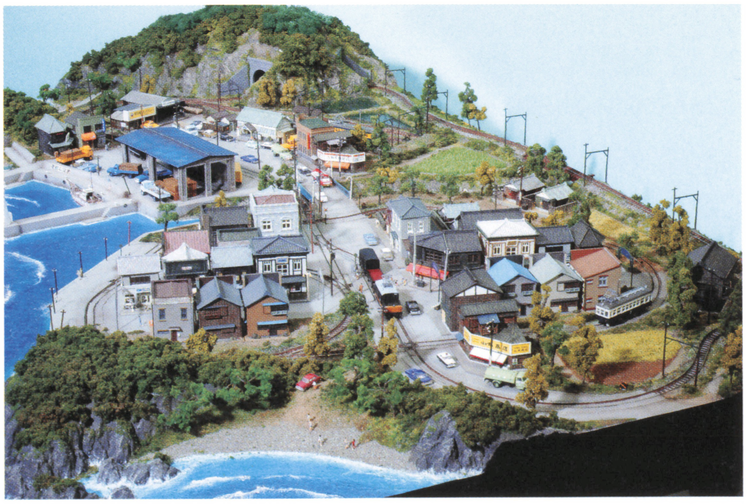
そして、近年俄然盛り上がりを見せているのがトミーテックが手掛ける「ジオコレ※」シリーズです。その第1弾となる「バスコレ」が登場したのは2003(平成15)年のこと。従来どちらかというと脇役的扱いだったストラクチャー等車輌周辺アイテムをリアルに、それでいてリーズナブルな価格で展開し、たちまち大人気に。バス愛好家という新しい層をも顕在化させることになりました。その後「街コレ」「カーコレ」「トラコレ」「トレコレ」とどんどん進展し、遂に2005(平成17)年には「鉄コレ」までもが登場するに至りました。ジオコレの魅力は、鉄道ファン以外のファン層を確実に開拓して、従来なかった新たな広がりを形成しています。

■

2007年問題と言われた今日、団塊の世代を中心とした退職者の方が多くこの趣味の世界に加わったせいか、NHKのTV番組やJR20周年、鉄道博物館のオープン等々の話題が豊富なのも追い風となって、再びNゲージ界が活況を呈している今日この頃です。聞くところによると、レールの生産が追い付かないくらいの活況とのことですから、これは誠に喜ばしき限りであります。

今がまさに、第2のNゲージブームと言えるのではないでしょうか。

▲トミックスの「TCSパワー&サウンドユニットN-S2-CL」。音響機器メーカー・ローランドとの提携によるスーパーリアルなサウンドが、Nゲージで楽しめるようになった。



▲トミックスのトミーテックが、トミックスブランドとは別に展開している「ジオコレ」ワールド。もちろん両者を混ぜて使っても何の問題もなく、広がりを持った世界が安価に楽しめるツールとして話題である。

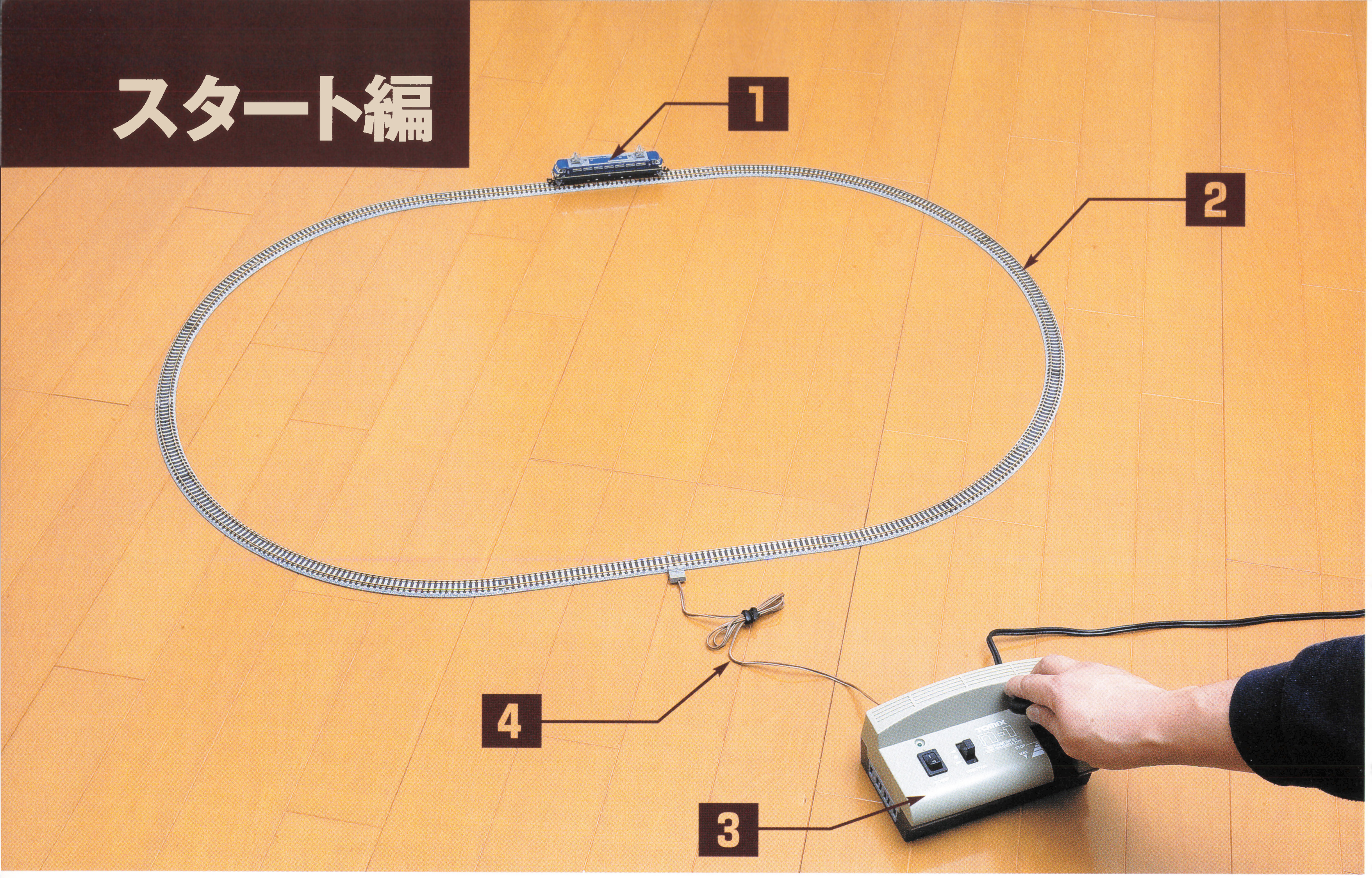
DCCデコーダー

動力車1輌ごとに電子基板(デコーダー)を搭載し、レールを通じて送る電子信号にて車輌を個別にコントロールするシステム。これに対して製品状態そのままの仕様をアナログコントロールと呼ぶこともある。

ジオコレ

「ジオラマコレクション」の略で、トミーテックが展開する、1:150スケールのジオラマアイテム。バスコレ=ザ・バスコレクション、街コレ=街並みコレクション、カーコレ=ザ・カーコレクション、トラコレ=ザ・トラックコレクション、トレコレ=ザ・トレーラーコレクション、鉄コレ=鉄道コレクションなどのラインナップで構成されている。

スタート編



Q1 ここまでの記事を読んでいたら、私もNゲージを始めてみたくなってきました。とりあえず最初に何を揃えたらいいのでしょうか?

A1 Nゲージ鉄道模型の世界へ、ようこそおいでくださいました。実はひと口に鉄道模型と言ってもいろいろな楽しみ方※があるのですが、ここでは基本である「運転して楽しむ」ために最低必要なものを挙げてみましょう。

1 車輌

鉄道模型の花形役者である車輌は、非常に多くの種類が市場に出回っていまして、選ぶだけでも目が回るほど。その中でも最初に絶対必要なのが「モーターを積んだ車輌」です。まさか動かす時は手でゴロゴロして…というわけにはいかないでしょうから、モーターで自走できる車輌が最低1輌は欲しいところです。

わかりやすいところで選べば、各種の機関車製品にはまずモーターが入っていますし、実車が1輌で走っている電車や気動車の形式であれば、ちゃんとモーター付きの製品が用意されていて、その1輌さえあれば鉄道を「開業」することが可能と言えるのです。

2 レール(線路)

レールも多ければ多いほど、運転が楽しいものですが、最低限ということになれば、レールがぐるりとひと回りする円型もしくは小判型の配置(これを鉄道模型ではエンドレス※と呼びます)は作りたいものです。

もちろん線路をまっすぐにつなげただけでも走りますが、走らせるたびすぐに終点に着いてしまって何度も何度も方向を替えなくてはならず、最初の頃はあまり面白くないかもしれません。

レールで円型を作るためには、普通のカーブレール※が8本必要で、これにさらに直線レールを好みで挟み込んでいくことになります。

3 電源装置

家庭のコンセントから電気を取り、線路に送り込む役割を持つ電源装置※も、いくつかの種類が用意されていますが、とりあえずKATO製「パワーパック·スタンダードS」か、もしくはTOMIX製「TCSパワーユニット N-1」が1台あれば、特に問題ないでしょう。

4 フィーダーコード

さて、その電源装置からレールに電気を通すためのコードは、現在どちらのメーカーの電源装置にも付属してはおらず、別売りとなっています。

KATOからは、「フィーダー線路」という、電源接続専用の直線線路が売られており、これを運転する線路プランに組み入れる必要があります(直線が入れられないプラン用の製品も別にあります)。

TOMIXからは「D.C.フィーダー N」として、コードが売られており、これを任意の線路に接続する方法を採っています。

この1~4のアイテムを購入することで初めて、「運転を楽しむ」ことが可能になります。

いろいろな楽しみ方
例えば車輌の工作にしても、市販の完成品に自分なりの手を加える人から、プラ板や紙などの素材を使ってイチから自作する人もおり、運転ならポイントを何本も使って複雑な入替運転をする人や、長距離の往復運転を楽しむ人など。ひと口に鉄道模型と言っても、その楽しみ方は実に様々と存在するのである。

エンドレス
文字通り「終わりのない」線路のつなぎ方で、少ないスペースで長い時間運転を楽しむには、レールの終点がないエンドレスプランが基本的には好まれる。もちろん実物の鉄道のようにA駅とB駅とを往復するプランも可能だが、リアルさを追求すれば長くレールの距離を取る必要があり、案外難しい。

普通のカーブレール
道床付きカーブレールは、基本的に1本が角度45度となる円弧であり、2本で90度、4本で180度、8本で360度の円が組めるようになっている。カーブによってはその他に15度や30度のものも用意されており、プランによってはそれらを調整用に使うこともできる。

電源装置
KATOからは「パワーパック」、TOMIXからは「パワーユニット」という名前で販売され、基本的な役割は両者共に変わりはない。扱う電気の容量や、より高度な運転(照明の常時点灯やデジタル制御など)のために、制御機器もさらに様々な種類が販売されているので、検討してみるのも面白いかも。

Q2 言われた通り、早速揃えてみようと模型屋に来たのですが、いろいろなメーカーの品がいっぱいあって、どれを買っていいのか不安になって来ました。全部を同じメーカーで揃えたりする必要があるでしょうか?

A2 パソコンやデジカメなど、メーカーごとに各種の仕様が入り混じっているものが多い昨今なだけに、心配な気持ちお察し致します。

まず車輌についてですが、これは問題なく各社の車輌を混在※して使用することが可能です。A社の線路でB社の車輌を走らせることももちろん、車輌の動作に関したおおまかな決まりは世界共通で決められているので、ゲージさえ同じであれば外国型の車輌を日本のレールで走らせることだって可能です。またカプラー※(連結器)が同じならばもちろん連結も自在で、C社の機関車でD社の客車を牽引することもOKなのです。

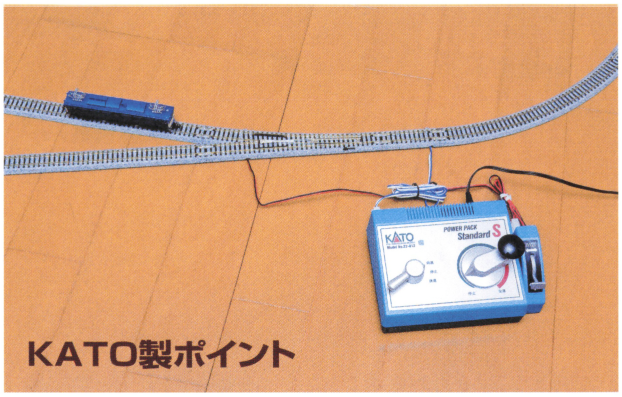
反面、その他のレール周辺に関しては「できるだけ」同一メーカーで統一しておくのが無難です。これはレール同士やフィーダーコードの接続方法が各メーカーで異なるためで(携帯電話の充電部分が各メーカーで異なるようなもの)、電源装置・フィーダーコード・レールは同じメーカーで揃えておくといいでしょう。

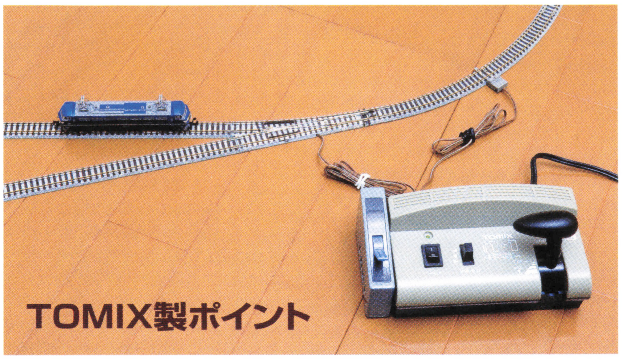
Q3 「最初は小判型で十分」と言われましたが、やっぱりポイントもひとつぐらい欲しいと思います。ポイント線路を買うときに気を付けることはありますか?

A3 ポイントを使った運転は、もちろん鉄道模型の大きな楽しみのひとつですから、ぜひとも大いに楽しんでみたいものですよね。

KATO・TOMIX両メーカーのレールとも各種のポイントが用意されており、それらのほとんどが「電動ポイント」となっていて、遠隔操作で切り替えができます。

そのためポイントを買う際には、別売りの切替スイッチを合わせて入手しておきましょう。スイッチとポイントをつなぐコードはポイントの方に付属していますので、これで遠隔操作を楽しめるようになるのです。





ちなみに両社製品共、レールの脇に切り替えレバーが付いていますので、それを使い手動で切り替えることも可能です。

Q4 車輌を選ぶ時に、何か基準のようなものがありますか? 近所を走っているなじみの電車が売っているので、買ってみたいのですが…。

A4 もちろんこれは、自分の好きな車輌をご自由にお選びいただければ…と言えば済むことなのですが、その前に近年の「車輌の売られ方」を紹介しておきましょう。

機関車牽引の列車が少なく、電車のように動力分散型※の固定編成が多い日本の鉄道のモデルの場合、そのほとんどが編成のうち数輌をセットにして、A4版程度の大きさの「ブックケース」に入れた「車輌セット」※として売られています。一方機関車や客車・貨車など、1輌単位で使われているものの多くは、筆箱のような「クリアケース」に入った1輌で売られています。

▲上がブックケース入の車輌セット、下がクリアケース入の単品車輌。

両者を比べると、セットの方はどうしても長編成となり、すると線路の長さが少ない最初のうちだと、エンドレスの大半が車輌で埋まってしまう…なんてことになり、正直変な感じでしょう。

そのため最初のうちは多くても3〜4輌ぐらいの編成が理想で機関車1輌に客車数輌、といったあたりがオススメできます。また初心者向けに、実際は長編成になる電車をぐっと短縮した3〜4輌程度にまとめて販売しているセットもいくつか用意されていますので、それらから選んでみるのもいいでしょう。

◀最初の車輌購入時は、3〜4輌にまとめられたコンパクトなセットがオススメ。

Q5 アドバイスを参考に、店であれこれと探してみたのですが、正直言ってかなり面倒に感じてしまいました。何かもっと簡単にすべてを揃える方法はないのでしょうか?

A5 たしかに、新しく知ったことだけでいろいろとやろうとしても、結構難しいものですからね。

実はそんな皆様のために、Nゲージを始めるのに必要なものをすべてセットした「スタートセット」という商品が各社ごとに用意されているのです。次のページからは、そのスタートセットからのNゲージの始め方をいろいろとご紹介していきたいと思います。

各社の車輌を混在
好みの車輌を選んで揃えていくうちに、自然と各社製品が混在してくるものだが、車輌の走る向きが逆にならないか心配なものだ。鉄道模型は当初からモーター車については「右側のレールからプラスの電気を取ったら前進する」という決まりがあって、同じレールを逆走するようなことがないようになっている。

カプラー(連結器)
かつては日本の国内メーカーにおいては、基本的なアーノルトカプラー(16ページ参照)が標準装備されていて自在な連結が可能であったものだが、近年のリアル志向によって各社が独自のカプラーを採用していることにより、メーカーの異なる車輌の混結が逆に難しくなっている傾向もある。

動力分散型
列車を運転するための動力を、機関車のように編成の先頭部に集中させるのではなく、編成中の各車に分散して配備するシステム。機関車に無動力の客車や貨車を牽引するのに比べ、方向を変える際に機関車の付け替えをしないで済むなどのメリットが多い。

車輌セット
基本的に1箱で1編成、という売り方であるが、10輌を超えるような長い編成の場合は、先頭車・動力車を含んだ6輌程度の「基本セット」と、残りの中間車を含んだ「増結セット」のように分割して販売されるケースが多い。また実車が短編成の場合、1箱に2編成を入れたセット、というのもまれに存在する。

スタートセットから始めよう！

TEXT：佐藤哲朗
PHOTO：羽田　洋、RMM、佐藤哲朗

ホビダスショッピングはこちらから！
32000347（KATOスターターセット）
32000348（TOMIXベーシックセット）

Q6 スタートセットって、何ですか？

A6 Nゲージ鉄道模型を「これから始めてみよう」という方のために、車輌、レール、電源装置といった必要なものをまとめてパッケージし、ものによっては単品で揃えるよりもお買得だったり簡単だったり、という嬉しいセットです。中にはさらに詳しい取扱説明書も入っており、これを読むことでNゲージの細かな取り扱い方を知ることもできるのです。全くのゼロから始められる方には、うってつけの品と言えるでしょう。

Q7 そのスタートセットを店で見てみたのですが、いくつか種類があるみたいなんです。今、どのくらいの種類が販売されているのでしょうか？　またそれぞれどういう特徴があるのでしょうか？

A7 スタートセットは日本のメーカーでは現在、KATOとTOMIXの2社から発売されています※1。KATOの品は「スターターセット」という商品名で販売されており、線路はすべて同じで車輌が違う5種類が用意されています。

一方のTOMIXからは「ベーシックセット」の商品名で販売されていて、こちらも線路はすべて同じで車輌が違う4種類の「SDセット」に加え、ポイント・ホーム・駅舎などが含まれ、車輌も485系の6連が含まれる豪華版「EXセット」1種類がそれぞれ用意されています。いずれの製品も、車輌の価格差によって多少の上下はありますが、おおむね15,000円～17,000円程度の金額で入手が可能です（TOMIXのEXセットは30,450円）。

ちなみにTOMIXからは、子供に人気の「きかんしゃトーマス」をNゲージ化した車輌を使ったベーシックセットも発売されていますが、パワーユニットが簡易仕様※2 なこともあり、本線系へ発展させるには少々不都合な部分もあるので、注意が必要です。

Q8 セットに入っている車輌は、どんなものがあるでしょうか？

A8 KATOのスターターセットには「500系新幹線」「700系新幹線」「E2系新幹線」「EF651000番代電気機関車＆ブルートレイン」「D51蒸気機関車&旧型客車」の5種類が含まれ、いずれも4輌（新幹線4連もしくは機関車1輌&客車3輌）のセットとなっています。

TOMIXのベーシックセットSDには「500系新幹線」「800系新幹線」「EF651000番代電気機関車＆ブルートレイン」「EF66電気機関車＆ブルートレイン」「E231系山手線」「E233系中央線」の6タイプ（E233系セットは7月発売予定）があり、こちらは3～5輌のセット構成で含まれています。その他ベーシックセットEXは先述通り485系の6輌セットが含まれます。

ホビダスナンバーの使い方
ホビダスナンバーの使い方については116ページをご覧ください。

※1　現在発売されているセット
販売店によっては、最新ロットでないスタートセットが置いてある所もあり、一見買ってもさほど問題なさそうにも思えるものの、特にレールが改良前のものが入っている可能性があり、できる限り最新ロットの品を選ぶように心がけるべき。

※2　トーマスセットのパワーユニット
「パワーユニットES」として別売もされているもので、通常のものと比べてポイント接続用の端子がないなど、機能が一部制限されている。

いずれのメーカーも、新幹線が含まれたセットが多く、特に年少者の方が最初に始める車輌として新幹線がより好まれるようになっている、ということがうかがえます。

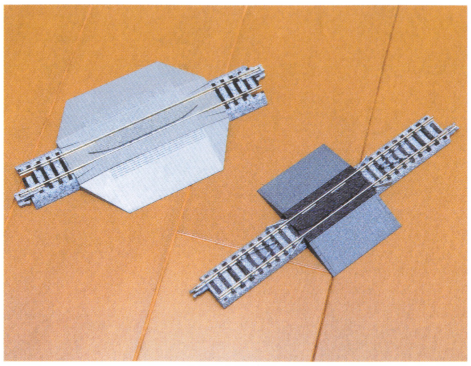
Q9 スタートセットにはどういうものが入っていますか？　中身を教えてください。

A9 ということで実際にセットを開けてみて、どういうものが入っているのかを見ていきましょう。

まず車輌は、Nゲージをスタートするのに好適な人気の車種から、3〜5輌くらいを選んだ編成が入ります。今回のKATOセットは700系新幹線、TOMIXセットはブルートレイン「富士」をモチーフにした寝台客車のセットがそれぞれ入っています。

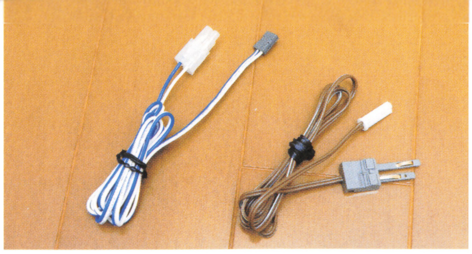
TOMIXセットのEF66は「セット用完成仕様」として、ユーザーが購入した後に取り付けなければない部品が取り付け済だったり、KATOセットの700系※は「AMBITIOUS JAPAN」ロゴが印刷済の特殊仕様だったりと、細かなところに気遣いが見られます。

線路はごく基本的な「小判型」が組めるようになっていて、このセットの場合は曲線レールが8本と、直線レール5本が含まれます。

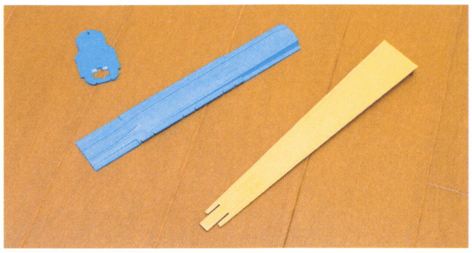


直線レールのうち1本は踏切のようなスタイルをした「リレーラーレール※」というもので、脱線した車輪をレールに戻す役割がある、便利なものです。

電源装置はそれぞれ標準タイプが含まれ、この後線路を発展させていっても、十分に使用することができるしっかりしたものですので、しっかりと使いこなしてゆきましょう。

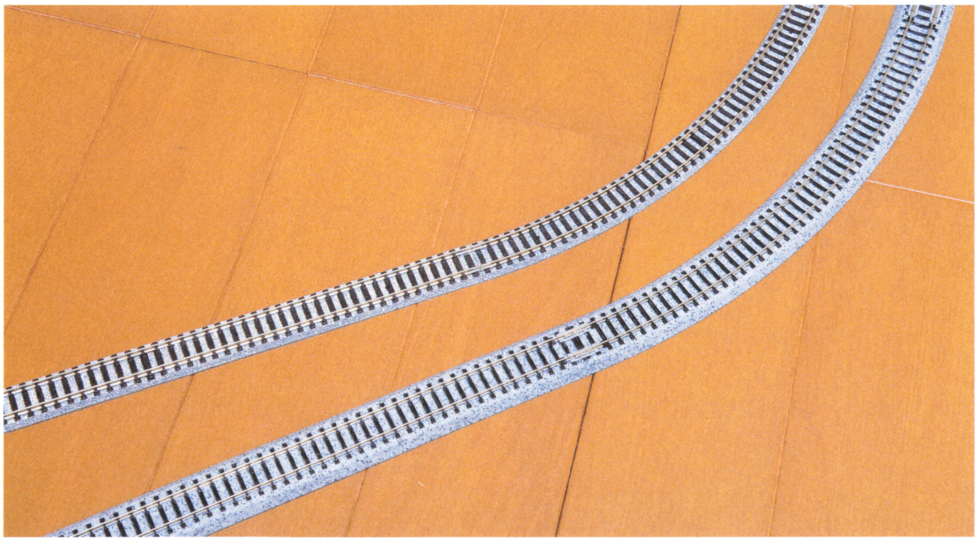


電源装置とレールをつなぐフィーダーコードも、もちろんきちんと入っていますので、買い忘れで慌てたりしないで済みます。



最後に残ったこの謎の物体。これは車輌を線路に載せる時にここを滑らせると、難しい車輪の調整を一発で決められる「リレーラー」というもので、特に車輪の多い機関車などに使って効果を発揮します。

そして忘れてはならないのが、これら各種印刷物。セットに含まれる内容だけでなく、ポイントや高架橋など発展した分野に至るまで、Nゲージの基礎的な部分がしっかりと書かれている、重要な「参考書」です。



Q10 せっかくのスタートセットなのですが、どうもあまり欲しい車輌がなくて…。せめて車輌は自分で選びたいのですが…。

A10 そんなあなたのような方のために、トータルセットから車輌を抜いた、レールと電源装置だけのセットが、KATOから「マスターセット」、TOMIXからは「マイプラン」として販売されています。基本セットと同じプランはもちろん、待避線や立体交差などのレールを多めにした、豪華版のセットもありますので、お好みでそれらを選ぶのもいいでしょう。

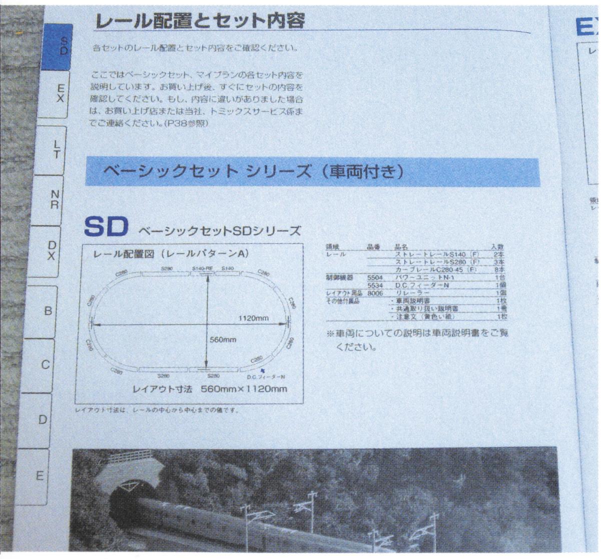
KATOセットの700系
「AMBITIOUS JAPAN」ロゴは、通常品ではユーザーが別貼りするシール対応になっているので、初心者だけでなく新幹線好きのモデラーにもこのセットはとりわけ注目されている。

リレーラーレール
脱線し、引きずられるままに走ってきた車輪を走行中に戻す仕組みは、なかなか巧み。ただしトレーラー車輪はともかく、動力台車は脱線すると即停止することもあるので万能とはいかない。何より無理のない線路接続で「脱線しない」レイアウトを作ることが基本である。

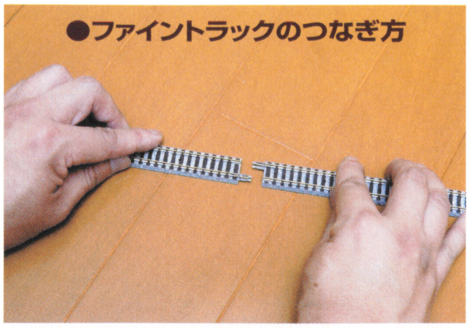
Q11 そういうわけで、スタートセットを買ってきました。早く遊んでみたいんですが、まず何からやったらいいでしょうか？

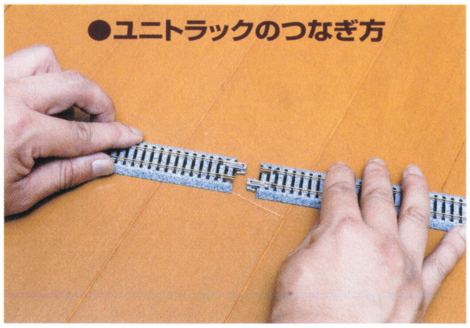
A11 まずは落ち着いて深呼吸（笑）。早速にも全部の部品を出して遊びたくなる気持ちももちろんですが、慌てて失敗を起こしても面白くありませんから、順を追ってみましょう。

最初は前頁でも説明しましたが、やはり説明書をしっかり読むことから始めましょう。特にまずは内容物の一覧表と照らし合わせ、万が一欠品があったりしたならば、すぐ購入店に問い合わせるなどの対応を取りましょう。

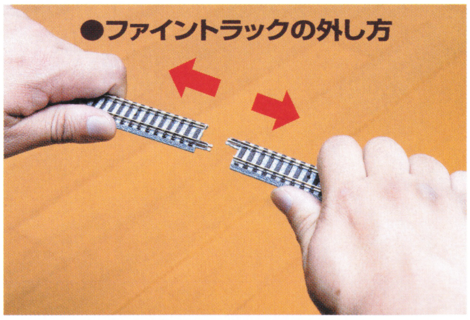


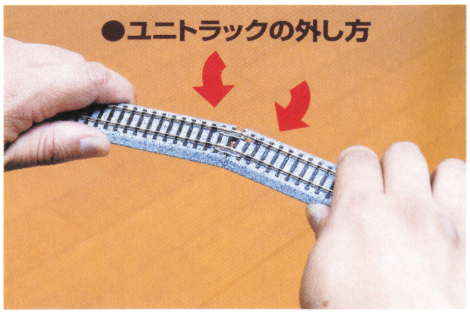
そしていよいよ実作業。まずレールの敷設から始めます。これもしっかり説明書と内容を確認したうえで、敷設するレールプランも確認しておきます。レールの呼称は裏に刻印がありますので、それを参照のこと。


●ファイントラックのつなぎ方


●ユニトラックのつなぎ方

取り出したレールをつなげます。KATO·TOMIX両社のレール共、水平にジョイント部分をかませてゆけば、カチッという音と共にしっかりと結合されます。この時、ジョイントの金属部分がしっかりレールにはまっていることを確認しておきます。ちゃんとはめないと脱線や破損の原因となります。

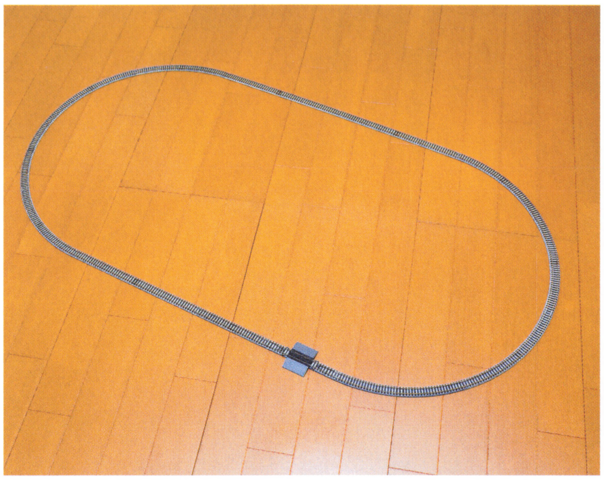

●ファイントラックの外し方


●ユニトラックの外し方

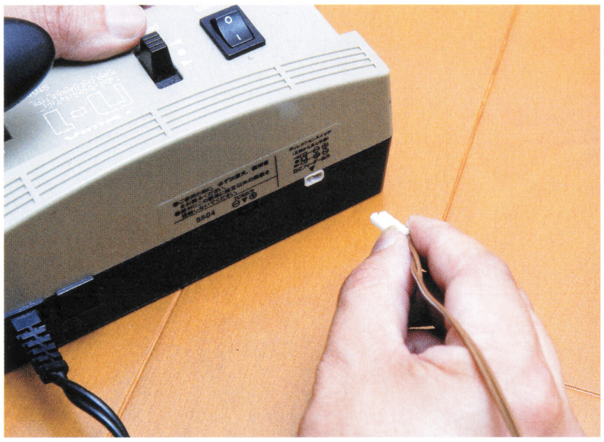
プラン図通りに組み立てていきますが、もしつなぎ方を間違えた場合※は、もちろんレールを外してやり直します。

TOMIXファイントラックは、両方のレールを水平に静かに引き離すことで（つなげた時と逆）、普通に外すことができます。

一方KATOユニトラックの場合は、両方のレールを持って、平面上で軽く折り取るようにしてやると、パキッと外れてくれます。



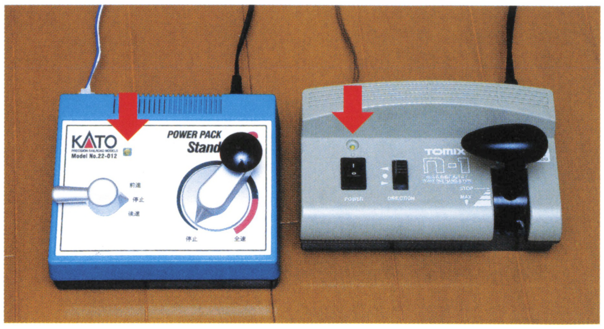
プラン図通りの小判型に組めたら、レールの敷設は完了です。



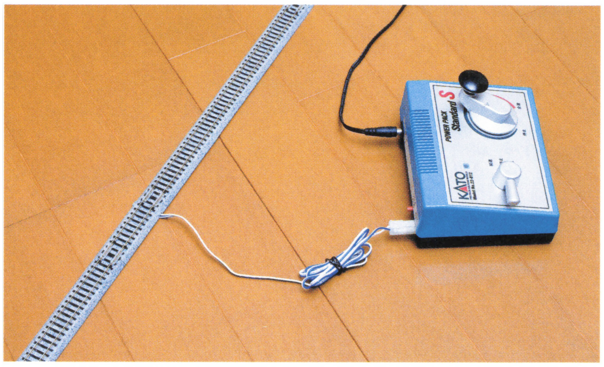
次は電源装置を準備します。電源装置にフィーダーコードをつなげますが、簡単に外れないよう少々固めになっていますので、しっかりと接続してください。

つなぎ方を間違えた場合
あまり乱暴に、しかも何回も抜き差しを繰り返すとやはり破損の元ですから、あくまで丁寧に扱ってください。もちろん、遊び終わってレールを片付ける時も同様です。

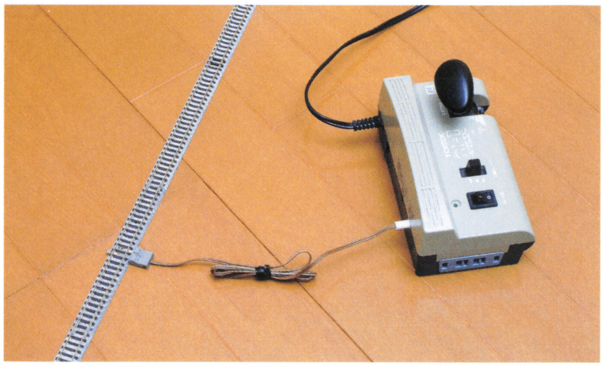
電源装置の一方のコードは、もちろんご家庭のコンセントに接続しますが、このコンセントコードもそれほど長くはなく、コンセントの位置によっては、運転をするポジションやレールの位置に影響が出ることがありますので、家屋の事情に合わせて適宜延長コードなどで対応してみてください。



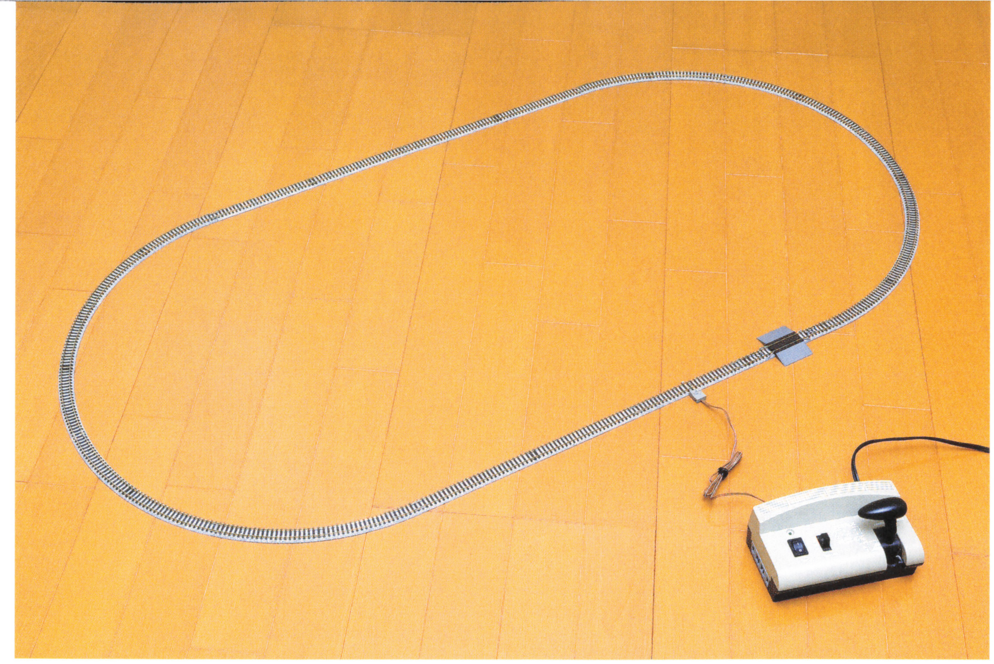
コンセントに接続したら、電源装置のパイロットランプ※(矢印)が点灯していることを確認してください。これが点灯していない場合、電源装置にトラブルが起こっている可能性がありますので、しっかり確認しておきましょう。



フィーダーコードをレールに接続します。KATOユニトラックは専用のフィーダー線路に差し込みます。

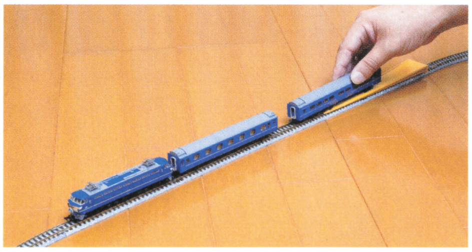


TOMIXファイントラックは任意のレールの中間にある溝に差し込みます。

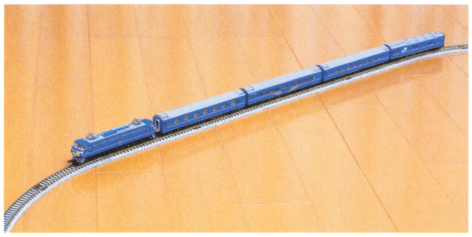


これで線路の準備が完了しました。

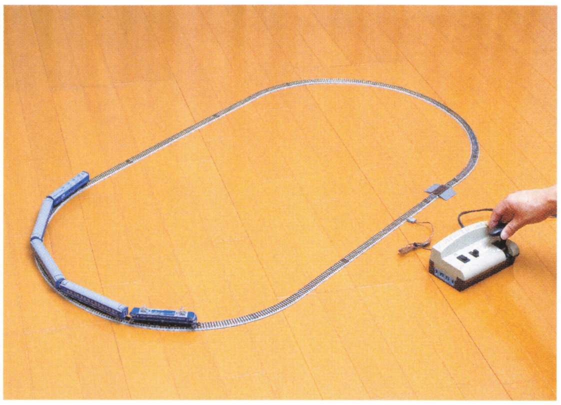
いよいよ車輌を取り出します。リレーラーをレールの上に置き、そこに車輌を置いて滑らせるようにレールに流してゆきます。基本的に編成の先頭車から置いてゆきますが、動力車がある場合は一番最初に動力車を置き、2〜3周テスト運転してからそこに他のトレーラーを連結してやるようにするといいでしょう。



トレーラー車を順番通りに載せてゆき…。



すべての車輌が載せ終われば、準備完了です。



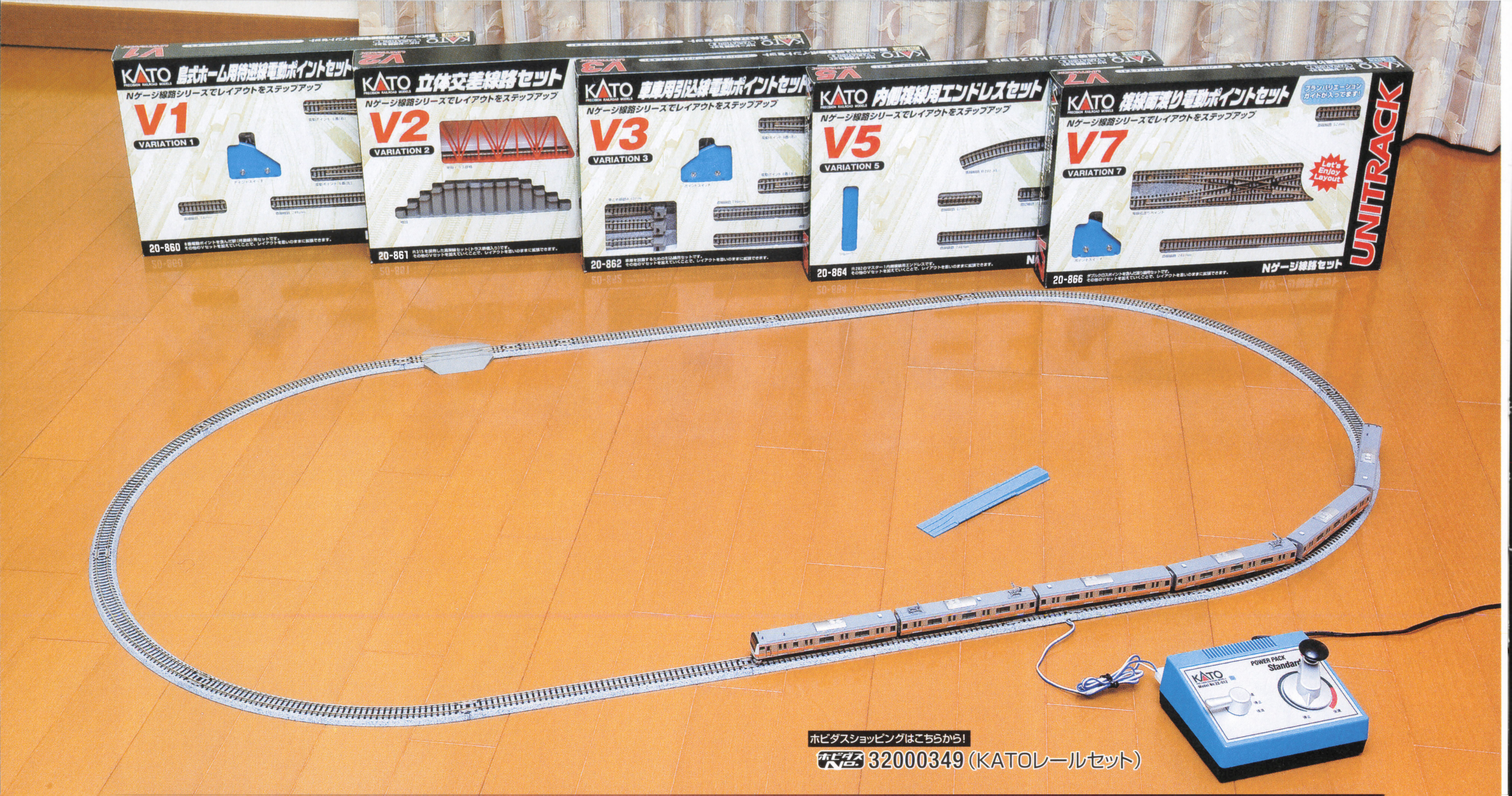
静かに電源装置のレバーを倒せば…ゆっくりと車輌は動き出すことでしょう。その時こそが、あなたの鉄道の開業の瞬間なのです。

Q12 無事に車輌が動き出し、とても感動しました。ただやっぱり、単にぐるぐる回るだけの線路だと、正直あまり面白くありません。そこでレールを追加したいと思うのですが、何か便利なセットとかはないでしょうか？

A12 そんな時に役に立つのが、ポイントや高架橋など、運転の楽しみをさらに増すレールをセットし、基本セットのレールと組み合わせて楽しめる「拡張レールセット」です。

この次は、そんなレールセットの楽しみ方を紹介してまいりましょう。

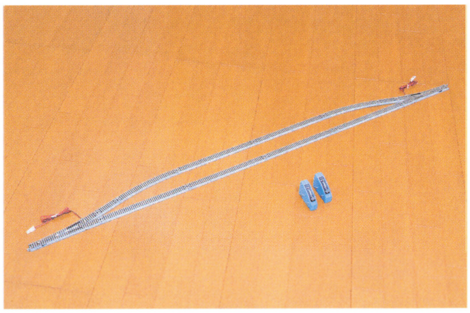
パイロットランプ
電源装置の表面で点灯するランプで、KATOパワーパックはコンセントを接続した時、TOMIXパワーユニットはコンセントを接続し、メインスイッチをONにした時に点灯する。一部のパワーパックには、脱線など不意の過電流・ショートの際に作動するブレーカーが内蔵されていて、作動するとパイロットランプが消える(または赤色が点灯する)仕組みになっているので、まずは電源スイッチを切り、原因を取り除いて復旧作業(電源装置によって異なるので説明書参照)を行なう必要がある。



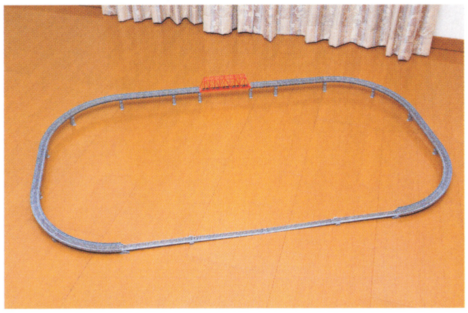
ホビダスショッピングはこちらから!
32000349（KATOレールセット）

フロアーレイアウト KATO編

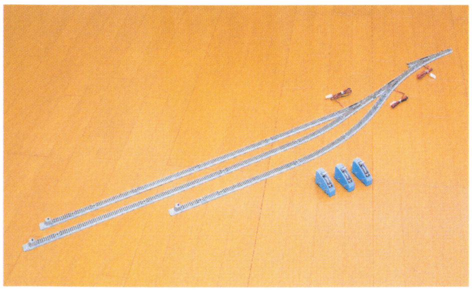
基本セットで存分に遊び、車輌もお気に入りのものが増えてきた…。でもいつまでも小判型の線路でグルグル回しているだけじゃ面白くない。もっとたくさんのレールでいろいろな運転をしてみたい! …でもどんなレールを用意したらいいのかわからない。そんな貴方のためにあるのが、マスターセット「M1」のレールと組み合わせて様々なプランを作れる「拡張レールセット」なのです。この項では、KATOユニトラックの「V線路セットシリーズ」を使ったプランをご紹介していきたいと思います。



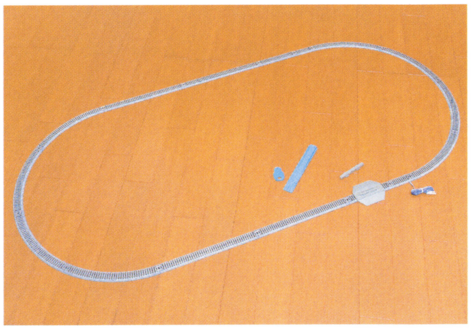
「V1」セット。ホームなどを置ける待避線を作れる、ポイント2本を含むもの。



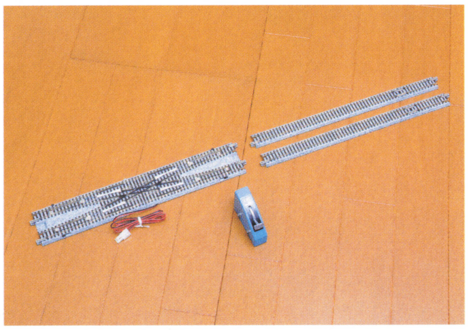
「V2」セット。平坦部から坂を登って高架線を作れるもの。赤いトラス橋梁※が魅力。



「V3」セット。ポイント3本に車止めレールを加えた、留置線が作れるセット。



「V5」セット。変哲のない小判型プランなれど、基本セットと合わせて複線を作れる。

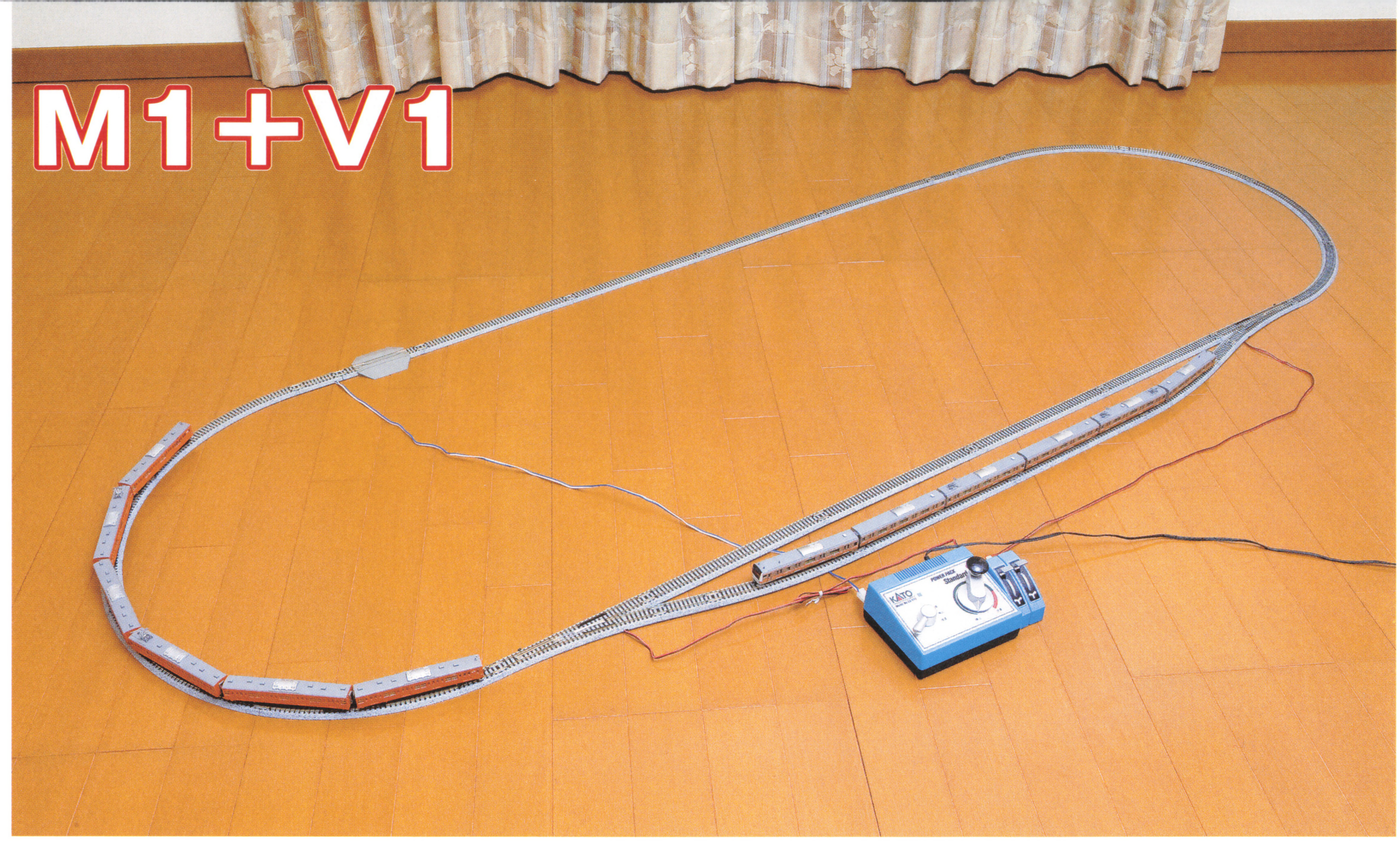


「V7」セット。複線区間の魅力である、ダブルクロスポイント※を含んだセット。

トラス橋梁
鉄材などを三角形につないだ桁を用いた橋梁。最もなじみ深い橋梁の形状であり、こういったレールプランにおいても「橋らしさ」がよく出せる効果的なアイテムである。

ホビダスナンバーの使い方
ホビダスナンバーの使い方については116ページをご覧ください。

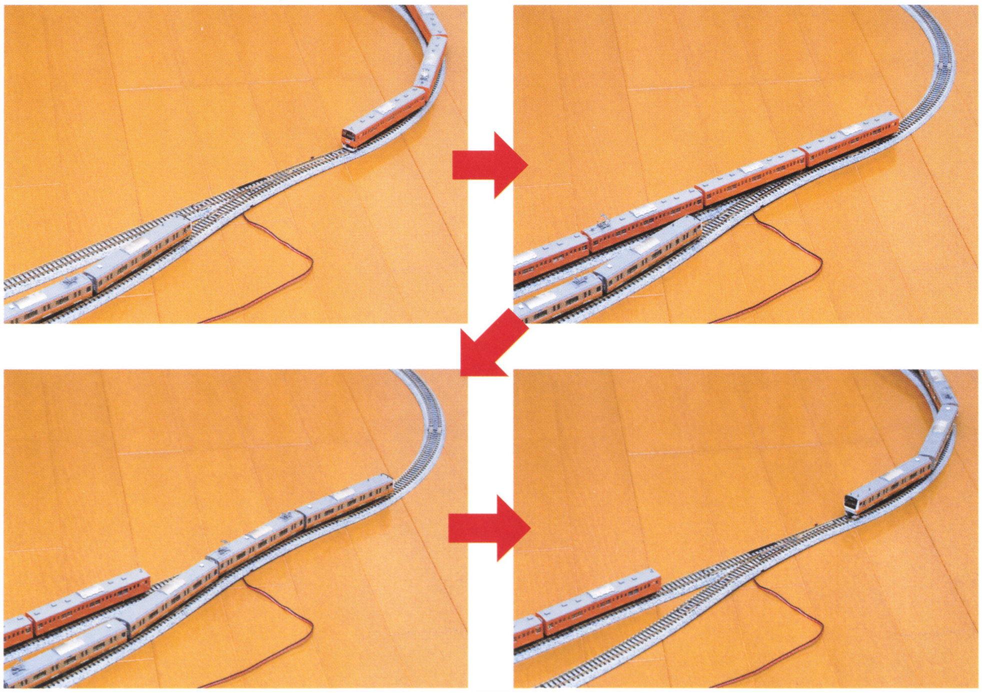
ダブルクロスポイント
複線区間において、相互の列車の対向線路への移動に用いられる特殊線路で、4基のポイントと真ん中の交差線路で構成される。両渡り、シーサスクロッシングとも呼ばれる。終端駅進入直前などに配置されることが多い。



車輌交換が魅力！
運転を楽しむにはまずはここから。

マスターセット「M1」に「V1」セットを組み込んで作るのは、小判型レイアウトの基本中の基本である「車輌待避線」を作れるこのプラン。2本の列車を同時に線路に置いておき、ポイント操作ひとつで交互に入れ替えて楽しむことができるのは、鉄道模型の魅力の第一歩とも言えるもの。今回のプラン紹介では省略しているものの、この待避線に島式ホーム※をひとつ挟み入れれば、もうそれだけで雰囲気は満点。ただのぐるぐる回りから一歩進んだ魅力が出てくることでしょう。

ユニトラックで作るこの待避線は、6輌編成が余裕を持って交換できる規模を持っており、少し長めの編成がゆったりと交換をする風景が、さらに雰囲気を盛り上げてくれます。写真例のように、201系とE233系の交換でJR青梅線ムード※を演出するもよし、特急と普通の追い抜き待避などを再現するのもいいでしょう。



ここで使う電動ポイントは、進路を切り替えることで線路への通電も切り替えられるスグレモノであるので、こういう用途には最適。ともあれまずはここから「運転の楽しみ」を味わってみたいものです。

島式ホーム
1本のプラットホームの両側に線路が面する(ホームが2本の線路に挟まれた)形態を指す。1本で2線分の列車が発着できるため、模型ではホーム数もスペースも小さくて済み、人気が高い。

JR青梅線ムード
実際の青梅線は東青梅までが複線であり、交換駅も側線がある物が多いので、こういう単純な交換駅であれば、沢井、鳩ノ巣あたりのイメージとなるであろう。E233系とは時代が合わないが、EF64 1000番代による石灰石貨物列車なども走らせてみたいもの。

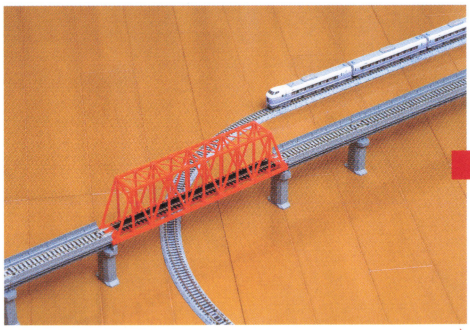
M1+V2

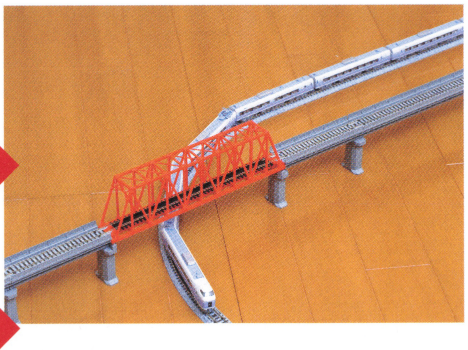
立体交差の醍醐味！
車輌運転の新しい魅力。

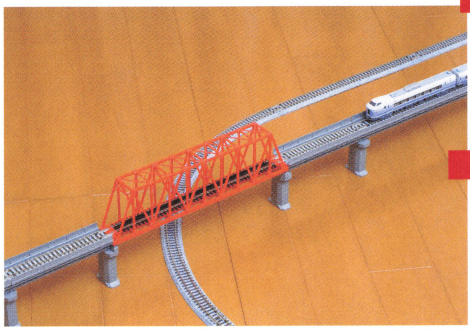
基本セットだけではどうしても楽しむことができない、「高いところを走る列車」を再現するためのセットが、この立体交差「V2」セットです。もちろんそれだけでなく、従来の基本セットだけの走行に比べても、約2倍のレール延長をさほど変わらぬスペースで確保できるため、余裕を持った運転が可能となるのです。

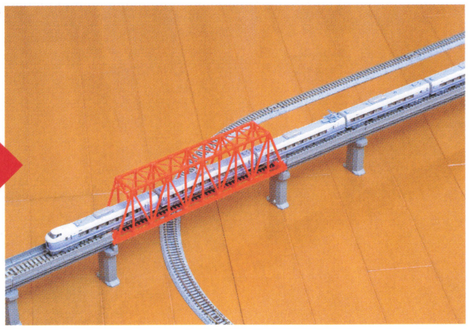
しかしこのプランのウリはやはり、立体交差を列車が走り抜ける様子が存分に楽しめることにあるでしょう。赤いトラス鉄橋をくぐった列車が、段々と勾配を登ってゆき、登りきったところでトラスに突入する…。鉄橋の中を通り抜ける車輌は、ただ普通の線路を走るだけの時とは違う、大いなる魅力を発揮することでしょう。

高架橋を設営するのは、片付けることも含めて結構面倒な部分もあるのですが、それを超えるほどの魅力があるプランでありましょう。



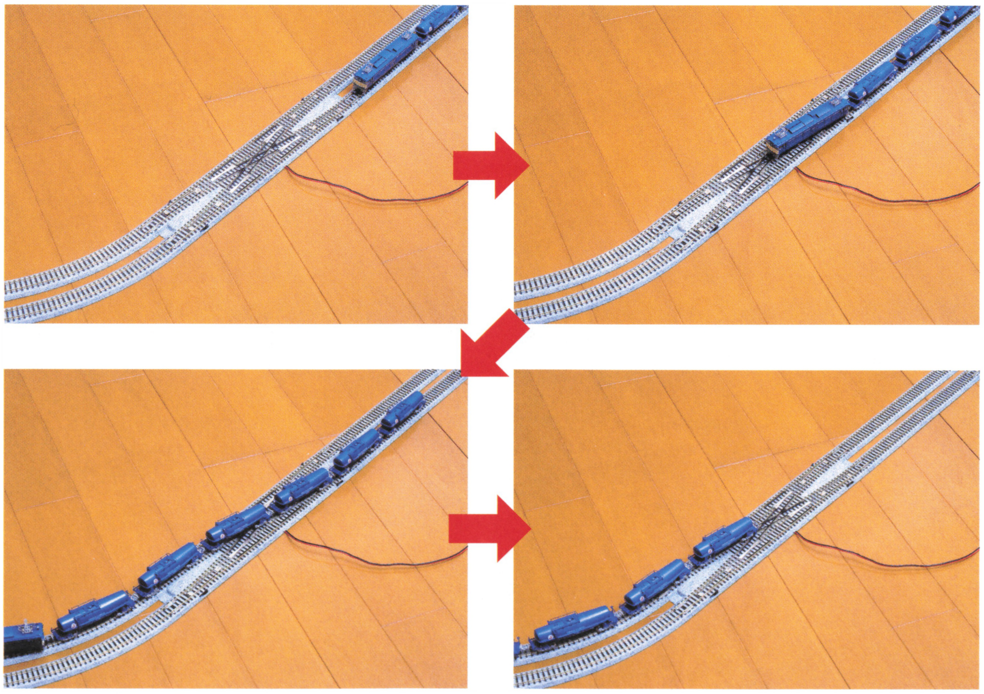






M1+V5+V7

電車はやっぱり複線で！
ポイントアクションを楽しむ。



　単線をぐるぐる回す、あるいは待避線で列車を交換しながら走らせる…。それもまた確かに楽しいものではあるけれど、それでもやっぱり物足りない。なんとか2列車を同時に走らせたい、と思ったらば、早速「複線化」に着手したいものですね。

　そんな要求に応えてくれるのが、複線化用拡張エンドレスである「V5」「V6」両セットです。ちなみに「V5」セットは、基本エンドレスの内側に線増するタイプで、「V6」セットは外側タイプ。今回は汎用性のある内側の「V5」を使い、さらには複線に欠かせない「両渡りポイント」を再現する「V7」セットを加えてみました。

　2列車同時運転ということになれば、もちろんパワーパックは2つ必要になるので、もう1台を追加購入しておきます。2列車が同時に走り、すれ違いを繰り返すそのさまは非常に贅沢で、見飽きることがないでしょう。

　また何と言っても最大の魅力が両渡りポイントで、パワーパックの目盛りを同じに合わせてしずしずと渡らせる※1光景は、「機能美」という言葉がよく似合う素敵なものと言えるのではないでしょうか。

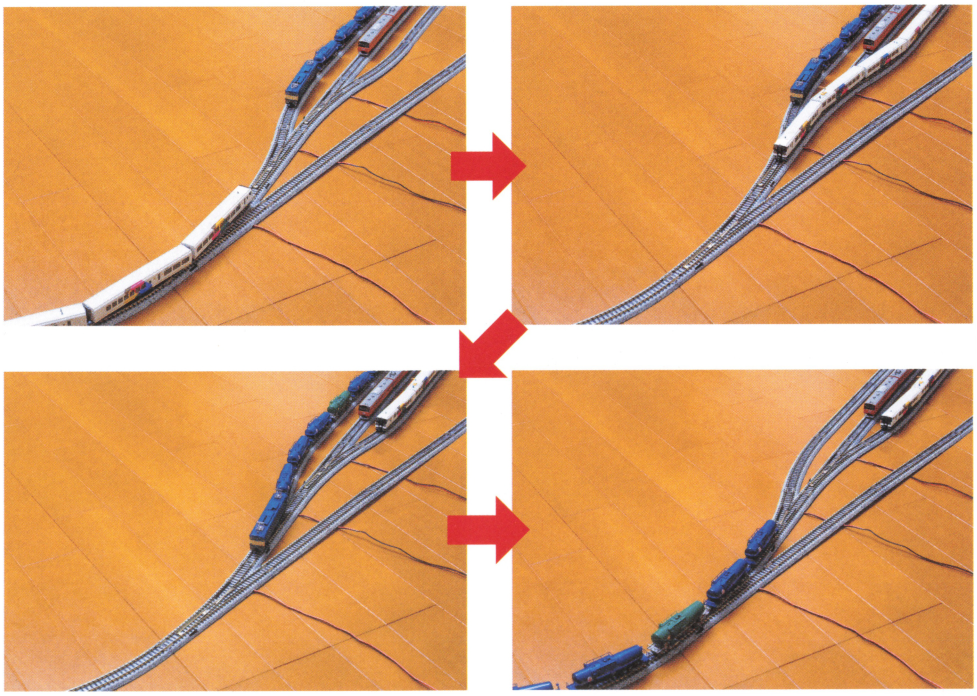
※1　ダブルクロスを使って複線の渡りを運転する方法は、例えば外線から内線へ渡る場合、まず内線のパワーパックの方向と速度（目盛り）を、現在運転している外線のそれに合わせてから、ポイントマシンで渡り方向のポイントを開通させ、列車を渡らせる。渡った後は、今までとは逆の内線のパワーパックに運転を引き継ぐことになる。なおこの運転をするためには、内線・外線でフィーダーの極性が合っている必要がある。運転席から見て、同じ向きからフィーダーが接続されているかを確認してから運転しよう。

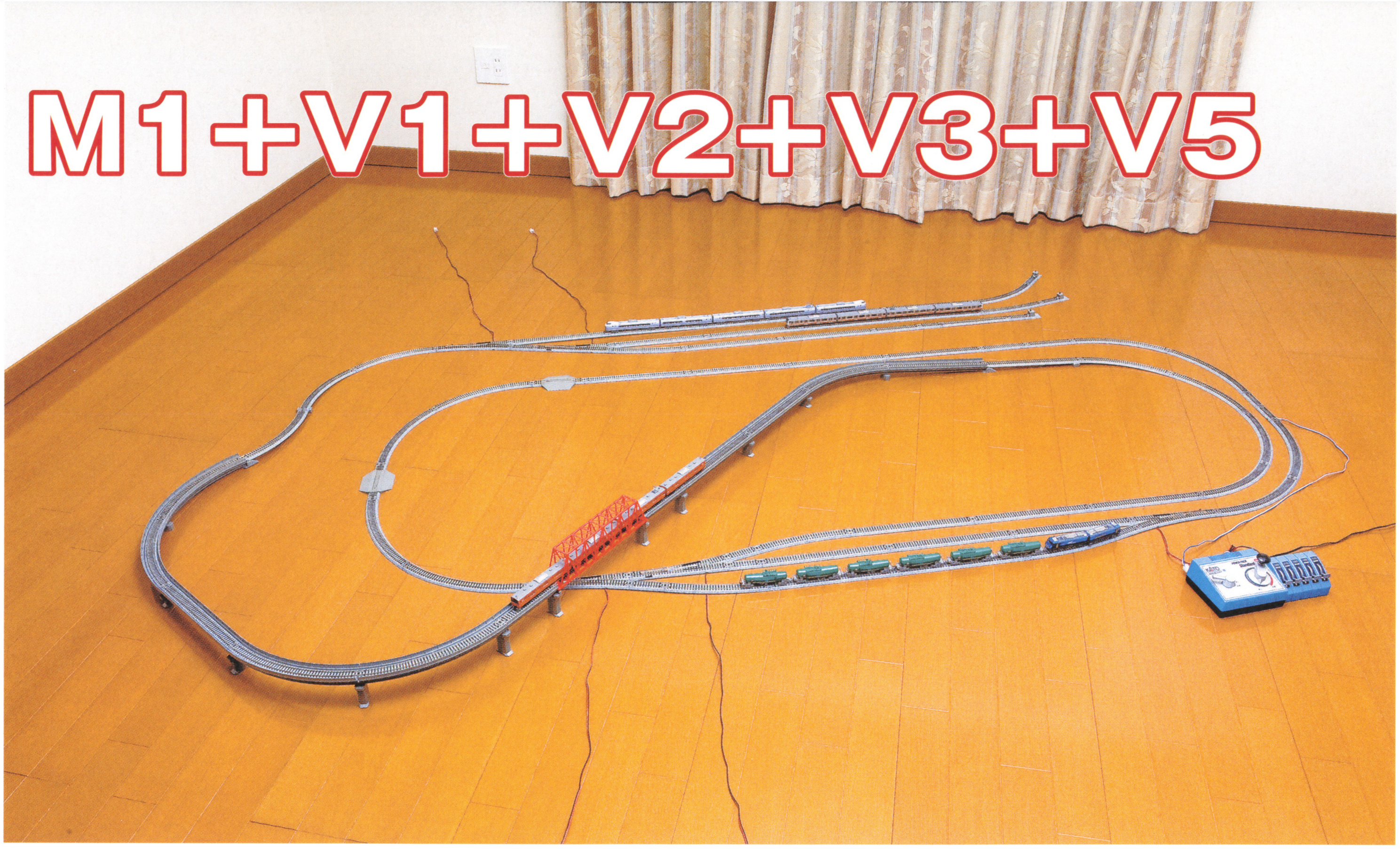
いっぱい車輌を走らせたい!
留置線たくさんプラン。

本線はさほど基本セットと変わらず、形も小判型に戻り、高低差もない平凡なプラン…。しかしこのプランの魅力はやはりポイントにあり、それにより作られた「留置線」にこそ価値があるのです。本線には待避線が1本あって、ここで交互運転が可能。そして別に用意された3本の留置線には、常時様々な車輌を留置しておくことが可能で、これで運転中にいちいち車輌を出し入れしたり、車輌交換のたびにレールから取り外したりすることなく、好みの車輌をとっかえひっかえ楽しむことが可能となるわけです。

写真では、JR中央本線をイメージした各車輌を配置。バラエティ豊かな中央線の車輌たちを、好みに合わせたチョイスで次々と楽しめるのですから、これは非常に嬉しいプランというもの。線区にこだわった車輌コレクションなんかも楽しめるのではないでしょうか。

さらに高度になれば、自動的に連結・解放ができる連結器を使った入換運転なんてことも楽しめそうなプランで、とにかく「ポイントの魅力」を堪能できることでしょう。



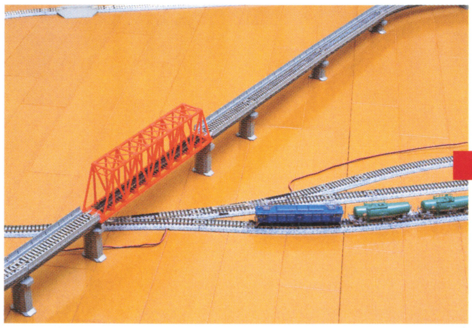


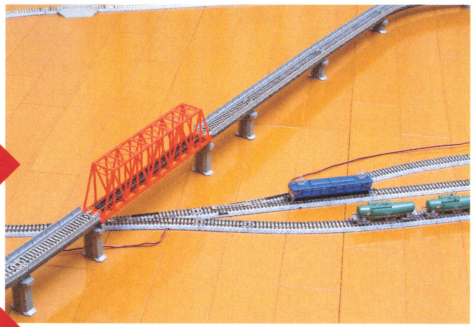
贅沢支線が魅力!
運転満喫プラン。

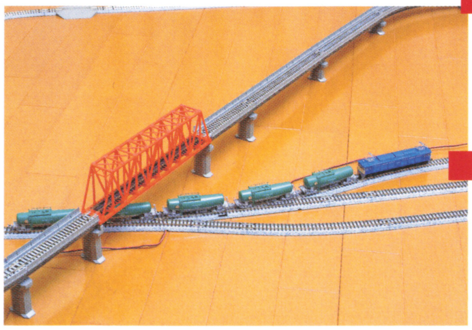
基本のエンドレス線に「何か加えよう」と思うとき、留置線と共に思いつくのが「支線」。このプランでは、高架線とポイントを贅沢に用い、むしろ本線よりも豪華なのでは? と思わせる支線を作り上げてみました。

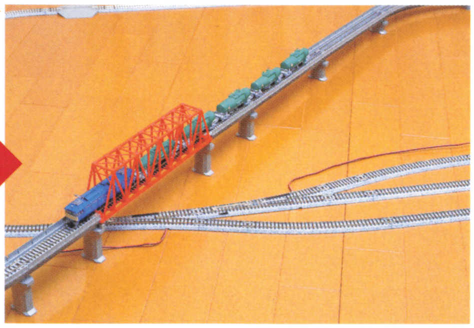
本線自体はやはり単純な小判型エンドレスで、待避線での車輌交換が可能な普通のプラン、といったところですが、目玉はやはり大きく取った支線。本線の待避線部分から分岐し(接続部に駅を作るならば、待避線に島式ホーム、支線に対向式ホーム※といった具合にすれば、贅沢な駅が演出できそう)、しばらく本線に沿った後に高架で本線を乗り越し。ゆったりと進んだ後は留置線の並ぶ終点駅へ…。この留置線を利用して入換運転をするのももちろん楽しいでしょう。

今回のプランでは、パワーパックとフィーダーはひとつとして、運転するのは1列車のみとしてありますが、支線への乗り入れ部にギャップを設けて本線と支線を電気的に分け、もうひとつのパワーパックで本線と支線を別々に運転するようにすると、さらにこのプランの魅力が増してくることでしょう。







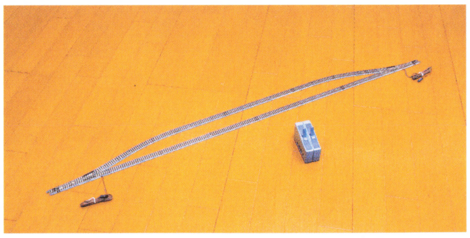


対向式ホーム
相対式ホームとも呼ばれ、2本の線路を挟み込むような形で、向かい合って配置される2本のホームを指す。それぞれのホームは片側しか線路に面してなく、線路が面しない反対側は壁や柵などで外界と仕切られている場合が多い。

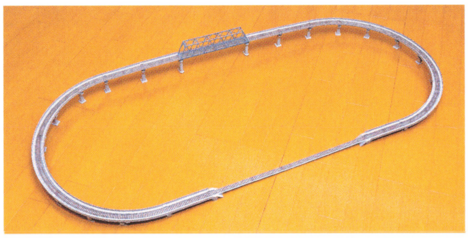
フロアーレイアウト TOMIX編

KATOユニトラックに続き、お次はTOMIXファイントラックでも、同じような拡張セットを楽しんでみましょう。TOMIXレールの特徴としてはやはり、微妙なカーブ曲率の設定による、自然な線形作りが自在にできるという点があげられます。またポイントの種類も豊富で、スペースに合わせたプラン作りにも有用です。

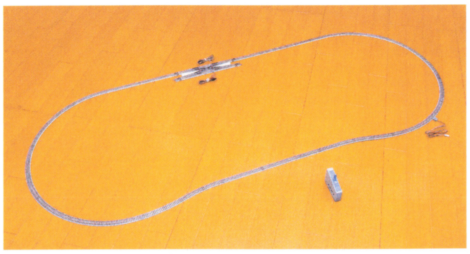
今回はベーシックセット（レールパターンA）に加えて4つの拡張セットを使い、運転の楽しみを追求していきたいと思います。



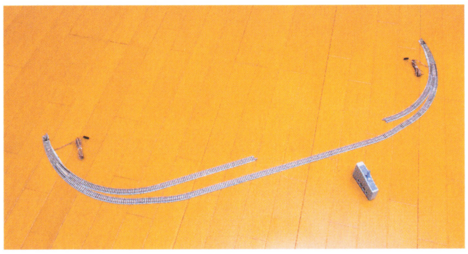
「B」セット。ポイント2本を用い、待避線を作るためのセット。



「C」セット。高架線を作るための勾配線路セット。トラス橋梁は渋いグレー。



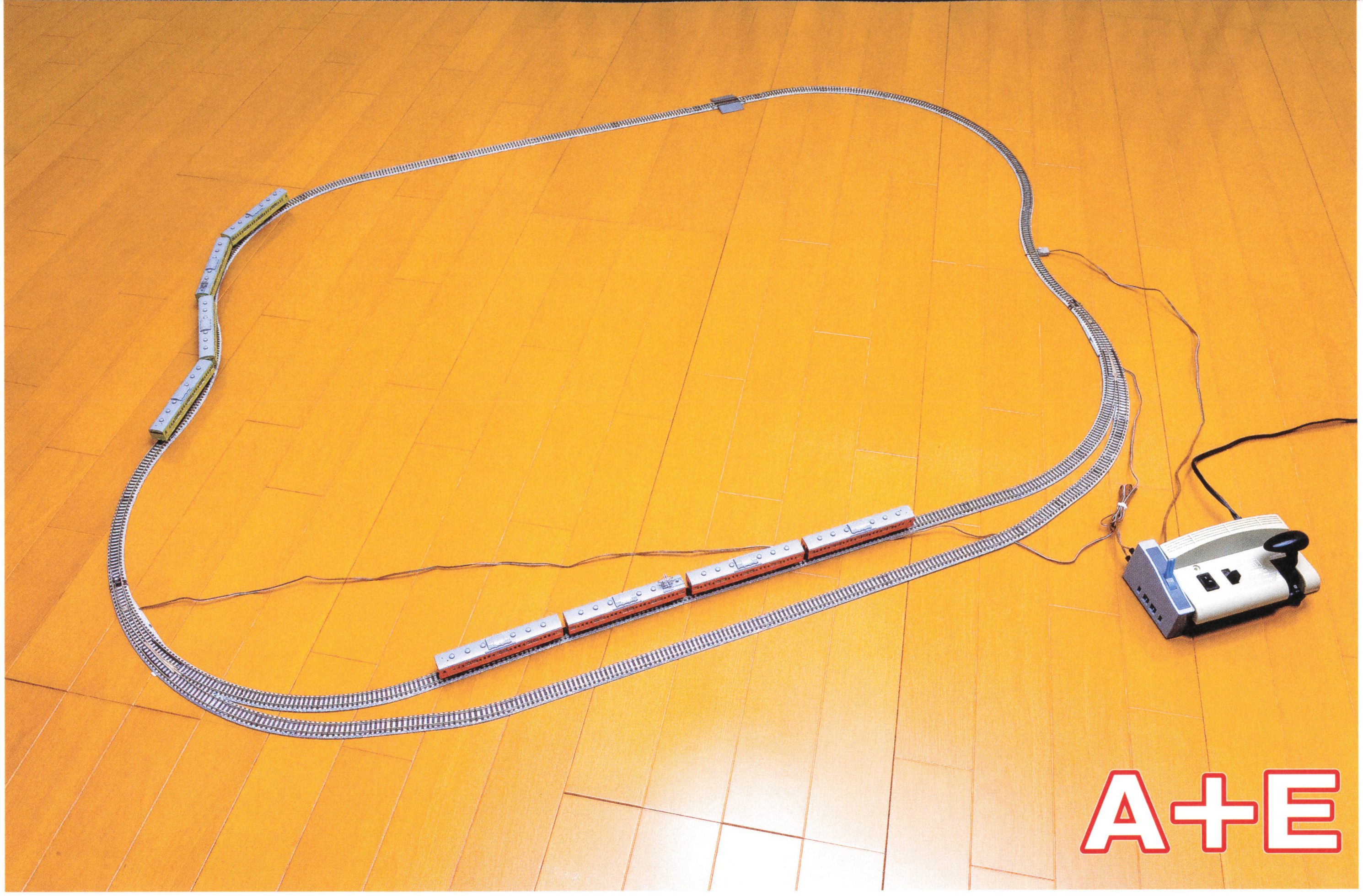
「D」セット。両渡りポイントと周回線路で、複線を一気に楽しめるプラン。



「E」セット。カーブポイントを使った待避線を作れるプラン。

ホビダスナンバーの使い方

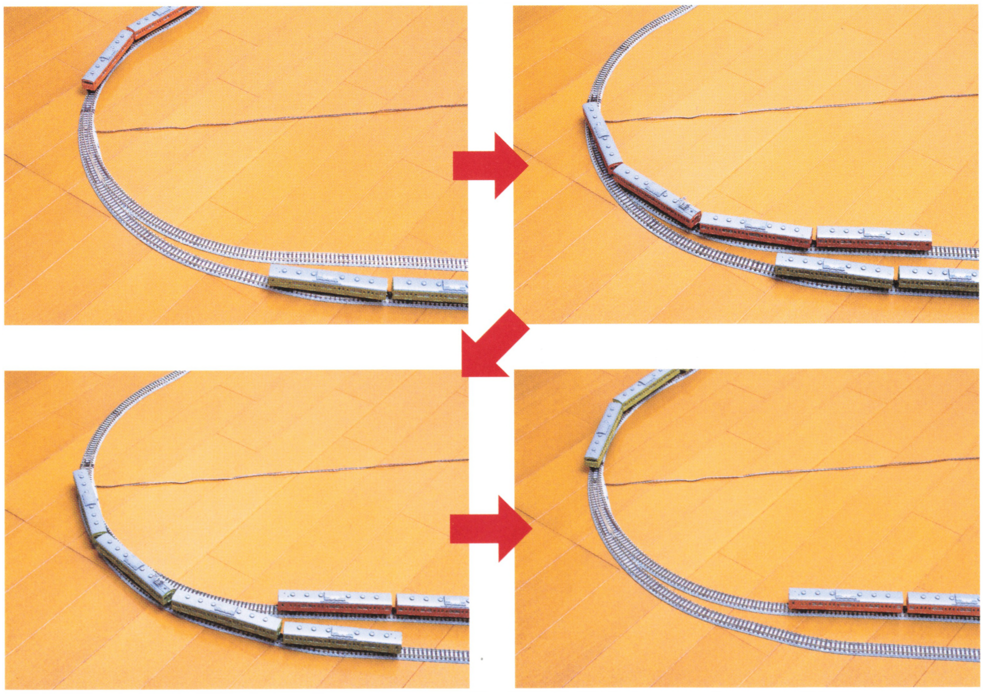
ホビダスナンバーの使い方については116ページをご覧ください。



カーブポイントの魅力！
ゆったり本線と待避線。

ユニトラックと同様、小判型に待避線を加えたプランであれば、ファイントラックでも「A+B」で組むことは可能ですが、ここではあえて「Eセット」を用い、ファイントラックならではのカーブポイントを用いたプランを紹介したいと思われます。

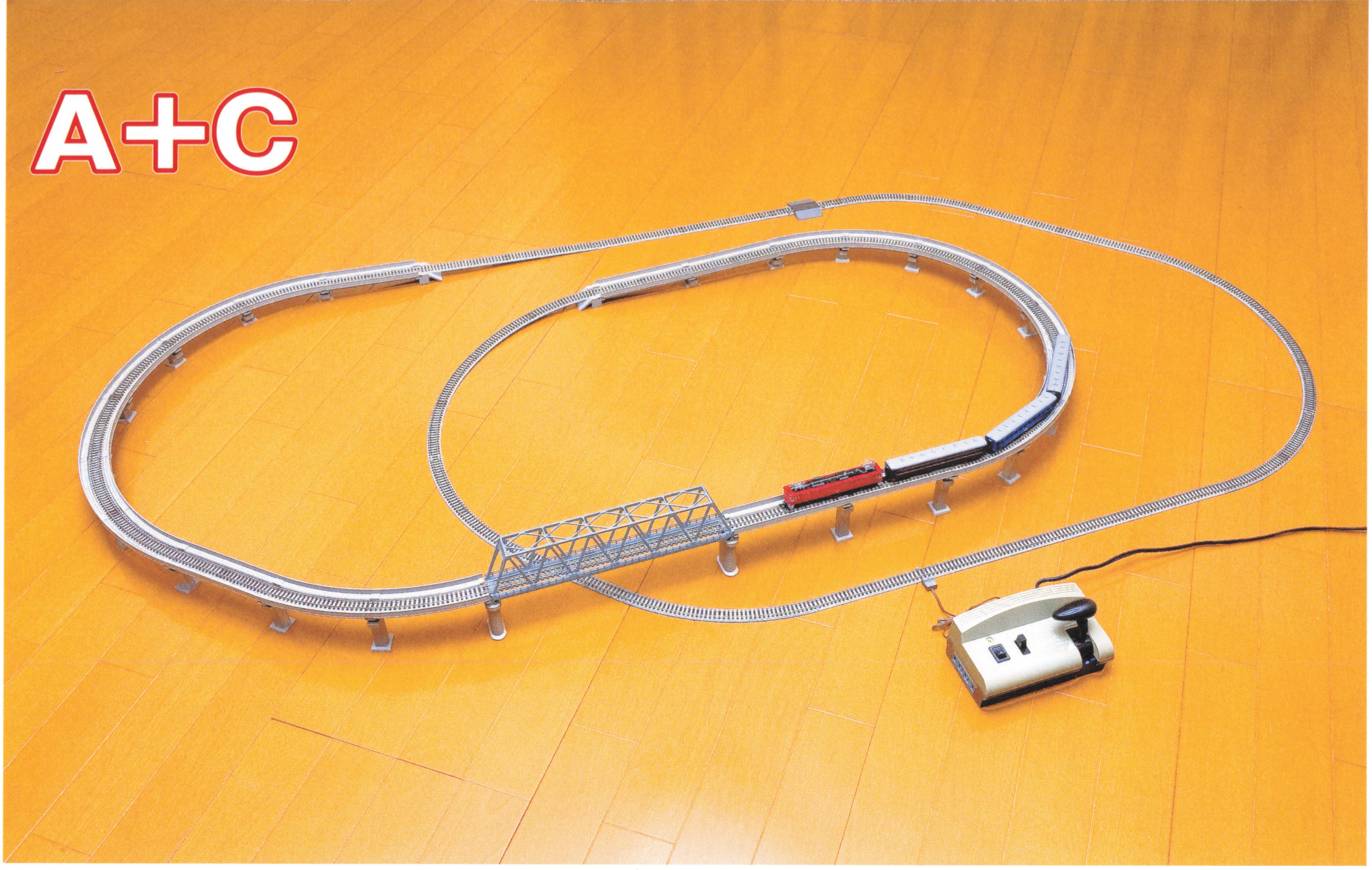
カーブポイントの魅力はやはり、通過時に自然なカーブを描きスムーズな進入※が可能な点です。正位反位どちらでも、通過に無理がかからずに行けるため、実車さながらのゆったり感を楽しませてくれます。またこのカーブポイントはスペースの節約にも有用で、同等のスペースであれば、普通のポイントを利用した場合と比べても待避線の有効長をより多く得られるのです。本線もまた、直線部分を少なくしてカーブを効果的に配置することにより、視覚的にも面白さが加わり運転にさらなる魅力が感じられることでしょう。



スムーズな進入

進入時にS字カーブを通過することになるポイントでは、実車でも通過するのには速度制限が必要になり、脱線の危険性が最も高い区間のひとつでもある。

カーブポイントの場合は、どちらに切り替わっていてもカーブ通過に無理がかからず、脱線の心配も少ないというメリットは、非常に心強い。

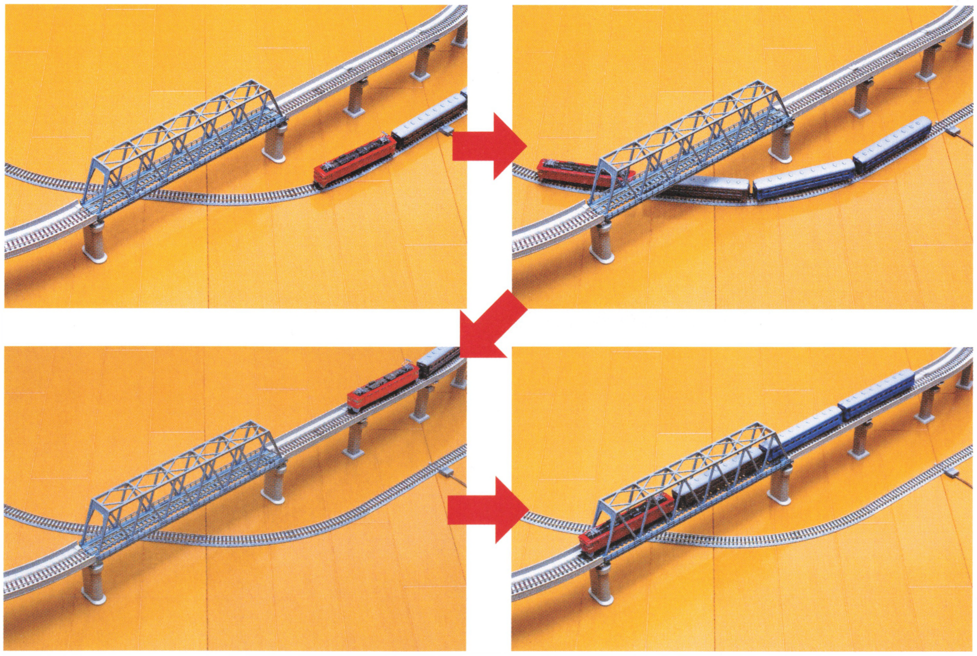


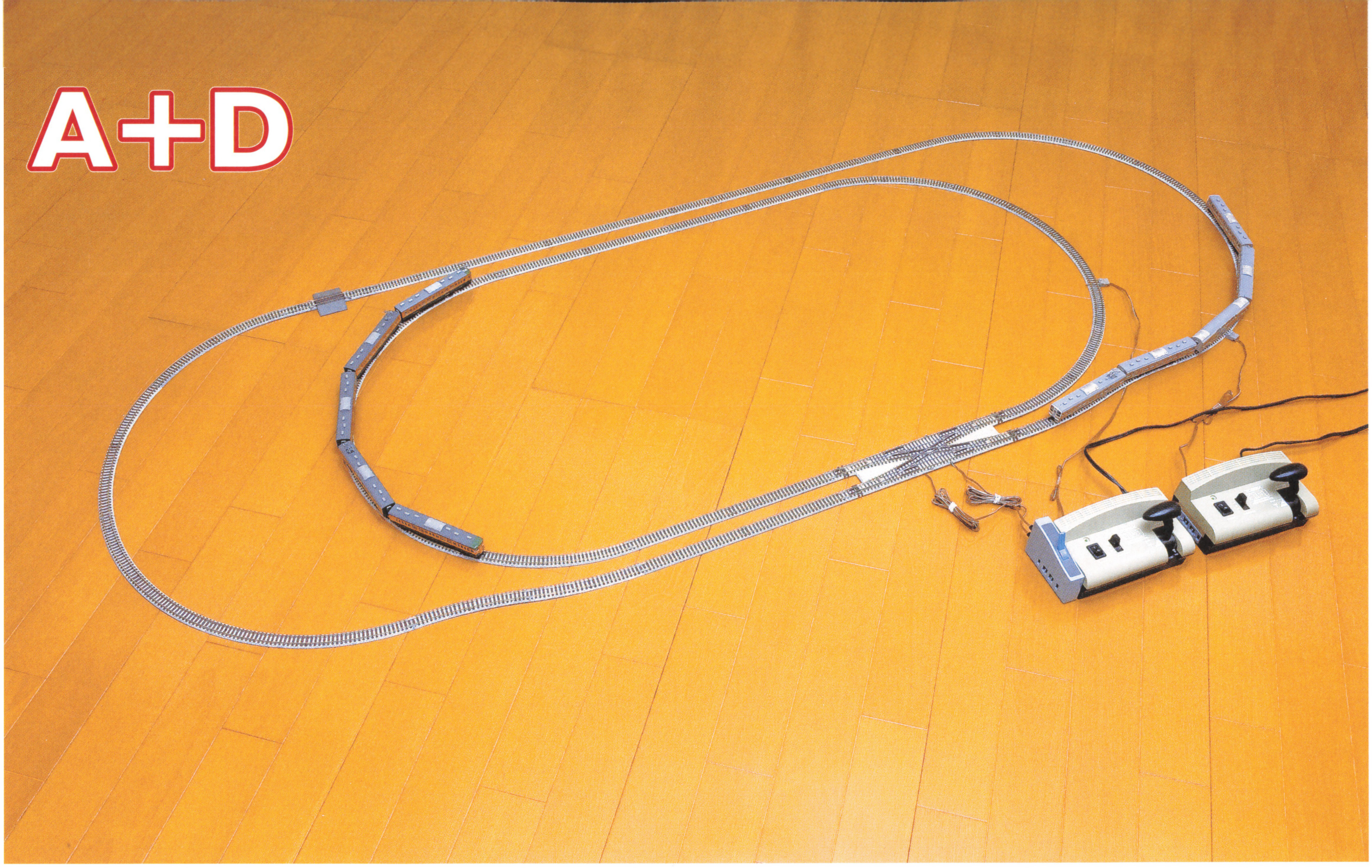
立体交差はやはり面白い!
ゆったりロングランを楽しむ。

ファイントラックにおいても、やはり魅力的なのが高架線を用いたプラン。普段は平坦なところばかりを走っている車輌が、ひとたび高架線に載って高いところに鎮座しているだけで、雰囲気が変わって新しい味わいが出てきます。

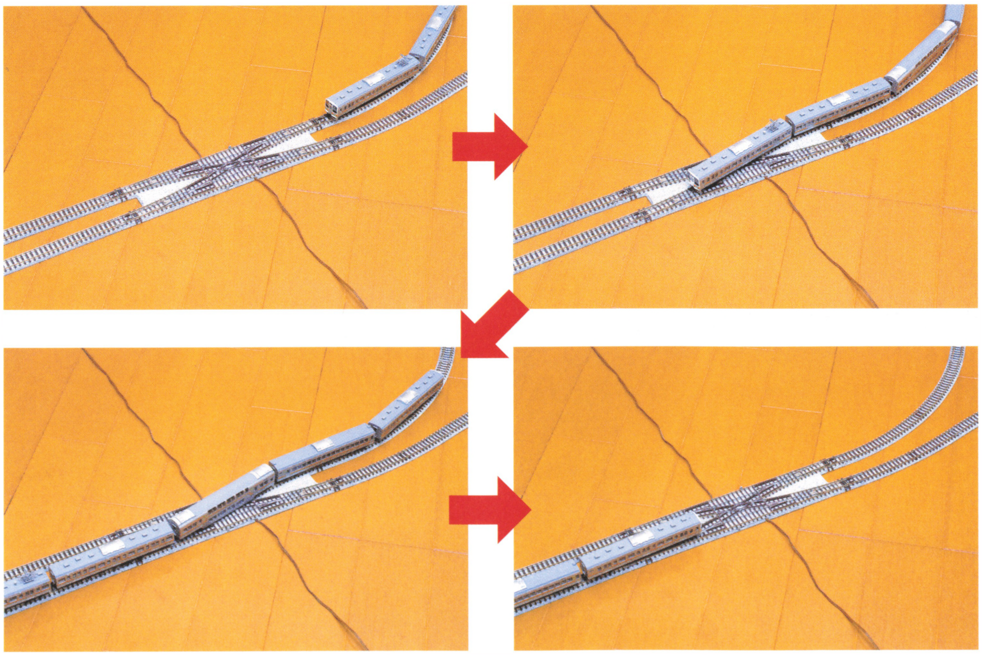
ファイントラックの勾配は、約5mm単位刻みで10段階を経て登っていく仕様。設営にはひと汗かくものの、その効果はなかなかのものです。

さてこうしてぐるりとひと回りするプランでありますが、よく見ると、カーブの感じが少し変わって見える部分がそこかしこに存在します。実はプランの円周には、線路を組む際に一部曲率の違うレールを組んでいる箇所があり、それが均一になりがちなカーブに変化を与え、実感味を増す仕組みになっているというわけです。曲線の中に少しだけ直線が組まれていたりと、小粒ながらもいろいろな仕掛けが加えられており、思い思いの位置で走る車輌を楽しめることでしょう。





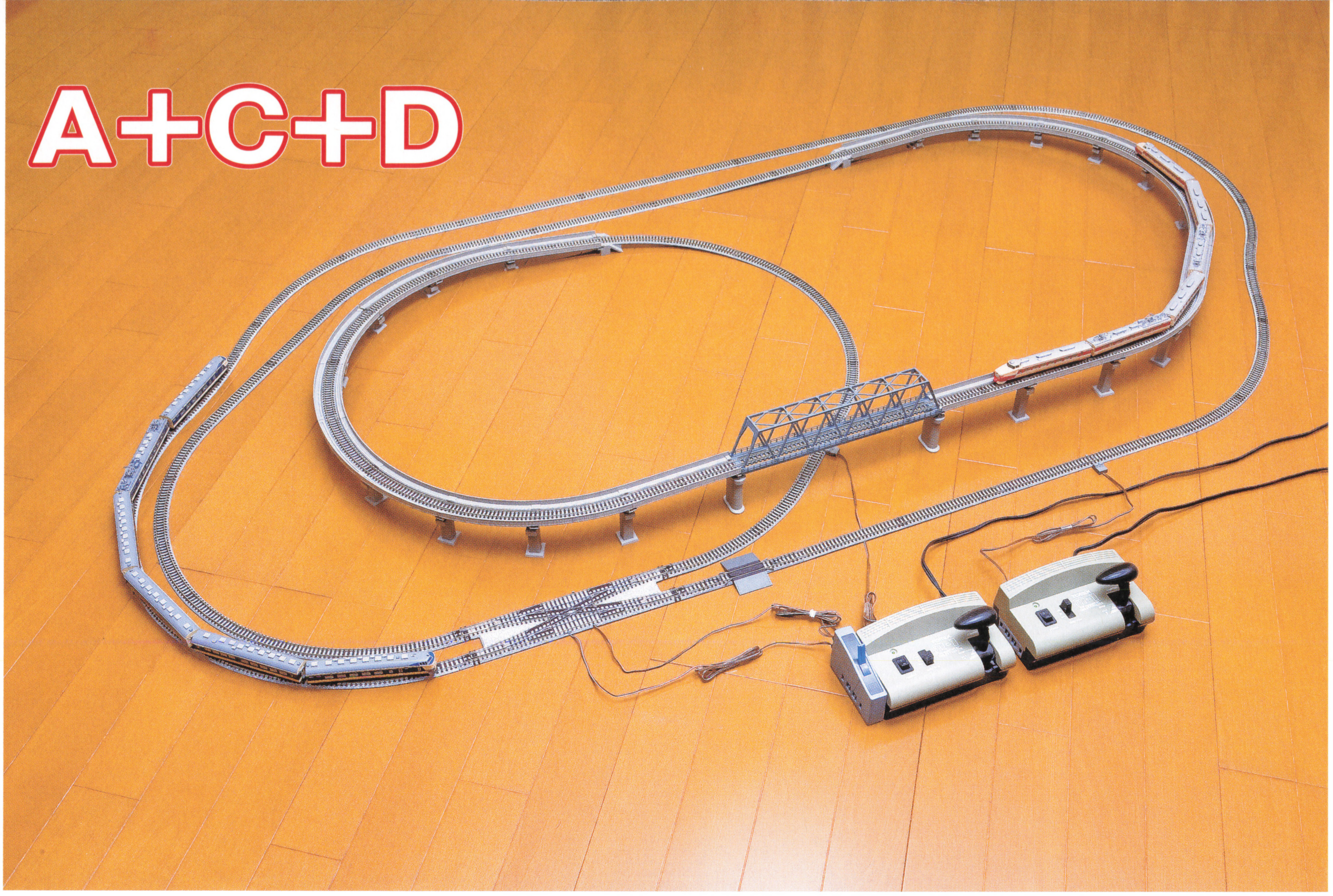
両渡りポイントの楽しみ!
一風変わった複線を味わう。



ファイントラックにももちろん用意されている、ダブルクロス(両渡り)ポイント。とりわけそれが入った「Dセット」には、他に一周分のレールも含まれており、基本のAセットと加えて、すぐに複線運転を楽しむことができるのです。

その両者で組んでみたこのプラン。たしかにエンドレスが2つある複線ではあるのですが、その線型はなかなかひと筋縄では語れない形となっています。直線部では両線が平行に並んで走るも、カーブ部分では思い切り離れて走ったり、外側の複線には小さなSカーブが入ったりして、細かな変化も見られるといったところが魅力です。

こうなるとこのプランは、単純な複線として考えるよりも、外線と内線での追い抜き合いなんかを楽しむのが面白いのではないでしょうか。例えば内線には低速で貨物列車を走らせておき、外線を普通列車が高速で貨物列車を追い抜きながらも、駅に停車している間にまた抜かれる…なんて光景を楽しむのに、うってつけのプランと言えそうです。

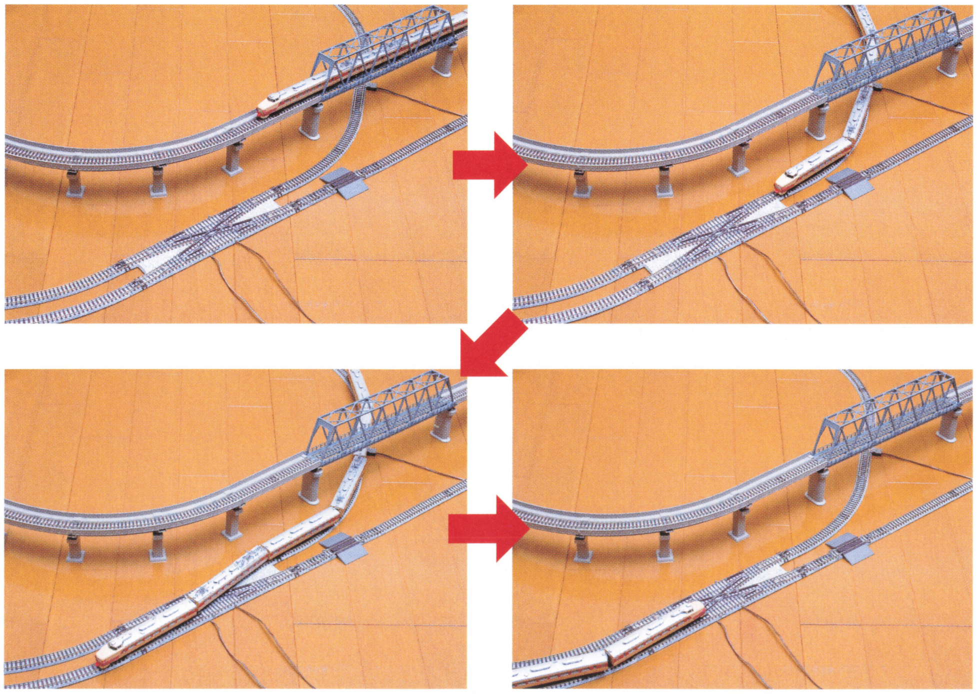


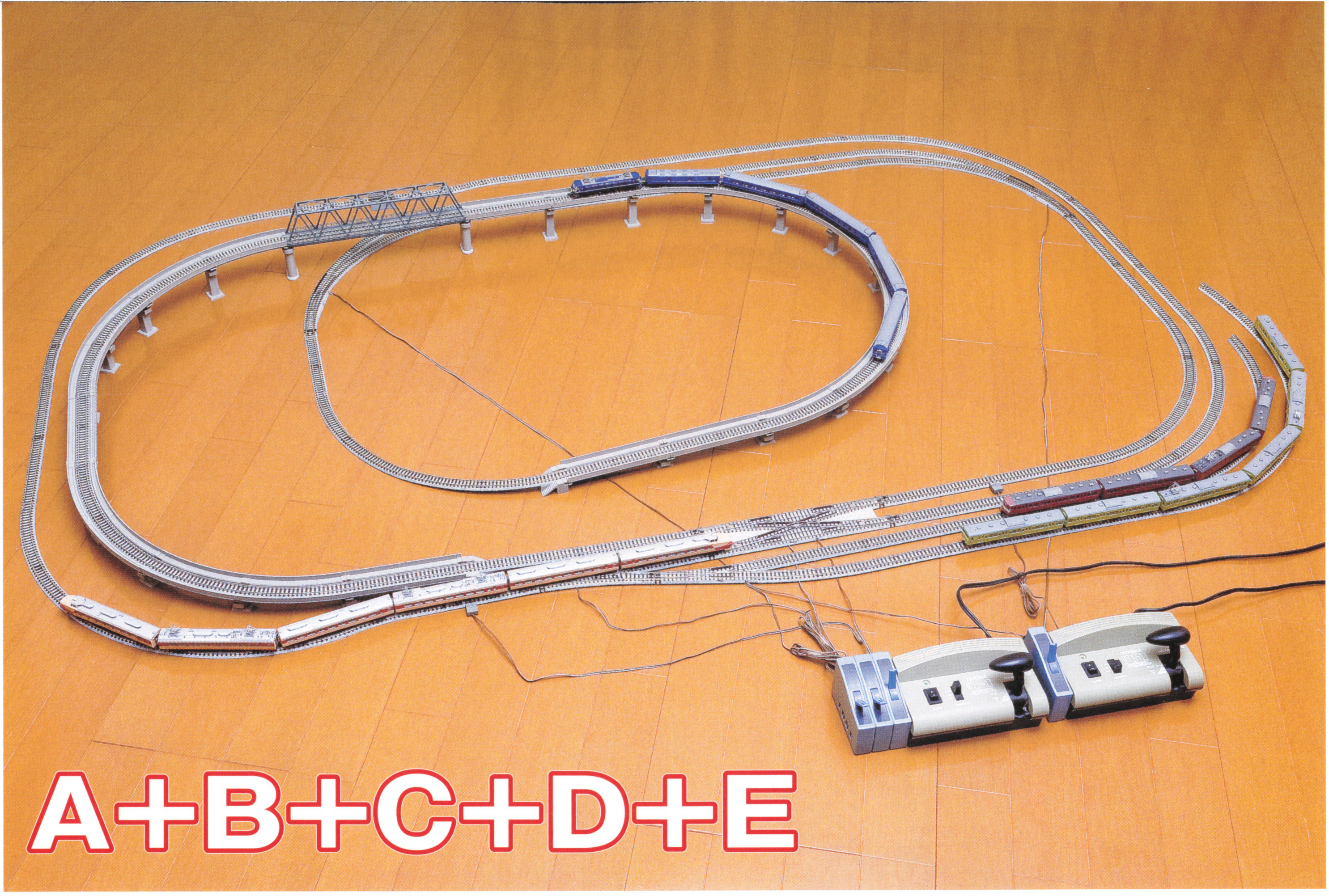
ゆったり外線とぐるぐる内線！
たっぷりロングランを楽しむ。

基本セットに2つの拡張セットを用いたこのプラン。いずれもレールが多めに入っているプランなだけに、ゆったりとした線路延長となって運転の妙味もさらに増してゆきます。

ルート自体は単純な複線2つではありますが、それぞれに個性が出て、運転していて楽しいものになっています。外回り線には微妙な曲線を描くカーブが続き、しなやかな車輌の走りを楽しむことができたり、内回り線は高架線によって近代的な表情を見せてくれたりと、どちらも甲乙つけがたい雰囲気を持っています。

むしろこれだけ性格が違う路線であれば、外回りはJR車輌、内回りは私鉄車輌といった感じに分けて運転し、たまに両者が相互乗り入れしている…といった感じで運転してみるのも悪くないかも知れませんね。両渡りポイントも有効に活用してみたいものです。



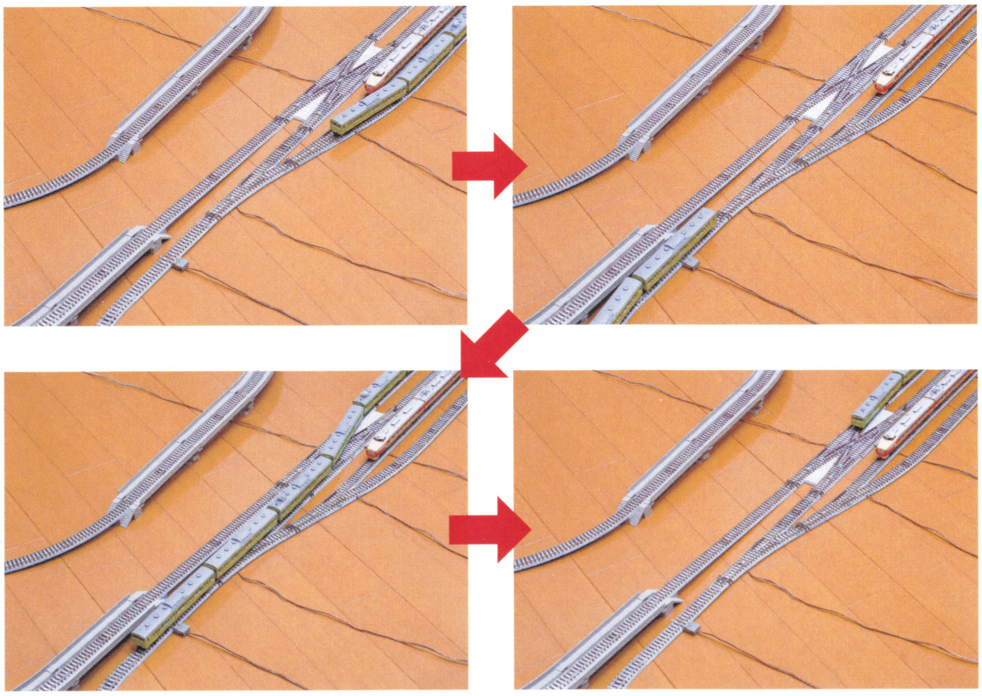


運転を存分に満喫!
複雑なポイント操作を楽しもう。

最後にご紹介しますのは、今回取り上げた4つの拡張セットを全て用いた「全部乗せ」。堂々たる全線複線プランです。

前頁のプラン同様、内回り線を高架でひとひねりした変形複線ですが、併走区間を多く取って、複線らしさをより強調したものとなっています。

また今回は留置線をプランに加え、本線上の待避線も含めて複数列車をより楽しめるようになっています。留置線から出発し、向きを変え両渡りポイントを渡って内回り線へ進んで行く…。こうした運転も、手元のパワーユニット2つを操作することで機能的に再現でき、2列車を同時に走らせれば、併走したり交差したりという列車同士の表情を存分に楽しむことができます。時を忘れ、いつまでも車輌の動きを楽しめることうけあいです。



Q13 量販店に並ぶNゲージ模型を夢中に眺める息子を見て、驚かせてやろうと、物置に眠っていたNゲージを久しぶりに出して走らせてみたところ、ウンともスンとも言わず、まったく走りません。壊れてしまったのでしょうか？　このままだと親としての威厳を保てません。

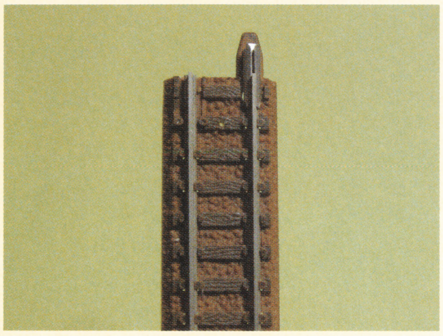
A13 一般に鉄道模型では、モーターを回すための電気をレールから車輪に伝えて走らせます。そのレールや車輪は金属で作られており、経年によって表面がいわゆる「酸化」を起こしやすく、これによる通電性の低下が走行不良に陥る原因のほとんどです。ここでは、レールの通電性を復活させるためのクリーニング法をご紹介しましょう。車輪については66頁からの「車輌メンテナンス編」をご覧ください。

いつでも快適走行で気分爽快！

レールクリーニングとメンテナンス

液体薬品によるレールクリーニング

まずは最も基本的で簡単な、市販のクリーニング用の液体薬品を用いたクリーニングを考えていきましょう。



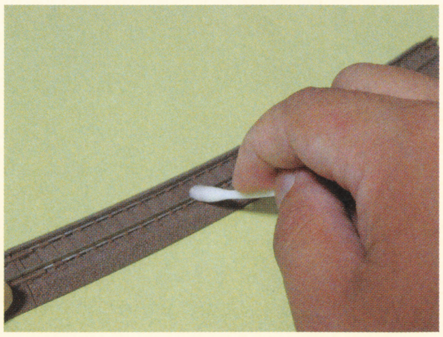
① 今回サンプルにしたレール。少なく見積もっても最近10年は使用していないと思われ、すっかり輝きを失っています。試しに車輌の走行を試みましたが、やはりというか、びくとも動いてくれませんでした。

② そこで、市販で最も入手容易な、TOMIX製「レールクリーナー」（左）や、KATO製「ユニクリーナー」※を使ってクリーニングしてみましょう。

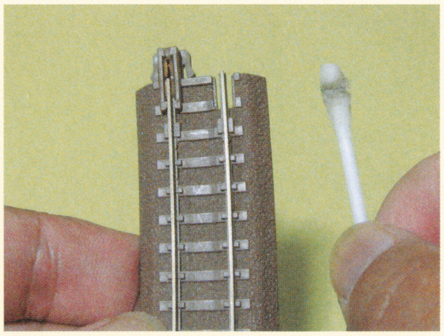
ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダス 32000351（TOMIX）
ホビダス 32000352（KATO）

③ クリーニングに必要な道具としては、やはり綿棒は外せません。ご家庭に常備されているような、普通のもので十分です。

④ 綿棒にクリーニング液を含ませます。あまりたっぷり含ませすぎないようにしましょう。



⑤ レールに綿棒を当て、滑らせるように磨いていきます。本数が多いと非常に面倒くさく、根気のいる作業ですが、丁寧に扱っていきましょう。

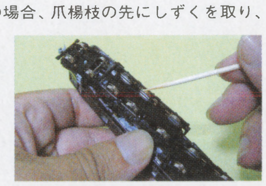


⑥ 比較のため、右側だけ5回ほど磨いてみました。たったこれだけでも、十分な効果が出ているのがおわかりいただけると思います。綿棒はあっという間に黒くなりますが、片側数回は使用に耐えます。

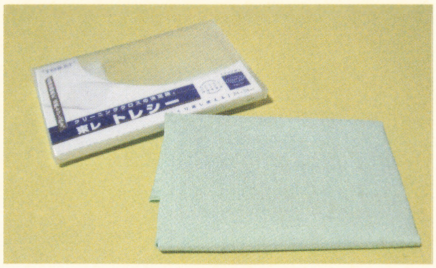
TOMIX製「レールクリーナー」とKATO製「ユニクリーナー」
どちらも廉価で供給されており、鉄道模型を扱っているお店なら大抵在庫がある。レールの他、車輪や動力部分、更にはPCやAV機器等の端子清掃にも利用出来るので、常備しておくと良いだろう。

また、この他のレールクリーナーとしては、アルケ製集電性能向上剤「LOCO」（左写真）やブライトチップス製「ドライコート」（右写真）というのもある。

「LOCO」の場合、爪楊枝の先にしずくを取り、レールではなく動力車の車輪に塗布して使う（真中の写真）。

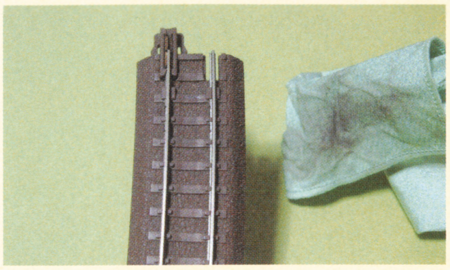


「ドライコート」は、レールや車輪にフッ素コーティングを施し、汚れを防止するというもので、レールに塗布後、ドライヤーで強制乾燥させることによってより一層の効果を発揮する。



❼　綿棒でチマチマと磨くのは面倒だ、という方は、市販のメガネ拭き用クロスを使うのもオススメです。

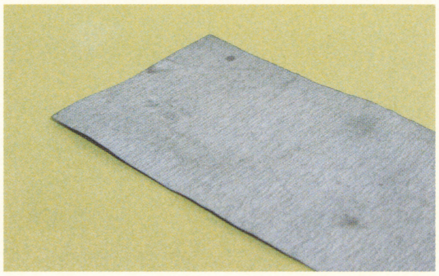
❽　クリーニング液を染み込ませ、しっかりとこすっていきます。



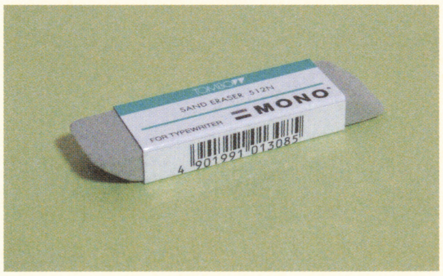
❾　クロスで磨き上げたレール。ティッシュを使ったときのようなケバ立ちももちろんなく、格段に効果が上がっています。もちろん洗えば繰り返しの使用が可能です。

物理的研磨による
レールクリーニング

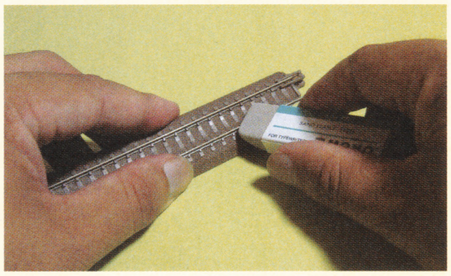
クリーニング液によるクリーニングをすれば、普通ならたいてい問題なくレールは使用可能となります。しかし、今回のような古くて輝きの失われたレールにおいては、しっかりと「レール磨き」をしておきたいものです。



❶　「金属を磨く」となればまず思いつくのが、いわゆる紙ヤスリですが、レールというものは常に車輌と点で接するデリケートな存在。強くこすると傷が付いてしまいます。なるべく紙ヤスリは使わないようにしましょう。

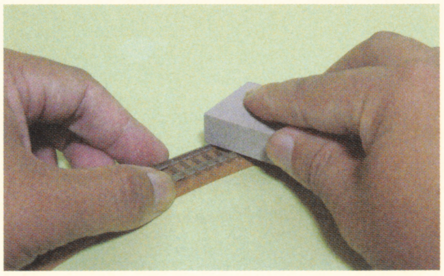


❷　そんなレールを磨くのに手軽なのが「砂消しゴム」です。最近はワープロやパソコンの普及で需要も減ったのか、大きな文具店でないと手に入りにくいようではあります。

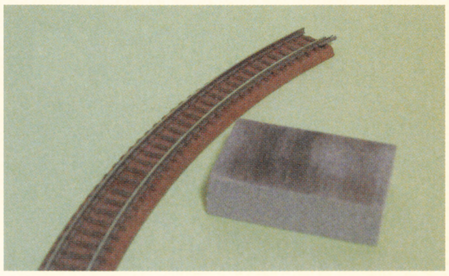


❸　基本体がゴムなので、紙ヤスリよりもソフトな感じで磨くことができます。大きく動かすより、小刻みに細かくこするのがコツです。

❹　模型用の専用品としては、篠原模型店の「レールクリーナー」があります。全体的な印象は砂消しゴムと似た感じですが、硬さが軟らかめになっており、余計な傷を付けないようになっています。

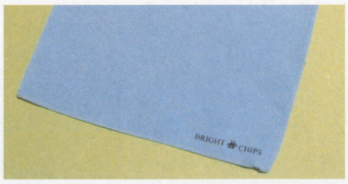


❺　元々同社製の16番レール用として販売されていることもあり、手ごろな大きさと優しい磨き心地で、非常に扱いやすい製品です。



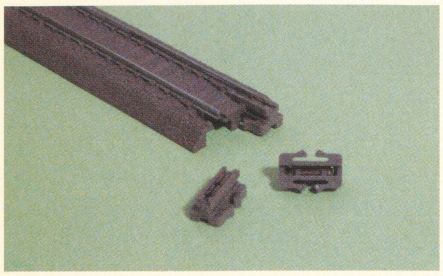
❻　長年の汚れもこの通り、軽いタッチで上品に仕上げることができました。あまり強くこすりすぎると、クリーナーが溝型に彫れてしまいすぐ劣化してしまいますので、優しく扱うのが長持ちのコツです。

この他、前頁で「ドライコート」を紹介したブライトチップスから、同じくクリーニング用品として、極細繊維を用いて、そのまま拭くことでクリーニング効果を発揮できる布「ウォッシャブルクロス」が発売となっている。材質的に、クリーニング液などとの併用で、効果を上げることも可能だろう。



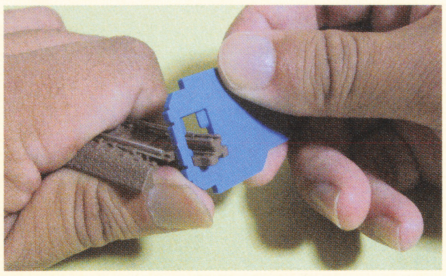
ジョイナーの交換

組み立てたり外したりを繰り返す道床付レールで、負担が最も掛かってくるのが、レールをつなぐジョイナーです。たび重なる抜き差しによる変形のほか、まれですが酸化によって通電不良になることもあります。この場合、新しいジョイナーと交換することによって対応します。

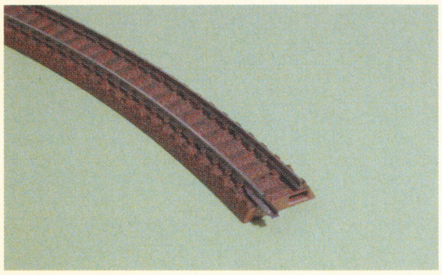


❶ まずはKATOのユニトラック。レールを道床ごとがっちりと固定し、安定度抜群のユニジョイナーは通電性能も非常に良好ですが、初期製品（色が銅色のもの）を中心に、集電性能が劣化してくる場合もあるようです。

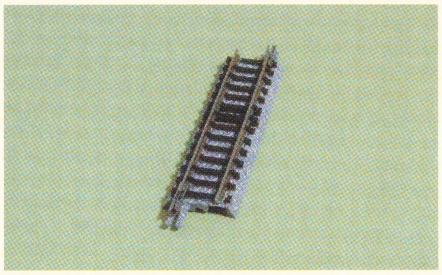
❷ 左は交換用として発売されているユニジョイナー。補修用として常に備えておくといいでしょう。ユニジョイナーを外すためのジョイナー外し（右）は、リレーラー※などに付属しています。



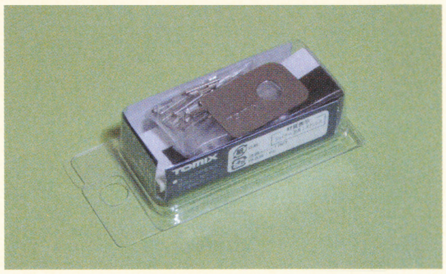
❸ ジョイナー外しの穴にジョイナーをこのように引っ掛け、軽くひねると外すことができます。外せたら、新しいジョイナーをパチンと押し込めば交換完了です。



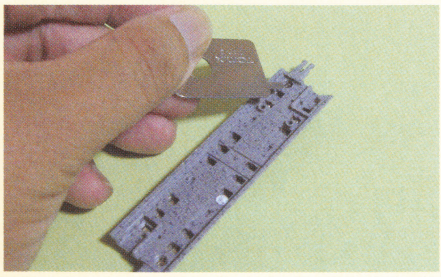
❹ さて一方のTOMIXレール。「ファイントラック」より前の旧製品ではジョイナーの変形の他、道床の爪が折れてしまう事例が多発していました。こうなると修復は残念ながら不可能でした。



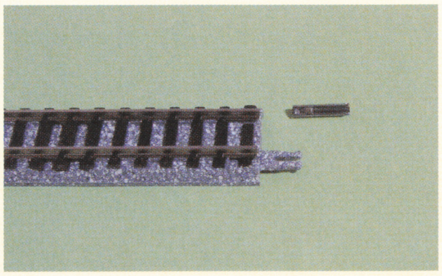
❺ 現在発売されている「ファイントラック」では、ジョイナーを交換することが可能となっています。



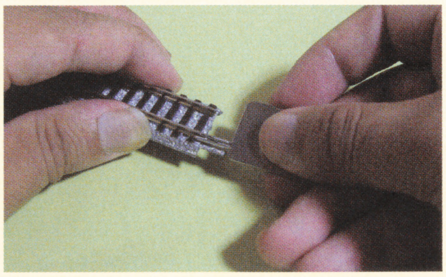
❻ 別売りされているファイントラックのジョイナーには、取り付け･取り外しに使う治具※が添付されています。



❼ レールを裏返すと先端部分に丸穴が開いており、ジョイナーの裏側に立ち上がっているツメを見ることができます。治具を使い、そのツメを押し込んでしまえばジョイナーを引き抜くことができます。



❽ 新しいジョイナーは、ツメの立ち上がっている向きによって方向が決まっていますので、間違えないように注意しましょう。



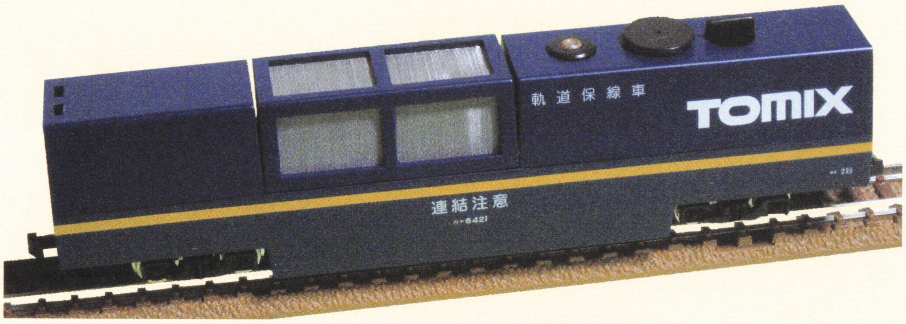
❾ 治具の先にジョイナーをはめ、レールへまっすぐに装着すれば交換完了。このジョイナーは尖っている部分が多く、引っ掛けてケガをする危険性もありますので、十分注意して作業をしてください。

リレーラー
車輌を線路に載せるための道具。TOMIXやKATOから単品で発売されているほか、スタートセット等に付属している場合もある。

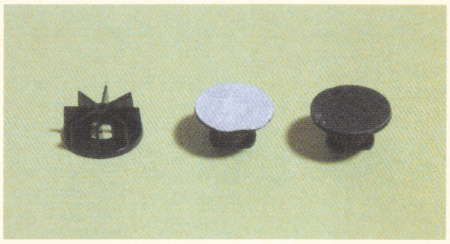
治具（ジグ）
ある工作工程を効率的に行なうため、専用の形態・寸法を持つ工具の一種。ユニジョイナー外しも治具の一種である。

クリーニングカーを使う

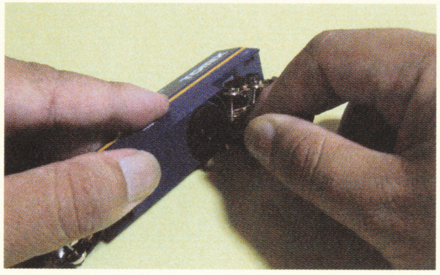
手作業によるレールクリーニングは、どのようにしても面倒で仕方がないのは事実で、クリーニングを自動で行なってくれる「レールクリーニングカー」の存在はありがたいものです。ここでは現在最も入手容易で、高性能と多機能が評判を呼んでいるTOMIXの「マルチレールクリーニングカー」を試してみましょう。



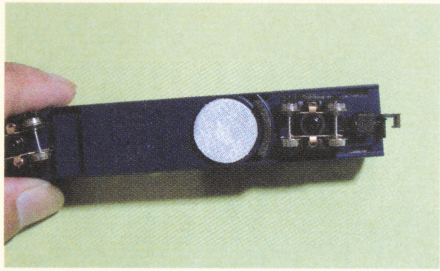
❶ レールクリーニングカー本体。単にクリーニング機能を搭載しているだけでなく、「軌道保線車」「連結注意」などの標記が実物のようで、ちょっとした遊び心を見せてくれて楽しくなります。また時折、イベントなどの記念セットとして特別塗装の製品が発売されることもあり、複数揃えてみるのも面白そうです。



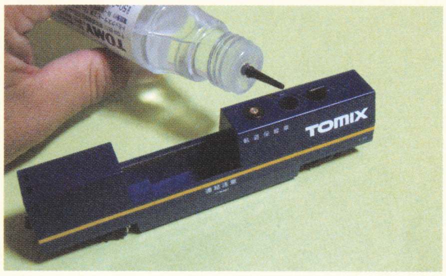
❷ 車輌の床下には穴が開いており、行ないたいクリーニング作業に合わせた回転体を装着します。左より吸引用ファン･湿式ディスク･乾式ディスクです。



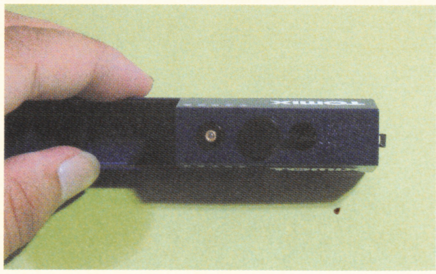
❸ ここでは、クリーニング液を使用する湿式ディスクでのクリーニングをしてみましょう※1。出荷状態では吸引用ファンが装着されているので、付属のディスク交換ツールで抜き取ります。



❹ 穴に湿式ディスクを押し込み、前の溝にはスポンジを挿入しておきます。

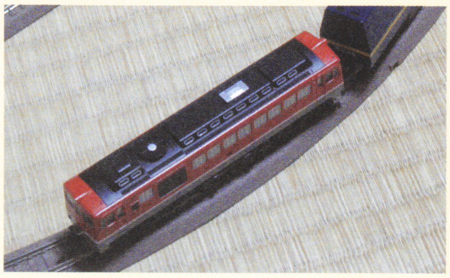


❺ 屋根上のタンクのフタを取り、クリーニング液を流し込みます※2。液のボトルは口が広いので、これも付属の細口ノズルを差して、注ぎやすくしておきます。小さな部品が多いので、なくさないよう十分注意。



❻ タンクの隣にあるスイッチを「ON」にしておきます。コントローラーに常点灯回路（TOMIX独自の、停車時点灯用システム）がある場合「CL=POWER」位置にすると、走行スピードに関係なくディスクを回転させることができます。

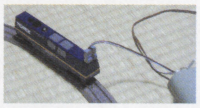
❼ いよいよレールに載せますが、きちんとディスクがレール面に接していることを確認してください。



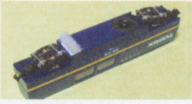
❽ クリーニングカーは自走しませんので、動力車が必要です。集電性能が良く、できればフライホイールの付いた（多少の集電不良でも惰性走行できる）機関車が良いでしょう。

※1　乾式ディスクを装着する場合、スポンジを装着する必要はない。もちろんクリーニング液の注入も不要。なお乾式は要するに紙ヤスリなので、44頁にあるように頻繁に使用するのはあまり好ましくない。特に汚れが強い場合のみに控えよう。

乾式ディスクを使用するような劣悪環境で使う場合に備え、フィーダーを直接屋根の穴に差して通電させることも可能。この場合はもちろん、手でクリーニングカーを転がす必要がある。



このクリーニングカー最大の特長であるホコリ吸引機能を使用する場合は、吸引ファンをセットし、前方には付属のブラシを装着させる。



※2　走行時間が短いなら、ディスクに直接クリーニング液を含ませる方法もある。タンクに液を入れる場合は、余った時の掃除が面倒なこともあるので、状況に応じて使い分けすると良い。

車輌編

Q1 Nゲージって何輌から走らせることができますか?

A1 1輌からでもOK。Nゲージの動力装置の電気的・機械的な仕組みは1輌単独で完結しているので、極端な話をすれば先頭車を付けずに中間のモーター車だけで走行させることも当然可能なわけです。

もちろん単行の気動車や路面電車、機関車など1輌だけで走らせても十分に様になる車輌が沢山発売されているので、低予算でNゲージを始めたいという方はそういう車輌を選んでみるのも良いでしょう。

▲単行で走る鉄道車輌の代表とも言える路面電車。現在は自走可能なモデルが沢山発売されている。

Q2 1編成にモーター車って何輌必要ですか?

A2 基本的には1輌で十分です。通常は十数輌の編成でも平気で動かすことができます。

むしろ同時に複数の動力車を一つの編成に組み込むと、コンディションによっては走行性能に差が生じて脱線※を招き易くなってしまう場合があります。容量の小さなコントローラー※1では室内灯の取付などの制約が厳しくなるというデメリットもあるので、比較的平坦な線路配置であれば動力車を極力1輌にしておいた方が無難と言えるでしょう。

ただ、勾配※の厳しいレイアウトやお座敷運転(フロアレイアウト)でも立体交差を設けるような場合は、長い編成に2輌目の動力車を用意して馬力を稼いだ方が良いこともあります。メーカーによってはフル編成で10輌を越える車種の増結セットに動力車が含まれるようにしたり、動力車の増結用単品を別売したりしています。

▲例えば、TOMIXのキハ183系HETでは基本セットに1輌の動力車が含まれ、さらに勾配対策で単品のキハ182-2550動力車が用意されている。

脱線
一つの編成に性能の異なる(あるいは同じでもコンディションに差がある)複数の動力車を組み込んだ時に脱線する場合がある。例えば、編成の後ろ側に連結した動力車よりも前側の動力車の方が極端に遅いと、その間に挟まれたトレーラー車(モーターのない車)が常に前後から押される状態となり、ちょっとした衝撃などで車輌が浮いて脱線してしまうこととなる。どうしても動力車を2輌連結する必要がある場合は、その2輌をできるだけ近づけるように編成を組むと良い(隣同士であれば理想的)。

※1 Nゲージのコントローラーは製品によってそれぞれの定格出力、つまり使用できる電流の量の範囲が定められている。長い編成を組む時は消費電流がこの定格出力を越えないように考慮する必要があるのだ。特に室内灯をたくさん組み込むと消費電流が増えるので要注意である。基本的には動力車が約300mA、ライト類(室内灯含む)が1輌あたり約60mAがそれぞれの目安。これを輌数分足し算して、コントローラーのスペックを下回ることを確認してから楽しもう。

勾配
Nゲージの線路配置では実物とは比べ物にならないような急な坂を上り下りすることも珍しくない。ちなみに勾配の度合いは、1000mm(1m)進んだ時に高度が何mm上がったかをパーセンテージで表す。つまり、1mで60mm上がった場合は6%ということになる。

Q3 製品を見ていると、カプラーが台車に付いているものと、車体に付いているものがありますね。どういう違いがあるのですか？

A3 以前のNゲージでは、カプラーは台車に取り付けられているのが普通でした。これを「台車マウント」といい、急カーブに強く、また構造も極めてシンプルなために扱い易いというメリットがありました。しかし一方、連結面の間隔が広くなりがちなこと、カプラーが大きく首を振るため、車端部の床下ディテールを表現することが不可能であることなどのデメリットもありました。とはいえ現在もこの方式を採用する新製品はもちろん多いのです。一方、近年のKATO製の電車・気動車や、TOMIXのHG製品、それに各社の電気・ディーゼル機関車などはカプラーを車体側（床板裏側）に取り付ける例が増えています。これを「車体マウント」といいます。機関車の場合はスカート廻りの表現が実感的になることが最大のメリットでしょう。また編成ものの場合は同時に伸縮機構が組み込まれていて、直線部ではほとんど密着、曲線部では適宜間隔が離れるという「頭の良い」仕組みが採用されています。別売り品を使って車体マウント方式に交換することも可能ですので、詳しくは63頁からの記事をご参照ください。

Q4 誤ってパンタグラフを破損してしまいました。メーカーに頼めば修理してもらえるのでしょうか？

A4 基本的には部品や動力に対してはメーカーで修理対応しています。製品のパッケージ・説明書やカタログで紹介されている対応窓口に連絡して相談するのがベストの選択だと思います。筆者の経験上、購入店へ持っていって修理依頼をするよりもメーカーの窓口と直接やりとりした方がスピーディーに解決するようです※2。

また、KATOやTOMIXでは一般流通・インターネットで部品の分売もしており、パンタグラフのような簡単に交換できる部品であれば、これを購入して自分で修理することも可能です。

Q5 Nゲージの走る楽しみを盛り上げてくれるヘッドライト・テールライト。自動で進行方向に従って切り替わる仕組みは？　また、先日Nゲージのイベントで様々な車輌がレイアウトを走っているのを見たのですが、ヘッドライトの色って結構色々あるんですね。でも、中には実物と全然違う色のライトもあったような…。どうして？

A5 現在、Nゲージのライトの光源は主に豆電球（米粒球）とLED※が使われています。電球は昔から使われているもので、1990年代まではNゲージ用ライトの主役でした。無論今でも電球を採用している製品は数多いのです。進行方向によって自動で切り替わる機構は、電球とつなぐ回路にダイオードという半導体を組み込み、一方向の電流しか通さないようにしているから。これをヘッドとテールでお互い逆向きの回路とすることで、前進＝ヘッド点灯、後退＝テール点灯と切り替わるのです。またLED＝発光ダイオードを光源としている場合は、その素子自体が半導体ですので、元々一方向の電流でしか光らないということになっています。余談ですが、一部の製品を除いて機関車はテールライト非点灯となっていますが、これは客車や貨車を牽いている最中に、機関車のテールライトが点灯するのはおかしい、という考え方によるものです。しかし最近では極小のON／OFFスイッチを組み込むなどしてこの問題を解決し、テール点灯を組み込む製品も出てきました。

さて、実物が白熱灯であるヘッドライトやシールドビームの場合、模型でも電球を光源に用いると同じ原理で光るものだけあって実感的でしたが、特急電車のトレインマークや近代的な車輌の室内灯など、蛍光灯の光色が欲しい箇所に関して言えば実物の雰囲気とは程遠いと言わざるを得ませんでした。

一方のLEDは、以前は展望構造を持つ車輌など、光源を小さくする必要のある場合を中心に用いられていましたが、初期の製品では黄色やオレンジ、緑色に光るものばかりでした。これはご存知の通り、白色LEDというものが最近まで開発されず、また開発直後は非常に高価で模型製品に採用することが難しかったからです。しかし21世紀に近づく頃から明るく光る白色LEDが普及し始め、この白い光は今までの光源で表現できなかった蛍光灯の雰囲気を再現できる点と明るさから、ユーザーの高い人気を集めることになります。また電力消費の面でも有利なため様々な車輌に使われるようになりますが、シールドビームなのに実物と違う白色のライトを装備する製品が発売されるという、従来とは逆の現象が現れるようになりました。今度はそれを解消するためにここ数年、電球色のLEDが開発・普及するようになって現在に至るというわけです。

このように時代を経て様々な光源が開発されたために、Nゲージ市場には様々な色のライトを持つ車輌が混在しているのです。製品化のタイミングによって実車と異なるライト色となってしまった製品も少なからず存在しますが、今は光源の色も一通り揃っているので、今後発売される製品についてはそのような心配は少なくなっていくと思われます。

▲TOMIXの485系〈雷鳥〉は今年発売された製品であるが、パノラマ車に電球が用いられている。

▲グリーンマックスの阪神5500系と9300系。オレンジ色のLEDを用いたライトの例。

▲マイクロエースのクモユニ74。白色LEDにより窓上の表示窓が蛍光灯の雰囲気を持つ光色で点灯。

※2　模型が壊れた時、購入した模型店に相談した方が良い場合もある。車輪等の汚れによる不調など、修理に出すほどではない程度のトラブルであれば店主・スタッフの経験や腕で解決するケースも少なくないだろう（有償か無償かは店舗によって異なる）。

LED
発光ダイオードのこと。LEDの利点は消費電流が非常に小さいこと。長編成に室内灯を組み込んだ場合でもパワーパックの出力に余裕を持たせられる。それと光る仕組みが電球とは全く違うので、熱がほとんど発生せず、また電球のように切れるということがない。ただしライト基板には抵抗があり発熱するので、従来通り長時間のライトの点けっ放しは避けるようにしたい。

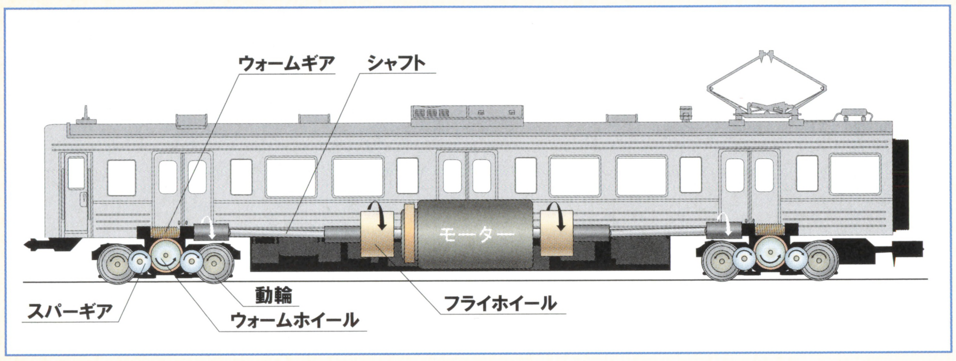
また、特に最近のチップLEDではライトユニットのスペースを非常に小さくすることができるので、従来犠牲になっていた運転室廻りの室内も実感的に再現できるようになったという点も見逃せないメリットである。

Q6 Nゲージのスムーズな走り、きっとすごく精密なメカニズムから生まれていると思うのですが、だからこそうかつに分解などできません。どうなっているのか中身を見せてください！

徹底解剖！ Nゲージのメカニズム

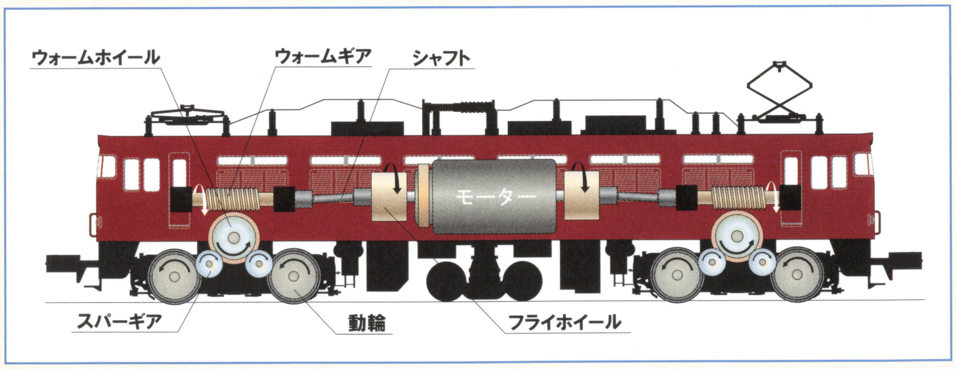
TEXT：編集部
PHOTO：青柳　明（RMM）

A6 小さいのに、とてもよく走るNゲージ。そのボディの中には、精密機械並みの精度で仕上げられた動力メカが詰まっています。せっかくNゲージをやっているなら、それがどのような仕組みで動いているのかを知っておくのも悪くないでしょう。また万一動力車が調子を崩した時に、原因箇所の目安をつけるためにもメカを知っておいた方がなにかと便利です。とはいえおっしゃるように、うかつな分解は禁物。特に初心者の方は、あまりバラバラにすると元に戻せなくなる可能性が高いので、注意しましょう。



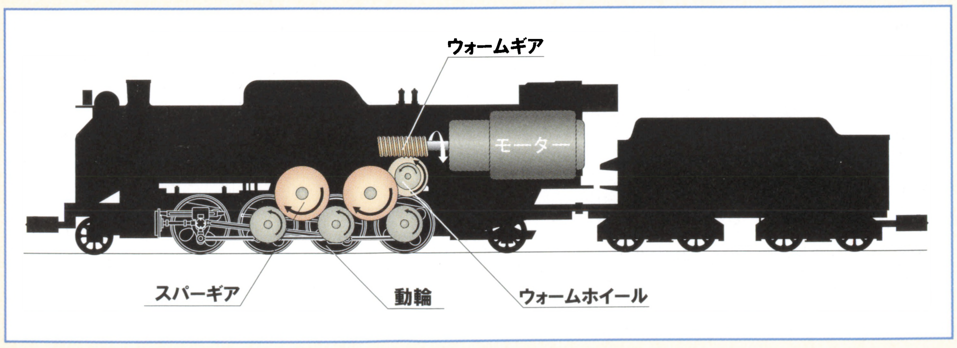
●電車・気動車の動力概念図

室内装置を作り込むため、モーターを半分床下に落とし込んで、窓から見えない高さに収めているのが特徴です。通常、モーターの動力は、フライホイール※、ユニバーサルジョイント※を経てウォームギア※とスパーギア※を介して車輪に伝わります。最近の製品はフライホイールを両側に装備しています。



●電気機関車・ディーゼル機関車の動力概念図

基本的には電車と同じですが、室内を作る必要がないので、モーターは車内床上に置かれます。やはり近年の製品はフライホイール装備。F級機※の場合、中間台車は動力なしとされます。



●蒸気機関車の動力概念図

見た目からして複雑ですが、実際にパーツも多く、最も手間が掛かっています。モーターからウォームギアを経て動輪へ動力を落とし、さらにギアとサイドロッド※で前方へ伝動します。まだ多くはないですがフライホイール付きのものも出てきました。

フライホイール
モーターのシャフトに取り付ける円筒形の「はずみ車」。その重量からくる慣性で、モーターの回転をスムーズに維持する働きを持つ。Nゲージの場合、停車する際にガクッと止まるのでなくスッとスムーズに止まることや、ポイントなどの無電区間もギクシャクせずに通過することができるというメリットがある。

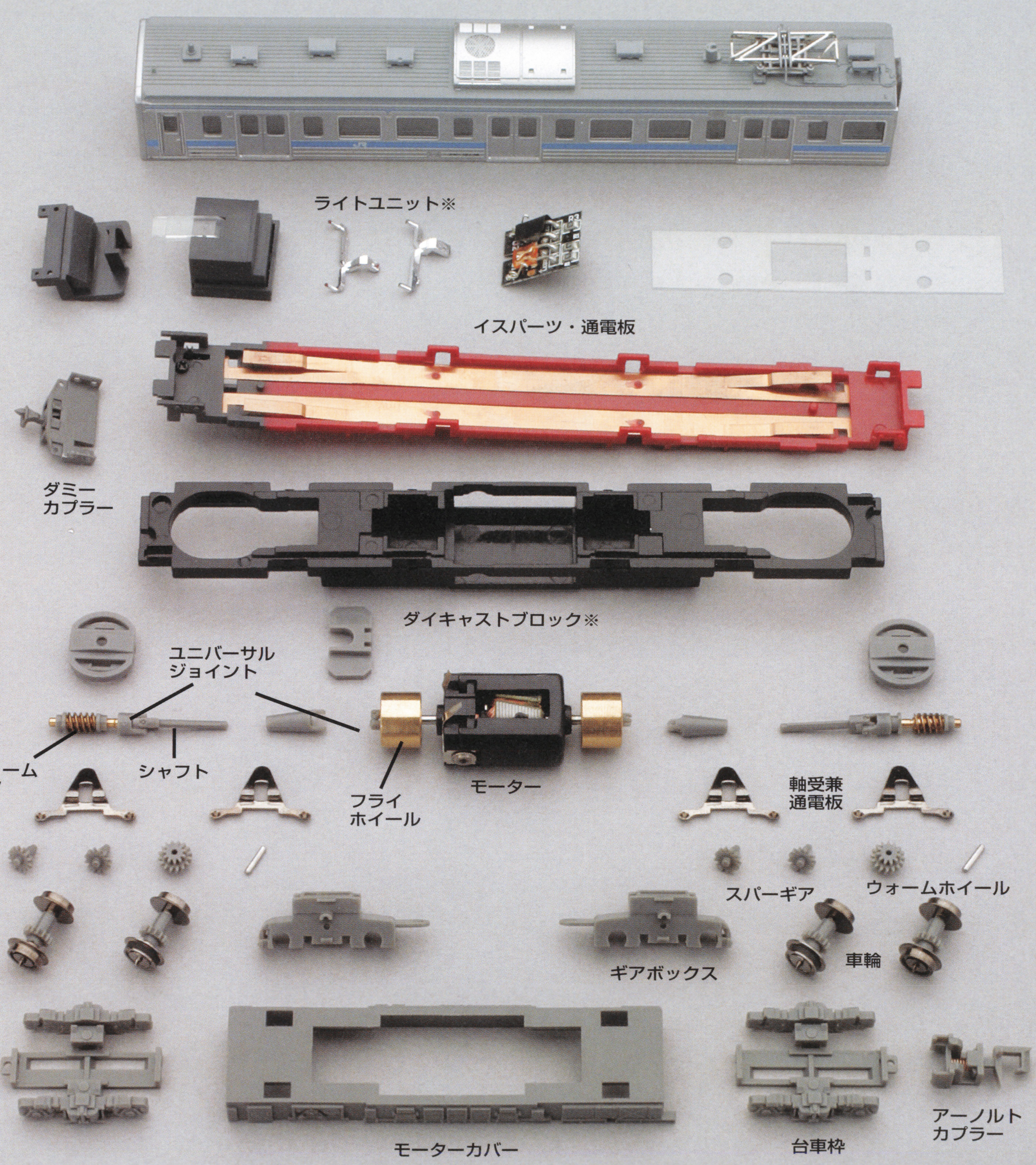
ユニバーサルジョイント
「自在継ぎ手」とも呼ばれる。シャフトで動力を伝える際にその継ぎ目に用いられる仕組みで、シャフトの向き、位置関係が変位しても変わらず動力を伝えられるよう、かみ合わせが工夫されている。

ウォームギア
動力の向きを変え、同時に効率的に減速することもできるギアの一種。螺旋状のウォームギアと、それに対応するウォームホイールとで構成される。Nゲージでは通常モーターの回転軸と車輪の回転軸が異なるため多用される仕組み。

スパーギア
平ギアのこと。動力の伝動に用いられる。

F級機
電機、ディーゼル機の形式の頭から2番目の文字は動軸の数を表している。Dは4軸、Fは6軸となり、F級機とは動軸6軸の機関車のことを示す。新性能以降のF級機の場合、通常は2

●電車の例（マイクロエース・クモハ121）



窓下に収まる、高さの低い動力ユニットが特徴。室内の表現も背もたれくらいは付けることができ、もちろん室内灯の取付にも対応します。ちなみに電車・ディーゼルカーの動力に各社がフライホイールを取り付けるようになったのはここ数年のこと。いまだ付いていない製品も数多くあります。もう一つの特徴が、円錐形の車軸軸端を受けている通電板。この軸端の形状をピボット式と呼び、最も回転抵抗の少ないやり方として各社が採用しています。なお車輪から集めた電気は、この軸端を通じてモーターやライトへ送られます。

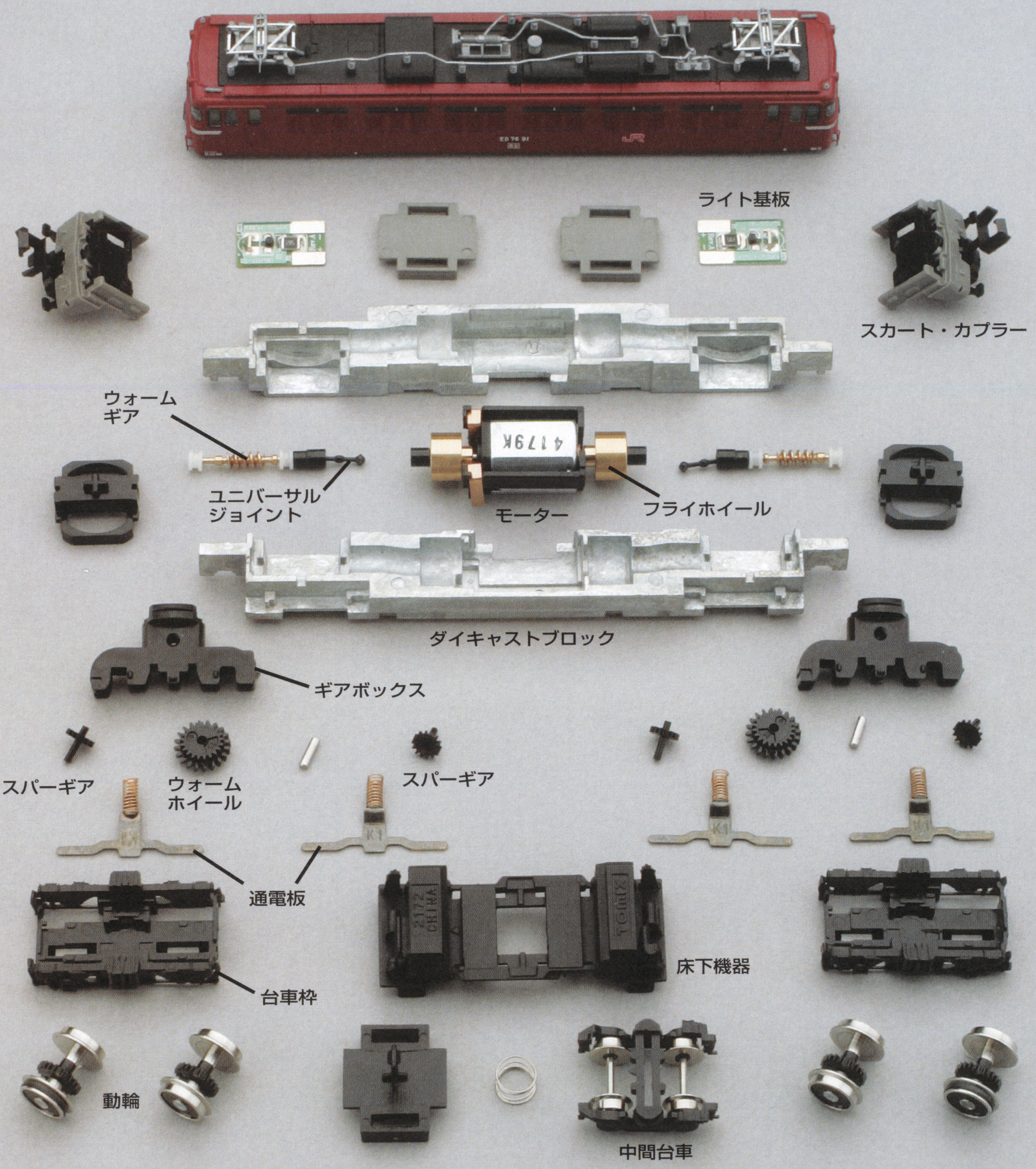
軸ずつの台車を3基持ち、中央に配置されたものを中間台車と呼ぶ。

サイドロッド
蒸気機関車は蒸気のエネルギーをまずシリンダーの前後運動に換え、それをクランクとロッドを介して動輪の回転運動に変換して前後に進む。ロッドの中で目立つものは、シリンダーから動輪へ延びるメインロッドと、動輪同士を結んでいるサイドロッド。模型の場合、実際にはロッドを介さずギアで伝動することが多いが、サイドロッドは実際に動力を伝えていることもある。

ライトユニット
ヘッドライトやテールライトを点灯させるため、電球もしくはLED、抵抗・ダイオードなどを配した基板と、光を伝えるための導光装置（通常は透明プラ製）、余計なところに光が漏れないようにする遮光装置（通常は黒色プラ製）からなる。

ダイキャストブロック
動力メカの骨格を作り、かつ重みを増す（ウェイト）役目も果たす金属製の部材。写真の電車の場合は電気の通電は担わないため全体に塗装が施されているが、機関車用などの場合は通電の役を担っていることも多く、その場合は未塗装となる。

●電気機関車の例（TOMIX・ED76）

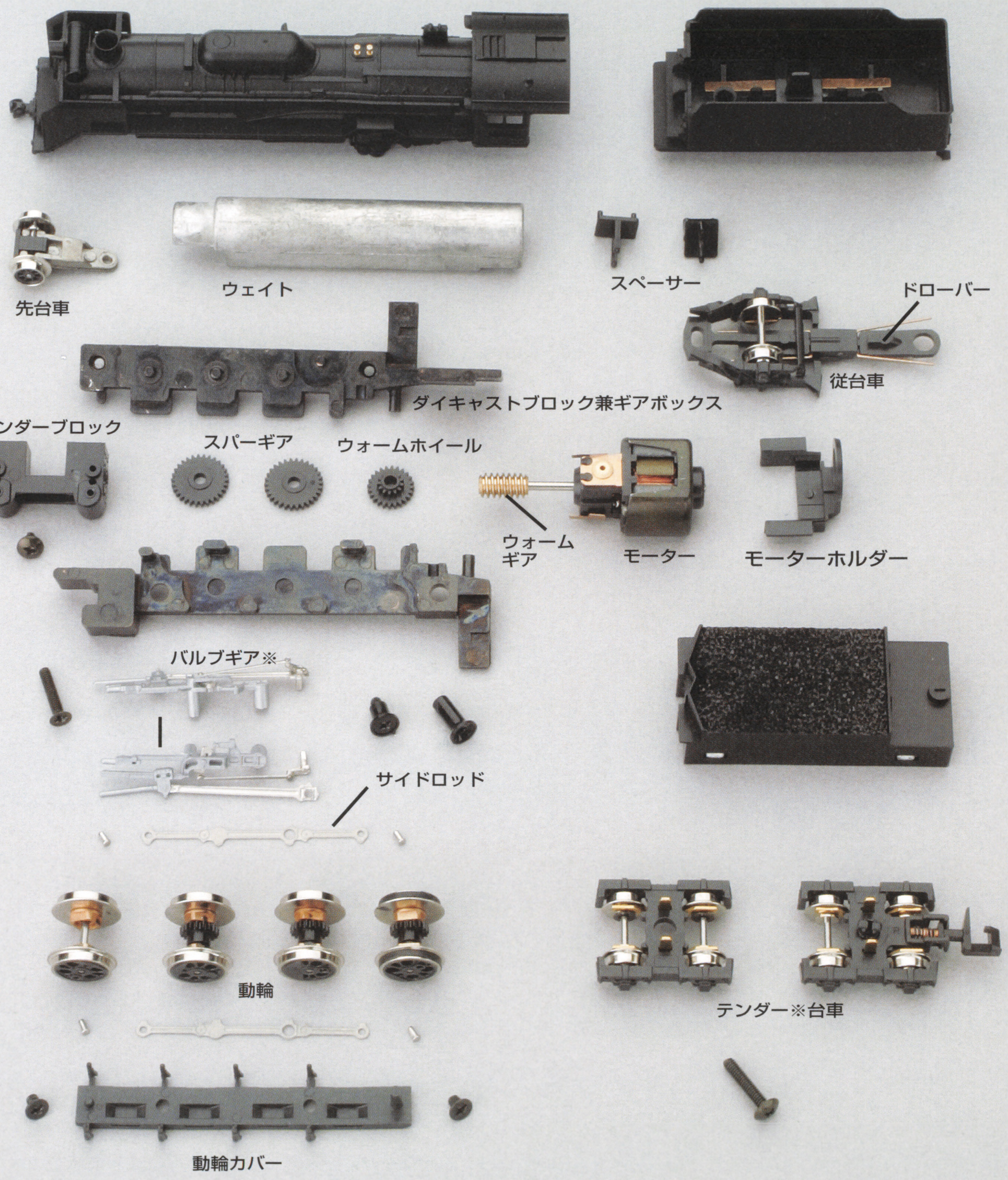


基本メカ、動力の伝わり方は電車とほとんど同じです。ただし室内を作る必要がないのと、中間台車と干渉することもあってモーターは車内床上に置かれます。またウェイトを兼ねるダイキャストブロックが車内ほぼ一杯に入っており、牽引力※増強に一役買っています。なお動輪の車軸の支持は電車のピボット式とは異なり、車軸の内側で受ける内側支持方式となっており、通電板も車軸内側をこするように当てられています。ちなみにほとんどの機関車は、ヘッドライトのみが点灯し、テールライトはダミー※とされています。

牽引力
その車輌が、どのくらいのトレーラー（被牽引車）を牽けるかの目安。当然多いほうが長編成を牽けるし、勾配区間にも強い。牽引力を増すのに効果的なのはウェイトを増やすことと、ゴムタイヤを装着することである。近年はトレーラーの走行性が改良されたこともあり、牽引力を多少犠牲にしても運転台の表現を加えたりすることが多くなった。つまり牽引力だけに関して言えば、一昔前の製品の方が強力だったことも多いのである。

ダミー
「偽の」という意味で、ここでは点灯しないライトのことを意味している。また実物では動力車なのに模型では動力なしとされている場合もダミー、もしくはT車（Tはトレーラーを示す）と呼ぶ場合がある。さらに編成の先頭部に付くカプラーを、外観重視で連結機能を持たせないような場合を、ダミーカプラーを呼ぶ。

●蒸気機関車の例（KATO・D51）



電車などと違い、モーターが片軸となっていることが目に付きます。このD51はかなり設計の古い製品ですので、モーターがキャブ内からはみ出すくらい大きいですが、近年の設計の製品では小型モーターの採用や、さらにフライホイールも搭載するなどの進化を遂げています。モーターの動力はウォームを介して第4動輪にまず伝わり、第3・第2へはスパーギアで伝動。第1動輪にはギアが掛かっておらず、サイドロッドによって伝動されています。集電を動輪だけに頼らず、テンダー台車からも行ない、ドローバー※両脇の金属線で通電していることにも注目してください。

バルブギア
蒸気のエネルギーを動輪の回転に変換する弁装置一式を示す。写真のパーツはモーションプレート、ラジアスロッド、スライドバー、クロスヘッド、メインロッド、エキセントリックロッド、リターンクランクの各パーツを組み合わせた状態である。

テンダー
炭水車。燃料となる石炭と水を積み込むための車輌である。これを持つ機関車をテンダー機と呼び、持たないものをタンク機と呼ぶ。

ドローバー
連結棒。連結器の一種だが、切り離し可能なものでなく、一体的につながった状態になるものを呼ぶ。模型では蒸機の本体（エンジンと呼ぶこともある）とテンダーを結ぶところに用いられることが多いが、電車の先頭車同士の連結部に用いられる場合もある。この場合切り離しは可能であるが、分離後の形態は実物とはかけ離れているため実際には連結したままで楽しむことが前提となる。

Q7 Nゲージの電気機関車を買ったのですが、細かな後付けパーツが沢山入っていました。不器用なので、うまく取り付けられる自信がありません。うまい方法はありませんか？

Q8 車輌の室内灯はほとんどが自分で取り付けなければならないと聞きましたが、初心者でもちゃんと出来るのでしょうか？

A7,8 Nゲージ製品の中には一部パーツがユーザー取付になっているものがありますが、正直細かいものが多くて初心者の方は難儀するでしょう。また室内灯の取付もおっしゃる通り、ユーザーが車輌を分解して取り付けなければならず、面食らう方がいるかもしれません。しかし、コツを掴んで焦らず手際良く行なえば、思ったほど難しくはないのも事実です。ここではそういった「ユーザーに委ねられた部分」のノウハウについて、懇切丁寧に解説致します。

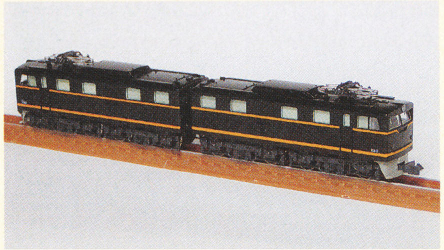
これを見れば恐れるに足らず

ユーザー取付パーツ、オプションパーツの取付方

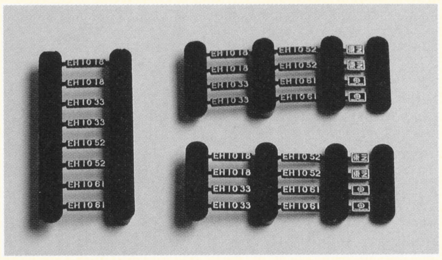
車輌付属パーツの取付　1

ナンバープレートを取り付ける

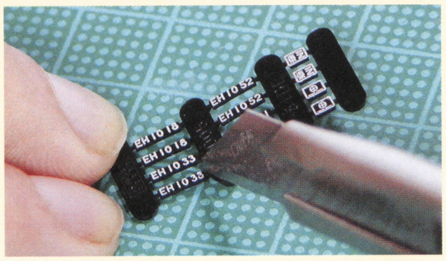
まずは「完成品の付属パーツ」をきっちり取り付ける方法を、KATOの電気機関車EH10※を題材に考えていきましょう。最初は機関車の要であるナンバープレート。かなり昔から別パーツ化がなされていた部分ですが、初心者には案外と難しいかも。でもちょっとしたコツ・段取りを覚えればけっこう楽勝のはずですよ。



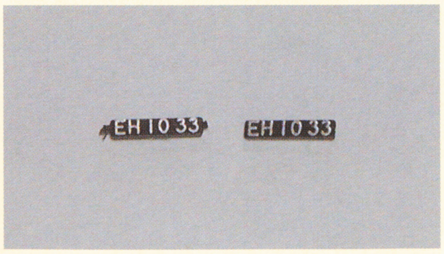
❶ 買ってきたばかりのEH10（KATO）。完成度は高いものの、ナンバーや屋上パーツがないので寂しい印象。実車で言えば「艤装(ぎそう)」前といったところでしょうか。



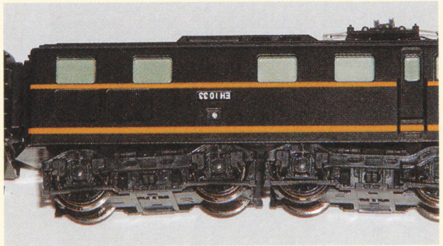
❷ 製品付属のナンバー。左が前面用、右の2枚が側面用。側面用にはメーカーズプレート※も含まれます。EH10はナンバーが6ヶ所に付くので、単純に通常の電機よりも手間がかかるのです。



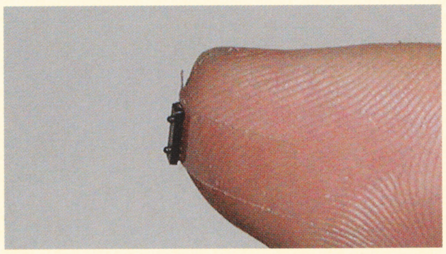
❸ よく切れるカッターを使い、ランナーからナンバーを切り出します。刃はナンバー本体から余裕を持った箇所に、表から当てましょう。裏から当てると、うっかり切りすぎてしまうことがままありますので注意。



❹ 切り出したナンバーに残ったゲート(ランナーと部品の接合部分)を、きれいに仕上げます。ヤスリだとついつい削りすぎになりがちなので、なるべく使わず、カッターで丁寧に行なった方が良いでしょう。



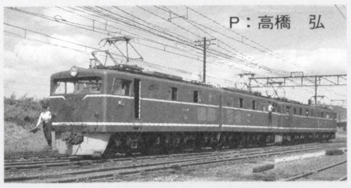
❺ 仕上げたら仮にはめてみます。もしこの時うまくはまらなかったら、まだ仕上げ不足ということです。接着の際は写真のように上下を間違えないようにしましょう(笑)。



❻ いよいよ接着剤を付けます。ナンバーは大変小さいので、指先に両面テープを貼って扱うと良いでしょう。指先に貼ったら他の指とペタペタさせ、指の脂で粘着力を弱めておきましょう。

EH10

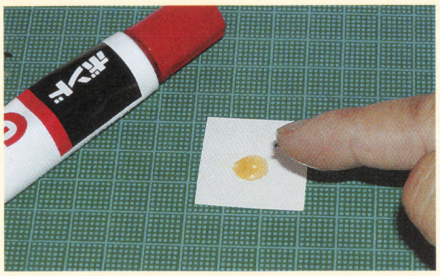
1954～57年に64輌が製造された電気機関車。当時の技術で1,200tの貨物列車を牽いて東海道本線の関ヶ原を越えるため、2車体8動軸の大型機となった（この2車体で1輌と数える）。既に現役を引退して久しいが、JR貨物の新鋭機EH500（金太郎）やEH200（ブルーサンダー）のルーツ的存在とも言える。



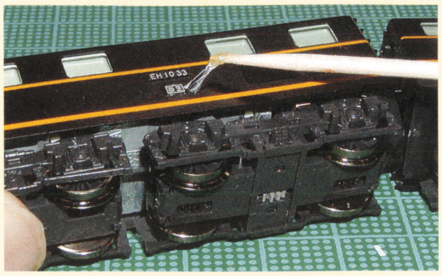
P：高橋　弘

メーカーズプレート

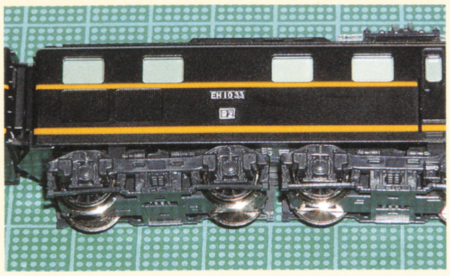
国鉄時代の機関車には、側面ナンバーの下に必ず製造会社と製造年を示すプレートが取り付けられていた。特に1950年代頃までのものは、各社とも外形や文字に意匠を凝らしたものが多く、本来の目的とは別に鉄道ファンを楽しませてくれた。



⑦ 接着剤は、はみ出しても後処理の楽なゴム系を使います※1。テープを付けた指でナンバーを拾い、あらかじめ紙などに出しておいた接着剤に持っていきます。接着剤自体は極少量付ければ十分です。



⑧ 接着剤が付いたら、指先に付けたままゆっくりと所定位置へ持っていきます。万が一接着剤がはみ出た場合は、生乾きのうちに爪楊枝（先端に接着剤をからめておく）ではみ出た部分を取っていきます※2。

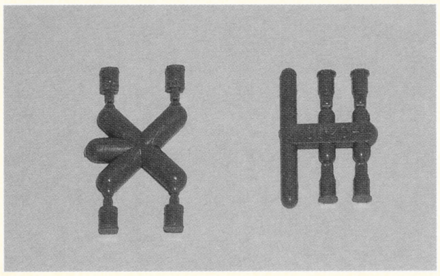


⑨ 無事、きれいに貼ることができました。お次は屋根上にまいりましょう。

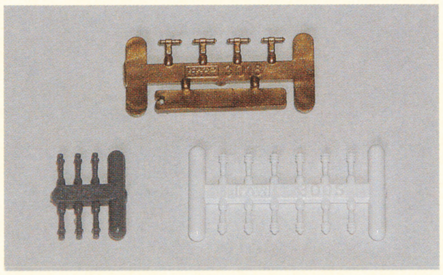
車輌付属パーツの取付 2

屋上パーツを取り付ける

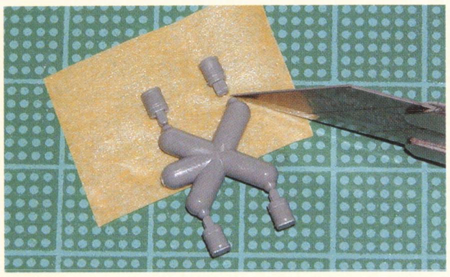
ここ数年でもはや定番となった感のある、別付けの屋上パーツ。一体成型のものに比べて非常に実感的なのですが、あまりに小さすぎることもあって、取付には結構手間がかかります。電車や気動車などの別付けパーツにも応用できますので、しっかり押さえておきましょう。



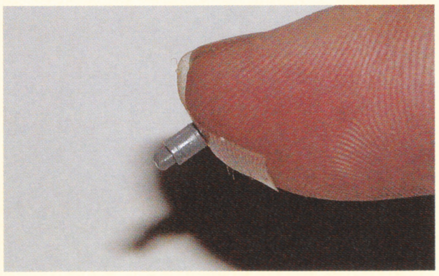
① EH10に付属する屋上パーツ。こちらは避雷器※で、新型（左）と旧型の2種類から選択することになります。特に番号との対照の資料はありませんので、お好みで選んで構わないでしょう。



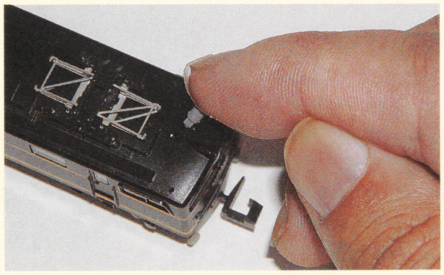
② 左から時計回りに信号炎管※、ホイッスル、そして連結部のガイシ。炎管は電機用、ホイッスルは金色で成型されていて塗装不要。ガイシはEH10のオリジナルパーツです。



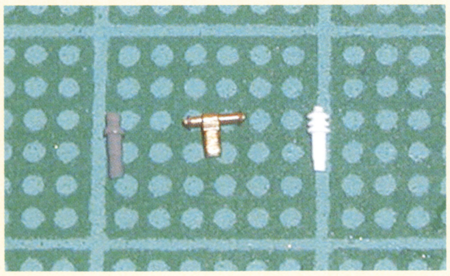
③ まずはパーツをランナーから切り出すわけですが、カッターで押し切る際にパーツが飛んで行ってしまわないよう、こうしてあらかじめテープを貼っておくと良いでしょう。



④ さて切り出した避雷器は、ナンバーと同じように両面テープ付きの指で拾って…。



⑤ 所定の穴（ここでは先頭部の中央）に押し込みます。きつめの穴にしっかりと収まるので、接着剤は不要です。



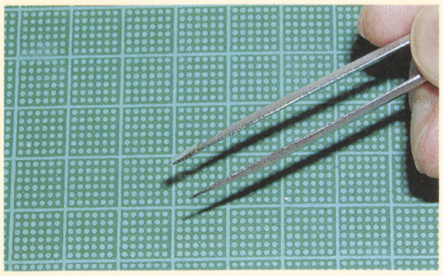
⑥ 続いてもっと細かいパーツに取りかかります。左から信号炎管・ホイッスル・ガイシ。いずれも非常に小ぶり（地のマス目は約1センチ角）で、ピンセットを使ってもなかなかしっかり掴めません。

※1 瞬間接着剤やプラ用接着剤は、はみ出した場合の修正が困難になるので使用を避けた方が無難である。

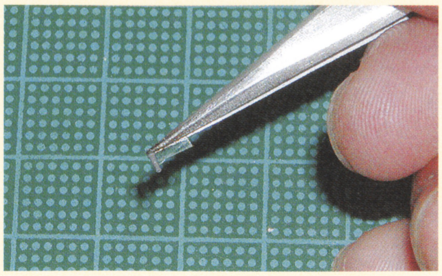
※2 この他、接着剤の代わりに極小に切った薄手の両面テープを使う方法もある（写真は説明のために裏紙が付いた状態を示す）。この場合、テープでホゾ穴を塞がないよう注意する。

避雷器
落雷などによる異常な高電圧からモーターなどの電気機器を保護するためのもので、電車や電気機関車のパンタグラフ脇に設置されている。形状は時代や鉄道会社によって様々だが、今回のEH10のように円筒形のカバーが付いたものが比較的多い。

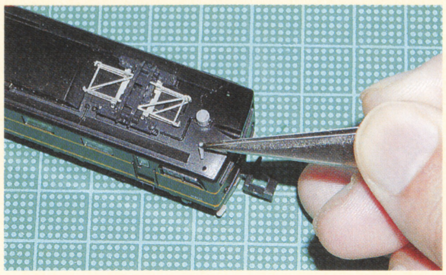
信号炎管
列車が事故などの非常事態に遭遇した時、火炎を出すことで近くを走る列車に危険を知らせる装置。JR各社や一部私鉄の車輌前頭部屋上に装備されている。



❼　そこでピンセットにもひと工夫。先端の片方にやはり両面テープを巻き付けることで、滑ることなくパーツを保持できるのです。



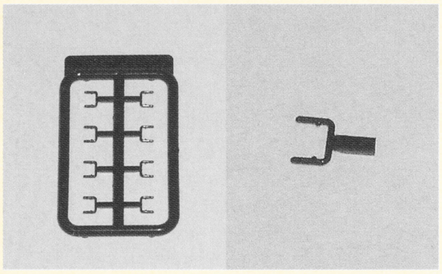
❽　ご覧のように、無事パーツをつかむことができました。



❾　そして所定の位置へ。これらも基本的に押し込むだけで接着剤は不要ですが、ガイシは少々緩かったのでゴム系接着剤を少量塗っておきました。

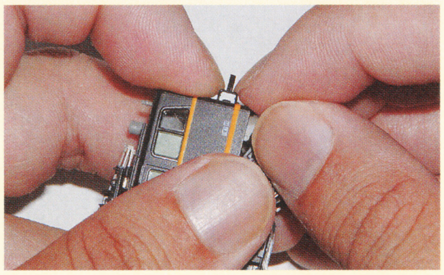
車輌付属パーツの取付　3
手スリを取り付ける

その形状から車体との一体成型が難しく、電機ディテールアップの定番メニューとなっている、前面の誘導員用手スリ。近年の新製品やリニューアル製品を中心に別パーツ化が進んでおり、これによって大きく見栄えがアップしているケースも多いようです。

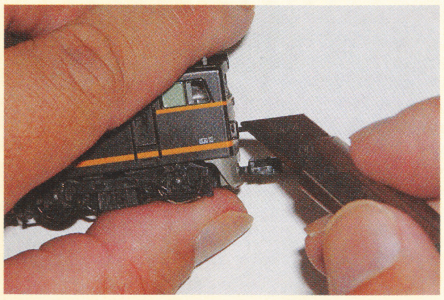


❶　EH10の手スリパーツは、使用数4本に対して倍の8本入っています※1。右がランナーから切り出した状態で、このように枝の部分は残しておいて、取付後に切ったほうが扱いやすいはずです。

❷　両面テープ付きピンセットでランナーをつかみ、正面の取付穴に持っていきます。



❸　穴に手スリ両側の足が収まったら、爪でグイッと押し込んでやります。これもかなりしっかりと収まるので、接着剤は不要です。



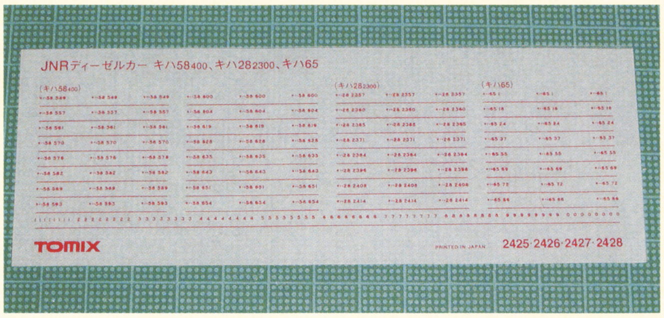
❹　最後にカッターを使い、ランナーを落としてやれば、手スリの取付もめでたく終了です。

❺　これで全てのパーツ取付が完了しました。あとは機関区に回送して、試運転とまいりましょう。

※1　こういった別付けパーツなどは分売されている場合もあるので（説明書に対応する品番が書かれていたりする）、紛失したり失敗したりして数が足りなくなった場合はメーカーや小売店に問い合わせてみると良い。

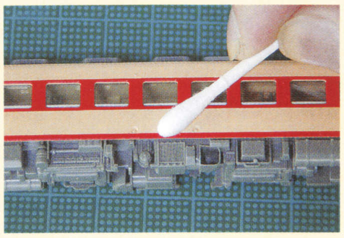
インレタを貼る

電車・気動車のナンバー、最近では印刷済ではなくインレタ※によりユーザーに好みのナンバーを選択してもらうという製品も増えてきました。しかしこのインレタというもの、ステッカーなどと違い少々貼るのにコツが必要な部分もあります。今回はTOMIXのキハ58を例に、美しいインレタ貼りを考えましょう。

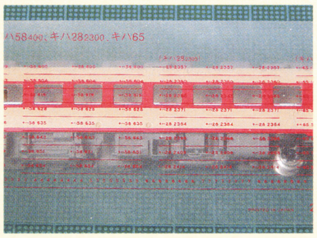


❶ 製品に付属のインレタ。赤色印刷で、キハ28·キハ65と共通のもの。余分やバラの文字も多く入っているので、並べ替えもかなり自由が利きます。

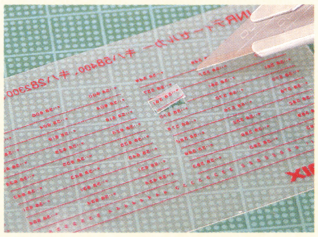
❷ インレタの貼付位置は説明書にきちんと説明されていますが、時代や配置場所によって標記の位置が変わることもよくあるもので、念のため実車の資料を見ておくと、大いに参考になります。



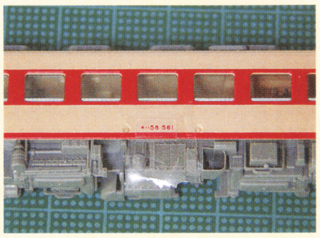
❸ インレタを車体に載せる前に、貼る部分に付いた油やホコリをきちんと拭き取っておきましょう。洗剤を付けて、とまでは言いませんが、きれいにしておかないとうまく付いてくれない場合があります。



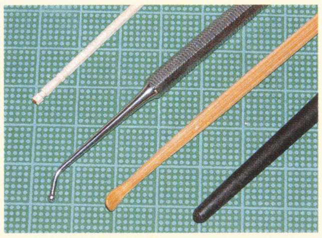
❹ さていよいよインレタを車体に載せて…というところですが、広いシートそのままで載せてしまうと、ズレたり余計なところに転写してしまったり…とかえって面倒なことになってしまいます。



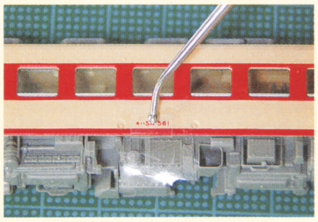
❺ ここは面倒でも、使う部分だけをカットすることにします。カットすることで、周囲に邪魔なディテールがある面でも楽に作業ができます。その際、ナンバー下のガイドラインも一緒に切ることが大事です。



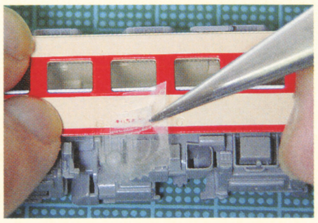
❻ 切り出したインレタを車体に置き、位置が決まったら一回り大きめのセロハンテープで仮止めします。下のラインは高さを決めるための補助にするのですが、キハ58の場合は単純に裾にラインを合わせると位置が決められます。



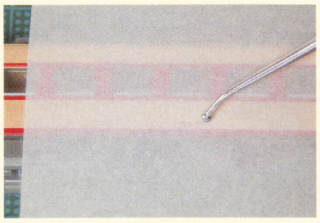
❼ インレタをこするための道具は、爪楊枝や筆の尻などでも良いのですが、専用のバーニッシャー(ミネシマ製)も使い心地が良好でオススメです。面積の広い車体帯などの転写には、竹製耳かきが便利でしょう。



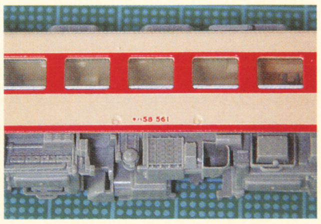
❽ いよいよ台紙の上から、インレタをこすり始めます。無理な力は入れず、気長になでるようにこすっていきます。あせって力を入れすぎると文字がズレたりつぶれたりしてしまいます。



❾ ある程度こすったら、台紙をテープごとこっそりはがして様子を見ます。まだ転写できていない部分があったら、そのままそっと台紙を戻して再びこすっていきます。



❿ 台紙をはがしたら、転写できたナンバーの上にインレタの裏紙を載せ、その上からさらにこすることで仕上げの圧着を行ないます。このときもあくまでゆっくり優しく。



⓫ 無事、美しく転写できました。ホッとする一瞬です。

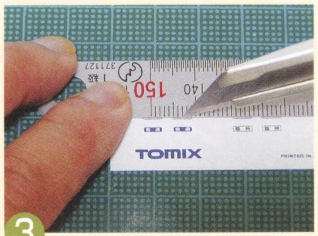
インレタ
　インスタントレタリングの略で、元々は印刷用の版下作成等のデザイン用品として使われていたもの。厚めの透明フィルムの裏側に文字等と糊が印刷されており、表面からこすることにより転写して使用する。

ステッカーを貼る

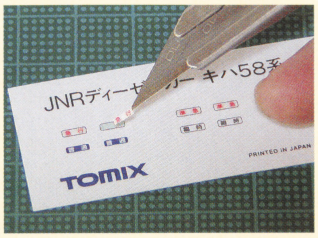
方向幕やサボなどのステッカー、つまりシールは、古来より手軽に車輌をドレスアップするための付属品として、製品に付属してきました。さまざまな別売りのステッカーも各社から発売されています。ただ、切って貼るだけ…と思っていると、案外汚い仕上がりになってしまいますので、やはり丁寧な作業を心がけたいものです。

❶ TOMIXキハ58系※の前面方向幕（中央部窓上の部分）。ヘッドライトと共に光るようになっています。ここに付属の種別表示ステッカーを貼ってみましょう。

❷ 製品に付属のステッカー。定番の「急行」「普通」から「修学旅行」まで入っており、国鉄時代の方向幕をカバーできます。



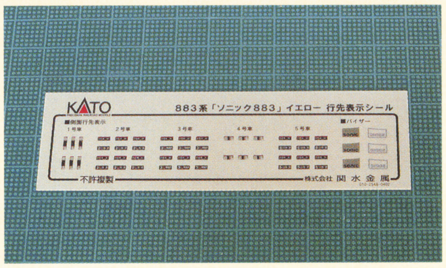
❸ 金属製の定規を当て、ワク線の内側にカッターを入れていきます。プラや木の定規だと、誤って定規を切り込んだり、刃先を滑らせてシールや指に傷を付けてしまいがちなので、なるべく金属製を用います。



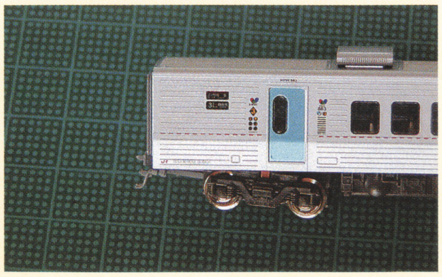
❹ 四辺が切れたら、カッターの刃先ですくい上げます。わざわざピンセットを使うと丸まったり先にまとわりついたりと厄介なので、これが一番手軽で確実なのです。

❺ 刃先に乗せたステッカーを、そのまま所定の位置に持っていきます。腕に覚えのある方は、あらかじめ方向幕部分を白く塗っておくと、より美しく仕上がるでしょう。

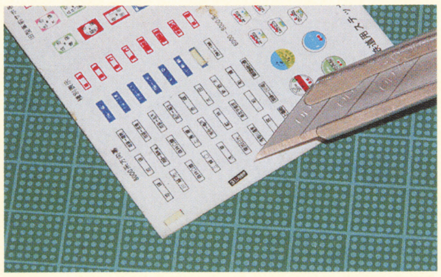
❻ 刃先を離し、指で圧着させて完成となります。



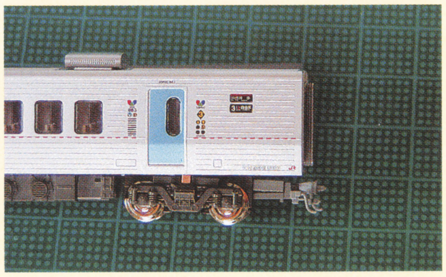
❼ TOMIX製品の次に、KATO製品のステッカーも見てみましょう。例はJR九州883系ソニック※です。



❽ KATO製品のステッカーの中には、半透明のフィルムに印刷されているものがあり、そのままガラスの方向幕部に貼ると、このようにいささか暗く見えてしまいます。



❾ そこで一旦、他のステッカー（作例はグリーンマックス製のもの）の白地部分に貼ってから切り出して貼ると…。



❿ このように、ちゃんと文字が白く発色して見やすくなります。なお、室内灯を入れて方向幕も光らせたいという場合はもちろんやってはいけません（室内灯の光が透過しなくなります）。

キハ58系
国鉄時代に1,800輌以上が製造された急行型気動車（ディーゼルカー）。北海道から九州まで全国各地で活躍、現在でも僅かに現役車が存在している。NゲージではKATOとTOMIXから発売されており、オリジナルの国鉄色のみならずJR化後の様々な塗色・仕様も数多く製品化された。

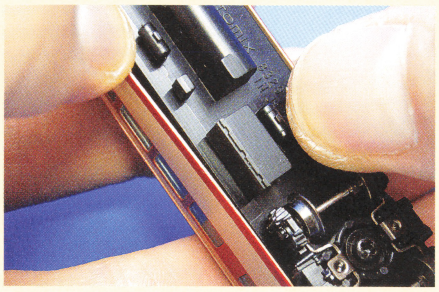
P：高橋 脩

JR九州883系ソニック
1994年に登場した特急型電車で、ユニークな内外装とカーブを高速で通過できる振子機能が特徴。日豊本線の〈ソニック〉を中心に活躍している。

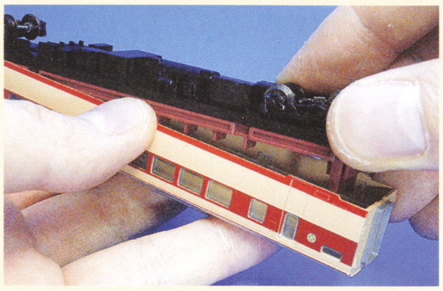
P：RM

車輛を分解する

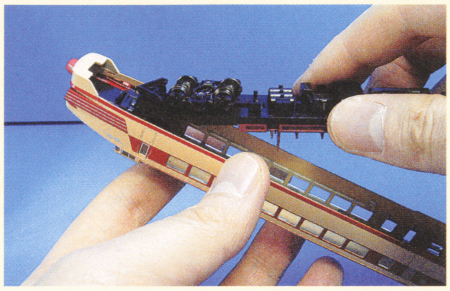
リアルな形態の各種カプラーや室内灯など、各メーカーから発売されているオプションパーツや他社メーカー部品の取付などのため避けては通れなくなるのが「車輛の分解」という作業※1。ここでは最もオーソドックスな構造のTOMIX・KATO製品を例に、そのノウハウをご紹介しましょう。



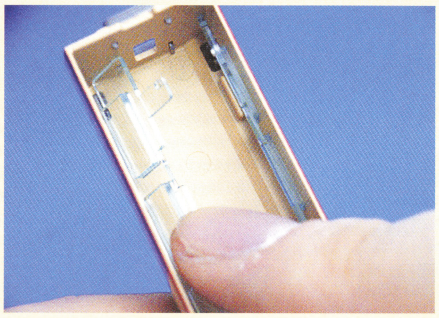
1 まず車輛を引っくり返して、指の腹の部分で車体の裾を広げます。この時、爪を立ててしまうと車体を傷付けてしまうので注意しましょう。



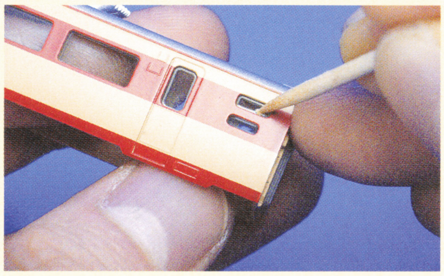
2 床板の固定が外れたらゆっくりと下廻りを持ち上げます。



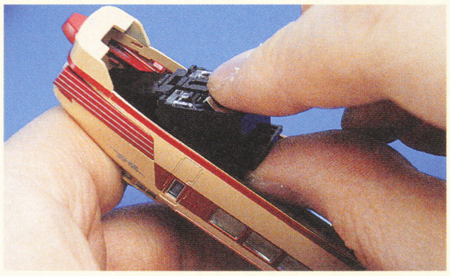
3 続いて車体から下廻りを引き抜きます。ライトが点灯する先頭車の場合は、床板に固定されている導光材を破損しないよう後方へ引くように抜き取るといいでしょう。



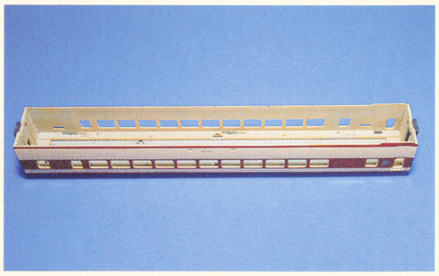
4 窓ガラスは内側に傾けながら引き抜くようにするとスムーズに外すことができます。



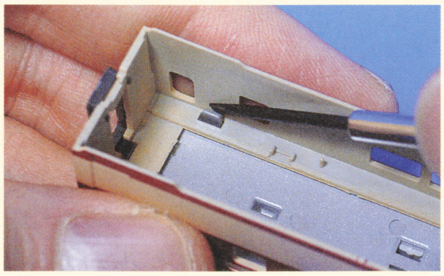
5 側面の行先表示窓などが干渉して外しにくい場合は、同時にツマヨウジなどでその部分を押すようにして抜けるようにします。ガラス表面やHゴム・サッシのディテール表現を傷つけないように注意。



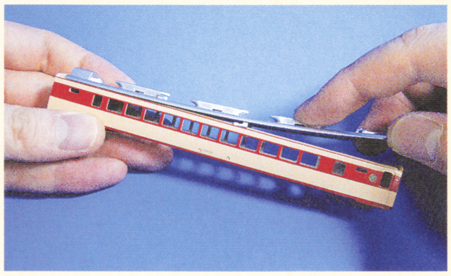
6 先頭車ではガラスより先にライトユニットを抜き取る必要がある場合があります。大事なのは車輛の構造を把握しながら作業することです。



7 続いて屋根を外します。KATO製品の場合やや独特な構造をしており、片側3箇所ずつの爪で固定されていて、うち2つ(写真左端と真ん中)はカギ状となっています※2，3。



8 前の写真で右端にあったストレートな形状の爪から先に外します。車種によってはこの爪が大きいために固くて外し難い場合もありますが、爪の大きさに合わせたドライバーを選ぶことで爪の破損を防げます。



9 前記の爪を外したら屋根全体をスライドします。天井の長穴からカギ状の爪を抜き取って分解は完了です。

※1 TOMIX・KATOなどの製品では室内灯組込などのために分解方法を説明書で解説している場合もあるので、作業の前に目を通しておくこと。

※2 TOMIXなどでは複数の同じ形状の固定爪で車体と屋根を固定しており、これをマイナスドライバーなどで端から1つずつ外していく。この爪を破損すると屋根が浮いてしまって元通りに組み立てられない場合があるので要注意。

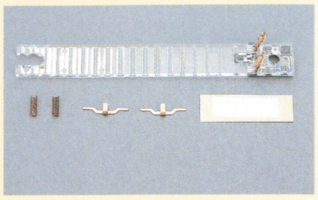
※3 KATOの製品のうち、一部古い設計の車輛では、以下の方法で屋根板から先に外す必要がある。最初に雑巾を絞るような感じで車体全体を軽くねじる。すると車端部の車体と屋根板の間にスキマができる(左写真)。

そのスキマに爪を差し込んで固定ピンを1つずつ外していく(右写真)。その後、車体と床下を固定ピンをドライバーで押し外して分解完了だが、特に屋根板の縁を爪で傷つけやすく、初心者の方は無理に分解しない方が良い。

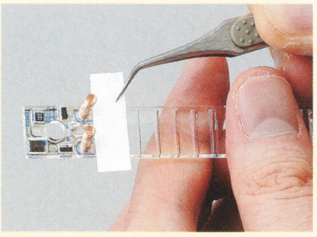
室内灯を組み込む TOMIX編

車輌製品のオプションパーツとして代表的存在と言えるのが室内灯。近年では消費電力が小さく、蛍光灯に近い光色の白色LEDを用いたタイプも人気です。ここではそんな室内灯を確実に組み込む方法を、まずはTOMIX製品からご紹介することにしましょう。

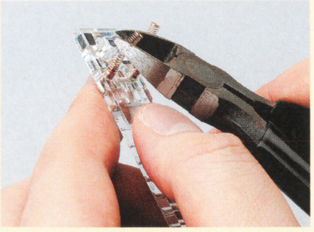
幅広タイプ



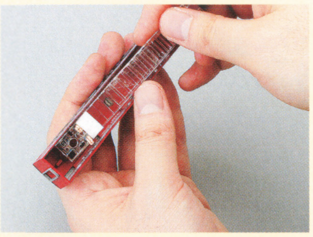
① まずは2種類あるTOMIX室内灯のうち、幅広タイプの組込方法をご覧ください。写真は室内照明ユニットC（品番0785：白色タイプ）の1輌分のパーツです。



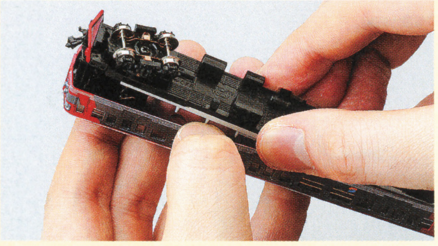
② 付属の遮光シールを室内灯ユニットの光源部分に貼り付けます。この作業は光源付近の光量を抑えて室内の光量を均等にするために必要なので忘れずに。



③ 動力車に組み込む白色室内灯の集電スプリングは写真のようにニッパー等で切断して短くします。なお、電球タイプの場合はあらかじめスプリングを短くした動力車用（品番0752・0782）が用意されているのでこの作業は不要です。

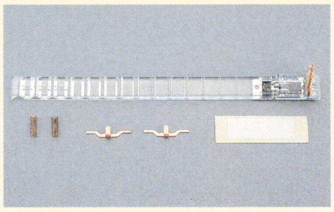


④ 室内灯ユニットを車輌の天井へセットします。スプリング脇の穴に車体天井の突起を差し込むようにすれば自動的に位置が決まります。この時両面テープで固定すると後の組立作業が楽になる場合もあります。

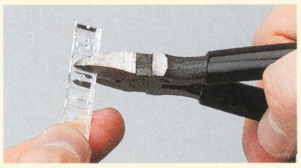


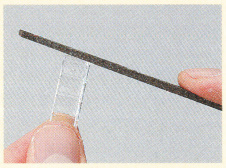
⑤ 床板の集電用の穴にスプリングを通しながら元通りに組み立てて完了です。試しにレールの上に乗せてみてスプリングの弾力で車体が浮き上がるような場合は、再分解してスプリングの長さを調整すると良いでしょう。

ロングタイプ



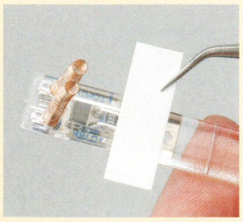
① 続いて同じくTOMIXの「ロングタイプ」と呼ばれる室内灯です。写真の室内照明ユニットLC（品番0786：白色タイプ）を例にご覧いただきましょう。



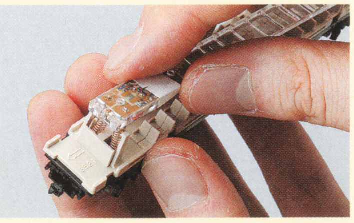


② 車輌・室内灯それぞれに付属する説明書を参考に、車輌に合わせて室内灯の長さを調整します。まずニッパーで切断して（写真左）、後の作業を安全に進められるよう切断面をヤスリで滑らかに削ります（写真右）。

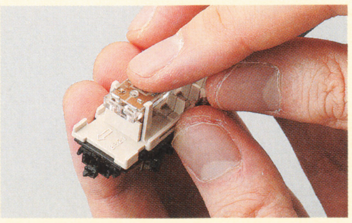
上記の幅広タイプと同様、動力車へ組み込む白色室内灯のスプリングは短くします。こちらも電球タイプはスプリングの短い品番0756・0784が用意されているのでこの作業は不要となります。



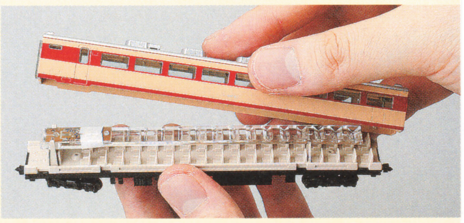
③ 続いて光源部分に遮光シールを貼り付けます。



④ ロングタイプでは床板側に室内灯ユニットをセットします。まず床板の室内灯台座部分に設けられている集電用の穴へスプリングを差し込みます。左右の爪にスプリングを引っ掛けて曲げてしまわないよう慎重に。



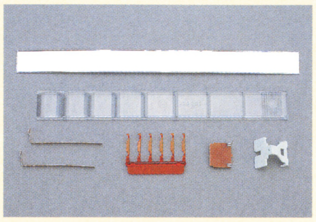
⑤ スプリングが正しく穴に入ったらパチンと室内灯ユニットを床板側に固定します。床板側の爪がユニット上面を正しくロックしていないと、干渉して車体が元通りに組み立てられなくなるので確認しましょう。



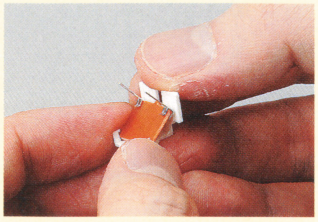
⑥ 室内灯のセットが終わったら元通りに組み立てます。室内灯ユニットのスプリング反対側が左右にズレないよう裏返さずに作業します。

室内灯を組み込む KATO編

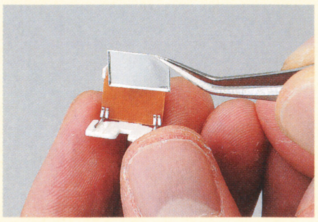
KATOの室内灯はTOMIXのようなタイプの違いはありませんが、一部の車輌（285系「サンライズエクスプレス」やE26系「カシオペア」）では専用のパーツが用意されています。ここでは標準的なものについてのみ解説しますが、上記のような専用パーツも基本は同様ですので、ここで取付法をマスターすれば十分対応可能です。



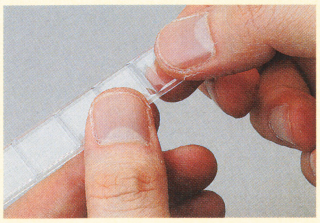
❶ 写真はKATO白色室内灯ユニット（品番11-209）の1輌分のパーツ状態。オレンジ色の部品は白熱灯の照明色を再現するためのフィルタ。電球タイプの新室内灯ユニット（11-204）も同様の手順です。



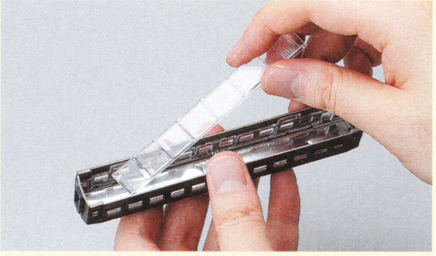
❷ 白色タイプではユニット自体の組立作業が必要です。ライト基板に白いカバーを組み合わせます。この際に集電端子がカバーに刻まれた溝にきちんとハマるようにします。電球タイプでは組立済なのでこの作業は不要です。



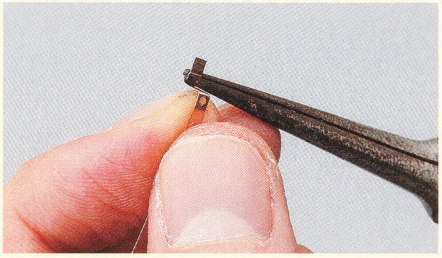
❸ 組立の終わったライトユニットに遮光用のアルミシール（室内灯に付属のものを約6mmに切断したもの）を基盤の裏側に貼ります。ショートを避けるため集電端子にアルミシールが触れないよう注意。



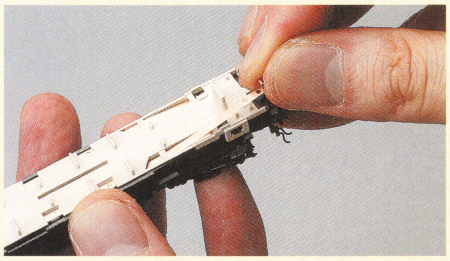
❹ 車輌によってはライトユニット等と干渉しないように導光材を短くする必要があります。KATO室内灯の場合はパキンと折るだけで長さ調整が可能。TOMIXと同様に切断面をヤスリで処理するとなお良いでしょう。



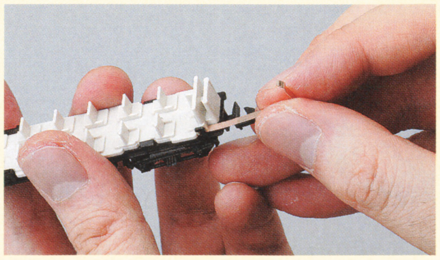
❺ 導光材を車輌にセットします。まず車体の天井に付属のアルミシールを貼り付け、導光材を窓ガラス部品や屋根板に設けられた爪に掛けて固定します。



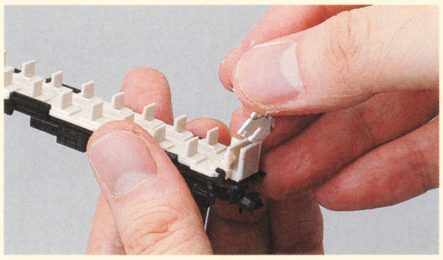
❻ 動力車の場合は付属のL字型集電シューの短い方の一辺を説明書に従って折り曲げます。



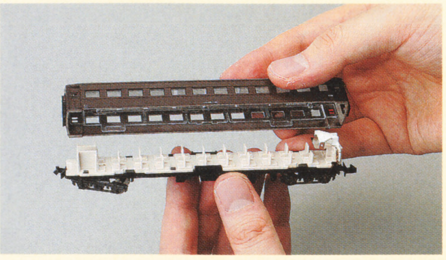
❼ 端を折り曲げた集電シューを動力ユニットの所定の溝に差し込みます。この時必ず動力ユニット側の集電板に接触するように。そして集電シューの穴に動力ユニット上面のピンがはまるようにスライドさせて固定します。



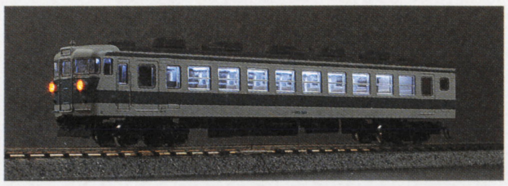
❽ トレーラーでは車端部の室内灯取付台座両脇のスキマに集電シューを差し込み、奥まで押し込みます。



❾ 床板の台座に室内灯ユニットを差し込みます。ユニットの集電端子と台座の間に集電シューを挟み込んでキチンと接触するように気を付けましょう。



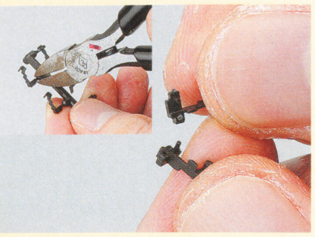
❿ 最後に作業を終えた車体と下廻りを元通りに組み立てれば室内灯の組込完了です。



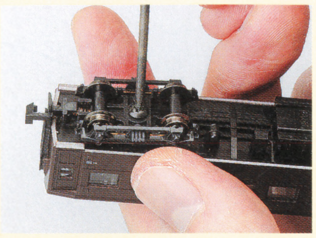
◀室内灯の組込が完了したクハ153（KATO製品）。魅力的な夜景走行が楽しめるだろう。

KATOカプラーに交換する

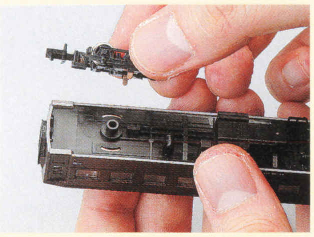
リアルな形状と連結面間隔の狭さ等で人気のKATOカプラーは、本格的に普及した交換用カプラーの元祖とも言うべき存在。ジャンパ管※を再現したタイプも発売され、他社製品とはまた一味違うシルエットを楽しむことができる点も魅力です。ここではアーノルトカプラーを装備する車輌にKATOカプラーを取り付ける過程をご覧下さい。



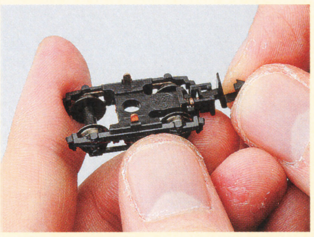
❶ まずはKATOカプラー本体を組み立てるところから。ニッパーでランナーから部品を切り出し（左上）、切り出した2つの部品を説明書に従って組み合わせます。接着剤などは不要です。



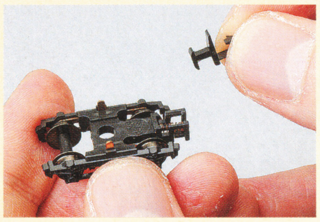
❷ 続いてカプラーを交換する台車を車輌から外します。まず車輌を裏返して台車を止めているネジをプラスドライバーで外します。



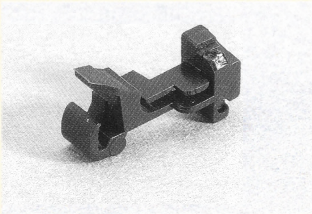
❸ そして台車を真っ直ぐ持ち上げればOKです※1。



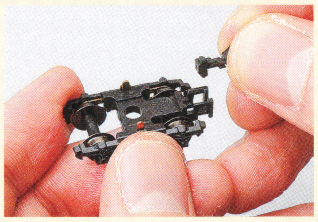
❹ 不要となるアーノルトカプラーを台車から外します。まずカプラーを90°回転させた後…。



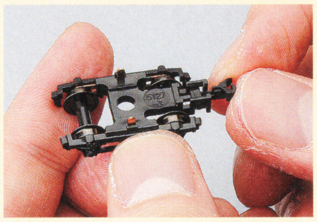
❺ カプラーポケット上面の隙間から真っ直ぐ引き抜けば簡単に外すことができます。そしてスプリングも不要ですので外してしまいます。



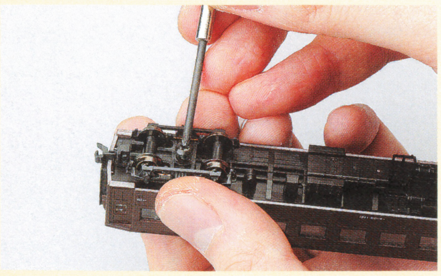
❻ いよいよ組み立てたKATOカプラーを台車に組み込みます。KATOカプラーNの場合は写真の向きに立てた状態で…。



❼ カプラーポケット上面の隙間から真っ直ぐ差し込みます。



❽ 奥まで入ったら時計回りに90°回転してしまえば組込完了。形状の異なるKATOカプラー密連型でも組込の手順は全く同じです。



❾ 台車を元通りに付け直せば作業は完了です。

❿ こちらはアーノルトカプラーでの連結面を真横から見た様子。こうして見ると連結面間隔の広さや連結器本体の大きさが意外に目立つのがわかります。

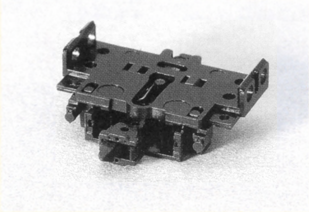
⓫ 続いてKATOカプラーNへ交換した後の状態。連結面間隔が狭まり、カプラーの大きさも実物に近づいたことで外観はかなり向上しています。カプラーの連結部分にも十分遊びがあるので従来通りカーブも通過できます。

ジャンパ管
車輌の連結面にぶら下がっている、列車のブレーキや制御回路等を引き通すためのもの。一部のKATOカプラーでは、カプラー両脇に2本ずつヒゲ状のモールドを施し、連結時に双方が重なることで繋がっているように見せるという巧みな構造でこれを表現している。

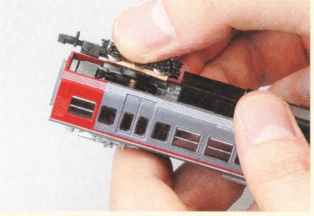
※1 ネジではなくスナップ式のセンターピンで止められている一部の古い製品の台車については、台車の両側面を持って横にひねるようにすれば外すことができる。近年のスナップピン式（床下側からピンが延びているタイプ）の製品は、台車をゆっくりと90°回転させて外す。

TNカプラーを取り付ける

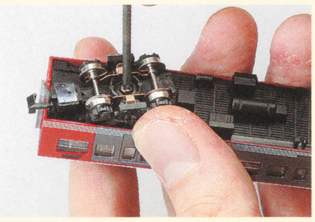
実物の連結器を模した精密な構造、そしてボディマウント式※では直線では実物同様の連結面間隔を保ちつつ、伸縮機構でカーブ通過にも対応するTOMIXのTNカプラーは他社製品でも採用される※1ほどの人気パーツ。ここではボディマウント式のものを題材として、その取り付け方法をご紹介します。



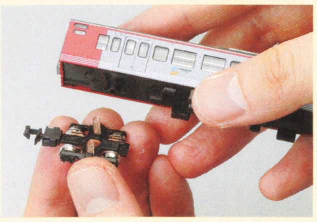
❶ 写真はボディマウント式密連型TNカプラーの電連なし・黒色（品番0334）。他にも連結器形状や色（黒・グレー）のバリエーションが用意されているので、説明書などを参考に車輌に合わせたものを用意しましょう。



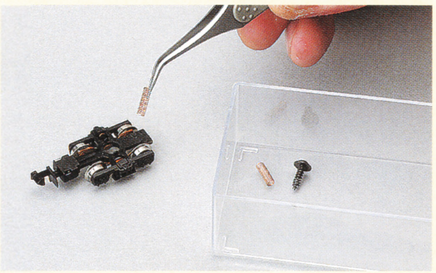
❷ KATOカプラーと同様、TNカプラーの取付にも台車を外す必要があります。動力車の場合は台車の両側面を掴んで片側を持ち上げるようにして取り外します。スプリングを曲げてしまわないように注意。



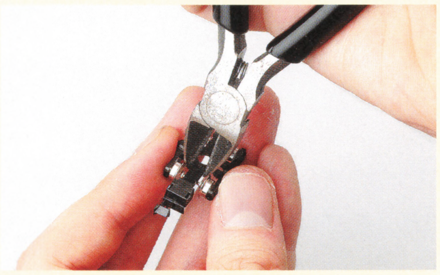
❸ TNカプラーに対応する製品の多くはトレーラー台車がネジ止め式です。まず車体を裏返してプラスドライバーで台車を止めているネジを外します。



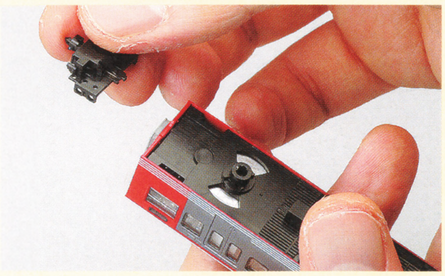
❹ 次に車輌の向きを元に戻して、車体を上に持ち上げて台車を分離します。こうすることで台車に付いている集電用スプリングの紛失を避けることができるわけです。



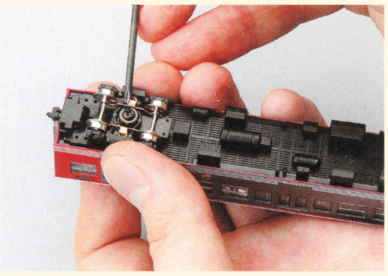
❺ この作業に限ったことではありませんが、ネジやスプリングなどの取り外した小さな部品を車輌ケースの蓋などに入れるようにする習慣を身につけておけば、紛失のリスクをさらに下げることができます。



❻ 台車についている元のカプラーポケットは不要になるのでニッパーなどで切断します。ただし、他社製品ではカプラーポケットが着脱可能な構造になっている場合もあるので、切断前に確認しておきましょう。



❼ TNカプラー本体を取り付けます。車体を再度裏返し、車端部にTNカプラー取付用の切り欠き・突起があることを確認してからパチンとはめ込みます。この際に接着剤やテープなどは一切不要です。



❽ カプラーポケットを切断した台車にスプリングを元通りセットし直して、分解時と逆の手順で車輌に付け直します。

❾ アーノルトカプラーの連結面を真横から。連結面の広さなどは前述のKATOの場合とほぼ同様です。

❿ こちらはTNカプラー取付後の連結面の様子。貫通幌同士が接触する寸前まで連結面間隔は近づきます。そしてカーブでは伸縮することで車体同士が干渉することなく通過することができるわけです。

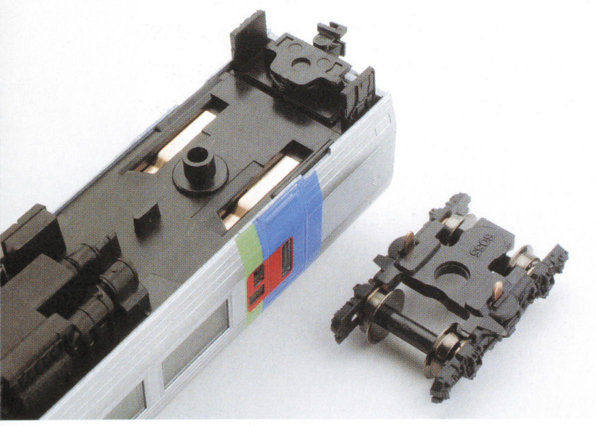
ボディマウント
元来Nゲージでは、カーブ通過等に有利なよう、カプラーを台車枠に装着した「台車マウント」式が一般的だったが、近年では構造を工夫することによって、実物同様車体側にカプラーを装着した「ボディマウント（または車体マウント）」式が増えつつある。この頁でいうと、9コマ目の製品状態が台車マウント、10コマ目のTNカプラー交換後がボディマウントとなる。

※1 MODEMO製品のうち、小型車輌の一部にはTNカプラーが採用されている。また、グリーンマックス製品にも、TNカプラー取付済もしくは取付対応としたものが存在する。もちろんこれらは、TOMIXからOEM供給もしくはライセンス使用していることは言うまでもない。

Q9 Nゲージでは、885系〈かもめ〉みたいな振子車輌が実物と同じように車体を傾けて走るって本当？

A9 はい、本当です。日本のメーカーではKATOが、実物の振子車輌※と同じようにカーブで車体を内側に傾ける「振り子機構」を開発して、885系〈かもめ〉やE351系〈スーパーあずさ〉などに搭載しています。また、振子車輌ではありませんがN700系新幹線も同様の機構で車体傾斜システムの動きを再現しています。

▲R282のカーブを、車体を傾けて走行するKATOのキハ283系〈スーパーおおぞら〉。



▲振り子機構の様子。バネを兼ねる床板側の通電板に段差を設けて車体を傾けるという仕組み。

Q10 鉄道模型の雑誌を見ていると、たまに「ハメ込み窓」って表現を見かけますが、これってどういうコト？

A10 「ハメ込み窓」とは窓ガラスを表現する透明パーツを、窓となる車体の開口部にハメ込む表現方法を指す言葉です。

実物の車体と窓ガラスの段差はほんの数mm程度で、これを1:150スケールの縮尺にするとほとんど段差がないに等しいですが、プラスティック製Nゲージの車体の厚さは1mm近くであり、実物の大きさにすれば15cmに相当し、奥からガラスを当てるだけでは奥まりすぎてしまいます。そこで窓ガラスを開口部の内側にハメ込むようにすれば、段差を上手に隠しながら、実車のようにガラスが車体とツライチに仕上がるわけです。

Q11 同じく鉄道模型の雑誌で見かけた言葉ですが、「Hゴム」って何ですか？

A11 Hゴムとは、実物の車輌などで窓ガラスを車体や扉に固定するのに用いられているひも状のゴムのことです。名前の由来は、その断面形状がアルファベットの「H」のような形をしているため。

これがNゲージで注目されるのは、実物の世界のHゴムは時代や車輌の形式、鉄道会社などによって白っぽいグレーや黒、金属に置き換えられた場合は銀色というような色の違いが比較的よく見られる部品で、模型にしたときにも意外と目立つからです。

Nゲージではこの Hゴムが車体ではなく窓ガラス側に表現されることが多いため、メーカーや加工派Nゲージャーにとって色の変更が容易であり、時代設定などを特定する記号としてこの部分の色を変更するという手法が頻繁に採られることから、ユーザーの目が向き易くなっているのです。

▲Hゴムの一例。この写真で言えばドアと洗面所窓の周囲に表現されたグレーの線がHゴムである。

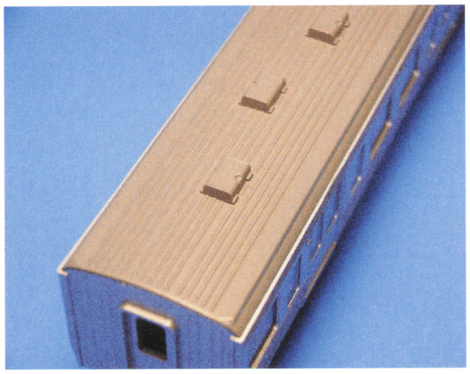
Q12 新製品紹介の記事を読むと「○○を別パーツ化で再現」という表現を見るのですが、それってどういうメリットがあるのですか？

A12 電車などの屋上のベンチレーター※を例に挙げて考えてみましょう。

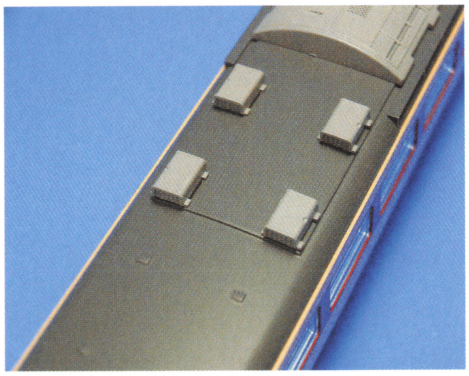
あるメーカーではベンチレーターを金型の彫刻によって表現し、屋根本体の一体の部品として製作しています。これは「別パーツ化」の反対語として「一体成型」という言葉で表されます。この方法は部品点数や塗装工程を減らすことで製造コストを抑える、つまり製品の価格を安く抑えられるというメリットがあります。

しかしながら、一体成型による表現では成型した部品が金型から抜けなくなるような形状にすることができません。ベンチレーターの例で言えば、吸気口の窪みや逆テーパー※を一体成型で表現することは難しく、この部分がのっぺらぼうになってしまうのです。模型にリアルさを求めるユーザーの中には、この辺に満足できないと考える方もいるのです。

ベンチレーターを屋根本体と別々の金型で製造、つまり「別パーツ化」するようにすると、この窪み・逆テーパーを表現することが可能になり、実物により近い外観が得られるというわけです。また、パーツを組み替えることによりバリエーション違いを作ることが簡単になるという点もこの「別パーツ化」のメリットと言えるでしょう。



▲TOMIXの211系旧製品。ベンチレーターが屋根と一体成型のため断面がのっぺらぼうになっている。



▲TOMIXの485系。別パーツのベンチレーターには吸気口のルーバーまでキチンと表現されている。

振子式車輌

振子式車輌とは、カーブを高速で走行するために車体をカーブ内側に傾ける「振子式」という機構を搭載した車輌。営業用としては中央西線の特急〈しなの〉に投入された国鉄381系が日本初の振子式車輌で、現在ではJR各社や智頭急行などで様々な種類の振子式車輌が活躍している。

カーブを走行するときにかかる遠心力を、車体を傾けることで緩和して乗り心地や走行性能への影響を抑えるという考え方。遠心力はカーブの半径が小さいほど、速度が大きいほど強くなるので、小さなカーブを沢山抱える路線のスピードアップに特に有効な技術となる。また、最近では「振子式」というシステムを使わず、台車の空気バネの圧力を制御して車体を傾けるタイプの車輌も登場。代表的なのが昨年営業運転を開始したN700系新幹線である。

ベンチレーター

車内に車外の空気を取り入れて換気を行なうための、主に屋上に付いている部品。実物の車輌では使用条件等に合わせて形状が変わったり、増設・撤去が行なわれるので、車輌の個性を左右するポイントの一つとなる。

逆テーパー

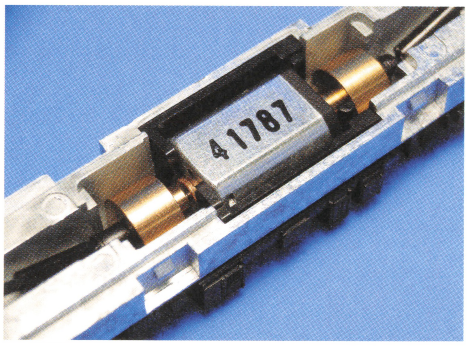
テーパーとは先細りになる形状を指す言葉。模型では型から成型物を抜き取り易くするため、円柱や直方体状のモールドにわずかなテーパーをつけている（抜き勾配とも言う）。逆に型から抜きにくい先太りの形状を逆テーパーと呼ぶ。

Q13 最近の製品でよく使われているという「フライホイール」って一体何のことですか？

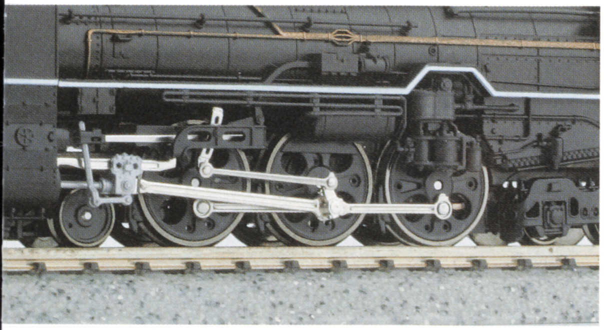
A13 フライホイールとははずみ車とも呼ばれる、動力ユニットのモーターに接続される金属製の円筒状の部品のことです。モーターの回転に適度な惰性を与えることを目的に取り付けられており、多少の集電不良の状態でも車輌を滑らかに走行させることができます。

フライホイールは高い精度で中心出しをする必要があり小型化の難しい部品でした。Nゲージには1990年代から機関車製品を中心に本格的な普及が始まり、21世紀に入ってからようやく電車・気動車の動力ユニットにも用いられるようになりました。

また、滑らかな走行を実現できるのと表裏の関係になるのですが、急に止めたり減速したりするのがやや難しくなります。特に外国型車輌やフライホイール導入初期の機関車製品ではフライホイールの効果が強めに設定されている傾向があるので、追突や障害物には注意が必要です。


▲中央のモーターの両脇に付いている2つの真鍮製の円筒状の部品がフライホイール。

Q14 蒸気機関車を買おうと思っているのですが、車輪に付いてる棒は動きますか？


▲細密さが魅力のNゲージの中でも、特に見所の一つとも言えるのが蒸気機関車のロッドの動き。

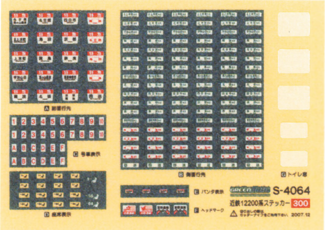
A14 もちろん動きます。この棒はロッドと言って、実物ではボイラーで作られた圧縮蒸気の力を動輪に伝える部分で、Nゲージでもその動きがリアルに再現されています。この部分は非常に繊細なので、極力手で触れないように注意しましょう。万が一、曲がってしまったりピンが抜けてしまったりすると、よほど馴れた方でないと元通りに走れるように修理することは難しい箇所なのです。なお50頁からの記事も合わせてご参照ください。

Q15 車輌セットを買ったらステッカーとかインレタとかデカールとか、一見するとシールみたいなものが沢山付いてきたのですが、みんな違うものなんですか？

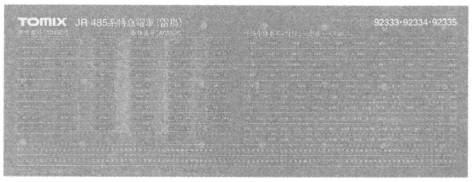
A15 確かに知らないとみんな同じように見えてしまうかもしれませんが、それぞれ使い方に違いがあるので順にご説明しましょう。

ステッカーというのは、一般的にシールと呼ばれているものと同じで、Nゲージでは行先表示やトレインマークを印刷したフィルムまたは紙の裏面に粘着材が付いていて、適宜カッターナイフなどで切り出して貼るようになっています。58頁で貼り方を解説しています。

インレタというのはインスタントレタリングの略で、文字や模様が印刷された透明フィルム。Nゲージでは車番やロゴマークなどに用いられることが多く、使用したい文字・模様を選んで上からこすりつけることで模型に転写して使います。使いたい文字を1つずつ選べる便利さの反面、まっすぐ並べて転写するのがやや難しい面もあります。最近の車輌セットに付属するものでは、1箇所分全ての文字が印刷された透明ベースを転写する方式のインレタも増えており、以前よりも簡単に美しく貼れるようになっています。こちらも57頁で貼り方を解説しています。



◀グリーンマックスの近鉄スナックカーに付属するステッカー。希望の行先等を切り出して貼る。



▲TOMIXの485系〈雷鳥〉に付属のインレタ。透明ベース付きの車番は初心者でも綺麗に貼れる。

最近の製品にはあまり付属しませんが、デカールは極薄のフィルムの上に文字や模様、ラインなどを印刷したシールの一種。ステッカーと違うのは台紙ごと水に漬けて、濡れた状態にして台紙からずらして模型に貼るという使い方をする点です。非常に薄いので曲面上でもある程度馴染むのがデカールの利点ですが、ものによっては経年変化でフィルムの余白部分が茶色く変色する場合があるので、保管の際は紫外線が当たらないようにするなど、多少気を遣う必要があります。

Q16 この前買った車輌に付属ステッカーを貼ろうとしたけど、自分の好きな行先が入っていませんでした。何か代わりになるようなものってありませんか？

A16 メーカー純正品にない行先表示やトレインマークを表現したNゲージ用ステッカーを販売しているメーカーがあるので、その中から自分の車輌に適合する製品を探して貼るのが確実な方法です。また、KATOのASSYパーツやGMキットの分売ステッカーで代用する手もありますが、同じ形式の車輌であっても、メーカーによって行先表示窓の寸法が異なっている場合もあります。事前に使わないステッカーを実験台にして寸法のアタリを取るなどの確認をしたほうが美しく貼ることができるでしょう。

◀その一例であるPENGUIN MODEL製ステッカー。臨時列車などマイナーな表示も網羅している。

Q17 Nゲージのスタートセットを買って毎日走らせていたのですが、最近動きがぎこちなくなったり、ライトがチラつくようになってきました。車輪を見てみると、なにやら黒い汚れが付着しています。元のスムーズな走行状態には戻らないのでしょうか？

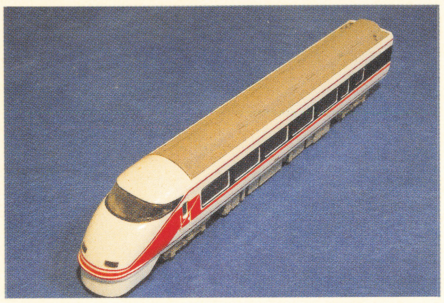
A17 42頁からの「レールクリーニング編」でも述べましたが、Nゲージ鉄道模型はレールから車輪に通電させて走行やライト類の点灯を行なっているため、レールとともに「動的接点」である車輪の劣化は避けられません。しかし、定期的に適切なメンテナンスを行なえば、安定した走行や点灯を維持することは十分に可能です。ここではその基本的な方法を見てみましょう。

快調走行は足元から…

車輌のクリーニングとメンテナンス

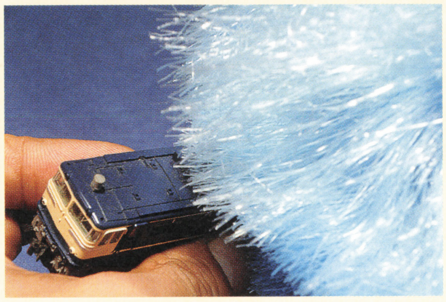
車体の清掃

車輪のクリーニングの解説に入る前に、ここで簡単に汚れの付いた車体の清掃方法についておさらいしておきましょう。近年ではOA用品を中心に様々なツールが販売されており、これらを使った車体のクリーニングを試してみることにします。



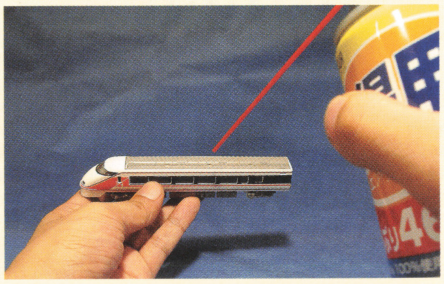
❶ ケースにしまわずに数ヶ月放置した車輌。屋根上を中心に、触るのがためらわれるほどホコリが積もっています。車輌を裸で置いておくと、日本の気候風土では室内でも多かれ少なかれ避け難い現象と思われます。

❷ まずはパソコンショップのサプライ用品売り場でよく見かけるナイロン製のブラシを使ってみましょう。静電気除去効果を謳っているものは、ホコリの再付着防止が期待できます。

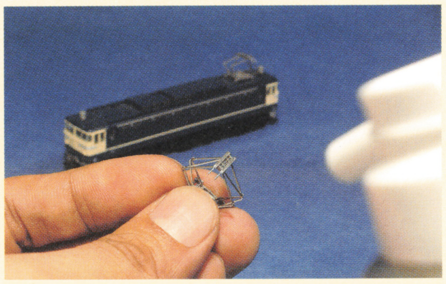


❸ 車体に付いたホコリは、これで大まかに除去することが出来ます。パンタグラフ等、引っ掛かり易いものは写真のように、あらかじめ取り外してからブラシを掛けたほうが良いでしょう。

❹ モールドの隅部など、ブラシでは除去しきれないホコリは、同じくパソコンショップで売られているエアスプレーを使用します。



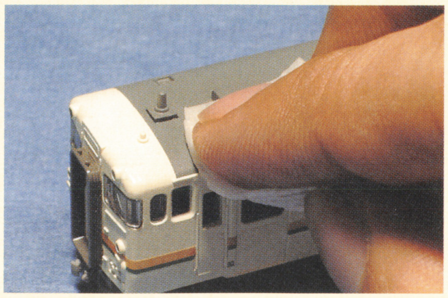
❺ 付属している細いストロー状のノズルを装着することによって、ピンポイントでホコリを吹き飛ばすことが出来ます。



❻ 先程取り外しておいたパンタグラフにも一吹き。

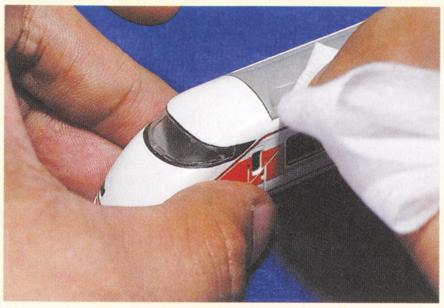
⑦ それでも除去しきれないホコリや汚れはティッシュペーパー等で拭き取ることになりますが、ここで紹介するのは日本製紙クレシアから販売されている「キムワイプ※」。

⑧ 一見すると普通のチリ紙のようですが、繊維クズが非常に出にくいという優れた特徴があります。車体のクリーニング以外にも、例えばエアブラシの清掃等、模型工作用にも広く使えます。

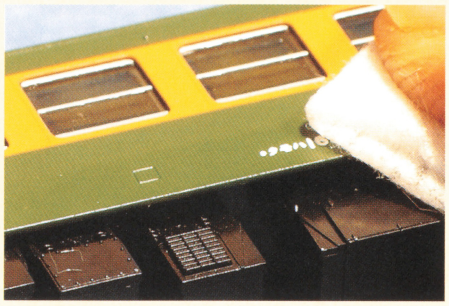


⑨ 乾拭きはもちろん、水で薄めた中性洗剤等を含ませて使用することも可能です。

⑩ コンビニ等で売られているウエットティッシュですが、最近では除菌作用を謳ったアルコール成分含有のものもあります。



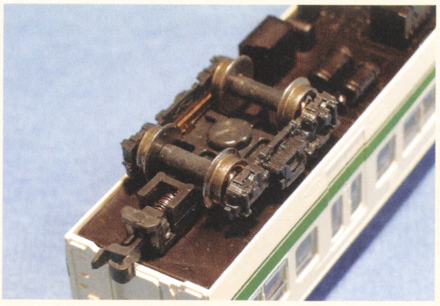
⑪ 車体の塗装や印刷を傷めるということもなく、汚れが落ちるようです。



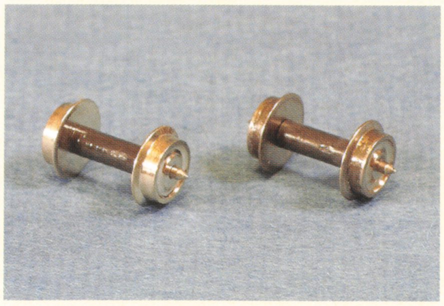
⑫ 試しに、市販の完成品に付属のインレタを転写した上から強く拭いてみたのですが、全く異状ありませんでした。とはいえ、シール類の貼付け箇所とともに慎重を期するに越したことはないでしょう。

車輪の清掃

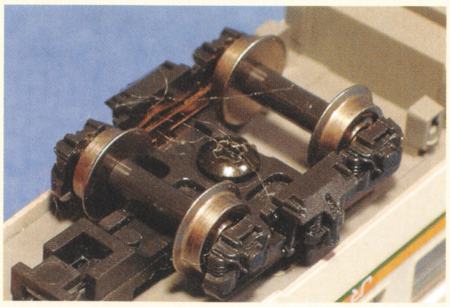
ここからは、いよいよ本題である車輪のクリーニングについて説明していきましょう。なにしろ車輪というのは数が多いものですので、なるべく簡単で効率的な方法を考えたいものです。



① これは黒染め車輪※ではありません（笑）。車輪とレールの間に起こるスパークが原因で、このように空気中のホコリ等が炭化した黒い汚れが付着するのです。



② 新品状態の車輪（左）との比較。この黒い汚れは絶縁物質であるため、車輌の走行やライトの点灯に影響を及ぼします。

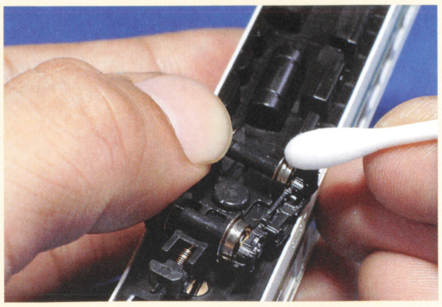


③ また、毛足の長い絨毯の上でお座敷運転をしていると、車輪や駆動部に細かい糸クズ等がからまったりすることがあります。これも車輌の安定した走行を妨げる原因になります。

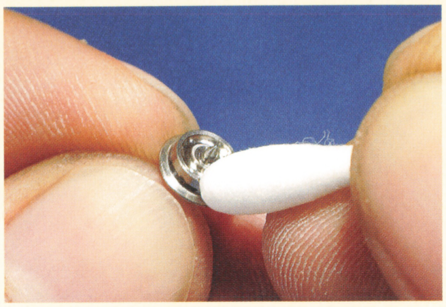
キムワイプ
理工学系の実験・実務現場で広く使用されているペーパーウェスで、病院を舞台にしたTVドラマ（手術室のシーンなど）で小道具としてさりげなく映っていたりもする。商品の性質上、スーパーやコンビニではまず売っていないが、最近ではネット通販でも扱っており、入手し易くなった。

黒染め車輪
Nゲージの車輪には従来銀色のニッケルメッキが施されていたが、最近の製品では下廻りがリアルに見える黒色メッキとしたものも多く見られる。これらは黒染め車輪、または黒色車輪と呼んで区別されている。

4　レールクリーニング同様、やはりメインに使用するのはメーカーの専用クリーニング液。TOMIX製品(左)は商品名が「レールクリーナー」ですが、もちろん車輪その他のクリーニングにも使用出来ます。

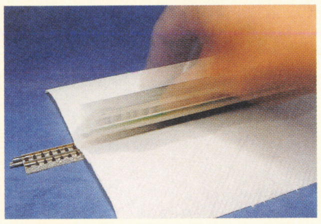


5　クリーニング液を綿棒に含ませ、車輪の踏面※中心に擦るようにして汚れを除去。これが最も一般的な方法でしょうか。

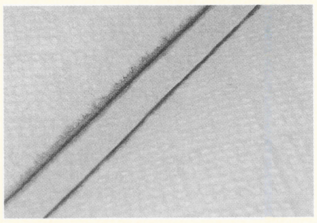


6　汚れが酷い場合は、台車から車輪を外してクリーニング。フランジ※部分が指に食い込んで少々痛いですが(笑)。

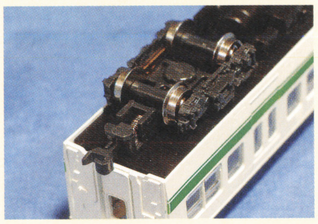
7　車輪を一つずつ磨くのは結構な手間なので、より効率的な方法を考えてみましょう。まず、レール上にキッチンペーパー等を敷き、クリーニング液を振りかけます。



8　レール越しに車輌を載せ、強く押し付けながら前後に動かします。



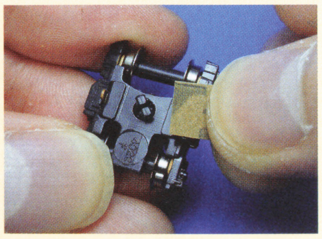
9　かなりワイルドなやり方のように見えますが、実はこれが効果てきめん。使用後のキッチンペーパーにはご覧の通り真っ黒な轍が。



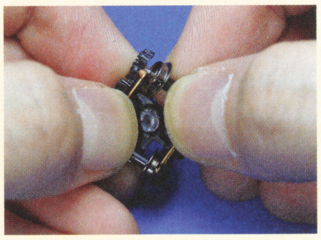
10　そして真っ黒だった車輪はこんなにピカピカになってしまいました。こと車輪のクリーニングに関しては、この方法が最も効率的ではないかと思います。

集電板の清掃

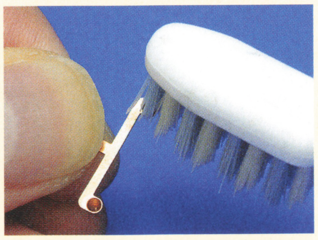
車軸と台車枠の間に挟まっている集電板。動力車以外でも、ヘッドライト・テールライトや室内灯を点灯させるための重要なパーツです。これも汚れているとチラつきの原因となりますので、車輪のついでに点検清掃しておきましょう。



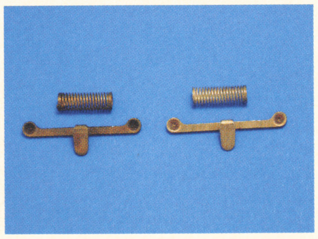
1　台車の上部に出ている集電板を1000番程度の耐水ペーパー(紙ヤスリ)で金属光沢が出てくるまで磨いてみましょう。症状が軽ければ、これだけでも治ります。



2　これでチラつきが治らない場合は、少し徹底した手入れが必要。まず、台車枠を拡げて車輪、集電板の順に取り外します。TOMIX・マイクロエース製品の場合は、先に集電用スプリングを外した方が良いでしょう。



3　車輪の軸端から集電する方式の台車では、ピボットの軸受けにゴミが溜まり易く、集電の妨げになる場合があります。古歯ブラシ等を用いて取り除いてやると良いでしょう。



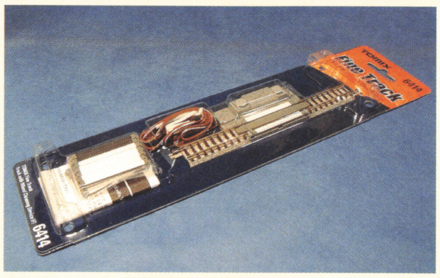
4　酸化がひどい場合や、TOMIX・マイクロエースなど磨きにくいスプリングを使っている場合は、市販の酸性タイプ洗剤を10倍程度に薄めたものに数分漬け込みます。水洗いと乾燥は十分に行なって下さい。

踏面
車輪のレールと接触する面のこと。車輪の汚れは当然この踏面部分に集中するし、逆に言えばクリーニングも踏面を重点的に行なえば良いわけである。

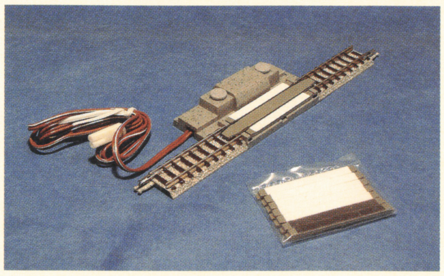
フランジ
鉄道用語としては車輪のツバ状の部分を指す。

市販のクリーニング用品を使ってみよう

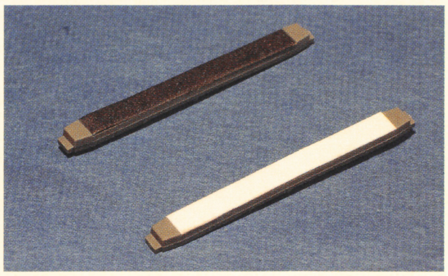
前頁までの記事はあくまで動力を持たないトレーラーの車輪クリーニングを中心に解説したもので、ギアが噛み合っているため通電しない状態では車輪が回転しない動力車においては、そのままでは応用出来ない部分が多々あります。ここでは、動力車の車輪も通電しながらクリーニング可能なTOMIX「マルチ車輪クリーニングレール」を使ったクリーニングを実践してみましょう。



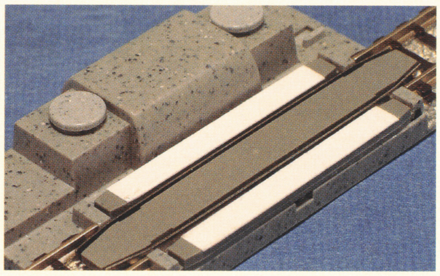
❶ この製品はTOMIXが展開するレールシステム「ファイントラック」にラインナップされており、吊り下げ式のブリスターパックで販売されています。



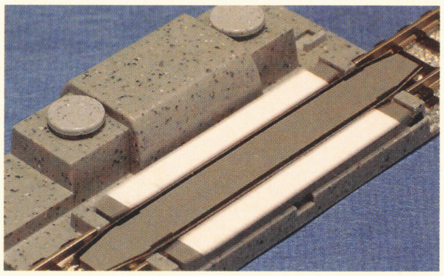
❷ 製品内容。本体から伸びるコネクターの使い方については後述します。



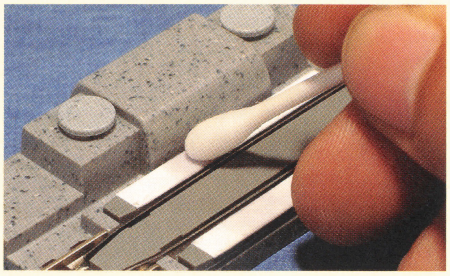
❸ 付属のクリーニングヘッドのうち、黒い方がヤスリタイプの乾式、白い方がペーパータイプの湿式。製品状態では湿式のものがセットされています。



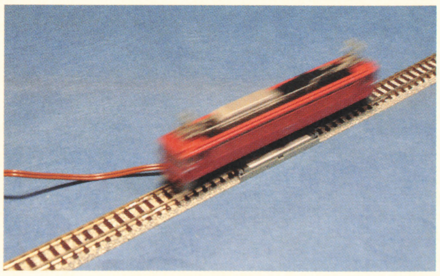
❹ 接続した他のレールから通電させると…。



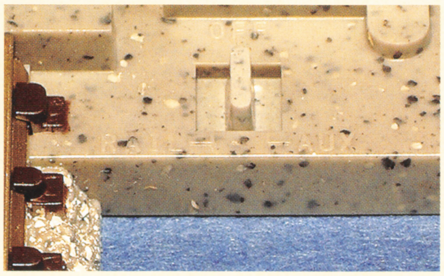
❺ クリーニングヘッドが枕木方向に微振動します。



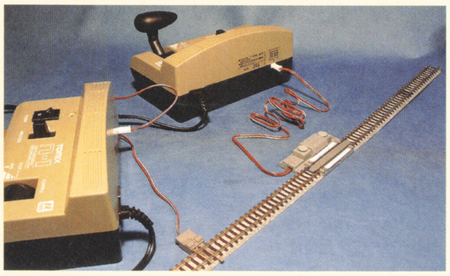
❻ 湿式タイプの場合はクリーニングヘッドに、前頁でご紹介したレールクリーナーを染み込ませておきます。



❼ レールに通電することによってクリーニングヘッドも連動するので、走行しながらの清掃が行なえるわけです。



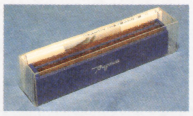
❽ 本体には給電方法を選択するスイッチがあり、前述の使用法の場合は「RAIL」の刻印がある左側に、後述の使用法の場合は「AUX」の刻印がある右側に切り替えます。



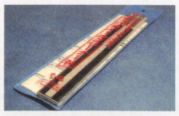
❾ パワーパックをもう1台用意して本体からのコネクターに繋げば、車輌と「マルチ車輪クリーニング」を個別に制御する（例えば車輌をスローで走行させながらクリーニングヘッドを強く作動させる）ことも可能です。

TOMIX以外にも、動力車の車輪クリーニングに好適なアイテムが各社から発売されている。何れも通電させた清掃面上で、動力車を空転させることによってクリーニングが行なえるタイプである。

◀津川洋行「ソフト君」。清掃面は導電性のある金属を織り込んだ柔らかい布状。通電はワニ口クリップをレールにくわえさせることによって確保する。



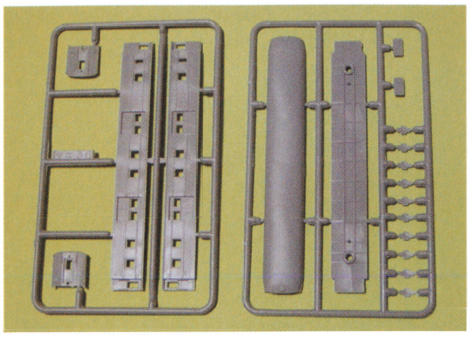
◀同じく津川洋行の「ホイルクリーナースーパー」。清掃面は無数の真鍮線がワイヤーブラシ状に植えられており、よりハードな研磨を行なうためのツールという位置付けになる。



◀マッハ模型から発売されている「マッハホイールクリーナーN」。「ソフト君」と比較的近い構造だが、こちらはクリーニング液の併用を前提とした「湿式」であるのが大きな特徴。

キット編

Q1 模型屋さんの一角にプラモデルのようになった電車が売っていたのですが、あれもNゲージですか？



▲グリーンマックス製マニ36形客車キット1輌分の車体ランナー。この他に床下機器や窓ガラスも付属する。

A1 これはグリーンマックス等が発売しているプラ製の車輌キットで、もちろん立派なNゲージです。パーツがプラモデルのようにランナー※に付いているため、「板状キット」とも呼ばれています。プラスティック製キットにはこの板状キットと一体成型キットの2種類があります。

板状キットは車体を構成する面がバラバラのパーツになっており、まずこれを接着して組み立てることから始めなければなりません。初心者には少し難しいかもしれませんが、プラモデルの工作経験があればさほど苦労せずに作れるでしょう。以前はパーツも未塗装なのが普通で、これも初心者にとって敷居の高い要素でしたが、最近では塗装済の製品も増えてきました。

一体成型キットは文字通り車体が完成品のように最初から箱状になっているもので、こちらは製品状態で塗装済が一般的です（グリーンマックスのショップブランドであるクロスポイント製品などでは未塗装の製品もあります）。キット製作において大きなウェイトを占める車体の組立が（場合によっては塗装工程も）不要なので、初心者にとっては数あるキットの中で最も入り易い存在でしょう。72頁からは塗装済一体キットの製作法を解説していますので、是非ご覧下さい。

Q2 わざわざ自分で組み立てるなんて面倒くさいように思うのですが、何故完成品ではなくてキットで発売されているのでしょうか？

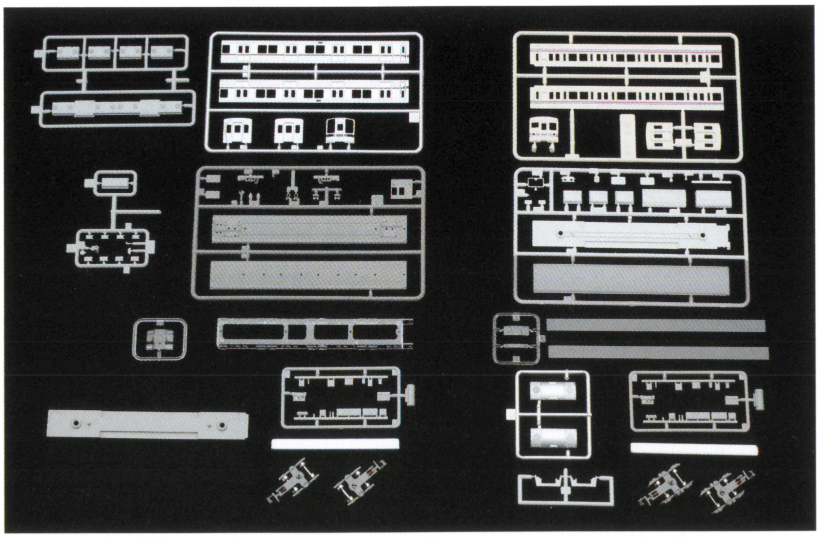
A2 今でこそ結構なマイナー車種でも完成品がメーカーからリリースされるようになりましたが、30年ほども前はNゲージの車種は極めて少ないものでした。そういう時代において車輌キットは、ユーザー、メーカー双方にとって大量生産ではペイしにくい＝完成品の発売が期待できない車種を実現するために恰好の存在であり手段だったのです。現在でも、同車種の完成品が存在していても純粋に工作を楽しむ目的でキットを組んだり、極くマイナーな車輌をモノにするためガレージキット※を完成させる「モデラー」も大勢おり、Nゲージの楽しみ方として一つのジャンルを築いています。

Q3 模型店であるキットを見つけ、欲しい車種だったので買おうとしたのですが、店の人に「これはレジン製で初心者にはちょっと難しいよ」と言われました。レジン※製キットとはどのようなものでしょうか？

A3 レジン製キットとは、プラキットのような金属製の金型ではなくて特殊なゴムの金型にレジン樹脂を流し込んで作られたキットのことです。型取りが手作業なので大量生産に向かない反面、型自体は安く作れるので、マイナー車種を少量生産するのに向いていますが、販売価格はコストが反映するため少々高めとなります。

キット形態としてはプラスティックの一体成型キットに近いものですが、塗料の食いつきが悪いため独特の下地処理もユーザーが行なわなければならず、また台車やモノによっては窓ガラス等のパーツも別に調達する必要があるため、未塗装プラキットである程度の経験を積んだ方向けと言えるでしょう。車種によってはメーカーが塗装済完成品を出している場合もあるので、初心者はこれを購入するという選択肢もあります。

▲塗装済板状キット（グリーンマックス製東武10030系）の作例。簡単な工作で完成品にないアイテムをモノにできる。



◀塗装済板状キット1輌分のセット内容（左：グリーンマックス製東武10030系、右：同社製京王6000系）。

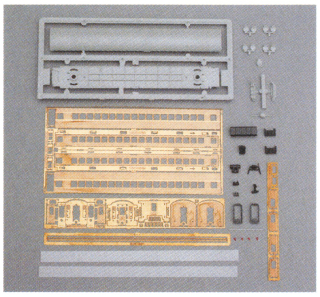
ランナー
金型によるプラの射出成型時に、液状の樹脂の通り道となった部分。同時にパーツの保持・保護の役も果たしている。パーツ切り離し後は不要となる部分だが、ライターの火で軽くあぶって引き伸ばすと、ディテールアップなどに便利な細いプラ線を得ることもできる（ランナー引き伸ばし線と言う）。

ガレージキット
語源としては、アマチュアが自宅ガレージで製作したような、マスプロ製品よりも一段と小規模な生産体制で作り上げたキットのこと。現代ではアマチュアというよりは、プロの小規模メーカーが製作するものを指すことが多い。Nゲージの世界ではその多くはエッチング技法（※）による真鍮製である。

エッチング
金属を腐食液で腐食させて部分的に凹ませたり穴を開けたりして、あるパターンを表現する技法。写真技術の応用であらかじめ金属板にマスキングをしておき、そのマスクがない部分が腐食される、という原理。

レジン
鉄道模型で使われるレジンとは、通常無発泡性ポリウレタン樹脂を指す。色はクリーム色やグレーが多く、触ったり加工したりする際の感触は普通のプラに近い。ただしプラ用接着剤は効かず、瞬間接着剤をメインで用いる。

Q4 模型店の店頭で金属製と思われるキットが置かれているのをよく目にします。私の好きな蒸気機関車もあるので作ってみたいのですが、細かいパーツが多くて手に負えなさそうです。何か良い方法はないでしょうか？



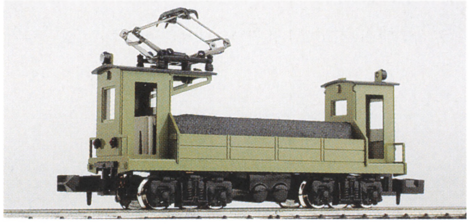
◀キングスホビー製スハフ43 10番代キット1輌分の部品。車体は真鍮製、屋根・床板等はプラ製となる。

A4 金属製キットは主に真鍮素材をエッチングやプレス※によって成型したもので、おおまかに言って板状のものと側板と屋根が一体でなおかつ折り曲げ済のものがあります。板状キットの場合、前面や屋根等を他のプラ製品から流用する「コンバージョンキット」と呼ばれるものもあります。レジンキットと同様比較的マイナー車種の製品化が多いのですが、金属キット特有のジャンルとして、ワールド工芸等から蒸気機関車が多数リリースされています。

組立方についてですが、メーカーによって瞬間接着剤で組むことを前提にしたものとハンダ付け※で組むことを前提にしたものがあり注意を要します。後者はハンダ付けによる組立をマスターしていなければ作るのはちょっと難しいでしょう。但し、紙数の関係でノウハウをご紹介できないのが残念ですが、ハンダ付けというのは一度覚えてしまえば思ったより簡単な技法で、接着剤で組むよりも楽な場合もあります。

このように、概して上級者向けを意識した製品の多い金属キットなのですが、アルナインから「とても簡単な」シリーズという、文字通りとても簡単に組み立てられるフリーランスの車体キットが発売されています。興味のある方は、まずここからチャレンジしてみると良いでしょう。

最後になってしまいましたが、お尋ねの蒸気機関車キットについてお答えしましょう。金属キットの中でも難しい部類に入りますので、正直初心者がイキナリ組むのは無理があるかも知れません。他の金属キットでレベルアップしてから挑戦するか、メーカーから並行して発売される完成品を（手作りの少量生産なので少々値が張りますが）購入した方が良いかと思います。



▲アルナイン製「とても簡単なデト」の完成作例。金属キットの入門用に好適なアイテムで、動力はKATOのBトレ用が使用できる。

Q5 車輌キットを完成品のように走行させたり、ヘッドライトや室内灯を点灯させることは可能でしょうか。

A5 キットといえどもNゲージの一部ですから、機関車に牽かせる客車・貨車は別として、一部の小型車輌を除くほとんどの場合、動力を組み込んで走らせることが可能です。

ただし、動力化への対応はキットによって様々なのも事実です。塗装済一体キットの場合は動力ユニットを含めて完成させるための全ての要素が同梱されていますし、その他のキットでもメーカー純正もしくは他社製の動力を指定している場合が多いようです。しかし、一部の金属キット等では市販の動力ユニットを改造する必要があったり、中には動力装置の組立自体をユーザーに委ねているものも存在します。概ね、動力化への障壁はそのキット自体の難易度と比例していると考えて良いでしょう。

なお、近年ではトミーテックの「鉄道コレクション」用動力という入手しやすいアイテムの出現により、金属キットでもこれの使用を前提としたものも現れるなど、Nゲージキットの動力事情も徐々にお手軽化へと向かっているのは歓迎すべきところです。

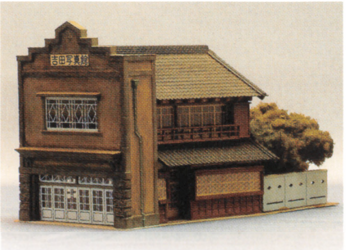
ライト類の点灯化ですが、残念ながらほとんどのキットではこの点について考慮されておらず、工作派による各自工夫の領域となっているのが実情です。ただし、グリーンマックスの塗装済一体キットのうち近年発売されたもの（103系、201系、東急1000系）については専用のライトユニットが別売りで用意されており、室内灯もTOMIX製品を使用可能と、同社完成品に準拠した構造になっています。

Q6 車輌以外のNゲージキットにはどんなものがありますか？

A6 代表的なものはやはり、駅舎やプラットホーム、民家や鉄橋といったストラクチャーのキットでしょう。車輌キットメーカーの代表的存在であるグリーンマックスからは、小は保線詰所から大は木造校舎まで多種多様に及ぶストラクチャーが発売されています。自分で組立や塗装、あるいは改造することによって、レイアウトに完成品のストラクチャーだけでは出せないオリジナリティを演出する（誰のレイアウトも駅前商店街が同じ、という事態を回避する）ことのできる頼もしい存在といえるでしょう。最近では完成品ストラクチャーの充実で以前ほどの存在感はありませんが、グリーンマックスでは新たなコンセプトによるストラクチャーのシリーズを企画中とのことで、製品化が待たれます。

この他、キブリやヘルヤンといった海外製品のストラクチャーも多数輸入されており、中には日本の洋風建築や近代建築として使えるものもあるので、自分のレイアウトのイメージに合うものを探してみると良いでしょう。

裏技として、航空機やミリタリー系のプラモデルにはNゲージに近い1／144スケールのものもあるので、これらを流用する手もあります。プラモデル屋さんに行く機会があったら、箱のスケール表記に注目してみましょう。



◀グリーンマックス製ストラクチャーキット（「看板建築」の商店）の作例。塗装や加工でオリジナリティを出せるのが魅力。

プレス
金属に高い圧力で型を押し付け、その型の通りに変形加工させる技法。型の製作に費用がかかるため、あまり少量の生産の場合は用いられない。ただしNゲージの場合は板厚が薄いため人力による「手曲げプレス」が行なわれる場合もあり、この場合は少量でも対応できることになる。

ハンダ付け
ハンダとは鉛とスズの合金で、高温で溶けた状態のハンダは多くの金属同士を接着させる物性があることを用いた技法。簡単に言うと、電気ヒーターを持つハンダコテのコテ先にハンダを乗せておき、あらかじめ接合させておいた金属部品の接合部に当ててハンダを流すと、瞬時に結合する。この時、フラックスという薬品をあらかじめ塗布しておくことが必要である。

Q7 市販キットの中でも、「初めてでも絶対に完成させることができる」キットってありますか？

A7 完成品では味わえない、「自分だけのモデル」を楽しむことができるのがキットの醍醐味。初心者の方に向いているのは、ボディが一体成型で、かつ塗装済のタイプのキットでしょう。お題はグリーンマックスのJR西日本201系体質改善車※の4輌編成トータルセット。完成品モデルに限りなく近い構成で非常に組み易く、オプションでヘッドライトやテールライトが点灯可能なのも嬉しいところ。ここでは一般的なノウハウと共に本キット特有の注意点も含めて解説してみることにします。

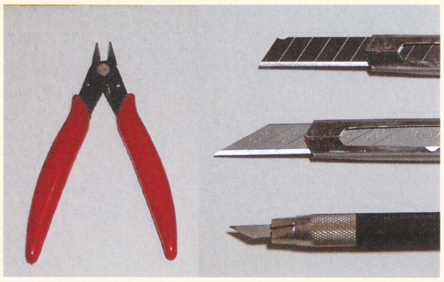
気軽にチャレンジ！

グリーンマックスの塗装済一体キット

JR西日本201系体質改善車

必要な工具を揃える

まずはキットを組むのに必要な工具を揃えましょう。塗装済キットと言っても、実のところは普通のキットを組むのと工具に大差はなく、使い方が少々異なる程度です。製作のレベルによって使ったり使わなかったりするものもありますが、それぞれの使い方についてはその都度説明します。

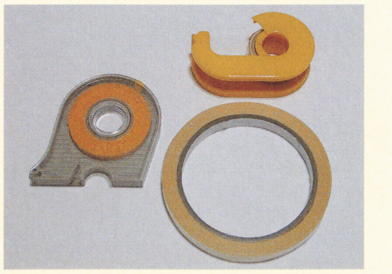


① 切断道具各種。ニッパー(左)はプラ切断の必須道具です。右は上からおなじみのカッターナイフ、刃先が30度のカッター(大きな文房具屋などで入手可能)、そして替刃式のデザインナイフ。

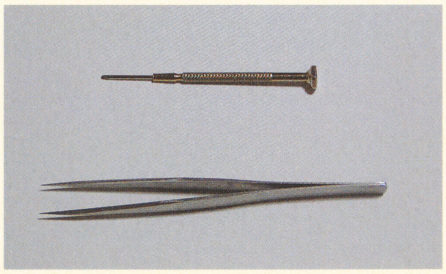
② 接着剤各種。ゴム系ボンドは塗装面を傷めにくいのが最大の利点です。木工用はクリアパーツの取付や、手の触れない部分(屋根の裏など)の接着補強に使えます。

③ 小物の接着などに液体状接着剤が必要なことも。模型で使いやすいのはタミヤ製の2種(緑キャップ·白キャップ)。ABS樹脂用(セメダイン製)も場合によっては有用です。塗料を侵すので車体の表面などに付けないよう注意が必要。

④ もはや模型工作には欠かせない瞬間接着剤。難接着用のPPX瞬間接着剤は、カプラー廻りを含めた台車関連(軟質樹脂)の接着作業に必要。



⑤ テープ各種。マスキングテープは塗装作業におけるマスキングの他、板状キットの仮止めなどに。セロハンテープはインレタの仮止め、両面テープはガラスの取付に。

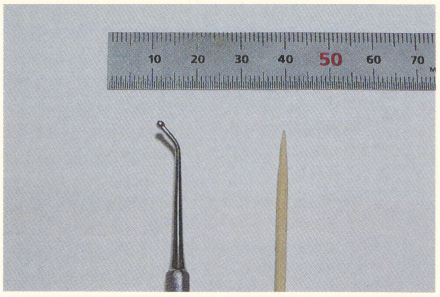


⑥ ドライバーとピンセット。ピンセットはもちろん細かい作業用、プラスドライバーは台車をネジ止めするのに必須。

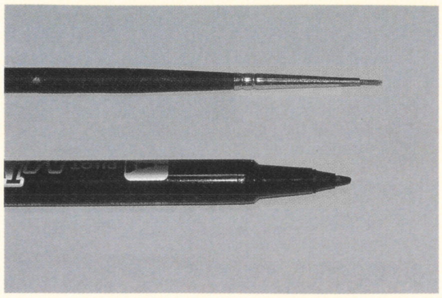
JR西日本201系体質改善車
201系は1979年に試作車が登場、1981年から量産開始された国鉄の通勤型電車。消費電力の少ないサイリスタチョッパ制御を採用し「省エネ電車」とも呼ばれ、関東・関西圏に投入された。現在JR東日本では中央快速線用がE233系に淘汰されつつあり風前の灯火状態だが、JR西日本所属車は内外装とも体質改善工事を受けて大きく姿を変え、今後とも活躍が期待される。

P：高橋　脩

ABS樹脂
近年では完成品のみならずキットにおいても、車体にABS(強化プラスチック)を使用する例が多くなってきた。ABSは通常のプラ用(主にスチロール樹脂用)接着剤が効かず、専用のものが必要になる。



⑦ バーニッシャー（下段左）と爪楊枝。インレタ転写用のほか、爪楊枝は接着剤作業にも有用。上の金属定規はステッカーの切り出しなどに使います。



⑧ 面相筆は色入れ用に。黒油性ペンは簡単な黒の色入れの他、パーツのマーキング（後述）に使用。

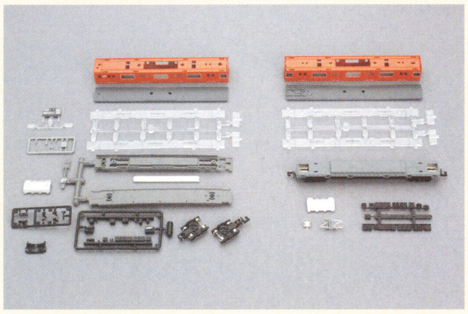
⑨ 塗装済キットであっても多少の塗料が必要になることもあります。クリアーはインレタ保護、黒は床下の塗装に。ビン入り塗料は色入れ用です。

組立前の準備

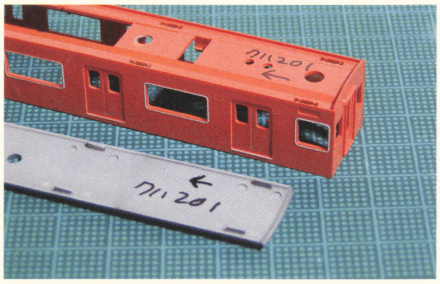
何事もそうですが、勝利の秘訣は敵を知ることから始まります。最初にキット自体をよく研究し、その構成をしっかり知ることこそが、良い作品への第一歩となるのです。201系キット特有の部分も含めて、まずは理解しておきましょう。

① 買ってきたキットの箱を開ける…幸せな瞬間のひとつです。きっちり部品が収まっているのを確認し、頭の中で完成姿を妄想しつつ満足したら、フタを閉めて棚に…しまっちゃダメです、もちろん。

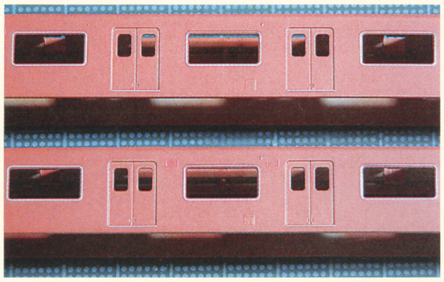
② 箱から全ての部品を取り出したら、すぐ説明書のパーツリストと照らし合わせて、全ての部品が揃っているか確認します。万が一不足があったら、速やかに部品請求をしておきましょう。



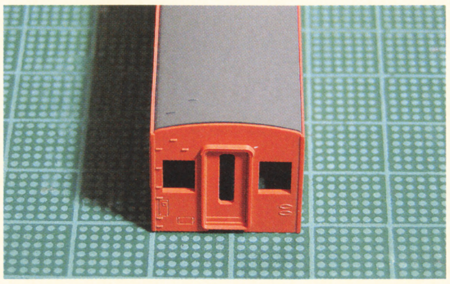
③ 写真左が先頭車1輌分の部材、右が動力車モハ201の部材。こうして見ると、たとえ一体キットでも、細かいパーツもあって構成要素は結構多いものです。



④ まずやっておきたいのが、形式ごとの車体と屋根の分別。決まったら、油性ペンを使って形式名と向きを両方にマーキングします。これをサボると、屋根を逆にしたり取り違えたりといった失敗をしがちです。



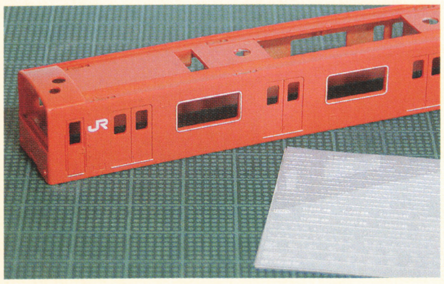
⑤ 中間車2輌はモハ200とモハ201があり、区別は妻面の配管モールドのほか、ルーバーの数（4枚と2枚）で見分けます。今回はありませんが、増結セットのサハ201はモハ200とはルーバーのみの違いなのでご注意を。



⑥ 他の3輌と違って前後の区別がつきにくいモハ200の屋根ですが、端部に手かけが2本モールドされている方を、昇降ステップのモールドされた妻面に合わせるようにします。

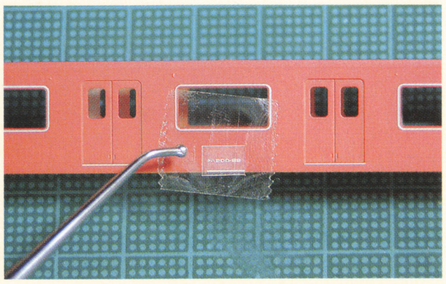
車体の仕上げ

さてそれでは組立を始めましょう。とはいえ一体キットの場合「組立」は最後になるものなので、まずはそれぞれの部材をきちんと仕上げる作業、というものが先になります。決まった順番は特にありませんが、ここでは車体の仕上げから行なうことにします。

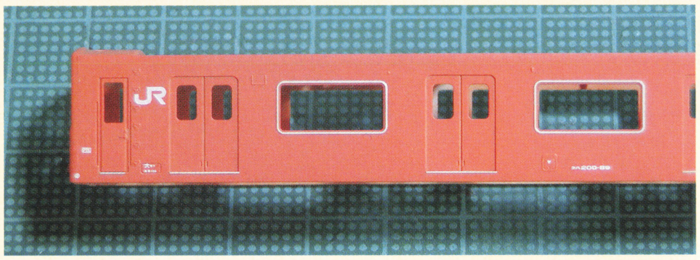


1 まずは車体にインレタを貼るところからスタートします。普通のキットと大いに違う点がここで、塗装済一体キットの特徴でありメリット※と言えましょう。

2 説明書にある編成図を参考に、製作する車番を決定します。本物とまったく同じにしたい時は、説明書だけでなく各種資料を駆使した方が良い場合もあります。



3 車番が決まったら、使う部分を切り取ってテープで仮止めし、バーニッシャーで丁寧に擦っていきます。以降、各種の作業については57頁の「インレタを貼る」を適宜参照してください。

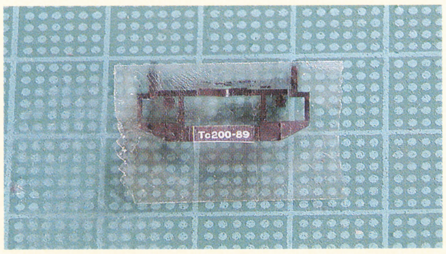


4 車番のほか、所属標記やATS標記なども同様に擦ったら無事完了。くれぐれも各標記ごとに車番の確認を忘れずに。きちんと確認しないと、両側面で違う番号に…なんてこともしょっちゅうです。

5 インレタ転写の済んだ車体に、半光沢クリアーをスプレーします※。インレタ部分だけでなく、つやが均一になるよう全体を仕上げておきます。

各部材の仕上げ

続いて屋根や窓ガラスといった、車体以外の構成要素を仕上げていきましょう。こうした塗装済キットの場合、最初からゴールが近くに見えているように思えて気が急きがちですが、慌てずに丁寧な工作を心がけたいものです。

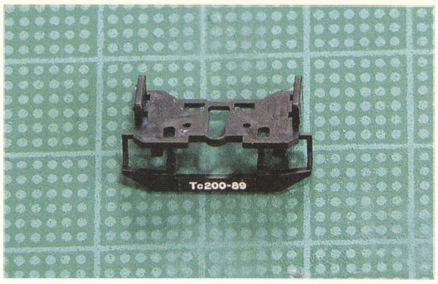


1 西日本201系の特徴のひとつに、スカートに記入された車番があります。不安定なうえ細い部分なので、インレタも細く切って慎重に。難しいなら、ステッカーの黒い部分に転写して貼る方法も考えられます。

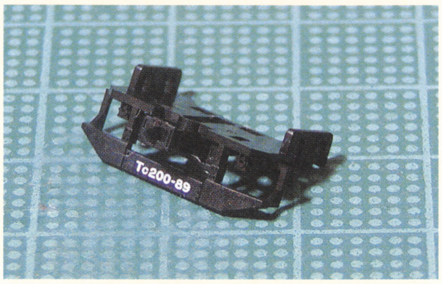
車体塗装済のメリット
例えばこれが未塗装の板状キットであれば、まず車体を箱状に組んでから継ぎ目をパテ等で修正、更に下地処理やマスキングをしてスプレー塗装、タッチアップや細部の色差し…といった工程が必要になってくる。

車体クリアーコート
具体的な方法としては車体と30cmほど離れた位置から、スプレー缶を横方向に均一なサッと横に振り…となる。自信のない方は不要なもので練習するか、あるいはこの工程自体省略しても構わない。

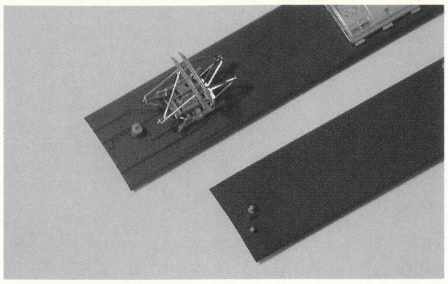
大阪環状線の新しい顔、201系体質改善車。



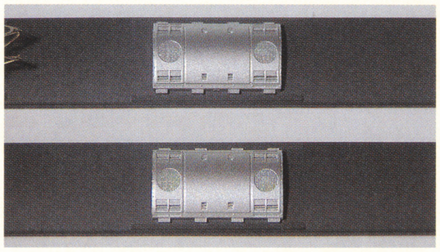
② きちんと中央に車番が貼れれば合格です。正直難しい部分なので、思いきって省略してもいいかもとは思いますが、ここが西日本201系の大きく目立つ特徴ですので、諦めずにトライしてみてください。



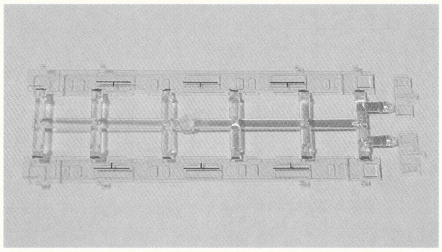
③ スカートパーツにつや消しクリアーを吹いたら、連結器部分を組み立てて(連結器下部の胴受けはガイドが湾曲したタイプを使う)、スカートは完成となります。



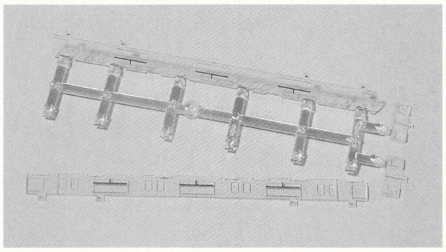
④ 屋根にパンタグラフ、アンテナ、信号炎管などを取り付けます。炎管の足が高くなっているのが201系の特徴ですので、足はいっぱいまで押し込まないように。非常に微小なパーツなので紛失にも注意。



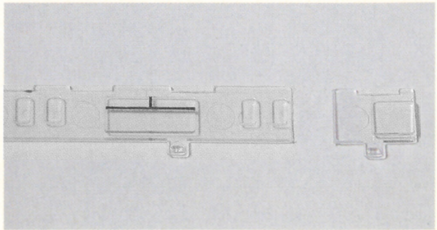
⑤ クーラーにも、わかりにくいですがちゃんと向きがあるので(端部から足までの間隔に注意)、説明書をじっくり参照しながら取付の向きを間違えないようにしましょう。



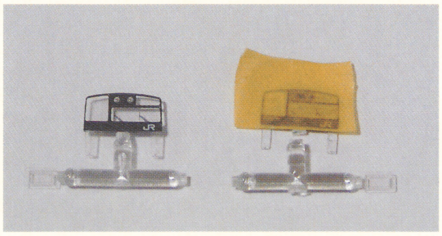
⑥ 側面窓ガラスは、太いランナーから切り出す必要があります。上手にやらないと透明パーツにヒビが入ってしまうので、まずはつながっている部分(赤く塗った部分)にカッターで筋を入れて…。



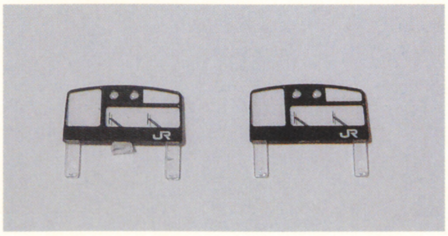
⑦ 力をゆっくり入れて折りながらランナーを外し、外れたらバリをカッター等できちんと仕上げておきます。くれぐれもあせって折ってヒビを入れないように。



⑧ 側面用のガラスは全車共通で、先頭車の場合は片方の端部を切る必要があります。カッターで力を入れずに少しずつ溝をなぞって行けば簡単に切れますが、切る方向の左右を間違えないように注意しましょう。



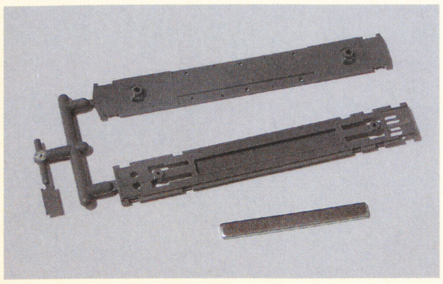
⑨ 前面のガラスは、念のため切り出す前に印刷部分をテープで保護しておいたほうが安心でしょう。まずは離れた部分から切り離して…。



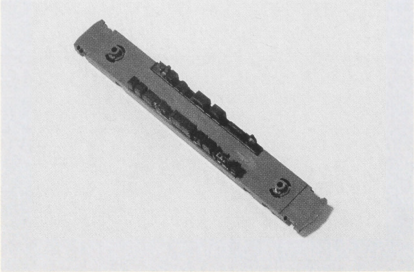
⑩ 残ったランナーを慎重に仕上げます。僅かに残ったバリはカッター等でちゃんと仕上げましょう。

床下の組立

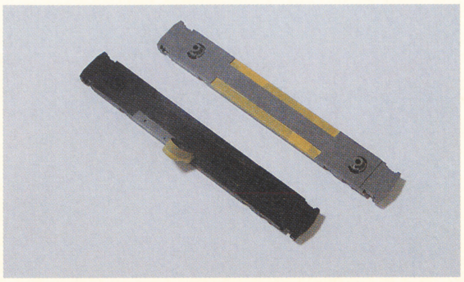
本キットでは、床下機器は黒色成型なので、塗装不要として仕上げることも可能です。しかし比較的簡単な工程ですので一度スプレー塗装に挑戦してみてはいかがでしょうか。プラ成型色のままとは一味違う実感が得られることでしょう。



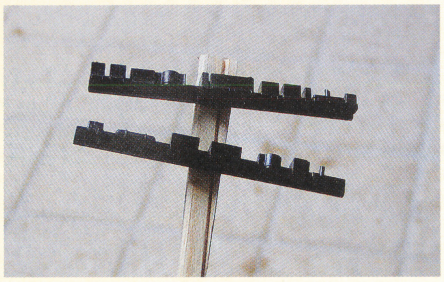
❶ まずは床板の組立に取り掛かりましょう。ウェイトを挟んで上下の板を接着するのですが、大きく反っている場合が多いので、貼り合わせる前にひねって修正しておきます。折らないよう注意。



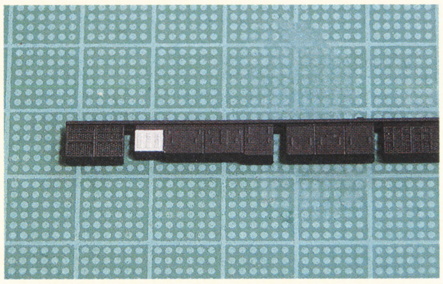
❷ 床下機器が黒成型なのを生かして、床板の塗装はせずに機器を装着してしまえば下廻りは完成します。ただどうしても未塗装なのが気になるという方は、以下の3〜5に従って塗装をしてみましょう。



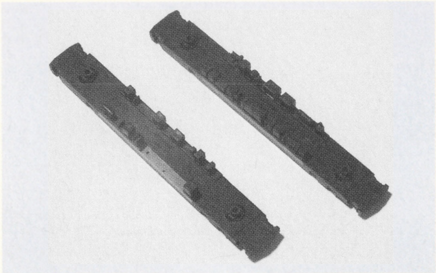
❸ まずは床下機器を接着する前に、床板の床下機器取付部分をマスキングして黒で塗装します。塗料が付くと接着剤の効きが悪くなるので、しっかりとマスクしておくことが肝要です。



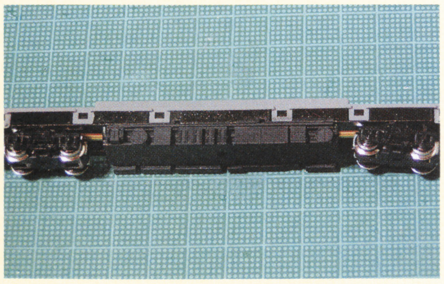
❹ 床下機器は、単体の段階でつや消し黒のスプレーを使って塗装します。もともと黒成型なこともあるので、厚塗りにならないように軽く塗料が回る程度でいいでしょう。



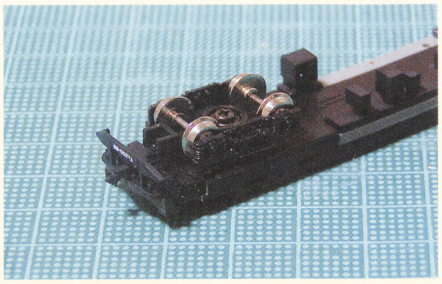
❺ 塗装した床下機器を床板に接着して、床板が完成です。先頭車の機器は説明書通り一部を切除して接着しましょう。以下の写真は塗装済の床板を使用しています。



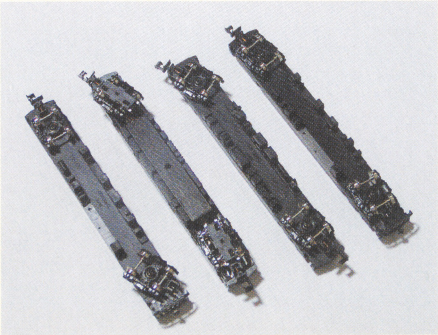
❻ 動力車モハ201には、専用の床下機器が用意されています。動力ユニットのダイキャスト部分に接着するので、できれば瞬間接着剤でしっかりと固定しておきたいものです。



❼ 自信のある方は、モハ201の白く塗られているチョッパ装置※を再現してみるのも面白いでしょう。



❽ 台車とスカートを取り付けます。台車はプラスドライバーを使い、ドライバーの回転が固くなった頃合いで回すのを止めましょう。スカートはTNカプラー用のツメにはめるだけでOK。



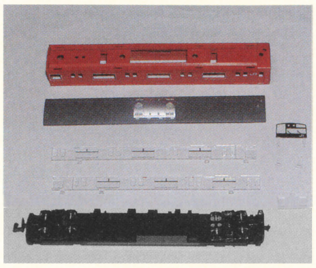
❾ これで4輌分の下廻りが完成しました。さあいよいよ総組立に入りましょう。

白く塗られているチョッパ装置

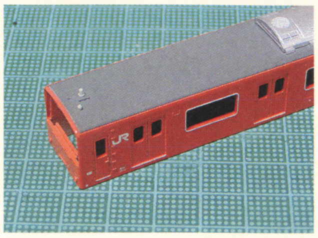
実車の201系は、夏期サイリスタ素子の温度上昇を防ぐため、制御機器箱の蓋が白く塗装されている。JR西日本では写真の通り1個だけだが、JR東日本所属車では右隣の3個も白くなっているようだ。KATOの完成品モデルにも塗装を施してやると、黒一色の床下機器にあって良いアクセントとなる。

総組立

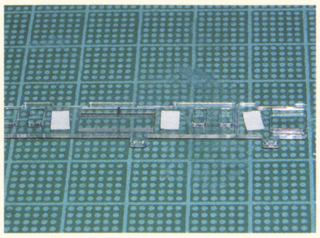
各部材が揃ったら、いよいよ組立に入ります。近年のグリーンマックス製キットはここからの組立が非常に楽で、完成品のように扱えるのも嬉しいところです。今回はやりませんでしたが、室内を塗り分けたりしてこだわってみるのも良いでしょう。



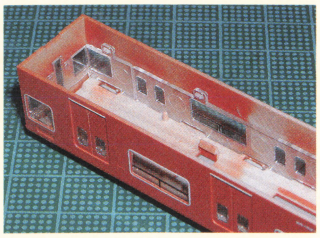
❶ 全ての部材が仕上がりました。クハ1輌分を並べてみるとこんな感じです。



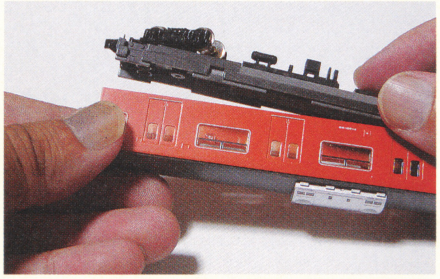
❷ 車体に屋根を取り付けます。201系の屋根は雨どいの内側に落とし込まれた構造なので、しっかりとはめ込みましょう。ただ少々屋根の前後が長くてはまりにくいので、軽くヤスリで調整すると良いでしょう。



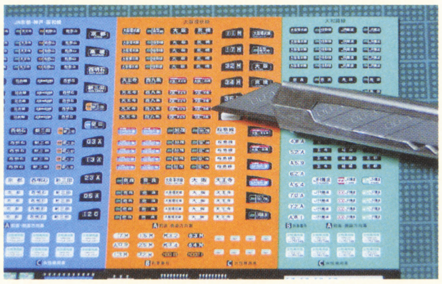
❸ 側面ガラスはそのまま、接着剤不要できついぐらいしっかりはまります。写真では念のため両面テープを数箇所に貼ってありますが、省略しても構いません。



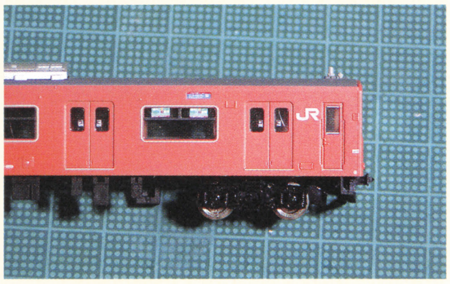
❹ 両面テープの裏紙を剥がして、ガラスをはめ込みますが、先に妻面※の方をはめてから側面をはめるようにします（逆だと妻面ガラスが入りません）。先述の通り側面はきついので、窓柱を折ったりしないように注意。



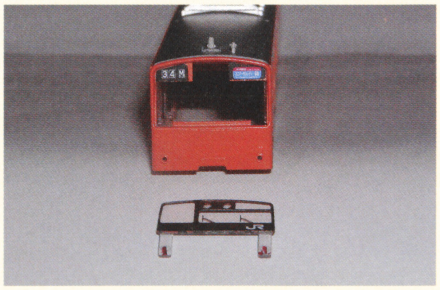
❺ 床板をはめます。まるで完成品のようにパチンと気持ちよくはまってくれるはずです。



❻ 車体がひと通り組み上がったら、楽しくも苦しい（？）ステッカーの貼り付けです。切り出しにはデザインナイフか、写真の30度カッターを使うと、切り出し作業がスイスイいくこと請け合いです。



❼ 各種ステッカーを貼って仕上げます。具体的な方法は58頁「ステッカーを貼る」を参照して下さい。窓サッシ内の優先席ステッカーは少々上下を切り詰めて貼ってみると良いようです。



❽ 先頭部の行先表示と運番表示を、内側の出っ張り部分に先に貼り付けてから前面ガラスをはめ込みます。その前に、テールライト部分はクリアーレッド※に塗っておくことにしましょう。

❾ これでめでたく4輌編成が完成しました。作例の「4輌トータルセット」に中間車のみの「増結セット」を組み合せると、実物通りの大阪環状線8輌編成となります。

妻面
鉄道車輌の車体各部の名称は建築用語（家屋）からの流用が多いが、これもその一つ。前面や連結面といった「車体の短手方向の面」を指す。

クリアーレッド
塗装する部材の透明感を保持した仕上がりになる赤系の塗料。テールライトの塗装には必須の存在。各塗料メーカーから発売されており、同様にクリアーブルー、クリアーイエロー等もある。

レイアウト編

レイアウト製作：鈴木裕幸

Q1 鉄道模型に関する文章を読んでいると、たびたび「レイアウト」という言葉が出てきますけど、どういうものなのでしょうか？

A1 普通「部屋のレイアウト」のように、もの置き方や並べ方のような意味に使われる言葉である「レイアウト」。鉄道模型におけるレイアウトとは、「車輌を運転するためにレールを敷いたスペース」を意味します。風景の模型ということでいわゆる「ジオラマ」と似ていますが、レイアウトでは「列車の運転」が主役であるものを指して呼ばれることが多いです。とりわけそのレイアウトの代表と言えるのが、板にレールを固定し、その周囲に自然物（シーナリー※）や建物（ストラクチャー※）を並べた「風景」を作って楽しむタイプの「固定式レイアウト」で、普通レイアウトと言えば、これを指すことになります。これまで紹介してきた、道床付きレールを組み合わせて作る線路も、「フロアーレイアウト」のように呼ぶ場合もありますが、基本的にはレイアウトと言えるには、線路を板に固定することがおおむね最低条件とも言えるでしょう。

Q2 レールを板に固定すると言いますが、だいたいどのくらいの大きさになるのでしょうか？

A2 ひと口にレイアウトと言っても様々で、その大きさはおおむね「走らせたい列車の長さや種類によって決まる」と言えます。

レイアウト製作：吉田尚史

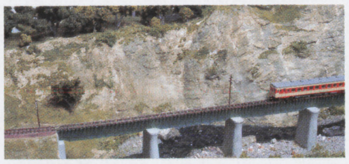
古来よりレイアウト作りの基本と言われているのが「畳1枚サイズ」ですが、これに線路を敷くとなると、前項で組み線路で作ったプランぐらいで、4〜6輌程度の列車がふさわしい感じとなり、これ以上の例えば10輌フル編成、さらには新幹線を走らそうとなれば、とても収まらないことでしょう。

レイアウト製作：根本貫史

最近は逆に、小型電車を運転するためのミニレイアウトを作る人も増えていて、B4判の紙ぐらいの小さなスペースで風景

ジオラマ
模型で一般的に使われる用語で、様々な「情景」を、一定のスペースに作ったものを指す。戦車や各種フィギュアなど主役となるモデルを置くための展示台として作られるのはもちろん、特定の建物や自然風景など、ジオラマそのものを作り込むものまで、それこそ実に様々である。

シーナリー
街にせよ野原にせよ、世の中は自然が作り上げた風景というものを基本に構成されている。地面、山、岩、木、草…人間が作ったものでも、畑や田んぼなどもこれにあたるが、これら「自然が作ったもの」を総称して「シーナリー」と呼ぶことが多い。



▲自然風景中心のレイアウト

ストラクチャー
自然の大地の上に、人間の手で作られた建物たち。住宅、ビル…もちろん鉄道設備もこれにあたるわけだが、これら「建築物」を総称して鉄道模型では「ストラクチャー」と呼ぶ。

を作って楽しむこともできるのです。

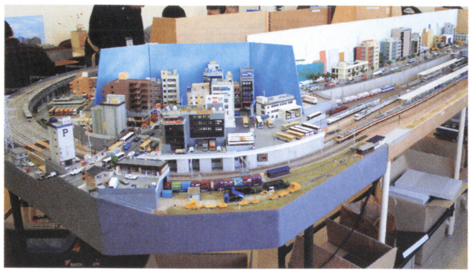
Q3 線路を「固定する」のがレイアウトだとすると、ずっとレールが敷きっぱなしになるんですよね？ 我が家はとても狭いので、そんなスペースはとてもないんですが…。

A3 安心ください。それはお互い様です(笑)。実のところ確かに、よくNゲージが「運転のため、レイアウトのための鉄道模型」と言われはするのですが、実際、日本の家庭環境では、たとえ畳1枚ほどのスペースであっても、それを常に置いておくというのは相当難しいものです。古来よりレイアウトをどこに置くかということは、モデラーの永遠のテーマになっており、押入れや屋根裏などの家のデッドスペースを利用したものから、折りたたみ式や壁掛け式など、収納に工夫をしたものまで、様々な試みがなされています。それを見るためにも、過去に作られたレイアウトの紹介記事などをどんどん参照していってみると、いろいろな発見があることでしょう。

Q4 部屋の中をどう使ってもそのようなスペースがありません。レイアウト作りはあきらめた方がいいのでしょうか？

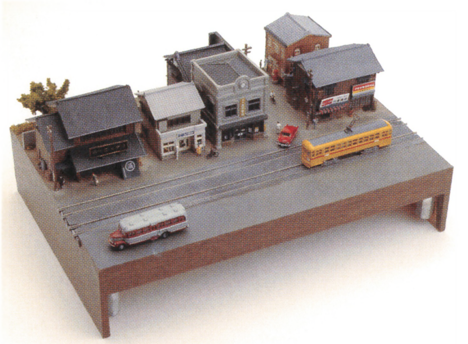
A4 ここでちょっと発想を転換してみましょう。たしかに自分の部屋で1人だけで楽しむという限りは、家庭的な事情によりレイアウトを持つのも難しいかもしれません。しかし広大なレイアウトのほんの一部だけ作って、仲間みんなで持ち寄ることができれば大きなレイアウトも夢ではないのではないかと…。

実は鉄道模型には古くから、固定式レイアウトとお座敷運転の中間的な存在として「分割式レイアウト」という考え方があります。風景付のレイアウトを細かく分割し、運転のたびに接合するというもので、それを更に一歩進めて、分割単位ごとにそれぞれ別の個人が製作・所有すれば、1人あたりの保管スペースが節約できるほか、共同製作として1人では実現不可能な大きなレイアウトの展開も可能になります。こうして鉄道模型クラブなどを中心に、ベースボードの基準寸法や接続部分を規格化して、誰のモジュールでも自由に連結できる「モジュールレイアウト※」が現在普及しつつあります。



▲分割式レイアウトの一例（製作：レイルジョイン）。

中でも2000〜01年にかけてRM MODELS誌面上で提唱された、A4判木製パネルを基準とした「路面モジュール※」は持ち運びや収納にも手頃な大きさとして、収納スペースにお悩みの方にも取り組みやすいと言えるでしょう。



▲路面モジュールの一例（製作：佐藤哲朗）。小さなサイズだけに部屋のインテリアとしても最適。

Q5 「風景」って、どういう風に作るのでしょうか？ まさか外から土や草を持ってきて植えるってわけではないでしょうけど…。

A5 盆栽じゃないですから(笑)。例えば「地面」を作ると言っても、実物の土を持ってくるようなことは、少なくともNゲージのレイアウトではまずありません。地面を造形する素材や、植物を表現するための草木なども、模型の材料として各社から販売されています。これらも近年様々なものが製品化されており、店頭で目移りしてしまうほどです。ただ、自然の物質を「自然らしく作る」というのはなかなかに難しいもので、車輌を作るのとはひと味違った「センス」が必要になる場合もあります。

Q6 …なら「建物」のほうはどうなのでしょうか？ 模型店でも結構な量を見かけたのですが、こちらも難しいものなのでしょうか？

A6 その昔、レイアウトにおける建物はあまり種類が多くなかったため、いろいろな人が思い思いに作ったレイアウトであっても、並ぶ建物はみんな同じ…といった感じでしたが、最近は風向きが変わってきて、実にさまざまなものが手に入るようになりました。形態も、パッケージから出してそのまま置いただけでサマになる完成品から、自分で組み立てるキットまであらゆる製品があり、また、完成品でもアクセサリーの工夫や軽い塗装変更などで、実にさまざまな形態を楽しむことができます。これらの建物モデルも風景同様、普段の生活の中で目にしている実在の建物などを参考にしたモデリングをすると実感的で、これもまた「観察眼」が試される物のひとつです。

▲市販のストラクチャー

Q7 …とはいえ、実際、レイアウトはどういう風に作ればいいのでしょうか？ 何から手を着けていいのか…。正直雲をつかむような感じで…。

A7 それならば「百聞は一見にしかず」ということで、実際にレイアウトを作るところを見ていただき、基本的なテクニックをいろいろと実感してもらいましょう。次頁からの記事をご覧下さい。

モジュールレイアウト
基準となるベースボードの寸法や線路間隔、接続部分の仕様を規格化し、基本的にどのモジュールも連結して運転することが可能となるレイアウト。NTRAKといった国際規格をはじめ、各クラブごとにアレンジされた独自規格も多数存在する。

路面モジュール
市販のA4判木製パネルの寸法を基準に決められた路面電車向きのモジュールレイアウト規格、略称「路モジ」。直線部長さ310mm×奥行210〜310mm、コーナー長さ310mm角、複線間隔25mmなどの基本規格で、現在でもRM MODELS誌面上で作品が紹介される。

詳細はT-TRAK NETWORKのホームページ（http://wing.zero.ad.jp/~zaw03816/t-trak/）参照。最近は路面電車にこだわらず単線規格や複線間隔33mmの本線規格など、そのバリエーションも増えつつある。

F50（1167 X 910mm）サイズの木製パネルに広がる複線エンドレスのＮゲージレイアウト。

２つの風景と拡張性が魅力!!

Ｎゲージレイアウト

碑文谷電鉄線製作記

modeling & text：根本貫史
photo：青柳　明（RMM）
（メイキング写真：筆者撮影）

いつかは持ちたいNゲージレイアウト。
お気に入りの車輌が
トンネルを抜け、
田園風景の中を快走して、
ビルの建つ都会の駅に
ゆっくりと停車する…。
そんな憧れのマイレイアウトは
どうやって製作するのだろう?
初心者でもできるだろうか?
ここからは、レイアウトが
どのように完成するのか、
レイアウト製作の技法を
碑文谷電鉄が詳しく
ご案内いたします。

田園風景が広がる
「ローカルエリア」

碑文谷電気鉄道

※この鉄道名はフィクションです。当然実在しません!!

支線から本線へゆっくりと入線するロマンスカー 本線を走る通勤列車と離合する迫力あるシーンが展開する。

▲小田急線新松田付近の御殿場線連絡線のような雰囲気。当然、小田急の車輌がよく似合う。

◀勾配を登りきると支線はあっという間に終点となる。駅には留置線が設けられているので車輌を交換しながら運転を楽しむことができる。

▲ダブルスリップポイントを渡り、支線へ入る20000形あさぎり号。このポイントのおかげで単調な複線エンドレスレイアウトながらも様々な運転が楽しめるようになった。

碑文谷電気鉄道

▼トミーテックが展開する「ジオラマコレクション」シリーズの登場により、脇役だった建物や車、バスといったストラクチャー、アクセサリーにスポットが当たるようになった。

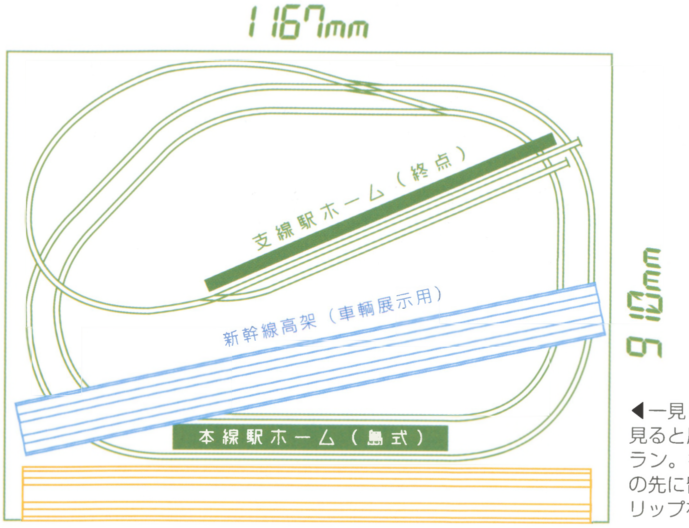
集団下校の児童の横を 地元の足、路線バスが発車する。

見る角度を変えるだけで、とても同じレイアウトとは思えない風景が視界に広がる。

留置線で休んでいた3000形ロマンスカーSSE車が、再び運用に就くために出発する。
このカットは、レイアウトを縦方向に見た構図となるが、都会と田園風景が広がるローカル風景の狭間に、まるで登山電車のような山岳風景が広がっている。

レイアウト中心を
新幹線が斜めに横断!!
N700系が2つの風景を
ズバッと斬る!!

このレイアウトは新幹線の高架線路を境に都会とローカルの2つの風景に分断している。単調なエンドレスレイアウトでは、風景を連続させるより、両側で全く異なる風景を作ったほうが、レイアウトを色々な角度から楽しむことができる。



駅前道路や在来線・レイアウトの外側に

◀一見レールが多く複雑に見えるが、よく見ると展示用直線を除いて比較的単純なプラン。複線エンドレスに支線が1本、その先に留置線を持ち、また分岐にダブルスリップを用いているのが特徴。

夢へつながる拡張性を備えた2つの「展示スペース」そして「ジオタウン」

レイアウトを走らせる車輌は基本的に在来線車輌がメインになるけど、コレクションの中には新幹線もある。しかし在来線の風景の中を、高規格で大柄な新幹線車輌が走るのはやっぱり不自然…。新幹線が高速で走れるような大きなレイアウトが作れればいいのだけれど…。

このような悩みをお持ちの方は結構多いのではないでしょうか? 新幹線はできることなら在来線とは全く別の線路で走らせたいですよね。そんな悩みを解決するために、この作例では新幹線の線路を「展示スペース」として盛り込んでみました。しかも完全なダミーではなく、高架線路を両端に接続して、エンドレスを組めば、展示スペースでも走行させることが可能になるのです。新幹線と同様に、地上区間にも本線と併走するように複線の高架線路を設置しました。これにより、最大6本の車輌を 走行することが可能になります。

▲ジオタウンを配置しないノーマル状態。駅前こそ寂しいが、レリーフ状の高架橋脚のおかげで地上区間があたかも高架線に見える面白いギミックが特徴。

レイアウトはベース内で完結するのではなく、外には無限にスペースがあるということです。もちろん、お部屋のスペースという現実の壁に直面するかもしれませんが、夢は大きく持ちたいですね。

そして拡張性はさらにもう一つ。駅前に広がるロータリー。じつはこのエリアはレイアウトベースの外! KATOのプレート式ジオラマシステム「ジオタウン」の駅前道路セットを配置しているのです。

線路配置がエンドレスとなると、駅舎や駅前の街並みをどうしても入れたくなり、狭いエンドレス内に、まるで「幕の内弁当」

新幹線の高架線路は飾りではない！
は無限の世界が広がっている!!

◀長い直線区間が魅力の新幹線用の展示スペース。新幹線車輌を最大７輌置くことが可能なので、気分によって車輌を置き換えて楽しむことができます。もちろん、将来的には線路を接続して走行させたいですね！

◀こちらも新幹線同様、在来線の展示スペース。東海道本線や山陽本線など、JRの主要幹線が似合いそうな雰囲気。そうなるとレイアウトの本線は私鉄電車が似合います。

◀バスやトラックも好きな方は、やはり道路一面に自慢の愛車を並べて楽しみましょう！ ビルや商店など、建物を置くスペースもたくさんあります。素敵な街になるように、しっかり都市計画を考えてみましょう。

のように詰め込んでしまうことがありますが、そこは無理せず、レイアウトの外を活用することをおすすめします。

このように駅前ロータリーや道路ができたおかげで、車や建物を置くスペースも同時に増えました。最近はバスやトラック、そして建物などのストラクチャー、アクセサリー製品が本当に充実してきました。きっと車輛のコレクションより多く集まってしまった方も結構多いかと思います。せっかく集まったバスや自動車を、箱にしまったままではなく道路の上で活躍させてあげましょう。それらを配置するだけで、街に活気と生活感、そして躍動感が生まれ、レイアウトに新たなストーリーが生まれます。特にフィギュアは効果的で、駅前の賑わいや、ホームの混雑具合で、この街が朝か日中、または夜なのか。さらに季節は夏なのか冬なのか？ストーリーに加え、時間と季節感を表現することができます。レイアウトの世界は、まさに自由自在なのです。

静かなローカルエリアとは対照的に
都会エリアは大変賑やかな風景が広がる

▲N700系のサイドビューが美しく見える長い直線が自慢の新幹線用の展示スペース。手前の113系とEF210牽引のコンテナ貨物も在来線用の展示スペースである。

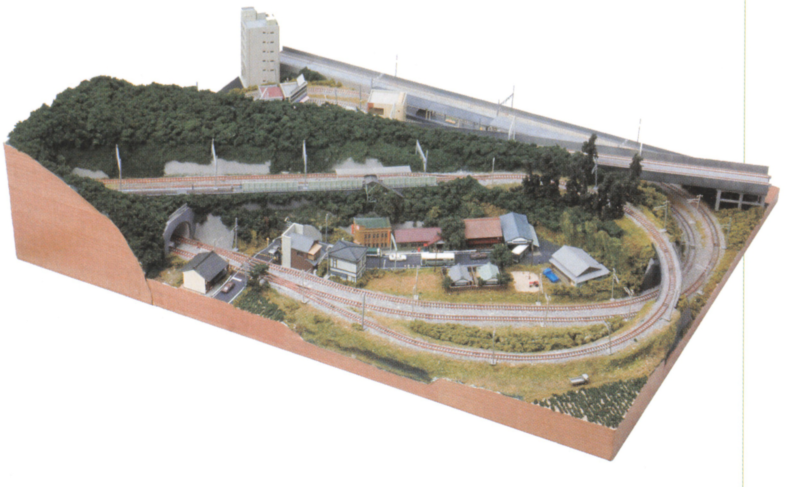
▲レイアウトの本線には相鉄6000系と10000系の姿。113系と並ぶと、まるで平沼橋のような光景になる。

▲都会のビルの谷間には私鉄電車がよく似合う。

碑文谷電気鉄道

▼「ジオタウン」を配置することで、駅前ロータリーが簡単に再現できる。駅前にはたくさんの乗客の姿が見え、レイアウトに生活感を感じることができる。フィギュアやバスといったアクセサリーの効果は絶大である。

STEP:01
レイアウトのベースを作る
～レイアウトプラン→線路敷設～



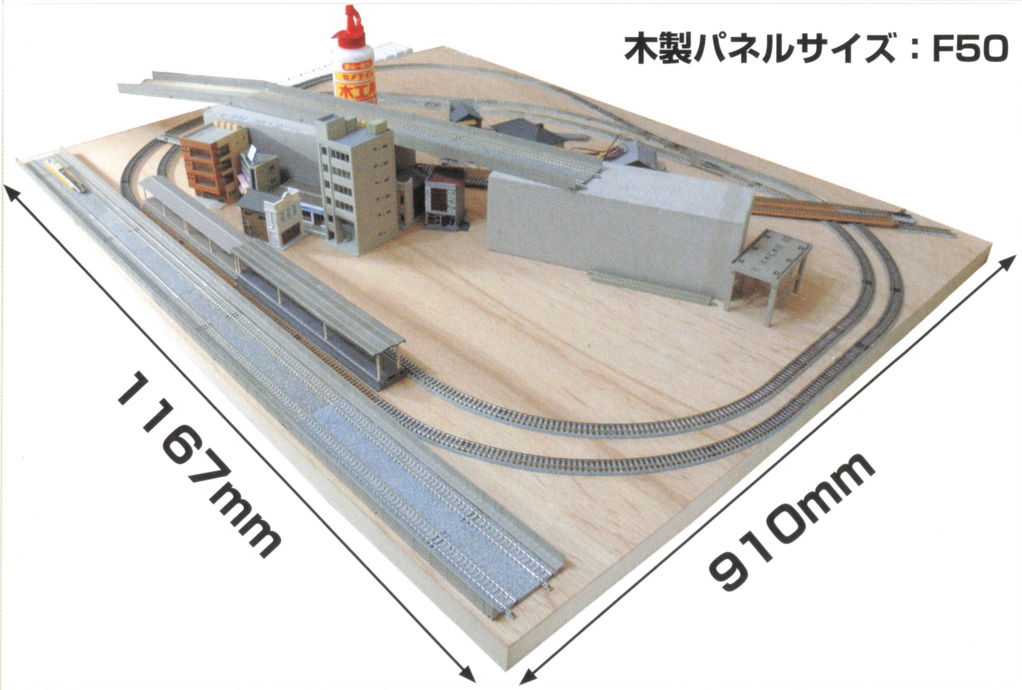
レイアウトのベース（土台）には何を使うの？

スケールやゲージを問わず、鉄道模型のレイアウトを製作するには、まずベースとなるものが必要になります。鉄道模型メーカー各社から発売している専用の木製レイアウトボードを使用するのが一般的ですが、希望のサイズがない場合には、写真や絵画用の木製パネル※を使用する方法があります。木製パネルは画材店や写真用品店などで入手することができ、サイズもA4、B4といった一般の用紙サイズから、畳サイズ（900X1800mm）を超える大きさまで幅広く揃っているので、自分の作りたいレイアウトプランに合ったサイズを選ぶことができます。また、近所に画材店がない場合でも、インターネットによる通信販売などで簡単に購入することができ大変便利です。

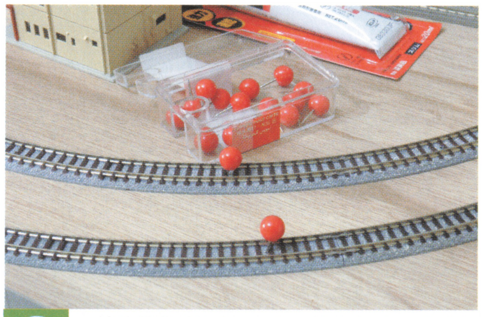
木製パネルを見ると、角材を「日」の字状に組んだ上に、薄いベニヤ板が貼り付けられています。ベニヤ板は一般的な工作用のカッターナイフで簡単に切り込むことができるので、線路のフィーダーや電動ポイントのケーブルをパネル裏側に逃がすための穴や、川や池など、地形を凹ませたい場合の大きな穴も容易に開けることができます。

作例ではF50（910X1167mm）という、やや大きめの木製パネルを使用しましたが、木製パネル以外にも、発泡スチロール板や、家屋の断熱材、防音材にも使用される「スタイロフォーム」という発泡スチロール板をレイアウトのベースにすることができます。A3サイズ程度のミニレイアウトであれば板厚30mm以上のものを使えば問題ありませんが、それ以上の大きさのレイアウトを作る場合は、強度や変形の問題もあるので、丈夫な木製パネルを使用した方がよいでしょう。

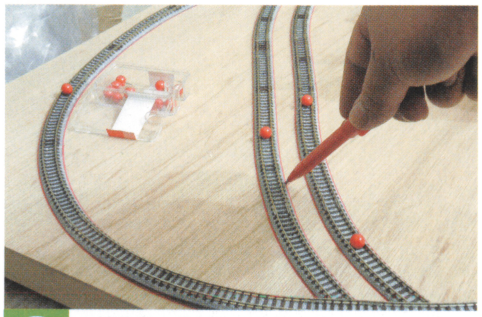
■レイアウトプランの決定・線路敷設



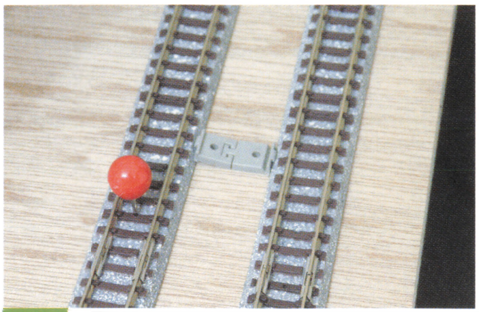
1 ▲レイアウトのベースとなるパネル上にレールを配置し、レイアウトプランを決めていきます。建物やホームといったストラクチャー（建造物）も仮に配置して、スペースを確認します。また、レイアウト内に山を作る場合は、発泡スチロールのブロックや、新聞紙などを丸めたものを配置して、高低差の確認をし、レイアウト全体のボリュームをイメージしておきましょう。



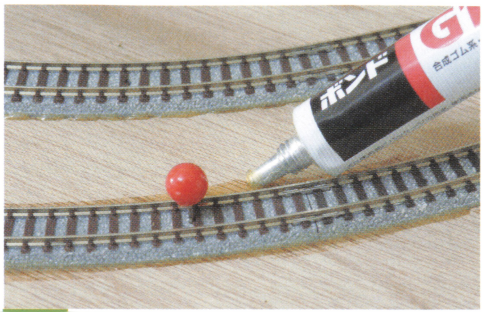
2 ▲線路配置が決まったら、線路をピン（画鋲）で仮止めしておきます。



3 ▲線路を一旦外して作業する場合もあるので、位置をペンでケガいておきましょう。



4 ▲複線間隔を測る場合は、架線柱に付属する取付ベース※を治具にすると簡単。



5 ▲位置が決定したら線路周囲にゴム系接着剤※を流し固着させます。線路の固定は、釘や専用のスパイク※を使用する方法が一般的ですが、初心者の場合は接着が一番簡単な方法です。

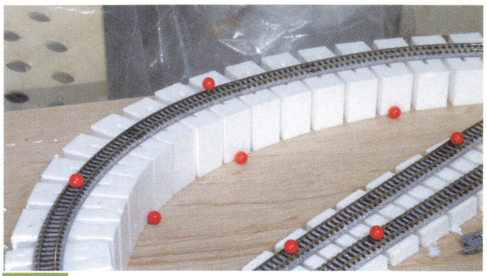
6 ▲完成写真を見ると、線路が交差しています。高架線路を使わずに勾配を作るにはどうすればいいのでしょう？

■線路に勾配をつける

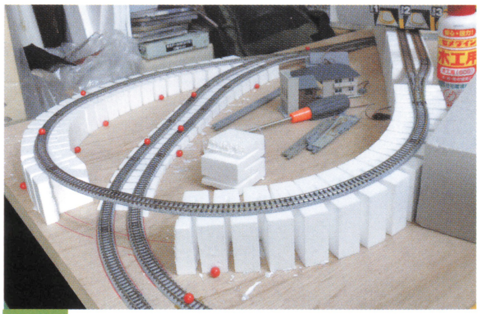
高架線路であれば、勾配橋脚を使うことで簡単に勾配区間を作ることができますが、レイアウトの築堤や山岳区間の場合には、ホビーセンターカトーで取扱っている輸入レイアウト用品の「サブテレイン・システム」という発泡スチロール素材を使うと簡単に勾配を作ることができます。サブテレインは蛇腹状に切り込みが入った発泡スチロールの帯が勾配となる角度でカットされており、2%、3%、4%の3種類の勾配が用意されています。作例では4%勾配を使用しました。

7 ▲これが勾配を簡単に作ることができるサブテレインシステム。発泡スチロールが蛇腹状にカットされており、曲線の勾配も簡単に作ることができます。

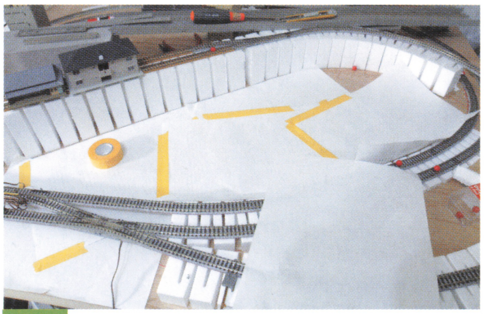
8 ▲サブテレインの裏側に木工用ボンド※を塗り、線路とベースの間に入れて固着します。



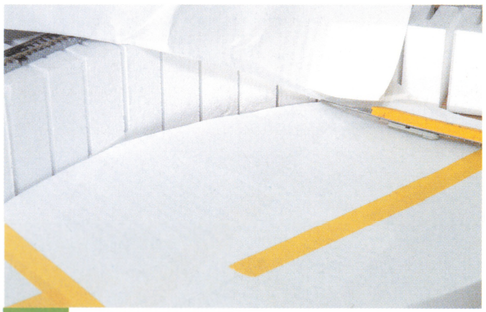
9 ▲サブテレインは反発力があるので、曲線区間ではピンで固定しておきましょう。また、サブテレイン専用の釘やホットガン（溶接）も用意されています。



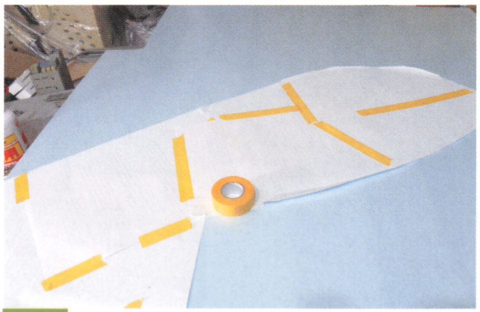
10 ▲このレイアウトプランの場合は、複線となる本線側にもゆるやかな勾配を設けてあります。



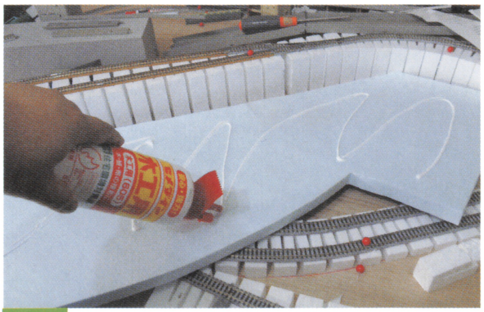
11 ▲本線と分岐した山岳線の空間に地形を形成します。不要な紙（新聞紙など）を空間に敷き詰め、型紙を作ります。



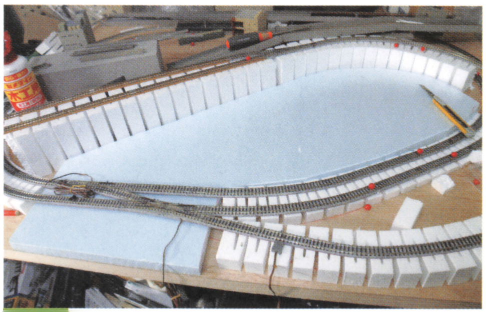
12 ▲空間の形状に沿ってカッターナイフで型紙の余白をカットします。



13 ▲完成した型紙を発泡スチロールボード※に乗せ、型紙に沿ってボードをカッターナイフで切断します。



14 ▲カットした発泡スチロールボードの裏側に、木工用ボンドを塗ります。



15 ▲所定の位置に配置し固着します。起伏のある地形を作る場合は、このように発泡スチロールボードを敷設または積層させて形成します。

木製パネル
写真や絵画作品に使用する木製のパネルで、角材で枠を組んだ表面にベニヤ板が貼られたもの。絵画用はおもに画材店、写真用は写真用品店で扱っている。サイズの種類も多く、絵画用はA判B判などの用紙サイズ、写真用は印画紙のサイズでそれぞれ用意されている。

架線柱取付ベース
プラスティック製の架線柱は各社から各種発売されているが、TOMIX、KATOの製品には架線柱を差し込んで自立させる取付ベースが付属している。複線の場合、複線間隔（線路中心間の間隔）が両社で異なるが、取付ベースを2個組むことにより、規格通りの複線間隔を保つことができる。作例ではこれを複線間隔を測る治具として活用した。

ゴム系接着剤
一般的なゴム系接着剤で、模型店や文具店、ホームセンターなどで入手可能。黄色いタイプと透明タイプがあるが、レイアウト製作ではどちらでも可。ただし、発泡スチロールは溶かしてしまうので、その場合は必ず発泡スチロール専用を使う。

釘（線路用）・スパイク
線路を枕木に固定する犬釘（レイルロード・スパイク）のこと。鉄道模型ではNゲージ以上の大型モデルでは実物のように線路を枕木・レイアウトベースに固定することもあるが、Nゲージでは枕木をベースに固定する意味合いが

STEP:02 トンネルのある山を作る

～山の形成→地形の仕上げ～

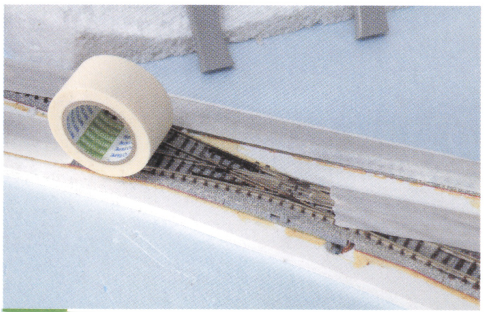
大きな山の中身は空洞？そして丸めた古新聞 !?
" はりこ " 方式の山の作り方

レイアウトで必ず欲しくなる山やトンネル。レイアウトの全体が見渡せてしまう平坦な地形よりも、起伏がある地形のほうが、レイアウトを様々な角度から楽しむことができ面白いでしょう。

ジオラマやレイアウトで山を作る場合、発泡スチロール板を地形図のように積層にする方法が一般的ですが、トンネルを持つ大きな山を作る場合は、ここで紹介する " はりこ " 方式が最も簡単でしかも低コストで作ることができます。

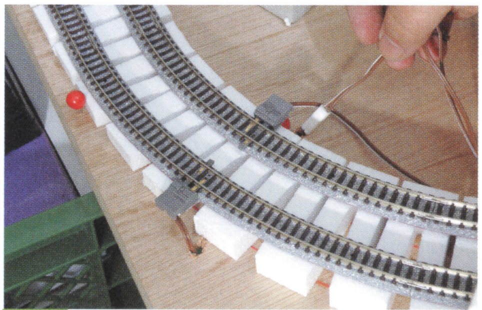
" はりこ " とは、だるまや民芸品などで古くから使われている技法で、型の表面に和紙や新聞を糊で貼り重ね、乾燥後に型を抜き取って空洞にするというもの。今回は新聞紙と、KATO のプラスタークロスという、繊維にプラスター（石膏）をまぶした製品を使用するので、" はりこ " よりはむしろ " ギプス " とも言えるでしょう。

■その前に線路の保護・配線作業をしておきましょう

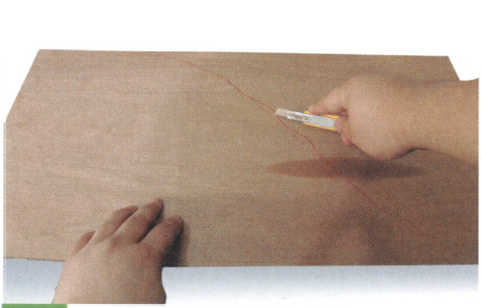


16 ▲山の作業では発泡スチロールの粒や石膏の粉末などが発生するので、線路、特にポイントなどの可動部は必ずマスキングテープで保護しておきましょう。

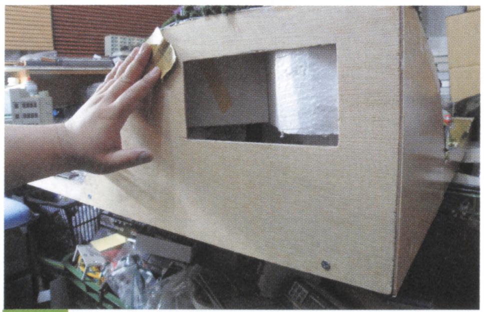
17 ▲電動ポイントやフィーダーのコードは、レイアウトボードに穴を開けて裏面に引き通します。穴開けには写真のような電動ドリルが便利です。



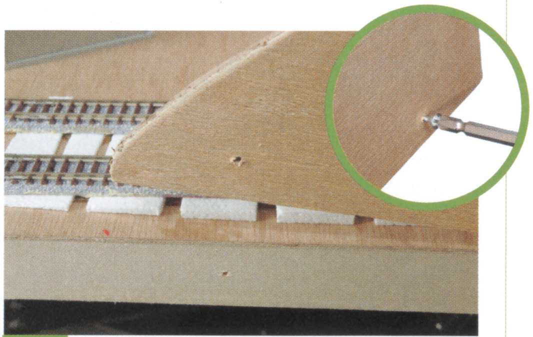
18 ▲このレイアウトの場合は、フィーダーを目立たないトンネル内に設置するため、トンネルで山が覆われる前に配線作業をします。



19 ▲山の断面をベニヤ板※で作ります。山の頂上から斜面にかけて大体の形状をペンで描き、カッターナイフでカットします。カッターは力を入れすぎずに何度もなぞります。



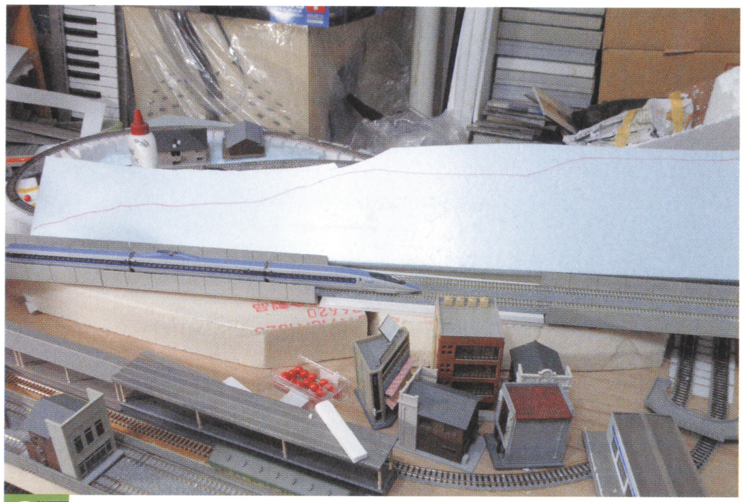
20 ▲カットした断面ベニヤ板をレイアウトベースに取り付けます。写真のようにトンネル内の脱線の復旧や線路のメンテナンス用に一部に穴を開けておきましょう。



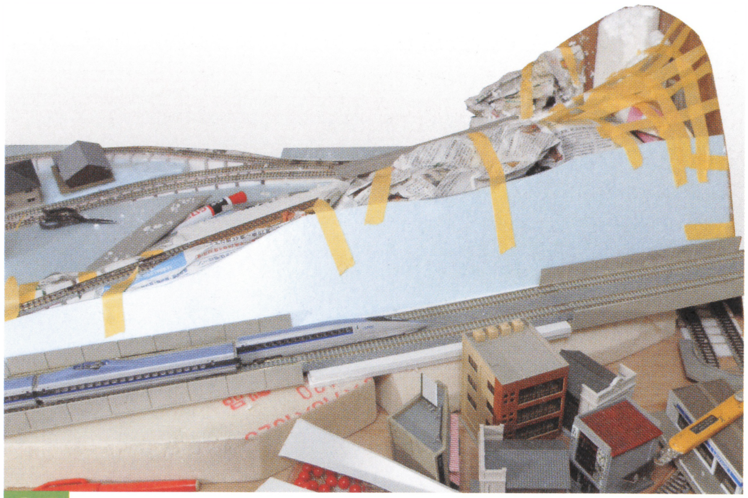
21 ▲断面ベニヤ板の取付けには、木ネジを使用します。ベニヤ板とレイアウトボードに電動ドリルで穴を開け、木ねじを＋ドライバーで締め付けます。

22 ▲断面ベニヤ板を基準に、線路周囲を発泡スチロールボードで覆うように配置し、山を形成していきます。トンネル入口には複線トンネルポータル※を仮配置し、実際に車輌を走行させて車輌が接触する箇所がないかチェックします。チェックに使用する車輌は、所有する中で一番車体の長い車輌（写真手前の 113 系は 20m 車、奥の 485 系は 21m 車）を使います。

23 ▲山の下層部が終わったら、続いて上層部も同様に発泡スチロール板を積層し、カッターナイフで整形します（↑大切な車輌はしっかりしまってから作業しましょう。写真は悪い例です！）。



24 ▲前項とは裏側となる都会側の山は、新幹線を通すために山を切り開いて造成したという設定。こういった斜面を法面（のりめん）といい、地滑りや土砂災害による崩壊を防止するため、コンクリートで厚く覆われます。それを再現するため、発泡スチロール板を斜めに置き、山の断面をペンで下書きしてからカッターナイフでカットします。



25 ▲カットが済んだら木工用ボンドでレイアウトベースに接着し、山本体にはマスキングテープで止めます。マスキングテープは本来、塗り分け時に塗装面に貼るための粘着力が弱いテープですが、このような工作にももってこいの使いやすさです。

26 ▲山の内部には古新聞を丸めたものを入れ、山を形成していきます。古新聞を入れずに完全な空洞を作る場合は、写真のようにマスキングテープを網目状に貼っていきます。

27 ▲築堤の斜面も丸めた古新聞を帯状に配置し、マスキングテープで固定します。この方法のほかに、発泡スチロールを積層にして形成しても良いでしょう。

強い。N ゲージ線路の枕木には、一定間隔で釘用の穴が枕木中心に開いており、KATO から専用の釘が発売されている。

サブテレイン・システム
レイアウトの勾配や築堤などを作るための発泡スチロール製の輸入レイアウト素材。ホビーセンターカトーで輸入しており、レイアウト用品を取り扱う鉄道模型店で入手可能。

木工用ボンド
木材または紙、発泡スチロールの接着に使われる。模型店やホームセンターなどで入手可能。レイアウト製作では基本用途以外にもカラーパウダーや草木の接着など活躍する場が多い。

発泡スチロールボード
一般的な白い発泡スチロールの板で、画材店やホームセンターで入手可能。板厚やサイズも豊富で、積層により地形や山を表現する際に使用する。また、建材として断熱材や防音材に使われる「スタイロフォーム」という発泡スチロール板もあり、一般の発泡スチロールより粒子が細かく丈夫で、カッターナイフによる造型やヤスリ掛けによる表面仕上げも可能なのが特徴。

トンネルポータル
トンネルの出入口、レンガを積層したものや、コンクリート製が多く見られる。鉄道模型ではプラスティック製品が多く､N ゲージではグリーンマックスから単線、複線用が発売している。

28 ▲形成した山の表面にプラスタークロスを貼り付けます。写真左からプラスタークロス、周囲へのプラスター粉末の飛散を防止する保護用ビニールシート、そして塗料用トレー。

29 ▲塗料用トレーに水を入れ、適当な大きさにカットしたプラスタークロスを浸します。浸けすぎずにしみ込ませる程度で。

30 ▲水を浸したプラスタークロスを山の表面に貼り付けていきます。

31 ▲貼り付け面積の広い場所は、水に浸す前にプラスタークロスで山を直接覆います。

32 ▲水の入った霧吹きで、クロスで覆った山に水を吹き付けます。クロスは乾燥すると１枚でも強度が出ますが、さらに強固にしたい場合はクロスを複数重ねて貼るとよいでしょう。

33 ▲プラスタークロスで覆われ、全体が雪山のような風景になりました。プラスタークロスが完全に乾く時間は半日～１日。日曜日にレイアウト製作をしたい場合は、土曜日の夜にここまでの作業を終えておくと良いでしょう。

■山肌に和紙を貼る

プラスタークロスが乾燥したら山肌を着色します。着色にはポスターカラーやアクリル絵の具を使い、筆で塗る方法が一般的ですが、この作例では着色ではなく、緑色の和紙を貼り付けました。これにより強度がさらに増すほか、着色する手間が省けるという利点もあります。

和紙は画材店や、最近では規模の大きい100円ショップでも入手することができます。

34 ▲塗料トレーに水と木工用ボンドを入れ、ボンド水溶液（96ページ参照）を作ります。比率は１：１程度。

35 ▲木工用ボンドが完全に溶けるまでヘラでよくかき混ぜます。

36 ▲完成したボンド水溶液に、ハガキサイズ程にちぎった和紙を入れ、和紙がやわらかくなるまでしみ込ませます。

37 ▲プラスタークロスと同じ要領で和紙を貼り付けていきます。

38 ▲山や草木を付ける箇所を緑色の和紙で覆いました。緑色を使用すれば、この和紙の表面に撒くカラーパウダーや、草木の隙間から地肌が見えても目立たなくなります。しかも使う素材も少なくて済むという利点があります。緑のほかに茶系の色でも良いでしょう。和紙の乾燥はこちらもやはり半日～1日程度かかります。

■いよいよ植樹！

ここまでで大掛かりな地形を形成する作業は終了です。いよいよレイアウト製作で一番の醍醐味が味わえる、地表に土や草木を表現する作業が始まります。地表を表現するレイアウト素材は、鉄道模型用として各社から発売されていますが、ズバリ「杉の木」というように用途が特定できる製品は多くありません。レイアウト用素材は大きく分けて砂系の素材と、スポンジ系素材の２種類に分類されます。これらの素材の色や質感、特性をうまく使い、地表の土や植物を表現していくセンスのいる作業です。

<レイアウト豆知識 -1 > 地表・草木を表現する代表的な素材例

※作例で使用した素材の一例です。このほかにも素材は数多く存在します。

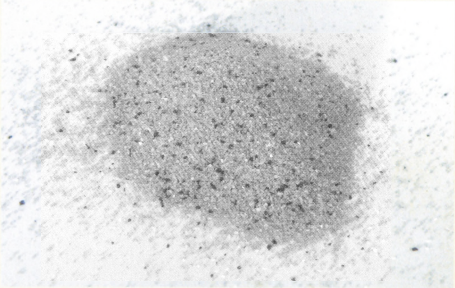
●草を表現する - フォーリッジ

▲スポンジを粉末にして着色したもので、密集感が演出できます。線路際の雑草や樹木にまぶして使います。色は緑系の濃淡、枯れた茶系の濃淡色があります。

●草／土を表現する - ターフ

▲フォーリッジをさらに粉末にしたパウダー状のスポンジ素材。雑草や岩肌に付く苔の表現などに使えます。色は緑系の濃淡、枯れた茶系の濃淡色があります。

●砂利道を表現する - バラスト



▲線路に撒くバラストですが、砂利道や工事現場などにも幅広く使えます。色はグレー系の濃淡、茶系の濃淡色があり、ブレンドして使うこともできます。

●樹木を表現する - フォーリッジクラスター

▲粉末のスポンジを固形にしたもので、密集感が演出できます。遠景の樹木や、庭の植え込み、垣根などに使います。色は緑系の濃淡と紅葉系の色があります。

●樹木を表現する - ファインリーフフォーリッジ

▲ドライフラワーにフォーリッジをまぶした非常に繊細な素材。天然素材だけあって枝ぶりも非常にリアルなので、レイアウト上でも近景、特に目立つ場所に使うと効果的です。ただし繊細ゆえに破損しやすいので注意。

●樹木を表現する - トミーテック ザ・樹木シリーズ

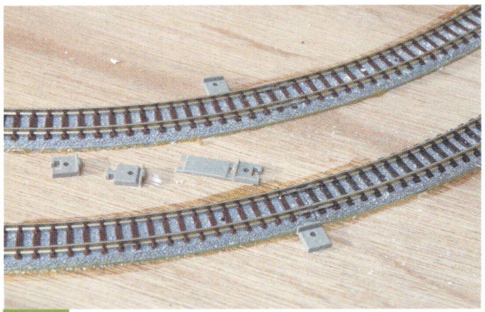
▲プラスティック成型の樹木本体にフォーリッジを接着して作る樹木キット。レイアウト素材で唯一、桜や竹など、特徴ある植物の種類を特定することができる。こちらも完成すればリアルなので主に近景用。

STEP:03 線路にバラストを敷く

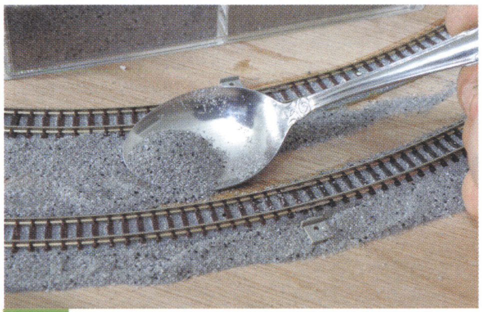
～バラストの敷き方＆固着方法～

■植樹の前に…線路のバラストを敷いておきましょう

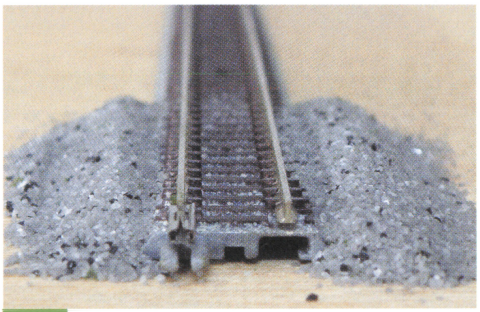
バラストとは、線路の周囲に敷かれている砂利のことで、車輌が走行すると発生する音と荷重を吸収し、分散させる役割をします。この全体の構造を道床といい、砂利そのものはバラストまたはバラスと呼ばれています。鉄道模型の線路システムでは、この道床までが再現されたものが主流ですが、実物と比較するとバラストの敷かれている幅が狭く表現されています。これは線路システムとしての扱いやすさから簡略化されたものですが、レイアウトを作る際には、実物と同じようなボリュームで再現した方が実感的です。この作例を参考に是非チャレンジしてみてください。また、上級者向けで、道床の再現がなく、自由に曲線が作れる固定式線路・フレキシブル線路という線路もあり、よりリアルな線路を再現することができます。



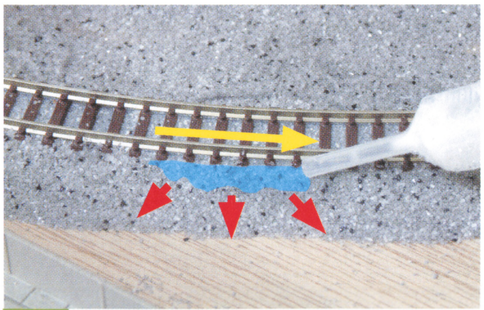
39 ▲バラストを敷く前に、架線柱を設置するための取付ベースを接着します。取付ベースは線路の下に敷く構造ですが、レイアウトに固定する場合は、両端のベース部分のみを使います。



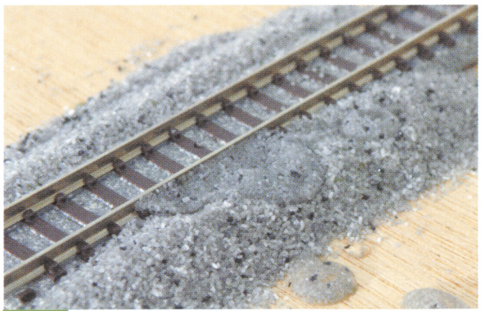
40 ▲バラストを敷くときは、スプーンですくってバラストの盛り具合を調節しながら少しずつ撒きます。



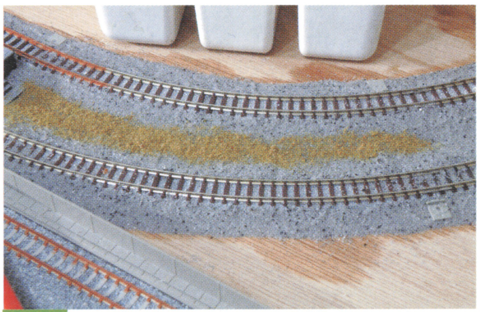
41 ▲バラストを敷いた線路の断面です。少し肩を張ったように盛り上げてあげると実感的です。実際に線路をよく観察すると良いでしょう。



42 ▲バラストの接着にはボンド水溶液を使います。水溶液をスポイトを使いバラストにしみ込ませます。写真のように線路のレール付近をなぞるようにしみ込ませると全体にうまく行き渡ります。



43 ▲ゆっくりしみ込ませようとすると、水滴になり、バラストが玉状になってしまいます。この場合はボンド水溶液に中性洗剤を入れると解消されます。ボンド水溶液の作り方は下をご参照ください。



44 ▲全体にしみ込んだら乾燥するのを待ちます。完全に乾燥するまでは丸一日かかりますので、ホコリやパウダー類が飛散しないように注意してください。

＜レイアウト豆知識 -2 ＞ レイアウト製作には欠かせない !! ボンド水溶液の作り方

▲木工用ボンドを水の中に入れます。比率は 1：1 程度です。

▲ボンドが完全に溶けるまでよくかき混ぜます。さらにしみ込みやすくするために中性洗剤を微量加えます。

▲半透明より濃く、白に近い色になれば完成です。バラスト以外にもターフなどの草の接着にも使用します。

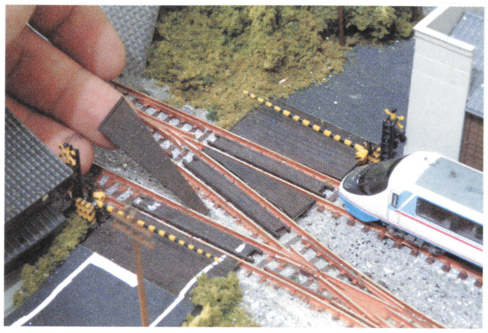
STEP:04 草・樹木・土 "地面"を作る
～山の仕上げ・線路際など～

草木を付けるのはバラスト撒きの前？後!? レイアウト製作に正しい手順はあるのだろうか

山を含めた全体の地形が完成すれば、当然草や樹木を付けて山を仕上げてしまうのが自然の流れ。バラストを撒いた後に草木を付けたら作業中にバラストに草が付着してしまうのでは？

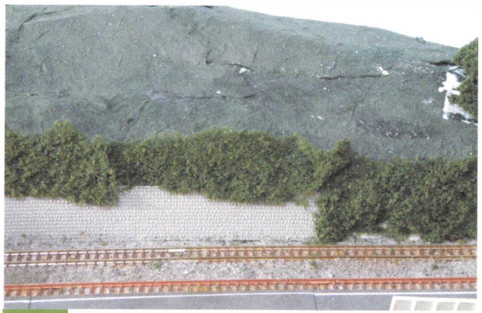
…実はここからレイアウトの仕上げまでの手順というのは、一体どの順番で進めればいいのか悩んでしまうことが多くなってきます。この記事中でも、山を仕上げるような流れの中、突然バラストを敷く記事が入り込んできました。レイアウト製作では、作るプラン、作り込む風景によって本来の手順に逆らって作業をする場合が出てきます。例えばトンネルの中。山を仕上げる前にトンネル内にバラストを敷いておきたいとなると、当然山を作る前にバラストを敷くことになります。そのほか駅のホームや踏切などは、バラストを敷く前に取付を終えておいた方が作業がしやすい場合もあります。

結論を言えば、どの方法も正解です。製作するのに都合が良い方を優先して進めましょう。ちなみにこの作例の場合は、山を仕上げる前にバラストを敷く作業を行ないました。その方が後ほど解説する線路際の作り込みがしやすいからです。



▲踏切やホームなど、線路と密接になる部分は、バラストを敷く作業に直接影響が出てきます。どちらが作業しやすいかはその現場の状況で判断することが必要です。ちなみにこの踏切の場合は、ポイントの間に渡り板を入れる加工をしたため、渡り板のみバラストを敷いた後に取付けました。

■山に樹木を付ける

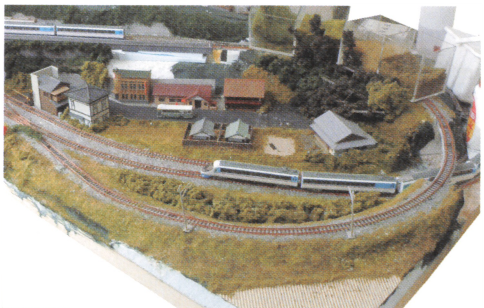


45 ▲線路際の法面にはグリーンマックスの石垣を貼り付け、草も線路内に飛び出さないようにターフで薄く貼り付ける程度にしておきます。

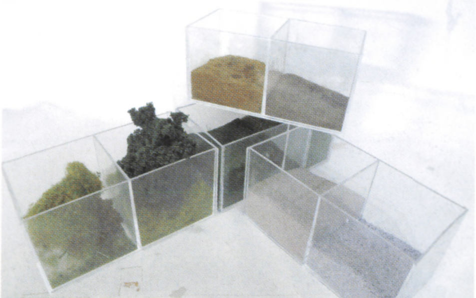
46 ▲レイアウト手前の街並みから見れば、山は遠景となるので、樹木の表現には密集感が出るフォーリッジクラスターを使用します。写真のように指でほぐして広げてから使うと、接着面積も広がり確実に山に固着できます。

47 ▲山肌に木工用ボンドを塗り、ヘラ等でまんべんなく延ばします。

48 ▲指でほぐして広げたフォーリッジクラスターを貼り付けます。広げた分使う量も節約できるほか、山肌に貼った緑色の和紙のおかげで隙間が見えても目立ちません。木工用ボンドは乾くと透明になります。

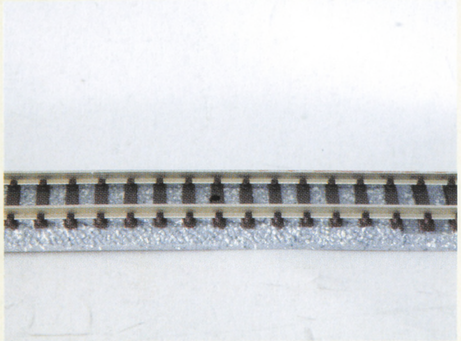


49 ▲山が終わったら、建物の周辺や築堤などにも草を付けていきます。作例では遠景となる山を暗緑色、手前側は明緑色にして風景に奥行感を出しました。

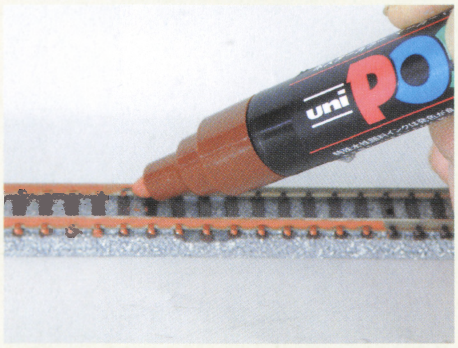


50 ▲地表に草木を付ける作業は、フォーリッジからターフまで、まるで絵の具のように様々な素材を混ぜ合わせながら使うことが多くなります。これらの素材は写真のように透明のケースに移し替えておくと便利です。

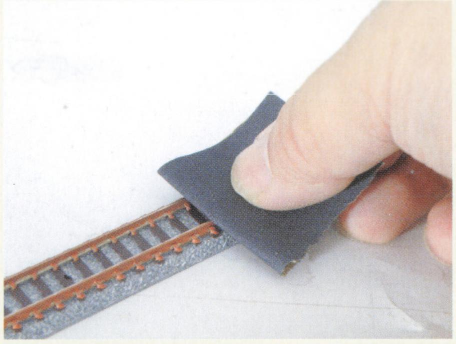
＜レイアウト豆知識 -3 ＞ レール側面を茶色に塗る



▲鉄道模型の線路はレール全体が金属の素材色のままとなっており、実物の側面が茶色く錆びたレールとは印象が異なります。そこでレール側面を茶色で塗装してみましょう。

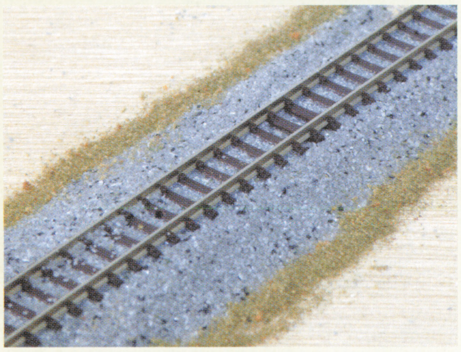


▲塗装に使用したのはペンタイプのポスターカラーです。筆塗りでもできますが、ペンの方が手軽に短時間で塗ることができるので便利です。

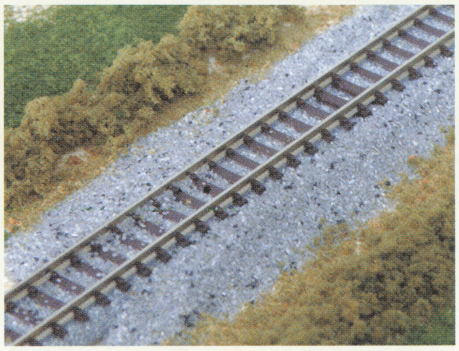


▲レール天面は車輪との通電のために、乾燥後必ず1000 番程度の目の細かいサンドペーパーで磨いてインクを落としておきましょう。

＜レイアウト豆知識 -4 ＞ 線路際の草木の表現



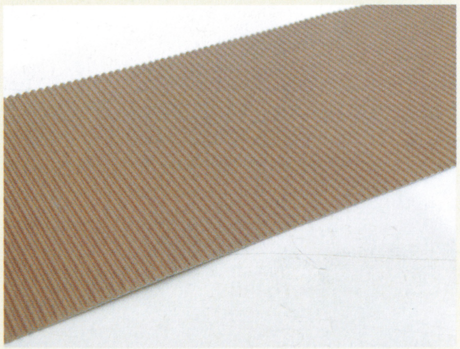
▲線路際には保線作業などの通路として犬走りと呼ばれる通路があります。バラストの外側には茶色系のターフでそれを表現します。



▲犬走りの外側には雑草が生い茂っている場合が多いので、緑系のフォーリッジで草を表現します。また築堤の場合は、ここから法面となり傾斜が始まります。

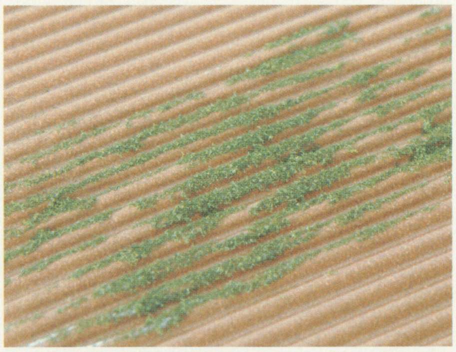
▲ターフやフォーリッジといったパウダー状の素材の接着にも、バラストと同様ボンド水溶液が活躍します。

＜レイアウト豆知識 -5 ＞ 畑の簡単な表現方法



▲畑の表現方法として最も簡単な段ボール紙による作り方を紹介します。こちらが段ボール紙で、普段見かける段ボール箱の片面の紙がない状態のもの。画材店や 100 円ショップでも入手できます。

▲この段ボールの凹凸を畑の畝（うね）に見立てて畑を表現します。表面を茶色のポスターカラーやアクリル絵の具で着色します。その表面に茶色のターフをふりかけても良いでしょう。



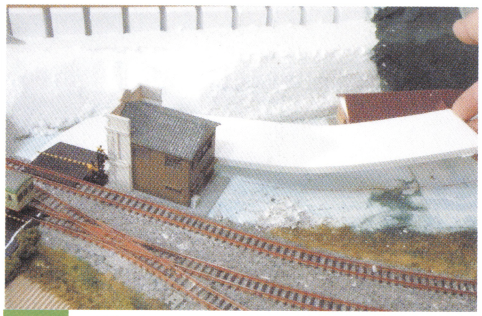
▲畝の凸部分に農作物となる緑のターフを木工用ボンドで接着します。畑の周囲はあぜ道として茶色のターフを撒いて表現します。これで畑の完成です。

STEP:05
舗装された道路を作る
～塗装なしでアスファルトの質感を表現～

現在の風景を作る場合は、道路のほとんどがアスファルトで舗装されています。道路は単純にグレー一色で塗装して表現すれば簡単に作ることができますが、色味やツヤの具合によっては、路面が平滑に見えてしまい不自然に見えることもあります。

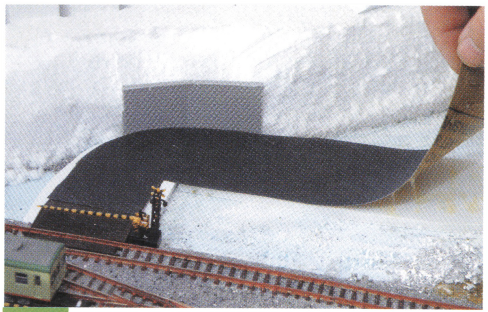
作例では、塗料を一切使用せず簡単にアスファルトの質感が出せる方法を使いました。それは、木製品などの表面仕上げなどに使用するサンドペーパー（紙ヤスリ）です。サンドペーパーはおもに紙タイプ（ヤスリ面が茶色）と、耐水タイプ（ヤスリ面がグレー）の2種類がありますが、アスファルト表現に適しているのは当然グレーの方です。ヤスリ面の目の粗さによりザラザラ感が異なりますが、使い込んだアスファルトなら800番前後、舗装したばかりであれば400番前後を使うと良いでしょう。

■サンドペーパー（紙ヤスリ）でアスファルト舗装の道路を作る

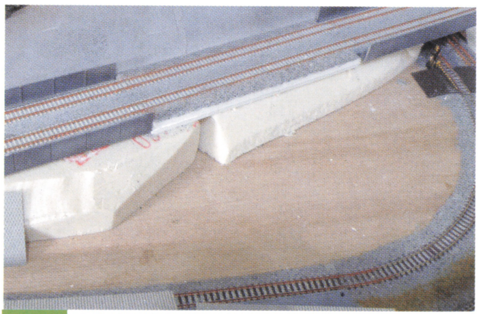


51 ▲道路をレール天面近くまで嵩上げしたい場合は、5mm厚のスチレンボードで路面のベースを作ります。スチレンボードは画材店で入手することができます。

52 サンドペーパーを道路と同じ形にカッターで切り、裏面にゴム系接着剤を塗ります。



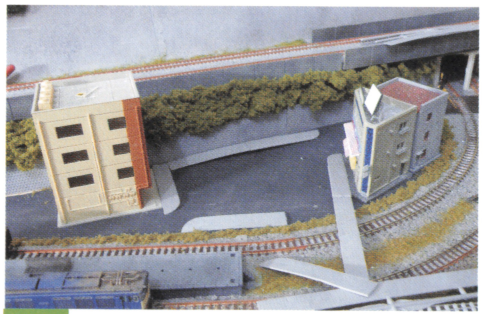
53 ▲スチレンボードの表面にサンドペーパーを接着すればこれで完成です。接着剤が完全に乾くまでは、サンドペーパーが丸まって剥がれてしまうことがあるので、重たいもので押さえておきましょう。



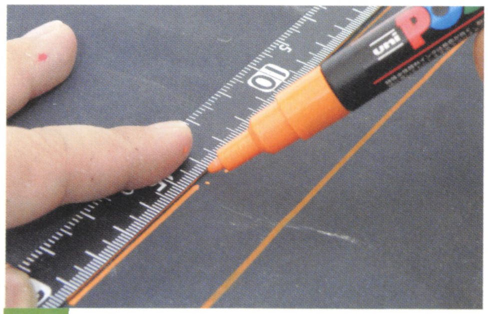
54 ▲道路の形状に切り出すのが面倒な場合は、思い切ってスペース全体にサンドペーパーを貼るという手段もあります。

55 スペース全体にサンドペーパーを貼り付けた状態。まだ建物がなく、これから都市計画を考えるという場合でも、とりあえず空き地にサンドペーパーを貼っておけば、どんな区画にも対応できます。

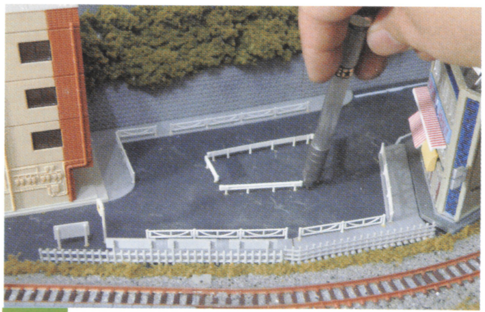
56 ▲建物の位置が決まりました。建物の固定にはゴム系接着剤を使います。狭いスペースながらもこの空間に駅前ロータリーを作ります。



57 ▲歩道はプラスチック成型品を使用します。作例では津川洋行の製品を使用しました。歩道をロータリーの形状に合わせてカットしながらゴム系接着剤で接着します。



58 ▲道路にセンターラインや横断歩道などを入れる場合は、ペンタイプのポスターカラーで定規を当てて書き込みます。直接書く前に、不要なサンドペーパーで練習をしてコツをつかみましょう。



59 ▲歩道のガードレールや電柱、道路標識を取り付ける場合は、ピンバイスで穴を開けて差し込みます。道路周辺のアクセサリーは、KATOのジオタウンシリーズを使いました。

STEP:06 ストラクチャーの加工＆塗装

～建物の塗装・加工～

ストラクチャーの塗装＆加工でレイアウトを独創性豊かに演出

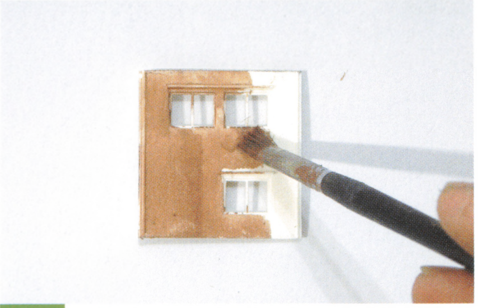
レイアウトで使用する駅舎や建物といったストラクチャーは、未塗装のキットや完成品として数多くのバリエーションが各社から発売されています。最近では組立キット形式ながら、細かい彩色まで施されたトミーテックの「ジオラマコレクション」のシリーズが、初心者でも簡単に組むことができ、バリエーションも豊富で価格も手頃なことから人気を博しています。

それらの建物を、いざレイアウトに組み込むと、地形や線路配置の都合から、製品をそのまま置くことができない場合もあります。その場合は配置するスペースに合わせて製品の一部を切り取るなどの加工が必要となります。一見して難しそうに思えますが、基本さえ覚えてしまえば、どんな状況にも対応できるようになるので、ここではストラクチャーの基本的な塗装、加工について簡単に解説したいと思います。

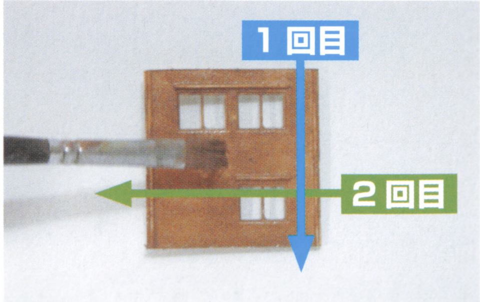
■筆塗りで建物を塗装する

60 ▲未塗装キットや完成品の塗り替えをする場合、商店や民家程度の大きさの建物であれば、筆塗りで塗装する方が簡単です。塗装する面積の広いビルなどは、スプレーで塗装する方が良いでしょう。

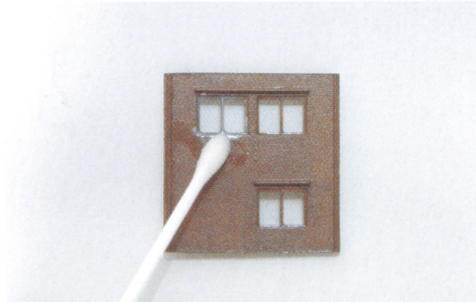
61 ▲使用する塗料はタミヤのアクリル塗料がニオイも少なく筆を水洗いすることができるので、初心者でも扱いやすいです（写真右）。塗料はビンの下部に原液が溜まっているので、不要の割り箸などでよくかき混ぜます。また、筆塗りの場合、そのままでは塗料が濃いので、専用の溶剤で希釈して使用します。



62 ▲最初は全体に薄く塗ります。1回目の塗面が乾いたら、2回目を塗装します。これを数回繰り返し、塗り重ねていきます。



63 ▲筆の動かす方向は縦横混在させず、横方向で塗ったら、乾燥後に縦方向という具合に交互に塗るとムラが出にくくなります。



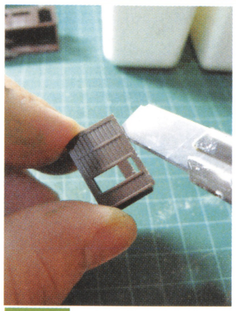
64 ▲窓サッシなど細部の塗装は、タミヤのエナメル塗料を使います。エナメル塗料は、万が一はみ出しても専用の溶剤で拭き取ることができるので、こういった細部の塗装に便利です。

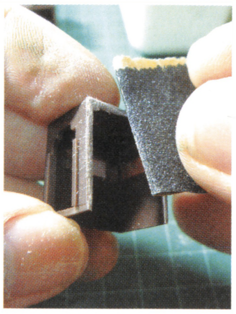
レイアウトのストラクチャー製品は、数多く製品が存在するものの、多少の仕様違いで同じ形状の建物が重複という場合もあります。そういった時はこのように塗り替えてしまえば、たとえ同じ形状の建物でも、また違った印象で見えてきます。

自分の作品に変化や独創性を主張したい場合は、大変有効なテクニックです。また、筆塗りは工作の基本でもあるので、ぜひチャレンジしてみてください。

■建物の切断（KATO　跨線橋）

65 ▲跨線橋の階段部分のみを使うため、渡り部分をニッパーで大まかに切断します。ただし、使用部分を余計に切断しないように、実際の切断面より先で切断しましょう。



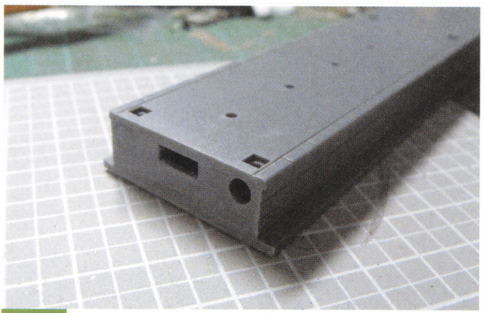


66 ▲使用部分の切り口を仕上げます。カッターナイフで余分な箇所をカットし、ヤスリで仕上げます。建物を接合する場合は、この部分を垂直にきれいに仕上げなければいけません。

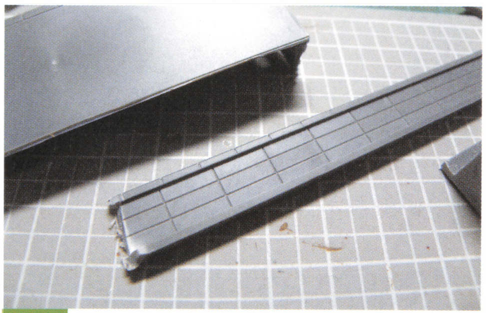
67 ▲階段部分は製品をそのまま組み立て、前のページのように塗装をすれば完成です。ちなみにこの階段は、レイアウト内の分岐線終端駅のホームと駅舎を結ぶ階段として使用しています。

■島式ホーム端部の加工（TOMIX 製　島式ホーム近代型）

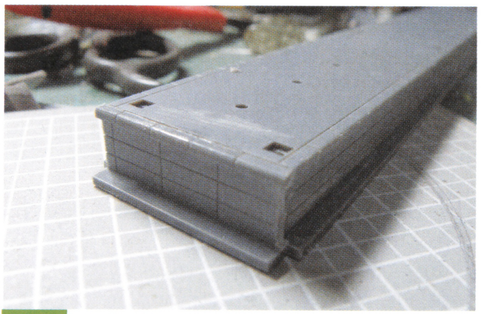
68 ▲作例のレイアウトでは、直線区間が短く、島式ホームセットに付属する端部が使えないため、屋根付ホームの接続部を端部に改造します。ちなみに屋根は変化を付けるために、半分をローカル型の屋根に加工して交換してあります。



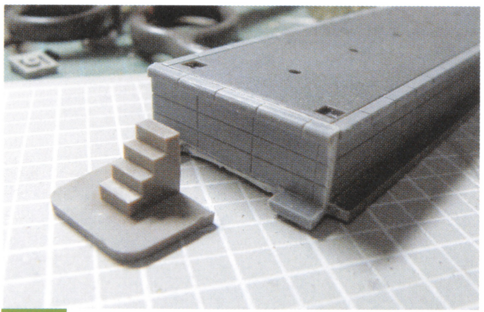
69 ▲接続部には位置合わせ用に丸い凹凸が成型されているので、凸のみをカッターナイフでカットし、サンドペーパーで表面を平滑に仕上げます。



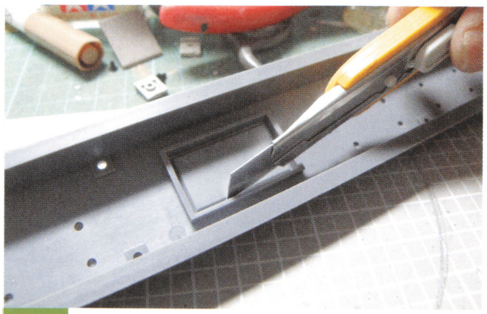
70 ▲端部のブロック模様は、今回使用しない製品端部ホームの側面から切り出します。切り出しにはカッターナイフを使い、裏側から何度も切り込みを入れて切断します。



71 ▲切出したホーム側面をホームの幅でカットし、プラモデル用接着剤で固定します。



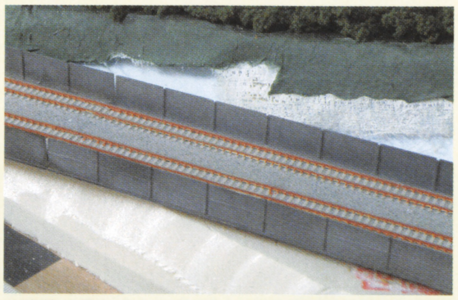
72 ▲ TOMIX のミニホームに付属する端部の階段がはまるように、ホーム下部の張出し部分をニッパーで撤去して接着すれば完成です。



73 ▲ちなみに高架駅という設定なので、改札のある地上階へ降りる階段を取り付けます。こちらはホーム裏側に切断箇所が溝で示されているので、カッターナイフで軽く何度かなぞると簡単に切り抜くことができます。加工の基本がこんなところでも実践できます。

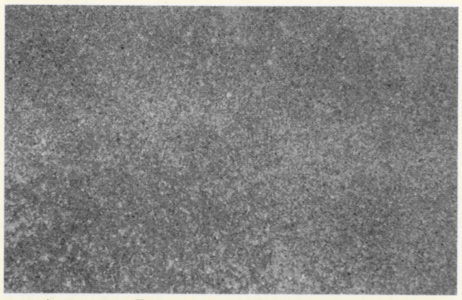
＜レイアウト豆知識 -6 ＞　塗装だけでコンクリートの質感を表現する簡単な方法

壁や石垣、トンネルポータルなどコンクリートの表現方法として、レイアウト製作の至るところで活用できる技です！



▲塗装するものと、スプレーとの距離を 50cm ほど開けて、軽く空気に塗料を乗せるような感覚でスプレーを吹きます。使用する色は灰色、黒、白の３色です。写真は新幹線の高架橋に施した例。

▲こちらは灰色をベースに黒、白をまぶしてスプレーしたもの。比較的新しいコンクリートの表現になります。



▲一方こちらは黒をベースに灰色、白をまぶしたもの。年季の入った古いコンクリートの表現になります。

STEP:07 レイアウト製作 総仕上げ

～山の形成→地形の仕上げ～

レイアウト製作もいよいよ大詰め！全体の総仕上げ!! …しかし高架の塗装やジオタウンの姿が!?

いよいよ完成に近づいてきました。最終段階に入ると、線路に架線柱を立てたり、道路や歩道には車やバス、そして人形を配置したりと、街全体に生活感があふれ出してくる楽しい作業が待っています。

でもその前に、今まで行なってきたレイアウト内の作業から、今度はレイアウトの外、すなわち外観を仕上げる作業に入ります。

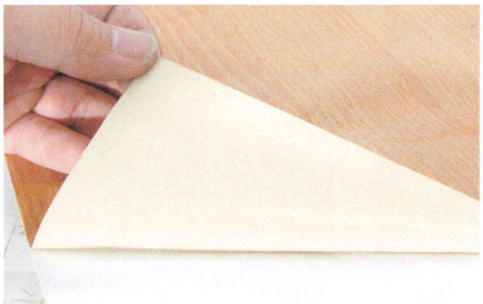
レイアウトベースの側面は、木製パネルとベニヤ板が露出したまま。また、プラスターや草などが付着しているなど、作業の痕跡が残ったままでは美しくないですね。そこでレイアウト側面に木目柄のカッティングシートを貼ることにしました。

レイアウトベースは木製なので、表面をサンドペーパーで平滑にしてからニスを塗って仕上げる方法もありますが、作業の簡略化（手抜きとも言う）のため、今回は100円ショップで入手したカッティングシートで仕上げることにしました。

次のページをチラっと覗くと、完成と大書きしてある割には、何やら高架線の塗装をしている様子。じつはレイアウトベースの４面ある側面のうち、都会側の面だけは、高架橋が露出する仕掛けとなっています。この手前にKATOのフロアーレイアウトで、ジオラマの雰囲気が楽しめるプレート式のジオラマシステム「ジオタウン」を配置するというアイデアです。

また、このレイアウトを都会側から見ると、エンドレスの本線とは別に複線高架線路が手前と山を切り開いて斜めに配置されています。これは、車輌のコレクションが増えた際に、車輌の展示スペースとして使用できます。さらにこの線路両端に線路をエンドレスで接続すれば、レイアウト外周にさらに４本の列車の走行が楽しめるという拡張性を備えています。

■レイアウト側面にカッティングシート（木目柄）を貼る

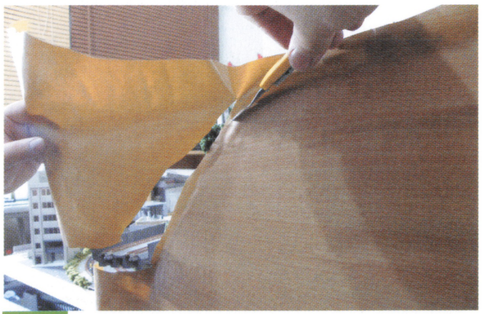


74 ▲今回は100円ショップで入手した木目柄のカッティングシートを貼ります。

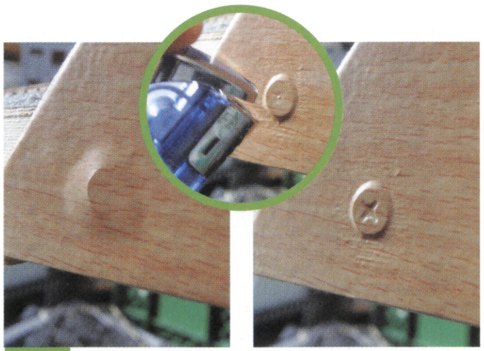
75 ▲シートは少しの突起でも貼ると目立ってしまうので、レイアウト側面をサンドペーパーで平滑に仕上げます。また、貼る面を霧吹きで濡らしておくと貼りやすくなります。

76 ▲シート裏面の台紙をはがし、端からゆっくり貼っていきます。

77 ▲シートの接着面に閉じ込められた空気を逃がすように、シートを放射状に押さえつけて圧着させます。写真のトンネルメンテナンス用の穴は、貼付け後にカッターナイフでくり抜きます。



78 ▲はみ出した部分もカッターナイフで切り取ります。

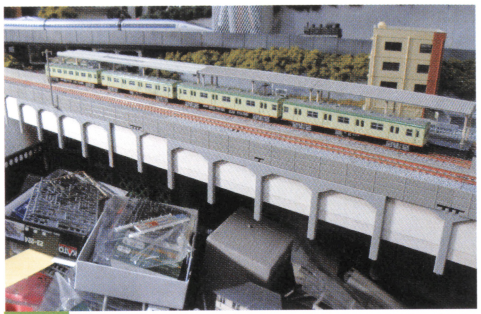


79 ▲木ネジや突起物がある場合は、ライターまたはドライヤーで熱を与えてから指で押さえると、綺麗に圧着してくれます。ただし熱を与えすぎると溶け出すので注意しましょう。

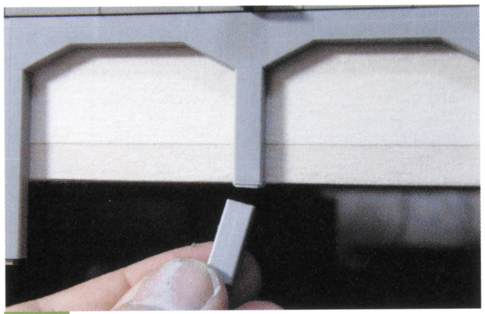
■都会側の側面は高架橋風に仕立てる

作例のレイアウト内には、じつは本線用の駅舎を配置していません。それは、狭いレイアウトの中に無理矢理駅舎と駅前を作ろうとすると、そのレイアウトのほとんどが駅関連の風景で完結してしまうからです。

そこでこのレイアウトパネルの厚みを利用して、都会側の側面は高架橋と高架駅に仕立てることにしました。これにより大きなスペースを必要とする駅舎は高架下に、さらにKATOのジオタウンシリーズを駅前に並べれば、賑やかな駅前の街並を無限に展開することができるのです！



80 ▲都会側側面にはグリーンマックスの高架橋をゴム系接着剤でレリーフ状に貼付けます。



81 ▲製品の高架橋のほうが足が長いので、不要部分はカッターナイフでスジを入れてパキッと折って撤去。切断面をヤスリで仕上げます。

82 ▲高架橋全体を塗装します。塗装しない部分はマスキングテープと古新聞で覆います。

83 ▲スプレーでコンクリートの質感を表現します。このやり方は101ページを参照。

84 ▲乾燥したら、マスキングをはがして完成！高架駅の入口は黒く塗りつぶして表現します。

Nゲージレイアウト「碑文谷電鉄線」ついに完成!!

手前にジオタウンを配置し、見事に完成したNゲージレイアウト「碑文谷電鉄線」。単純な複線エンドレスの本線ながらも、レイアウトの外側に拡張性を持たせたため、将来、車輛コレクションが増えた時や、友人と複数で運転会を楽しむ時でも様々な角度から楽しめるレイアウトです。これだけのスペースを確保できないという方でも、今回の作例を参考に、ミニレイアウトを製作して、レイアウトでの運転の楽しさを味わってみてはいかがでしょうか？

■Nゲージレイアウト「碑文谷電鉄線」

- ●サイズ：1167 X 910mm（木製パネルF50）
- ●複線エンドレス＋分岐支線（駅：片面1線・留置線：1線）
- ●本線ホーム停車可能輌数：20m車4輌
- ●展示用線路（新幹線：複線　在来線：複線）※拡張により走行可能
- ●オプション：KATOジオタウン駅前道路セット配置対応
- ●製作期間：約2週間

Q8 レイアウトもただ作るんじゃつまらないと思うので、人をアッと言わせるアイデアなんかありませんか…？

ガンケースに「地球の一部」が入ってた

MODELING：林　義泰
PHOTO：羽田　洋

A8 「思いもよらない入れものにレイアウトが入っている」というのはいかがですか？　写真は、なんとモデルガン（東京マルイのM-16-A1）の専用ケース内に作ったレイアウト。レイアウトとしては非常に細長い地面に、手際よくエンドレスを組み込んでいます。レールはTOMIXのスーパーミニカーブレール。エンドレスの右約1/3ほどはトンネルに隠しており、またこのスペースにはパワーパックや電車1輌も収納することができるため、それこそケースを持って出かけて、電源さえあればどこででも運転を楽しむことができるわけです。

▲新潟交通の日本標準型電車が駅に到着。

◀駅前広場は街コレ、カーコレ等を利用して賑わいを再現。

▲サングラスをかけた体格の良い男性がいきなりこのケースを持って現れ、思わず身構えたら中身がコレだった…。そんなギャップを感じさせるユーモアが満載。

▲その性質上、レイアウトの四辺は壁に囲まれているので、「ワープトンネル」を作って遊んでみた。

▲運転に必要な最低限の要素はこのように一緒に収納して持ち運べる。

その他編

Q1 レイアウトを作ろうと一念発起したのは良いのですが、家が狭くてリビングルームにしか置く場所がありません。家族の手前もあり、インテリアの一部としてカッコ良く展示したいのですが、そういったレイアウトが置ける家具のようなものは売っていますか？

A1 ご要望にピッタリの製品がありますのでご紹介しましょう。家具メーカー「充英アート」※から発売されている「ジオラマディスプレイキャビネット」（送料・税込99,800円）がそれです。サイズは幅1000×奥行670×高さ1370mmで、上段に600×900mmのレイアウトが置けるクリアーケース付きのスペース、下段は便利な引き出しと、車輌ケースなどがたっぷり置ける収納棚という構成。最大のポイントは、大人が腰掛けた時の「目の高さ」にレイアウトの地面が来るよう設計されていることです。今まで床置きだったレイアウトの情景も一段とリアルに感じられることでしょう。

▲自宅でくつろぎながらレイアウトが楽しめる、充英アートの「ジオラマディスプレイキャビネット」。色調はキャメル、ダークブラウン（写真）、ブラックから選択可能。なお、後方に見えるのは同社の「トレインディスプレイキャビネット」（送料・税込68,000円）。P：伊場光男

Q2 旧型客車や貨物列車が好きで、各メーカーのモデルを集めて楽しんでいるのですが、ほとんどが単品や2輌セットで、走らせるたびにいちいちケースから取り出すのが面倒です。収納場所から出し入れするのも不便だし、何かうまく解決する方法はありませんか？

A2 完成品メーカー各社からは、車輌セットに使われているのと同様のブック型ケースが販売されており、電車や客車といった「通常サイズ」の車輌はこれに移し替えればOK。厄介なのは長さや形状が様々な貨車製品の場合ですが、ウインやマイクロエースから、コンテナ車やタンク車等、特定の車種用のものが何種類か出ていますので、模型店で探してみると良いでしょう。

Q3 ようやくパソコンを買ってもらい自由にインターネットができるようになった中学生なのですが、ネットでNゲージの情報を上手に集める方法があれば教えて下さい。

A3 ネット上で得られるNゲージ関連の情報としては、メーカーのホームページや販売サイトのようなパブリックなものは言わずもがなですが、意外と便利かつ面白いのが、趣味で運営されているブログなどの個人サイト。内容もそれこそ初心者がNゲージ道に精進する日々を綴ったものから超絶工作に血道を上げる強者の記録まで幅広く、ユーザー目線での製品に対するざっくばらんな批評に思わず納得したり、思わぬ工作技法に刺激を受けるといったことも少なくありません。メールや掲示板を通じて管理者とやりとりができるのも、やはり他の媒体とは異なる双方向メディアの強みと言えるでしょう。

本題の効率的な情報収集についてですが、月並みですが検索サイトを利用する際、キーワードは出来るだけ具体的に狭い範囲を表す語句にすることに尽きるでしょう。例えば、漠然と「レイアウト」とか「ポイント」で引くよりも、自分が欲しい情報の対象を吟味した上で「KATO E233系 中央線」といったより具体的な語句を使った方が、目的とする情報により早く辿り着けることは間違いありません。

一つ気をつけなければならないのは、誰もが情報発信できるメディアであるだけに、TVや出版等とは比較にならない情報の混沌（カオス）状態にあるのがインターネットの本性であるということ。必要かつ有益な情報を取捨選択するのは他ならぬ貴方自身であることをお忘れなく。

Q4 本書を読んで、Nゲージの基礎知識もだいぶ身に付いてきたように思います。次なるステップとして、鉄道模型の専門誌を読んでみたいのですが、オススメの雑誌は何でしょうか？

A4 そんなアナタに是非オススメしたいのが、弊社発行の鉄道模型専門月刊誌『RM MODELS』です。Nゲージはもちろん、あらゆるゲージ、スケールの鉄道模型森羅万象をA4国際判（本書と同じ）のグラフィカルな誌面に展開、役に立つ新製品レビュー記事や車輌・レイアウトの工作記事、そして鉄道模型人としての教養が深まること請け合いの豪華連載記事を満載。新製品コーナーには魔法の数字「ホビダスナンバー」をアイテムごとに記載、巨大通販サイト「鉄道ホビダス」（http://rail.hobidas.com/）にアクセスしてこの数字を入力するだけで簡単にお買い物ができる、便利な「ホビダスショッピング」機能も好評です。毎月21日発売で定価1,000円です。この機会に是非ご購読を！

充英アート
同製品は受注生産（納期は約1ヶ月以内）。お問い合わせはhttp://jajan.co.jp またはフリーダイヤル0120-600875まで。

ショップ編

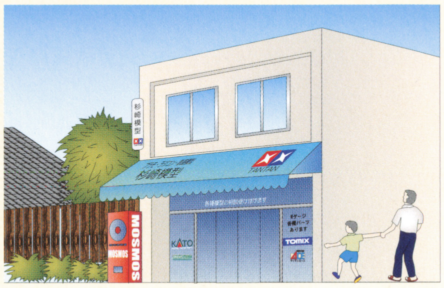
Q1 地方都市の郊外に住んでおり、近くに全く模型店がありません。Nゲージはどんなところで買えますか？ オススメの買い方などあれば教えて下さい。

A1 ふた昔ほど前は鉄道模型の専門店や鉄道模型を扱う模型店も多く、街のおもちゃ屋さんでNゲージを置いているのもよく見かけたものですが、これらは全体的に減少傾向にあるのは否定出来ません。しかし、いわゆる量販店やネット通販といった新しい形態が出現したこともあり、購入するための選択肢も増えて以前より便利になったとも言えます。ここではNゲージを購入する方法と、それぞれのメリットをお教えしましょう。

Nゲージの購入方法、教えます！

■専門店で購入する

商品知識豊かなスタッフが
Nゲージライフをサポート！

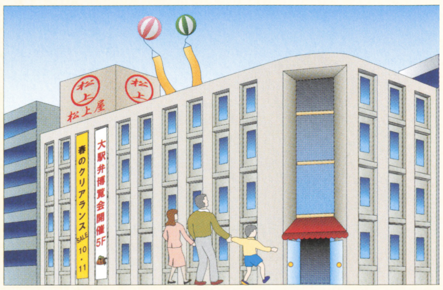


鉄道模型の専門店は何と言っても豊富な経験や商品知識を持つご主人やスタッフの存在が大きな魅力。Nゲージを始めたばかりのあなたにとって、心強い味方となってくれるでしょう。価格の面では後述の量販店には一歩譲るものの、その店だけのオリジナル商品やサービスが用意されている場合もあり、そのメリットはお金に代えられないものがあります。また、パーツや塗料・素材といった特定ジャンルの品揃えに力を入れている店が多いのも魅力でしょう。

■デパート・百貨店で購入する

家族連れでも安心！
主要メーカー製品なら品揃えも安心

デパートや百貨店の中には鉄道模型を扱っている店舗もあります。専門店や問屋さんが委託を受けて販売している場合が多く、初心者にもしっかりとサポートしてくれることでしょう。多くは定価販売となっていますが、その反面品揃え（在庫）の面では安定しています。また、家族連れのついでに寄れるのも魅力の一つでしょう。



■大型量販店で購入する

値引きはアタリマエ？
編成モノを一気にそろえたい
アナタに

今や鉄道模型購入における主ルートの一つになっている大型量販店は、何よりも価格面で有利。財布に優しいNゲージライフの一助となっています。その反面、人気の新製品は発売即売り切れとなる場合も多いので要注意。最近は地方の郊外にも出店しており、駐車場も完備しているので近くに店がない方には頼れる存在となってくれるでしょう。

■インターネット通販で購入する

何かと忙しいそこのアナタ！
居ながらにしてNゲージが購入できます

鉄道模型の通信販売というサービスは昔からありましたが、最近では専門店・量販店ともにネット通販も充実しており、店舗を持たないネット専門店も見られるようになりました。模型店に出向く時間のない方でも気軽にNゲージを購入できるのがメリットですが、直接製品を見たり仕様や詳細を店員さんに聞くことはもちろんできませんので、ある程度Nゲージの知識が身に付いた方向けといえるかも知れません。

■中古店やネットオークションで購入する

格安で揃えたいアナタ、
市場にないものが欲しいアナタはこちら！

古本屋や中古CD屋と同じく、中古鉄道模型店もちゃんと存在しています。価格は一部プレミア品を除いて新品よりもかなり安く、専門スタッフが動作チェックや再整備を行なっているので、お古で良いから安く揃えたい方にはオススメです。当然ながら新品では店頭で見かけなくなった商品もありますので、店頭在庫を探している方はちょっと寄ってみるのも良いでしょう。

また、いわゆるネットオークションでもNゲージが多数出品されていますが、設定価格とコンディションやレア度のバランスなど、入札する側にもそれなりの知識が必要なので、初心者の方にはあまりオススメできないというのが正直なところです。

Q2 行きつけの模型屋さんでNゲージ車輌を買うと、必ず走行チェックをしてくれるのですが、せっかちな私は正直これが面倒でたまりません。購入時のチェックは必ず必要なのでしょうか？

A2 店頭におけるNゲージ車輌の動力・ライト点灯チェックというのは、あたかも購入時の儀式のように執り行われておりますが（笑）、これはもちろん儀式でやっているわけではありません。

最近では初期不良というのも大分減ってきましたが、精密部品の集合体であるNゲージの動力車では、同一ロット内での個体差（ギア音や振動）は多少は避けられないようです。また、出荷検査はきちんと行なわれているはずなのですが、輸送時のトラブル等でライトが付かなくなってしまっている、ということも稀にあります。

従って、購入時のチェックはなるべくした方が良いと言えます。もちろん、チェックした車輌の状態が納得いかなければ、店員さんに頼んで他の在庫を試させてもらっても構いません。専門店などでは、動力・ライトの他、車体の塗装やキズなどもあらかじめ2、3個出して気に入ったものを選ばせてくれるところもあります。こだわりたい方はそういうお店を探して購入するのも良いでしょう。但しあまりしつこく検品をして、店員さんや他のお客さんの迷惑になるのは考えもの。何事もほどほどが肝心です。

また、中には購入時のチェックをしてくれないお店もありますが、こういうお店は多くが高い割引率で販売しており、チェックを省略するのもコストダウンの一部であると捉えるべきでしょう。もちろん、購入後初期不良が見つかった場合は、快く返品交換に応じてくれるはずです。

Q3 レイアウトを作ろうと思い、専門誌の製作記事を読んでいたところ、「地面の下地にはジェッソを塗り…」と書かれていました。このジェッソというものを近くの鉄道模型店に買いに行ったのですが、置いていませんでした。どこへ行けば売っているのでしょうか？

A3 お尋ねのジェッソはアクリル絵の具の一種で、画材店で入手することができます（大きな鉄道模型店では取り扱っているところもありますが）。

Nゲージの車輌や線路は鉄道模型専門店に行かなければ売っていませんが、このようにレイアウトや車輌工作「にも」使用する素材の中には、専門店では扱っていないものや、他ジャンルのお店の方が充実しているものも多く存在します。例えば車輌工作に使える塗料や筆などの塗装工具やプラ材、接着剤といったものは大きなプラモデル専門店に行くと非常に多種多様な製品が売られていますし、画材店や手芸店には、レイアウトの地面や樹木等に使えそうな各種素材が置かれていたりします。

鉄道模型というのは「鉄道」の模型であるとともに鉄道の「模型」でもあるわけですから、ジャンルにこだわらずに色んなお店を見て回ると、新たな発見やヒントが生まれてくるかも知れません。量販店に行ったら、鉄道模型だけでなくプラモデル売り場なども覗いてみると良いでしょう。

▲他ジャンルのホビーショップや画材店、DIY店などは、Nゲージャーにとっては宝の山でもある。

Nゲージ、初めてのお買い物はココで！

本書をここまで読んで、いよいよNゲージを始めてみようと思ったアナタ！　そして既にNゲージを始めているけどもっと新しいお店を知りたいというアナタ！　ここからは、編集部とっておきの優良ショップをご紹介しましょう。品揃えが良いだけでなく、的確な情報の発信や親身なアドバイスが受けられるなど、良いお店とのお付き合いは、今後の趣味生活の強力な味方となってくれるはず。また鉄道模型店の東西メッカ的存在である、東京・秋葉原と大阪・日本橋の模型店マップも収録しましたので、ぜひ保存版としてお役立てください。

（編集部）

TEXT & PHOTO：松尾よしたか（東京）、高橋　脩（大阪）

Models IMON 池袋店

東京で今最もホットな鉄道模型店と言えるのが、この3月にオープンしたMODELS IMON池袋店です。JR、私鉄、地下鉄の大ターミナル池袋駅西口から至近という、便利な立地にあるこの店を、訪ねてみました。

ビル6階に構えた店舗は、家具店も展開するIMONグループのノウハウにより、明るく清潔な雰囲気で、初めての人でも気軽に入店できます。今回は、店舗スタッフの中で、特に経験豊富な富田 強氏にお話を伺いました。

■

聞き手：この池袋店のセールス・ポイントはどのようなものでしょうか？

富田：既に弊社では4つの模型店を首都圏に展開中で（右頁参照）、既存店の経験を踏まえ、お客様のニーズに合った品揃えや、商品を探しやすいディスプレイなどを実践中です。当店各スタッフは鉄道模型の知識を持ち、専門店ならではのきめ細かなサービスをしています。

聞き手：オープンからそろそろ落ち着いたかと思いますが、お客様の傾向などは、見えてきましたか？

富田：テレビ番組の影響もあり、線路や情景からスタートする方が多いようです。私はこれまで弊社横浜店に勤務し、その当時これらの商品の販売は1割未満でしたが、今は2～3割位になります。

聞き手：はじめて鉄道模型を購入するお客様には、どのような商品を勧めていますか？

富田：やはり、最初は各メーカーで用意している入門用セットをお勧めしています。そのまま持ち帰り、すぐに運転を楽しんで頂けますから。また、セットにはない特定の車輌がお好みのお客様には、それに加え単品の線路など、何が必要かアドバイスさせて頂いております。

▲ビルの6階にある店舗のエントランス。店内の様子もよく見え、気軽に入ることができる。

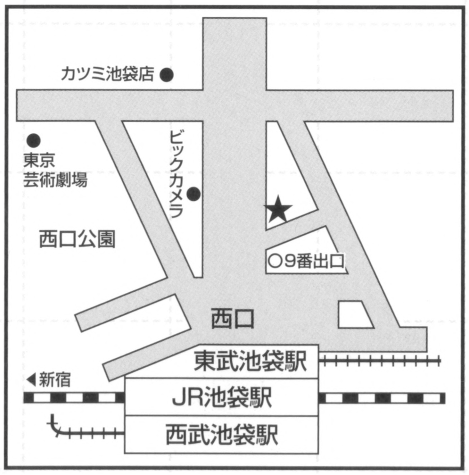
■

店内の一角にはNゲージのレンタルレイアウトも設置予定。ますます楽しくなりそうなMODELS IMON池袋店でした。

▲富田さん（左）と店長の前川さん（右）。他に2人のスタッフを加えた4人体制で、モデラーを強力にサポートする。

SHOP DATA

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1−18−1　五光ビル6F
営業時間　平日10:00～21:00、土日祭10:00～20:00
定休日　年中無休
TEL　03-5950-1067
FAX　03-3983-1435
URL　http://www.imon.co.jp
Eメール　ikebukuro@imon.co.jp



▲ゆったりとしたショーケースに並んだNゲージ車輌の数々。

▲パーツ、線路、レイアウト用品もワイドな品揃えだ。画面右奥に、レンタル・レイアウトを設置予定。

Models IMON各店

原宿店

SHOP DATA

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6−3−9
井門原宿ビル4F
営業時間 平日12:00〜21:00、土日祭10:00〜19:30
定休日 年中無休
TEL 03-3797-0077
FAX 03-3797-1101
URL http://www.imon.co.jp
Eメール models@imon.co.jp

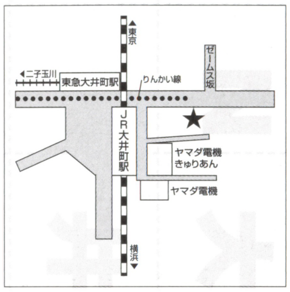
MODELS IMONの第1号店として1997年12月にオープンしたのが原宿店。表参道に面した立地で、鉄道模型のイメージ向上にも一役買っています。店内には、12mmと16.5mmのレンタル・レイアウトが目立ちますが、Nゲージも車輌および線路がよく揃っています。Models IMON全店に共通することですが、列車編成を並べて真横から見えるようにしたディスプレイがしてあり、商品を探すのが楽しくなります。

大井店

SHOP DATA

〒140-0011 東京都品川区東大井5−15−3
営業時間 平日10:00〜20:30、
土日祭10:00〜20:30
定休日 年中無休
TEL 03-3450-1211
FAX 03-3450-1212
URL http://www.imon.co.jp
Eメール ooi@imon.co.jp

大井店はModels IMONの2号店として、1999年6月にオープン。Nゲージ車輌を幅広く取り揃えている他、シーナリー・情景用品、素材・工具類にも力を入れています。Nゲージのシーナリー付きレンタルレイアウトもあり、連日盛況。品川駅や羽田空港に近い立地から、地方からの旅行や出張の途中に寄る人も多いそうです。また、近くに商業施設があるので、家族で行っても楽しめます。

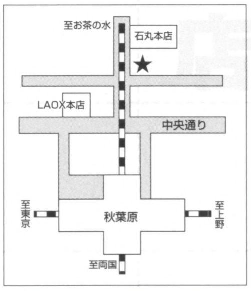


秋葉原店

SHOP DATA

〒101-0021 東京都千代田区外神田1−9−9
内田ビル3F
営業時間 平日10:00〜21:00、土日祭10:00〜20:00
定休日 年中無休
TEL 03-5296-1900
FAX 03-5296-1901
URL http://www.imon.co.jp
Eメール akihabara@imon.co.jp

ホビー業界の激戦地、秋葉原にModels IMONが進出したのは、2004年4月。Nゲージの車輌及びパーツの品揃えが抜群。新製品は1日でも早く入荷するように努めるとともに、可能な限り予約分以外にも、店頭販売分を入荷し、実際に見て確認してから買えるようにしています。面積が限られた店舗ですが、パーツ類のディスプレイが工夫され、欲しいものを探すのも容易です。

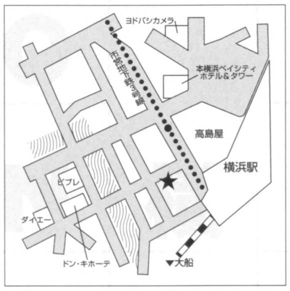


横浜店

SHOP DATA

〒220-0005 神奈川県横浜市西区南幸1−11−2
浜西ビル5F
営業時間 平日10:00〜21:00、土日祭10:00〜20:00
定休日 年中無休
TEL 045-290-1527
FAX 045-290-1590
URL http://www.imon.co.jp
Eメール yokohama@imon.co.jp

JRをはじめ、5つの鉄道会社が乗り入れる大ターミナル横浜駅至近の横浜店がオープンしたのは、2003年12月。会社や学校からの帰宅時の乗り換えのついでに寄れるという、大変便利なこの店は、Models IMONの中で店舗面積は最大。ズラリと並んだ車輌やパーツには、思わず圧倒されるほど。Nゲージのレンタルレイアウトがあります。休日には家族連れの来店も多いです。



MONTA

SHOP DATA

〒101-0021 東京都千代田区外神田1−9−9
内田ビル3F
営業時間 平日10:00〜21:00、土日祭10:00〜20:00
定休日 年中無休
TEL 03-5296-5861
FAX 03-5296-1901
URL http://www.imon.co.jp
Eメール monta@imon.co.jp

秋葉原店と隣接した、中古・委託品およびアウトレット商品の専門店。貴重な絶版品を含む、さまざまな車輌が並んでいます。場所柄、来店客も多く、商品の回転も早いです。人気のあるものは入荷後すぐに売れてしまうことも多いそうです。アウトレット商品は、新品ながら大特価での販売で、大変お買得。

ポポンデッタ 秋葉原店

数ある秋葉原の鉄道模型店の中で、特に規模が大きいショップの1つが、ポポンデッタ秋葉原店。自社ビルを構えているところに、まず強い意気込みが感じられます。1999年にインターネット通販店として創業、現在の場所でオープンしたのが2003年。ご自身がモデラーである代表取締役の太田和伸氏が、「鉄道模型を堂々と胸を張って楽しめる趣味に発展させたい」という願いを込め、ショップを展開中なのです。そんなポポンデッタで商品部の部長を務める中瀬至氏は、こう語ってくれました。

「昨年あたりから鉄道模型人口が拡大しているのを、実感しています。各種メディアで多く採り上げられた影響と思われますが、一過性のブームではなく、今年になっても勢いが持続しています。」

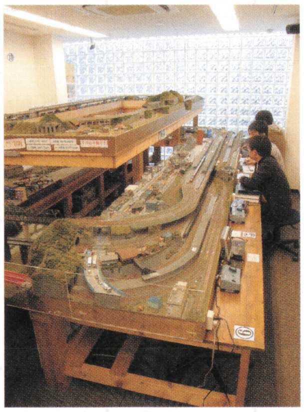
「最近鉄道模型を始めたお客様は、車輌コレクションだけでなく、運転や情景作りなどを幅広く楽しまれる傾向があります。私どもは、入門セットから各種車輌、パーツ、レイアウト関連用品、工具、そしてリーズナブルな価格の中古品も広く取り揃え、あらゆる層のお客様のニーズにお応えします。また、単に安売りで勝負するのではなく、専門知識を持ったスタッフがお客様に様々なアドバイスをするよう、心掛けています。プラスアルファの楽しみをご提供することが、鉄道模型を長く続けていただくうえで重要です。」

2階売場にはレンタルレイアウトを設け、なかなかの盛況。また、定期的にジオラマ教室を開催し、これはリピーターが続出するほどの人気だということです。

2006年には西のホビーのメッカにも、大阪日本橋店を出店（113頁も参照）。続いて2007年、あえて普通の住宅地に、アンテナショップとして下赤塚店をオープン。人通りの多い場所にも潜在的需要があることが確認され、同年中に川口グリーンシティ、木曽川キリオの2つの商業施設にも出店。訪れるファミリー層をターゲットにした店づくりで、人気を博しています。

▲商品部部長の中瀬さん。手に持っているのはお勧め商品のバラスト。左下はDCCによる自動運転を実演するレイアウト。

▲このビルが丸ごと模型店。地下1階から3階までが売場、4階はイベント・講習会会場だ。



▲店内2階にあるレンタル・レイアウトはシーナリー付きの本格派。

▲2階売場に並べられた車輌とパーツ。抜群の品揃えだ。

SHOP DATA

〒101-0021	東京都千代田区外神田3−3−3
営業時間	平日12:30〜20:30、土日祭11:00〜20:00
定休日	第3水曜日
TEL	03-5297-5530
FAX	03-5297-5538
URL	http://www.popondetta.com
Eメール	tu-han@popondetta.com

MAPは右頁⑪参照

ポポンデッタ 各店

大阪日本橋店

SHOP DATA

〒556-0005	大阪市浪速区日本橋4丁目10−3 雅光産ビル3F
営業時間	平日12:00〜20:00、土日祭11:00〜19:00
定休日	第3水曜日
TEL	06-4396-5010
FAX	06-4396-5110
URL	http://www.popondetta.com
Eメール	osaka@popondetta.com

川口グリーンシティ店

SHOP DATA

〒333-0834	埼玉県川口市安行領根岸3180 川口グリーンシティ別棟1F
営業時間	10:00〜21:00
定休日	年中無休
TEL	048-285-7888
FAX	048-285-7898
URL	http://www.popondetta.com
Eメール	kawaguti@popondetta.com

木曽川キリオ店

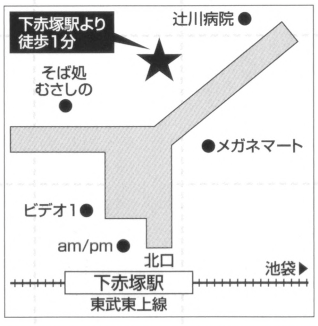
SHOP DATA

〒493-0001	愛知県一宮市木曽川町黒田字南八ツケ池25-1 イオンモール木曽川キリオ1階
営業時間	10:00〜22:00
定休日	年中無休
TEL	0586-84-3622
FAX	0586-84-3633
URL	http://www.popondetta.com
Eメール	kisogawa@popondetta.com

ミニ（下赤塚店）

SHOP DATA

〒175-0092	東京都板橋区赤塚2−2−3
営業時間	12:00〜20:00
定休日	水曜日
TEL	03-5968-4326
FAX	03-5968-4326
URL	http://www.popondetta.com



鉄道模型店、東のメッカ　東京・秋葉原MAP

①T.M.ステーション秋葉原

SHOP DATA

〒101-0021　東京都千代田区外神田3−5−14
関根ビル2F
営業時間　10:30〜20:00
定休日　年中無休
TEL　03-3253-5352
FAX　03-3253-5352
URL　http://www.web-tokyodo.com

新品、中古、委託品の車輌をはじめ、パーツ類も豊富に品揃え。レンタルケースを使った販売もあります。

②チヨダレールセンター

SHOP DATA

〒101-0021　東京都千代田区外神田3−15−7
麻野ビル2F
営業時間　火〜金、第1·4·5土12:30〜20:30
第2·3土、日祭11:00〜19:40
定休日　月曜日
TEL　03-3253-6860
FAX　03-3253-6862

車輌をはじめ線路、ストラクチャーも割引価格で販売。新製品は予約でさらに割引。中古、委託も取扱。

③HOBBY SHOP タムタム 秋葉原店

SHOP DATA

〒101-0021　東京都千代田区外神田6−14−2
サカイ末広ビル3F
営業時間　10:00〜21:00
定休日　年中無休
TEL　03-5816-5667
FAX　03-5816-5669
URL　http://www.hs-tamtam.jp

車輌、各種パーツ、ストラクチャー等、幅広く品揃え。意外なお宝商品が見つかるとこも。

④リバティー11号 乗物館

SHOP DATA

〒101-0021　東京都千代田区外神田4−7−1
営業時間　月〜木10:30〜20:30
金·土10:30〜21:00
日祭10:00〜20:00
定休日　年中無休
TEL　03-5294-5661
URL　http://www.rakuten.co.jp/liberty

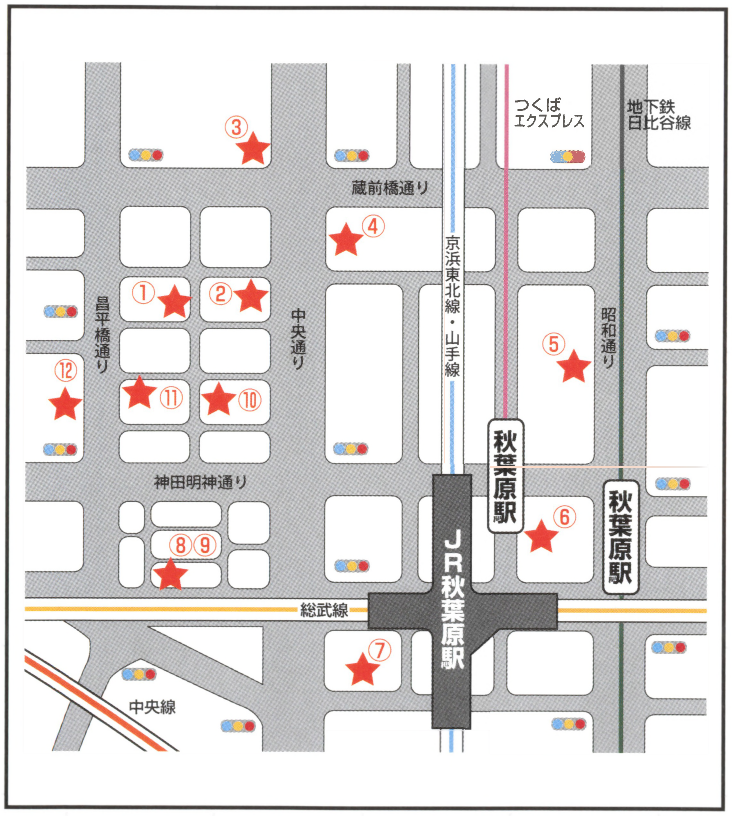
中古品を中心に、車輌を幅広く揃えています。購入時にはユーザー自身で試運転できるようにしています。

⑫交趣会ギャラリー 秋葉原店

SHOP DATA

〒101-0021　東京都千代田区外神田2−5−10
営業時間　平日12:30〜19:00
土·休日11:00〜18:00
定休日　水曜日
TEL　03-3255-5552
URL　http://www.tokyo-collection.co.jp

実物の部品、切符、出版物、アクセサリー等、鉄道関連のあらゆるものを買取、販売するショップ。Nゲージ中古車輌も多数あります。



⑤ホビー工房 K-ONE 秋葉原店

SHOP DATA

〒101-0023　東京都千代田区神田松永町18
ビオレ秋葉原2F
営業時間　平日11:00〜21:00
土日祭11:00〜20:00
定休日　年中無休
TEL　03-3257-3733
FAX　03-3257-3734

プラ製品は30%OFFで販売(一部除く)。レイアウト用品も国内外ともに品揃え。

⑪ポポンデッタ 秋葉原店

SHOP DATA

(左頁参照)

⑥ヨドバシカメラ マルチメディアAkiba

SHOP DATA

〒101-0028　東京都千代田区神田花岡町1−1
営業時間　9:30〜22:00
定休日　年中無休
TEL　03-5209-1010
URL　http://www.yodobashi.com

カメラ、家電の有名店ですが、6階「ゲーム·おもちゃ」売り場にホビー·コーナーを設け、車輌、線路、ストラクチャー、シーナリー用品等を取り揃えています。

⑩ホビーランドぽち 秋葉原店

SHOP DATA

〒101-0021　東京都千代田区外神田3−11−2
ロックビルB1F
営業時間　平日11:00〜20:00
土曜日10:00〜20:00
日祭10:00〜19:30
(買取受付は閉店1時間前に終了)
定休日　年中無休
TEL　03-5256-5390
FAX　03-5256-5390
URL　http://www.alpha-jp.co.jp/~al_rail/
http://www.rakuten.co.jp/hsalpha/

2007年6月に移転リニューアルしたショップ。中古車輌を中心に、幅広く品揃え。電話による在庫確認はご遠慮下さい、とのこと。

⑨グリーンマックス·ザ·ストアー Parts Pro Shop 秋葉原店

SHOP DATA

〒101-0021　東京都千代田区外神田1−9−9
内田ビル5階
営業時間　平日12:00〜20:00
土日祭10:00〜20:00
定休日　年中無休
TEL　03-3526-7180
URL　http://www.gm-store.co.jp

キット及びパーツに力を入れた専門店で、GM、クロスポイント製品はもちろん、他社パーツ類も幅広く揃えています。ショップ·オリジナルの分売パーツもあります。

⑧Models IMON 秋葉原店、MONTA

SHOP DATA

(109頁参照)

⑦アソビットホビーシティ

SHOP DATA

〒101-0021　東京都千代田区外神田1-15-18
営業時間　10:00〜22:00
(毎月1日は棚卸しのため、開店時間が変更になる場合あり)
定休日　年中無休
TEL　03-5298-3581
URL　http://www.akibaasobit.jp

車輌、線路、ストラクチャー、シーナリー用品等を幅広く品揃え。レンタル·レイアウトも設置しています。

ジョーシン スーパーキッズランド本店（大阪日本橋）

東京秋葉原と並ぶ日本の電気街として有名な日本橋（大阪では“にっぽんばし”と呼びます）には鉄道模型を専門に扱うお店がたくさんあります。今回は、その中から代表として、ジョーシン スーパーキッズランド本店の、中尾智仁副店長にお話を伺いました。

■

聞き手：最初にお店の特徴を教えてください。

中尾：キッズランド本店はお子さまから大人の方まで、また初心者の方はもちろんベテランの方も満足していただける品揃えをモットーにしています。

聞き手：最近鉄道ブームと言われていますが、新しいお客さんは増えていますか？

中尾：最近の傾向としてNHKの番組を見て“自分もやってみたい”と思われて来られる方が増えていますね。そういう方はまず鉄道模型の仕組み・構造からご説明して、それから購入していただいています。それと親子連れの方が、子どもさんが興味を持ったのをきっかけに来店してくださったとか、カップルの方も増えていますね。

聞き手：これから鉄道模型を始める方にはどのような商品をお薦めされていますか？

中尾：たいがい初心者の皆さんは夢を大きく持って来店されるのですが、実際に鉄道模型をご自分の手で触る所から始めるためにも、各メーカーが発売されているスターターキットをお薦めしています。入り口が大切ですからね。

聞き手：初心者の方に多い質問にはどのようなものがありますか？

中尾：よく聞かれるのは「車輌がカーブで脱線する」とかですね。その時は車の運転に例えて「大きい車で小さいカーブ（路地道）は運転しにくいですよね。模型も同じで新幹線など大きな電車は大きいカーブで、路面電車などは小さいカーブで走らせて下さい。それで適度なスピードであれば脱線しませんよ」と説明するとたいがいの方が納得していただけます。

聞き手：そうですね。鉄道模型以外での例えで話しすると分かり易いですよね。

中尾：ほかには整備・メンテナンスのことですね。車も2年か3年に1回車検があったり、あるいは調子が悪くなったら整備をしたりしますよね。鉄道模型もそれと同じで、しっかりメンテナンスを行なって下さいと説明しています。当店ではもし調子が悪くなってもメンテナンスができるスタッフがいますのでいつでもご相談下さい。

聞き手：最後に中尾さんから、これから鉄道模型を始めてみたいと思っておられる方々にメッセージをお願い致します。

中尾：当店では色々な分野に精通したスタッフがいます。JR系が好き、私鉄型が好き、↘

▲最新の製品が見やすく展示されている。新規の製品は、なるべくすぐに品切れにならないよう努力しているとのこと。

▶初心者の方にオススメのスタートセット。

▲大阪日本橋の地下鉄堺筋線恵美須駅から5分の立地にあるジョーシンスーパーキッズランド本店。5階に鉄道模型の専門フロアーがある。

▲スーパーキッズランド本店副店長の中尾さん。ご自身もモデラーで色々な疑問に答えてくれるそうなので、お気軽に質問をしてみては？

▲趣味生活をより深くしてくれる書籍コーナーも充実。

SHOP DATA

〒556-0005 大阪府大阪市浪速区日本橋4−12−4
営業時間 10:00〜20:00
定休日 基本的に無休、臨時休業はHP参照
TEL 06-6634-0041
URL http://shop.joshin.co.jp

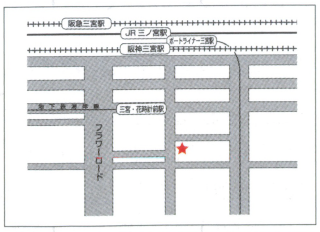
MAPは右頁参照

ジョーシン 他の代表的な鉄道模型取扱店

三宮1ばん館スーパーキッズランド

SHOP DATA

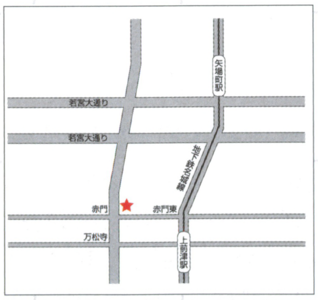
〒651-0085 兵庫県神戸市中央区
八幡通3−2−16
営業時間 10:00〜20:00
定休日 基本的に無休
臨時休業はHP参照
TEL 078-231-3811
URL http://shop.joshin.co.jp



キッズランド大須店

SHOP DATA

〒460-0011 愛知県名古屋市中区
大須4−2−48
営業時間 10:00〜20:00
定休日 基本的に無休
臨時休業はHP参照
TEL 052-262-1203
URL http://shop.joshin.co.jp



鉄道模型店、西のメッカ　大阪・日本橋MAP

①ポポンデッタ 大阪日本橋店

SHOP DATA

(110頁参照)

Nゲージから16番/HOをはじめ外国型まで取り揃えられた店内にはレンタルレイアウトまで常備されています。初心者の方には丁寧に鉄道模型のイロハを教えてくれるそうです。中古品も多数取り揃え中!

▲完成品とジオラマに欠かせない素材のほか、中古品も多く取り扱い中。

◀店長の近藤さん。ご質問はお気軽に!

②T.M.ステーション日本橋

SHOP DATA

〒556-0005 大阪府大阪市浪速区日本橋4-9-9 水上ビル3階
営業時間 金、月曜11:30～20:00 土日祭10:30～19:00
定休日 火、水、木曜日(祝日営業)
TEL 06-6633-2232 (営業時間外のお電話はご遠慮ください)
FAX 06-6633-2283
URL http://www.web-tokyodo.com/kansai/
Eメール kansai@web-tokyodo.com (お返事までにお時間がかかる場合がございます。お急ぎの場合はお電話、または「T.M.ステーション ホビスタ尼崎」までお願いします)

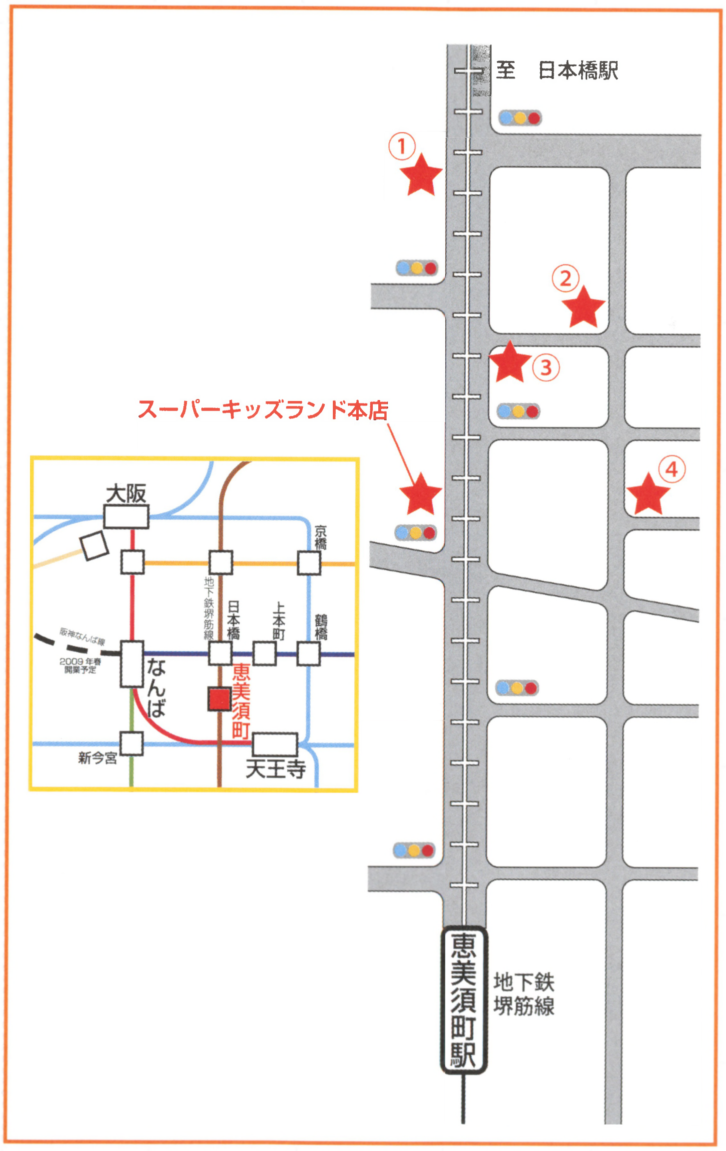
T.M.ステーションでは地元大阪の地下鉄などのオリジナル商品も発売中。

③ホビーランドぽち 日本橋1号店

SHOP DATA

〒556-0006 大阪府大阪市浪速区日本橋4-8-14
営業時間 月～土曜日11:00～20:00 日祭10:00～19:00
定休日 年中無休
TEL 06-6634-9712
FAX 06-6634-9712
URL http://www.alpha-jp.co.jp/~al_rail/ http://www.rakuten.co.jp/hsalpha/

整然と並べられたショーケースには新品から中古品までを取扱中。



④グリーンマックス・ザ・ストアー Parts Pro Shop 大阪日本橋店

Nゲージのプラキットを多く発売しているグリーンマックスのストアー。"創る"ことが大好きな店長さんが懇切丁寧に鉄道模型の面白さを教えてくれます。創る作業には全て理由があり、もし失敗してもなぜ失敗したかを教えてもらえます。当然初心者の方にはその方の工作レベルにあった工作指導をしてもらえます。

SHOP DATA

〒556-0005 大阪府大阪市浪速区日本橋4-5-11 椿本ビル2F
営業時間 平日12:00～20:00 土10:00～20:00 日祭10:00～19:00
定休日 火曜日(祭日の場合は営業)
TEL 06-6641-5771

▲グリーンマックス製品を中心に、各社のキットやパーツを豊富に取り扱い。ここでしか入手できない商品もたくさんある。

▲店長の嶽部さん(左)とスタッフの大田さん。2人とも凄腕のモデラーで、創ることに関してのご質問があれば何なりと、とのこと。

真鍮工作が好き、メンテナンスが得意といったスタッフです。また取扱商品にはNゲージをはじめ、16番日本型、NとHO外国型とIMON製日本型HO(1:87スケール)も在庫しています。最初に「自分がどんな鉄道模型で楽しみたいか」とおっしゃって下さい。スタッフが親身にお話をお聞きして、ご購入のアドバイスをさせて頂きます。最後に当店は「価格のサービスだけではなく人との関わりのサービス」もご提供しております。まずスタッフにお声かけ下さいませ。

聞き手:ありがとうございました。

ネコ・パブリッシングの鉄道定期誌

鉄道趣味の専門誌

レイルマガジン

毎月21日発売

模型鉄道の専門誌

RMモデルズ

毎月21日発売

国鉄時代の鉄道風景

国鉄時代

3・6・9・12月 21日発売

家族で楽しむ電車雑誌

鉄道おもちゃ

奇数月 30日発売

NEKO BOOKSで買える! ネコ・パブリッシングの雑誌・ムック・書籍など、すべての出版物が勢揃い! お探しのあの一冊をいち早くお手もとにお届けします。

http://www.hobidas.com から「**ホビダス・ショッピング**」枠内の「**ネコ・パブリッシングの本**」をクリック!

■1,500円以上お買い上げで送料無料! ■対象商品のギフト包装が無料! ご家族やご友人へのプレゼントにも最適です。

株式会社ネコ・パブリッシング 〒152-8545 東京都目黒区碑文谷4-21-13 TEL:03-5723-6013(営業部) http://www.neko.co.jp

日本最大級の鉄道アイテムショップ！

鉄ホビ・ダイレクト

検索サイトで「鉄ホビ・ダイレクト」と検索！

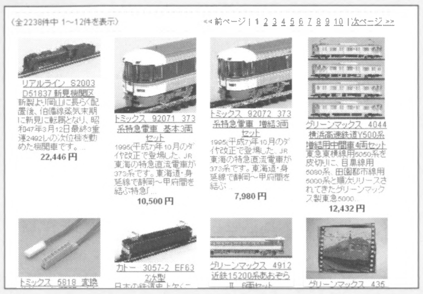
ネット注文は24時間可能！

「鉄ホビ・ダイレクト」は、日本最大級の鉄道アイテムショップ。
鉄道模型から鉄道おもちゃ、鉄道に関する書籍、DVDまで、あなたの鉄道趣味を満たす様々な鉄道アイテムをご用意しています。
特に鉄道模型は入門セットから車輌パーツまで、ビギナー向きアイテムからベテラン向きアイテムまで、
どなたが見てもご納得いただける品揃えです！
ここで掲載したもの以外にもいろいろ揃えていますので、ぜひあなたが欲しいアイテムを「鉄ホビ・ダイレクト」で探してみてください！

ここがスゴイ！「鉄ホビ・ダイレクト」

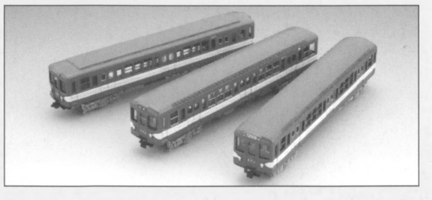
「鉄ホビ・ダイレクト」4つの特長

1 品揃えが豊富！



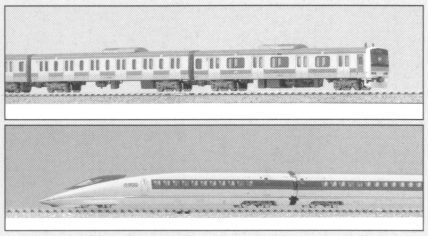
アイテム数は約1万点。入門セットからレイアウト用品、車輌パーツまで、豊富な在庫で常時セール価格で販売中です。

2 他では手に入らないオリジナルアイテム！



「鉄ホビ・ダイレクト」では、他で手に入れることができないオリジナルアイテムを販売します。

3 人気商品の予約も可能！



今後、発売する商品の予約も可能。売切必至アイテムも確実に入手できます。

4 送料は500円！さらに…

1万円以上ご購入の方は、送料無料！

「鉄ホビ・ダイレクト」取り扱いメーカー

● Nゲージ
カトー、トミックス、マイクロエース、グリーンマックス、モデモ、河合商会、津川洋行、銀河モデル、タヴァサホビーハウス、新貨車工房、ワールド工芸など

● 16番、12ミリゲージ、OJゲージなど
カトー、トミックス、エンドウ、カツミ、フクシマ模型、ワールド工芸、エコーモデル、安達製作所、ニワ模型、金岡工房、日光モデル、鈴木工房

● Bトレ、鉄コレ、PROZ
バンダイ、トミーテック、東京マルイ　ほか

メルマガ会員募集中！

鉄ホビ・ダイレクトでしか買えない限定商品や、お買い得商品の情報を随時メールマガジンにて配信中です！次のアドレスに空メールしていただきますとメールマガジンを配信します。→ raildirect@neko.co.jp

http://rail.hobidas.com/

「鉄ホビ・ダイレクト」イチ押しアイテム！

※ 商品によっては既に在庫切れの場合もございます。あらかじめご了承ください。

■おススメ入門セット

「鉄ホビ・ダイレクト」が揃える入門セットは誰でも手軽に遊べる商品ばかり。商品が届いたその日からすぐにでも運転できます。

カトー　スターターセットスペシャル 700系新幹線のぞみ
販売価格:**13,440円**(税込)
ホビダスNo. 51665538
人気の高い700系新幹線「のぞみ」の車輌を組み込んだ入門セットです。緩やかな曲線線路なのでスムーズに走行します。カトー「V線路セットシリーズ」と組み合わせて多様な線路展開が可能です。

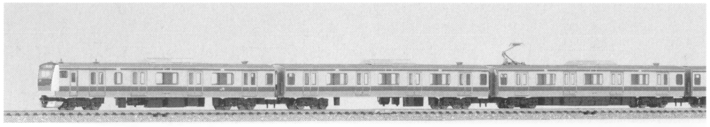
カトー　スターターセットスペシャル E2系　新幹線はやて
販売価格:**15,120円**(税込)
ホビダスNo. 51665539
こちらも人気が高いE2系新幹線「はやて」の車輌を組み込んだ入門セットです。スタートガイドやプランバリエーションガイドも同梱され初心者の方にも安心なセット内容です。

トミックス　ベーシックセットSD 山手線
価格**12,600円**(税込)
ホビダスNo. 51665624
JR東日本の山手線E231系3輌の車輌を組み込んだ入門セットです。レールレイアウトは小判形で560x1120mmとなります。簡単なセット内容なのですぐにでも始められるセットです。

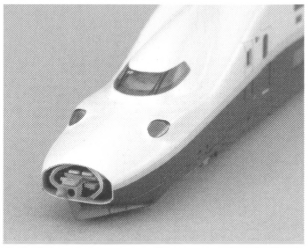
トミックス　ベーシックセットSD ブルートレインII
販売価格:**12,600円**(税込)
ホビダスNo. 51666188
EF66形電気機関車と24系25形の寝台列車を組み込んだ入門セットです。ヘッドマークやトレインマークは取付済みで、取付作業をする必要はありません。

■「鉄ホビ・ダイレクト」おススメアイテム

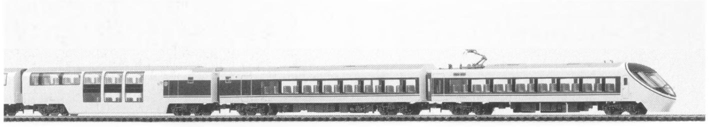
人気の車輌や細かい車輌パーツまで、あらゆる商品をご用意しています。ここでは「鉄ホビ・ダイレクト」がおススメする商品をチョットだけ紹介します。その先はアナタ自身で探してみてください。

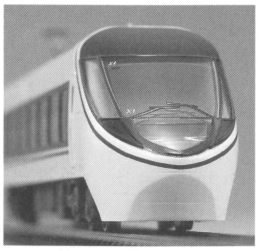


トミックス　E233-1000系通勤電車(京浜東北線)3輌基本セット
販売価格:**8,232円**(税込)
ホビダスNo. 51688322
JR東日本 京浜東北線を走行する新型通勤電車です。基本セットは3輌ですが、2種類の増結セットがありますのでお好みの編成に合わせてお買い求めください。

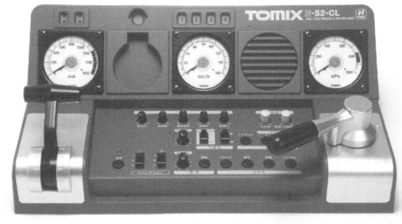


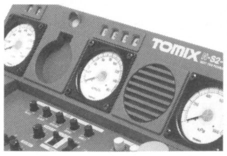
カトー　E4系MAX 4輌基本セット
販売価格:**10,500円**(税込)
ホビダスNo. 51665534
1997年にオール2階建て車輌として開発された新幹線です。先頭部分が突き出したロングノーズ・デザインが特徴となっています。実車と同じくカトー製E2系、E3系新幹線とも連結ができます。

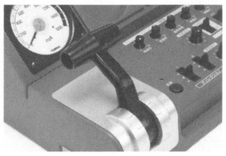




マイクロエース 371系特急「あさぎり」シングルアームパンタ　7輌セット
販売価格:**17,472円**(税込)
ホビダスNo. 51688400
1991年に登場した小田急線 新宿から御殿場線 沼津までを結ぶ特急電車です。特急「あさぎり」は小田急電鉄とJR東海の共同運行でモデルはJR東海の車輌です。

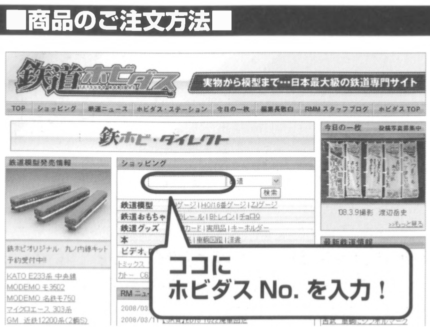






トミックス TCSパワー&サウンドユニットN-S2-CL
販売価格:**127,680円**(税込)
ホビダスNo. 51681254
列車の警笛や走行音などを聞きながら車輌を運転する、究極のコントローラーです。運転台のコントローラーも実物の運転台と同じような2ハンドルタイプで実車感覚で運転を楽しむことが出来ます。

■商品のご注文方法■



●パソコンでアクセス

ホビダス（http://rail.hobidas.com/）
にアクセスして検索窓にホビダスナンバーを入力、検索ボタンをクリックすれば商品ページへジャンプします。画面の指示に従って、必要な情報を入力、注文してください。

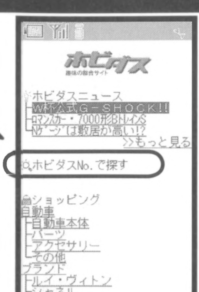
●携帯電話でアクセス

右のQRコードを携帯で読み取るか、
http://www.hobidas.com/
を直打ちして、携帯のホビダスサイトへアクセス。検索窓にホビダスナンバーを入力、検索ボタンをクリックすれば商品ページへジャンプします。画面の指示に従って、必要な情報を入力、注文してください。

お問い合わせ　TEL：03-5723-6110

ココに
ホビダス No.
を入力！

（携帯からではご利用になれないナンバーもございます）



http://rail.hobidas.com/

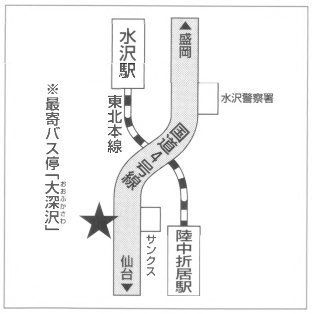
『鉄道模型Nゲージ超入門』

ショップガイド

ここまで読んで、Nゲージを手にしたくて仕方なくなったアナタに贈るオススメ・ショップガイドです。ぜひ一度足を運んでみて下さい。さらにNゲージにハマること請け合いです！

宝島模型

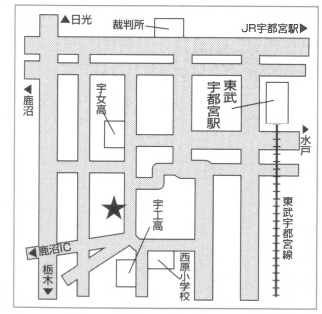
【住所】〒023-0841 岩手県奥州市水沢区
真城字中林63-1
【営業時間】10:00～19:00
【FAX】0197-25-4129
【定休日】火曜日
☎0197-25-4129



鉄道模型が初めての方でも気軽にお立寄り頂けるお店になっております。よく分からない点はとりあえず何でもお聞き下さいませ。初めての方にはわたくし基本的にその時一番お安くなるセットをお勧めしておりますので、その点もご安心下さい。●車輌や情景素材（建物・土・川等）も常時数百種の品揃えです。模型塗料（国内外）も充実しておりまして、常時1000種類以上ございます。ぜひお立寄り下さいませ。

美美模型

【住所】〒320-0862 栃木県宇都宮市西原1-6-9
【営業時間】平日10:00～20:00、
日祭13:00～18:00
【FAX】028-634-9565
【定休日】第2・4日曜日、月曜日連休
【HP】http://www.vivimodel.com/
【E-mail】rail@vivimodel.com
☎028-634-9549



鉄道模型をこれから始める方、ベテランの方、どなたにも親切に対応しています。毎月発行の情報誌「JOINT」も通巻300号を越えました。実物の鉄道車輌は勿論、鉄道の歴史から施設・運転など、鉄道趣味一般まで対応しています。特に団塊の世代の皆さん、店主も還暦を迎え、これからの鉄道趣味を一緒に楽しみませんか？

トレインショップ

【住所】〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区
常盤3-2-22
【営業時間】火～金12:30～21:00、土12:00～20:00、
日祭11:00～18:00
【FAX】048-834-2320
【定休日】月曜日（祭日の場合は営業）
【HP】http://www.trainshop.com
【E-mail】sales@trainshop.com
☎048-834-2305

マイクロトレイン社製のカプラー・台車など全部取り揃えています。またアメリカ型の機関車・貨車も良く揃います。ウオルサー、インターマウンテイン、マイクロトレイン、ウィールオブタイム等とは直接契約を結んでいますので、新型車輌の御予約も承ります。もちろん日本型車輌も豊富に在庫しています。とにかく店は狭いですが、一度来店することをお勧め致します。

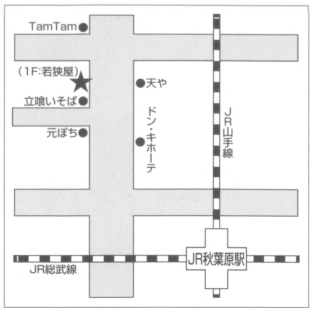
ポポンデッタ 川口グリーンシティ店

【住所】〒333-0834 埼玉県川口市安行領根岸3180
川口グリーンシティ別棟1F
【営業時間】10:00～21:00
【FAX】048-285-7898
【定休日】年中無休
【HP】http://www.popondetta.com
【E-mail】kawaguti@popondetta.com
☎048-285-7888

鉄道模型（Nゲージ）は車両をはじめ、レール類、ストラクチャーも各メーカーの新品、中古ともに充実の品揃えです。また、外国製品のストラクチャーも多数取り揃えております。大迫力の巨大レンタルレイアウトも完備して、模型好きの方からご家族連れまで楽しんでいただけるお店です。遠方からお越しの方も無料の駐車場がありますので、広い店内でごゆっくり商品をお選びいただけます。

チヨダレールセンター

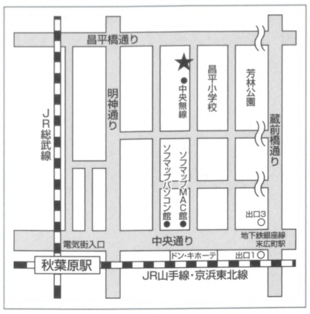
【住所】〒101-0021 東京都千代田区外神田3-15-7
麻野ビル2F
【営業時間】火～金12:30～20:00
土日祭11:30～19:30
【FAX】03-3253-6862
【定休日】月曜日(祭日の場合は翌日)
☎03-3253-6860



★目標！ 安値日本一！ メーカー在庫品はセット物なら35％から更に5％～0.5％OFF。ストラクチャー、レール、カプラーなども一部を除き35％OFF。コレクションも1箱で30％OFF。
★目標！ 買取価格日本一！ 新品・完品なら、どこの査定より5～20％高値で買取。レールやジャンク品も高価買取。3％予約など中古買取サービスあり。手数料10％委託も大好評！ HO機関車8％委託あり。

ポポンデッタ 秋葉原店

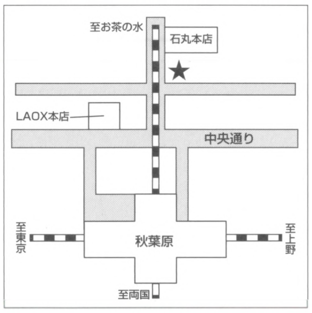
【住所】〒101-0021 東京都千代田区外神田3-3-3
【営業時間】平日12:30～20:30、
土日祭11:00～20:00
【FAX】03-5297-5538
【定休日】第3水曜日
【HP】http://www.popondetta.com
【E-mail】tu-han@popondetta.com
☎03-5297-5530



秋葉原駅から徒歩7分。ビルが丸ごと鉄道模型のお店です。新品・中古鉄道模型、レンタルレイアウト、鉄道古書、外国型模型、工具までポポンデッタにご来店頂ければ可能性は無限大!! 特にこれから鉄道模型を始めたいというお客様は、まずポポンデッタにお立ち寄りください。導入から、ちょっとしたテクニックまで、丁寧にお教えします。店内に巨大ジオラマがあるので、それをご覧いただくだけでもきっとイメージが膨らみますよ!

MODELS IMON 秋葉原店

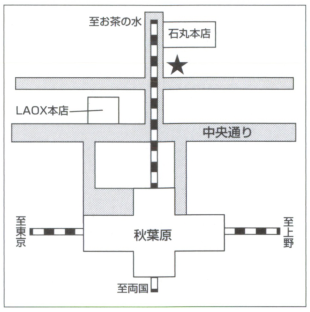
【住所】〒101-0021 東京都千代田区外神田1-9-9
内田ビル3F
【営業時間】平日10:00～21:00、
土日祭10:00～20:00
【FAX】03-5296-1901
【定休日】年中無休
【HP】http://www.imon.co.jp
【E-mail】akihabara@imon.co.jp
☎03-5296-1900



モデルス井門秋葉原店は、2004年4月にオープンしました。JR総武線沿いの内田ビル3階にあります。フロアーの片側は中古・委託専門店MONTAになっております。
当店は、どこよりも早くNゲージの新製品を入荷し、販売することをモットーとしております。また、Nゲージだけでなく、16番・HO1067・HO762の完成品、キットのお取り扱いもしています。ぜひ一度ご来店下さい。

MONTA 秋葉原店

【住所】〒101-0021 東京都千代田区外神田1-9-9
内田ビル3F
【営業時間】平日10:00～21:00、
土日祭10:00～20:00
【FAX】03-5296-1901
【定休日】年中無休
【HP】http://www.imon.co.jp
【E-mail】monta@imon.co.jp
☎03-5296-5861



MONTA秋葉原店は、駅から近い便利な場所に位置する、中古・委託品の専門店です。中古品とお客様からお預かりした委託品が常備豊富に在庫しております。「欲しかったけど買えなかった」あの商品に出会えるかも知れません。ぜひ、ご来店いただいて、ごゆっくりご覧下さい。また、大特価にてご提供しています。アウトレットコーナーも大変ご好評頂いております。委託品のご出品、買取も大歓迎です。

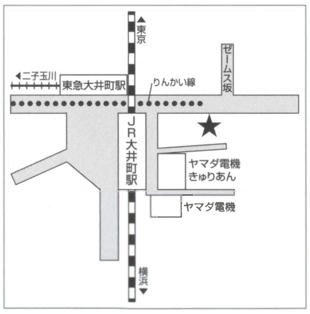
麻布ホビー

【住所】〒106-0045 東京都港区麻布十番2-18-4
テンポイントビル1F
【営業時間】平日12:00～20:00、
日祭11:00～20:00
【定休日】水曜日(祭日の場合は営業)
☎03-3455-2889

当店は天賞堂SL-1サウンドシステムを実演販売しております。特にNゲージでのドラフト音やホイッスルは痺れます。ぜひ御来店の上、御視聴下さい。

MODELS IMON 大井店

【住所】〒140-0011 東京都品川区東大井5-15-3
【営業時間】平日10:00～20:30、
日祭10:00～20:00
【FAX】03-3450-1212
【定休日】年中無休
【HP】http://www.imon.co.jp
【E-mail】ooi@imon.co.jp
☎03-3450-1211



N・O・OJゲージのレンタルレイアウトがあります。なお、レイアウトは予約制。走行車輌はレンタル可能な車輌もございますが、お客様の車輌持ち込みによる運転が可能です。
また、シーナリー用品などの素材も多く取り揃えています。

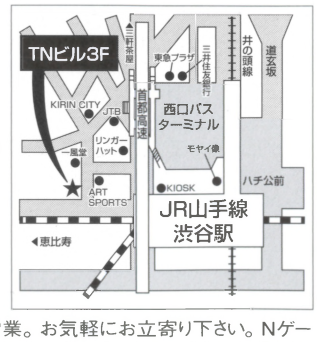
MODELS IMON 原宿店

【住所】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-3-9
井門原宿ビル4F
【営業時間】平日12:00～21:00、土12:00～20:00
日祭10:00～19:30
【FAX】03-3797-1101
【定休日】年中無休
【HP】http://www.imon.co.jp
【E-mail】models@imon.co.jp
☎03-3797-0077

モデルスイモンのアンテナショップとして、自社製品を通じて鉄道模型の魅力を皆様にお伝えしていきます。16.5mmと12mmのレンタルレイアウトも完備しております。Nゲージは車輌セットやレールセットを取り揃え、専門知識を持ったスタッフが入門者にも分かりやすくご説明いたします。Nゲージを極めるもよし。他のスケールにステップアップしていくのにも、適切にアドバイスできるお店です。

渋谷模型

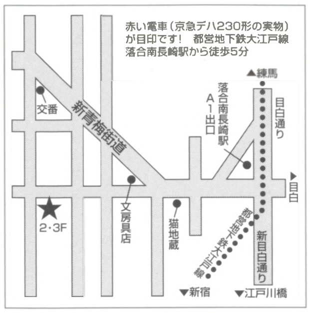
【住所】〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町3-1
TNビル3F
【営業時間】11:00～20:00
【FAX】03-3462-4085
【定休日】年中無休
【HP】http://rakuten.co.jp/a-toys/index.html
【E-mail】rakuten@new-wave1.co.jp
☎03-3463-9600



JR渋谷駅から徒歩1分30秒の好アクセス！ 6月中旬に開通予定の副都心線開通で、更に便利となる渋谷の模型店です。平日・休日問わず、午前11時～午後8時まで営業。お気軽にお立寄り下さい。Nゲージは最大25％オフ～の格安品から不定期入荷の掘り出し物まで幅広くご用意。車輌・レール・ストラクチャー等、常時約1000種類の豊富な在庫でお待ちしております。web・お電話・もちろん店頭でもお問い合せ下さい。

ホビーセンターカトー東京

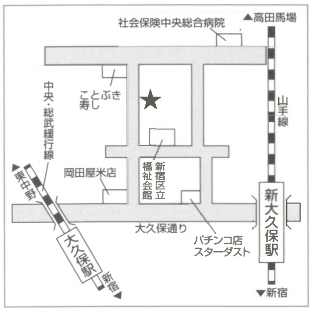
【住所】〒161-0031 東京都新宿区西落合1-24-10
【営業時間】10:00～19:00
【FAX】03-3954-3644
【定休日】年中無休(年末・年始を除く)
【HP】http://www.katomodels.com/hobby/
【オンラインショップ】http://www.e-katomodels.com
☎03-3954-2171



「はじめませんか鉄道模型」をキーワードに、その楽しさをご理解いただけるよう、KATO製品をはじめとする鉄道模型の展示・販売、イベント、情報発信、ご相談などを行っております。Assyパーツ、DCC製品多数取り揃え。ぜひご来店ください。駐車場あり。

タヴァサホビーハウス

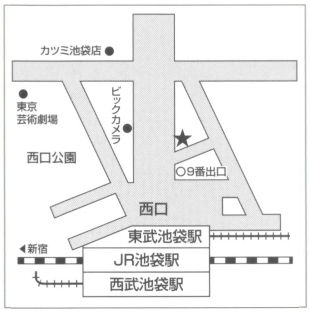
【住所】〒169-0073 東京都新宿区百人町2-18-8
MKハイツ1F
【営業時間】13:00～20:00
【FAX】03-3371-2482
【定休日】第2土曜日・日曜日
【HP】http://www.tavasa.jp
【E-mail】tavasa@max.odn.ne.jp
☎03-3371-2482



ギンザモデル・ボナファイデ・キッチン・トレジャータウン等、各種キット・パーツ取り扱い。又弊社オリジナルキット・パーツも企画・設計製造販売を行っております。製造技法等もお気軽におたずね下さい。

MODELS IMON 池袋店

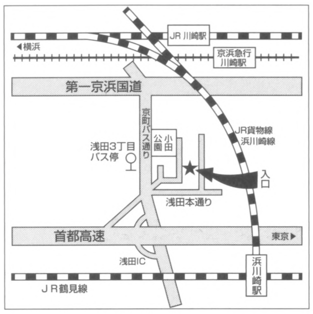
【住所】〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-18-1
五光ビル6F
【営業時間】平日10:00～21:00、
土日祭10:00～20:00
【FAX】03-3983-1435
【定休日】年中無休
【HP】http://www.imon.co.jp
【E-mail】ikebukuro@imon.co.jp
☎03-5950-1067



モデルス井門5番目のショップとしてオープンしました池袋店です。車輌はZゲージからOJゲージまで豊富な品揃えでレール、ストラクチャー、シーナリー関係、パーツ、塗料、素材、工具類などもご用意しております。又、委託販売も承っておりますので、お気軽にお持ち込み下さい。皆様のお役に立てるお店を目指して、社員一同ご来店を心からお待ち申し上げております。

MACモデル アサダ コーナー

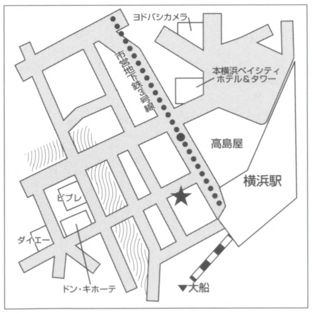
【住所】〒210-0847 神奈川県川崎市川崎区
浅田3-4-4
【営業時間】平日14:00～19:30、
土日祭12:00～19:30
【FAX】044-344-6369
【定休日】毎月8・9日、18・19日、28・29日
【HP】http://www.geocities.jp/mac_kawasakijp/index.html
☎044-344-6369



新しいNゲージライフの扉を開けてみませんか? 集まる仲間や店主との語らいから、あなたの『好き』をどんどん形にして行きましょう♪ 開店以来36年間たくさんのお客様の第一歩をお手伝いして来ましたので、メンテナンス等も安心してお任せ下さい!
総延長160m以上のジオラマレイアウトがあなたをお待ちしています。ぜひお気軽にご来店を!!

MODELS IMON 横浜店

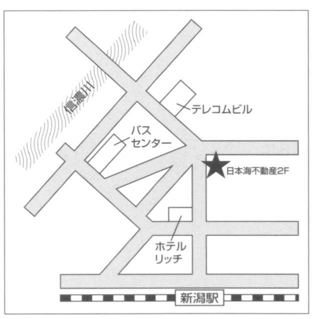
【住所】〒220-0005 神奈川県横浜市西区南幸1-11-2
浜西ビル5F
【営業時間】平日10:00～21:00、
土日祭10:00～20:00
【FAX】045-290-1590
【定休日】年中無休
【HP】http://www.imon.co.jp
【E-mail】yokohama@imon.co.jp
☎045-2901527



専門店の場合は、とかく敷居が高くなりがちですが、IMONの場合には専門知識を持ったスタッフがビギナーのお客様に対しましても懇切丁寧に対応させて頂きます。また、商品アイテムを的確に管理して、お客様に必要な商品の在庫をリアルタイムで提供できる今までにない新しいスタイルの鉄道模型専門店です。横浜駅から徒歩1分という好条件で、皆様の御来店をお待ちしております。

タイムエクスプレス

【住所】〒950-0087 新潟県新潟市中央区
東大通り2-4-15
【営業時間】平日11:00～20:00、
土日祭10:00～19:00
【FAX】025-248-3922
【定休日】月曜日(祭日の場合は翌日)
【HP】http://www.time-express.jp/
【E-mail】timeexpress@marble.ocn.ne.jp
☎025-248-3922



・各メーカーのNゲージを多数取り揃えて、皆様のご来店をお待ちしております。
・初心者の方も大歓迎!!
・貸しレイアウトも大好評です! 30分300円～ レンタル車輌もご用意できます。
・当店オリジナルキーホルダーなど各種グッズも取扱中! お気軽に御来店下さい。

ホビーショップ ムラタ

【住所】〒440-0076 愛知県豊橋市大橋通3-152
【営業時間】10:00～20:00
【FAX】0532-53-3327
【定休日】水曜日・第3木曜日
【HP】http://www.hsmurata.com
【E-mail】hsmurata@ag.wakwak.com
☎0532-53-3334

新製品が沢山でていますが店頭には並ばないみたいですね。当店は品揃えに自信あり、一度ご来店下さい。在庫が満載です。通販歓迎・通販迅速。

ポポンデッタ 木曽川キリオ店

【住所】〒493-0001 愛知県一宮市木曽川町
黒田字南ハツケ池25-1
イオンモール木曽川キリオ1階
【営業時間】10:00～22:00
【FAX】0586-84-3633
【定休日】年中無休
【HP】http://www.popondetta.com/kirio/index.html
【E-mail】kisogawa@popondetta.com
☎0586-84-3622

ポポンデッタ独自の2階式レンタルレイアウトはもちろん、小さいお子様も楽しんでいただけるプラレールとプラレール遊び場も常備してあります。さらに、新品書籍・中古車輌・中古書籍等、鉄道模型関連を数多く取り扱っております。イオンモール木曽川キリオ内に入っていますので車でお越しの方にも便利です。また、JR木曽川駅から徒歩約10分、名鉄黒田駅からは徒歩約3分の立地です。是非ご来店ください。

鉄道模型専門店 亜鉄社

【住所】〒601-8437 京都府京都市南区
西九条比永城町102-8
【営業時間】12:00～19:00
【FAX】075-662-5682
【定休日】日曜日、月曜日、祭日
【E-mail】atetu-ya@ymail.plala.or.jp
☎075-662-5682

鉄道模型（Nゲージ）専門の小さなお店です。中古品の販売と買取も行っております。東寺の五重塔の南200mに店があります。

yahoo!オークションに出品しております。商品検索で、亜鉄社と入力して頂くと当方の商品が一覧出来ます。

ご来店頂くと他店にはない何かを見つけて頂けると思います。ぜひ一度、京都の観光を兼ねてご来店下さい。

ポポンデッタ 大阪日本橋

【住所】〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4丁目10-3
雅光産ビル3F
【営業時間】平日12:00～20:00、
土日祭11:00～19:00
【FAX】06-4396-5110
【定休日】第3水曜日
【HP】http://www.popondetta.com
【E-mail】osaka@popondetta.com
☎06-4396-5010

大阪日本橋のでんでんタウンにあるお店です。4FはHOと新刊書籍売り場になっており、NHK「趣味悠々」で使用したレイアウトも展示しています。レンタルレイアウトは上下二段式になっており、手ぶらでご来店いただいても走行できるようレンタル車両もご用意しています。特に中古HO車両の在庫量には自信があります。初めての方もマニアの方もぜひ一度ご来店ください。

ホビーセンターカトー大阪

【住所】〒564-0051 大阪府吹田市豊津町12-15
【営業時間】10:00～19:00
【FAX】06-6339-7411
【定休日】年中無休（年末・年始を除く）
【HP】http://www.katomodels.com/hobby/
【オンラインショップ】http://www.e-katomodels.com
☎06-6339-6171

KATOの関西地区ショールームとして、製品の展示・販売・ご相談から、新製品のご案内、イベント、常設レイアウトなど、充実したショップ構成となっています。08年春にオールリニューアル、ぜひご来店ください。

MEMO

全国Nゲージショップリスト

ここでは弊社が発行する月刊鉄道模型誌『RM MODELS』No.153付録『SPECIAL SHOP GUIDE 2008』の中から、Nゲージの取扱店をピックアップしました。ぜひお近くのショップを覗いてみてください。

※リストの中には、中古品専門店・通信販売専門店も含まれていますので、お出掛け前にご確認ください。

店名	電話番号	郵便番号	住所	定休日	営業時間
北海道					
カラマツトレイン 苗穂駅前店	011-219-8033	〒060-0032	北海道札幌市中央区北2条東13丁目26 JNFビル3F	水曜日、第3日曜日	11:00～19:00
ホビーショップ トイメイツ	011-782-6014	〒065-0042	北海道札幌市東区本町2条6-6-50	火曜日	10:00～20:45
東北					
宝島模型	0197-25-4129	〒023-0841	岩手県奥州市水沢区真城字中林63-1	火曜日	10:00～19:00
アベ模型	022-222-6622	〒980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町4-10-17 大林ビル2F（141ビル向かい）	月曜日	10:00～19:30
HOBBY SHOP タムタム 仙台店	022-771-9322	〒981-3111	宮城県仙台市泉区松森字後田45-1	年中無休	10:00～22:00
北関東					
エイ・ティー・シー ハヤシ	029-221-4208	〒310-0801	茨城県水戸市桜川1-9-18 斉藤ビル2F	年中無休	13:00～21:00
ユタカ模型	029-251-5899	〒311-4141	茨城県水戸市赤塚1-1997-59	月曜日	12:00～19:00
電車くん	0294-53-5999	〒319-1231	茨城県日立市留町3番地	月曜日、火曜日	平日15:00～21:00、土日祭12:00～21:00
美美模型	028-634-9549	〒320-0862	栃木県宇都宮市西原1-6-9	第2・4日曜日、月曜日	平日10:00～20:00、日祭13:00～18:00
KOGUMA Hobby 宇都宮FKD店	028-627-3130	〒321-0962	栃木県宇都宮市今泉町237 FKD内2F		10:00～21:00
エル・ホビー	0270-24-3785	〒372-0812	群馬県伊勢崎市連取町3082-6	祭日以外の火曜日	平日11:00～20:00、土日祭10:00～20:00
ホビーショップペアーハンズ	0276-46-1462	〒373-0806	群馬県太田市龍舞町5219-5	水曜日、第3火曜日	平日12:00～20:00、土10:00～20:00、日祭10:00～19:00
トレインショップ	048-834-2305	〒330-0061	埼玉県さいたま市浦和区常盤3-2-22	火曜日	平日12:30～21:00、土日祭11:00～20:00
近代模型	048-833-7323	〒330-0071	埼玉県さいたま市浦和区上木崎1-7-1	水曜日	平日12:00～19:30、日祭10:00～18:00
あすかモデル	048-652-6211	〒331-0815	埼玉県さいたま市北区大成町4-35-4	火曜日	平日12:30～19:00、日祭11:00～18:00
T.M.ステーション川口	048-222-1289	〒332-0012	埼玉県川口市本町4-1-5 高橋ビル5F	年中無休（年末年始除く）	平日11:00～20:00、土日祭10:30～19:00
ポポンデッタ 川口グリーンシティ店	048-285-7888	〒333-0834	埼玉県川口市安行領根岸3180 川口グリーンシティ別棟1F	年中無休	10:00～21:00
HOBBY SHOP タムタム 大宮店	048-688-9666	〒337-0002	埼玉県さいたま市見沼区春野2-8 Patria東大宮3F	不定期	10:00～21:30
有限会社 ワールド工芸サービスセンター	048-687-7193	〒337-0051	埼玉県さいたま市見沼区東大宮7-46-6	火曜日	平日14:00～18:00、土日祭10:00～18:00
中島工房	048-746-8813	〒344-0113	埼玉県春日部市新宿新田332-2 サンハイツ102	水曜日	平日12:00～19:00、土日祭10:00～19:00
キングスホビー	0480-23-3832	〒346-0016	埼玉県久喜市東1-14-14	木曜日、第1・3水曜日	平日11:00～19:00、土日祭10:00～19:00
フレイトライナー	048-451-6620	〒351-0101	埼玉県和光市白子3-36-40	月曜日～金曜日	13:00～19:00
鉄道模型 KIDA	0493-22-2047	〒355-0076	埼玉県東松山市下唐子1916-9	月曜日～金曜日（通販は毎日対応）	14:00～18:00
縮め屋工房「道楽ぼーず」	042-977-2917	〒357-0124	埼玉県飯能市原市場82-5	木曜日（祭日は営業）	平日12:00～21:00、日祭10:00～20:00
モデル・ドリーム	04-2992-9112	〒359-0038	埼玉県所沢市くすのき台2-18-9	火曜日、第1月曜日	平日11:00～20:00、土日祭10:00～19:00
ポストホビー 新所沢店	04-2998-8184	〒359-1111	埼玉県所沢市緑町1-2-1 新所沢パルコ パルコ館4F	新所沢パルコ休館日に準ずる	10:00～20:00

店名	電話番号	郵便番号	住所	定休日	営業時間
ジーエムストアーオンラインドットコム	お問い合わせはEメールにて	〒363-0011	埼玉県桶川市北	年中無休	インターネットで24時間受付 Eメール webmaster@gmstore-online.com
南関東					
HOBBY SHOP タムタム 千葉店	043-204-2626	〒260-0025	千葉県千葉市中央区問屋1ー50 千葉ポートスクエア3F	年中無休	10:00～21:00
KSモデル(旧コドモヤ模型店)	043-206-0941	〒260-0045	千葉県千葉市中央区弁天1-10-3 白樺フラッツ1F	水曜日	平日12:30～19:00(金曜日は21:00まで)、日祭11:00～18:00
モデル・ワークス	047-344-5666	〒270-0034	千葉県松戸市新松戸1-245 山喜第六ビル202号	月曜日、火曜日、水曜日(電話受付可)	9:00～19:00
ホビーハウス富塚商会	04-7182-6575	〒270-1152	千葉県我孫子市寿2-8-34	木曜日 (祭日は営業)	10:00～19:00
レボリューション ファクトリー	047-445-0481	〒273-0103	千葉県鎌ヶ谷市丸山1-9-72 1F	水曜日、木曜日、第2・3日曜日、祝祭日、振替休日	平日14:00～18:00(入店時間17:30)、日曜日13:00～16:00
HOBY&ヴィヴァルディー鐵研 エキスプレスクラブ(オリエントエキスプレス)	047-462-7007	〒274-0077	千葉県船橋市薬円台4-19-19	月曜日	10:00～17:30
イエロートレイン	047-471-8798	〒275-0026	千葉県習志野市谷津1-17-7 三愛谷津ビル201	月曜日～金曜日	土日10:00～19:00
モデルセンターサトウ	047-484-3357	〒276-0032	千葉県八千代市八千代台東1-28-10	木曜日	平日11:00～20:00、土日祭10:00～20:00
(株)北総レール倶楽部	04-7145-4006	〒277-0841	千葉県柏市あけぼの1-7-8 MICビル2F	年中無休 (年末年始も営業)	平日11:30～22:00、土日祭10:00～22:00
天賞堂HBf	047-305-5701	〒279-8529	千葉県浦安市舞浜1-4 イクスピアリ内228	年中無休	11:00～21:00 (土・休日および繁忙期10:00～)
岩崎模型店	0475-52-4419	〒283-0066	千葉県東金市南上宿2-3	木曜日	10:00～19:30
緑川模型店	0475-33-2031	〒299-4216	千葉県長生郡白子町幸治2874	年中無休 (臨時休業あり)	9:00～18:00(夏期～19:00)
カツミ有楽町店	03-5220-3158	〒100-0006	東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビルヂングB1F	年中無休 (年末・年始除く)	平日11:00～20:00、日祭11:00～19:00
グリーンマックス・ザ・ストアー Parts Pro Shop 秋葉原店	03-3526-7180	〒101-0021	東京都千代田区外神田1-9-9 内田ビル5階	年中無休	平日12:00～20:00、土日祭10:00～20:00
チヨダレールセンター	03-3253-6860	〒101-0021	東京都千代田区外神田3ー15ー7 麻野ビル2F	月曜日	火～金、第1・4・5土12:30～20:30 第2・3土、日祭11:00～19:40
T.M.ステーション秋葉原	03-3253-5352	〒101-0021	東京都千代田区外神田3-5-14 関根ビル2F	年中無休	10:30～20:00
HOBBY SHOP タムタム 秋葉原店	03-5816-5667	〒101-0021	東京都千代田区外神田6-14-2 サカイ末広ビル3F	年中無休	10:00～21:00
ホビーランドぽち 秋葉原店	03-5256-5390	〒101-0021	東京都千代田区外神田3-11-2 ロックビルB1F	年中無休	平日11:00～20:00、土曜日10:00～20:00、日祭10:00～19:30 (買取受付は閉店1時間前に終了)
ポポンデッタ 秋葉原店	03-5297-5530	〒101-0021	東京都千代田区外神田3-3-3	第3水曜日	平日12:30～20:30、土日祭11:00～20:00
MODELS IMON 秋葉原店	03-5296-1900	〒101-0021	東京都千代田区外神田1-9-9 内田ビル3F	年中無休	平日10:00～21:00、日祭10:00～20:00
MONTA	03-5296-5861	〒101-0021	東京都千代田区外神田1-9-9 内田ビル3F	年中無休	平日10:00～21:00、日祭10:00～20:00
ホビー工房 K-ONE 秋葉原店	03-3257-3733	〒101-0023	東京都千代田区神田松永町18 ビオレ秋葉原2F	年中無休	平日11:00～21:00、土日祭11:00～20:00
トラムウェイ	03-5211-1554	〒101-0051	東京都千代田区神田神保町2-4 松好ビル4F	月曜日・火曜日・木曜日・日曜日	水17:30～20:00、金12:30～20:00、土12:30～19:00
レイルラウンジ	03-3288-3970	〒101-0051	東京都千代田区神田神保町2-38 多幸ビル2F	年中無休	平日14:00～22:00、土14:00～19:00、日12:00～19:00
科学教材社	03-3291-7271	〒101-0054	東京都千代田区神田錦町2-5	日曜日、祭日 (年末・年始除く)	11:00～18:00
天賞堂	03-3562-0024 (2F)	〒104-0061	東京都中央区銀座4-3-9	木曜日	平日11:00～19:30(4Fエバーグリーンは19:00まで) 日祭11:00～18:30(4Fエバーグリーンは18:30まで)
バー銀座パノラマ、パノラマ小部屋	03-3289-8700	〒104-0061	東京都中央区銀座8-4-5 GINZA HACHIKANビル7F-8F	年末年始、GW、夏季(お盆の頃)	18:00～3:00(土日祭23:00まで)
レモン社 鉄道模型店	03-3567-5061	〒104-0061	東京都中央区銀座4-4-13 琉映ビルB1F	祭日	平日11:00～20:00、日曜日11:00～17:00
U-TRAINS(旧MODEL CSC)	03-5766-3580	〒106-0031	東京都港区西麻布4-19-16	水曜日、木曜日 (祭日は営業)	平日13:00～19:00、土日11:00～20:00
麻布ホビー	03-3455-2889	〒106-0045	東京都港区麻布十番2-18-4 テンポイントビル1F	水曜日 (祭日は営業)	平日12:00～20:00、日祭11:00～20:00
アサクサモケイ	03-3844-2294	〒111-0034	東京都台東区雷門1-13-10 携帯電話店2階	月曜日	平日12:00～19:30、金12:00～21:00、土日祭11:00～18:30
ホビーサーチ	03-5833-3533	〒111-0055	東京都台東区三筋1-1-19 玉田ビル6F・7F	第2・3土曜日、日曜日、祭日	10:00～18:00
Nゲージ専門店 ホビーショップ トキワ	03-3900-7867	〒114-0034	東京都北区上十条2-20-11	第2・3水曜日	10:30～19:30
ヤマナカ模型	03-3901-4848	〒115-0045	東京都北区赤羽1-25-1	年中無休	10:00～21:00(水曜は18:00、日曜は20:00)
MODEL Train Bleu (モデル トラン・ブルー)	03-3819-6696	〒116-0012	東京都荒川区東尾久8-12-16	木曜日	12:00～20:00
マイルストーン	03-3802-7750	〒116-0013	東京都荒川区西日暮里5-18-9	年中無休	平日12:00～20:00、土日祭11:00～19:00
モデルワム	03-5692-7444	〒116-0013	東京都荒川区西日暮里6-66-1 平山ビル1F	水曜日	平日13:00～19:30、土日祭13:00～18:30

店名	電話番号	郵便番号	住所	定休日	営業時間
たきざわ模型店	03-3888-4439	〒120-0026	東京都足立区千住旭町20-10	火曜日、第1・2日曜日	14:00～20:00
フジモデル	03-3879-1450	〒120-0026	東京都足立区千住旭町7-24 リフレックスナカネ1F	水曜日	平日12:30～19:00、日祭11:00～18:00
ミニパーク	03-3601-3289	〒124-0003	東京都葛飾区お花茶屋1-21-11	火曜日（祭日は営業）	平日12:00～20:00、土日祭10:00～20:00
富士屋模型店	03-5671-0281	〒124-0013	東京都葛飾区東立石4-45-8	水曜日	10:00～19:00
工作室キムラ	03-5660-0877	〒125-0042	東京都葛飾区金町3-2-6 クレール金町102	火曜日	13:00～20:00
スエヒロ模型	03-3609-7553	〒125-0042	東京都葛飾区金町5-16-6	第3木曜日	10:00～20:30
たぶれっと	0120-459-460（買受専用）	〒130-0026	東京都墨田区両国2-21-5 両国ダイカンプラザ406	月曜日	火～木・日11:00～18:00、金土11:00～19:00
MODELS IMON 大井店	03-3450-1211	〒140-0011	東京都品川区東大井5-15-3	年中無休	平日10:00～20:30、土日祭10:00～20:30
東京堂モデルカンパニー	03-3788-9830	〒142-0053	東京都品川区中延2-15-8 野村ビル4F	年中無休（年末年始を除く）	平日10:30～21:00、土日祭10:30～19:00
ジオラマショップだいおらま 東京店	03-3731-6579	〒144-0052	東京都大田区蒲田4-45-9 三宅ビル1F	日曜日、祭日	平日12:00～19:00、土10:00～18:00
MODELS IMON 原宿店	03-3797-0077	〒150-0001	東京都渋谷区神宮前6-3-9 井門原宿ビル4F	年中無休	平日12:00～21:00、日祭10:00～19:30
渋谷模型	03-3463-9600	〒150-0031	東京都渋谷区桜丘町3-1 TNビル3F	年中無休	11:00～20:00
三ツ尾（東急ハンズ渋谷店7B）	03-3464-4598	〒150-0042	東京都渋谷区宇田川町12-18 東急ハンズ渋谷店7FBフロア	不定休（年間3日くらい）	10:00～20:30
リトルジャパン 祐天寺店	03-3792-2836	〒153-0052	東京都目黒区祐天寺1-22-2 アイエムビル2F	火曜日（祭日は営業）	平日12:00～20:00、土日祭10:00～19:00
カツミ 目黒店	03-3715-8433	〒153-0063	東京都目黒区目黒3-9-3 須田ビル202	年中無休（年末・年始を除く）	平日11:00～20:00、日祭11:00～19:00
グリーンマックス・ザ・ストアー 下北沢店	03-3465-8687	〒155-0031	東京都世田谷区北沢2-26-23 エルニウービル2F	火曜日	平日12:00～20:00、日祭12:00～19:00
Nゲージ鉄道模型 HEISANDO	03-3416-0940	〒157-0067	東京都世田谷区喜多見8-18-15	木曜日、金曜日（臨時休業有）	13:00～19:00
ホビーランドぽち 新宿店	03-5321-5815	〒160-0023	東京都新宿区西新宿1-4-6 井田ビル7F（小田急ハルク裏手）	年中無休	平日11:30～20:30、土曜日10:00～20:00、日祭10:00～19:30
新宿京王百貨店7F 鉄道模型売場	03-3342-2111（代）	〒160-8321	東京都新宿区西新宿1-1-4	年数回、休業日（木曜日）あり	10:00～20:00
ホビーセンターカトー東京	03-3954-2171	〒161-0031	東京都新宿区西落合1-24-10	年中無休（年末・年始を除く）	10:00～19:00
天賞堂モデラーズルーム 新宿店	03-3344-6561	〒163-6002	東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワーLB階	水曜日、木曜日	平日（月火金）12:00～20:00、土日祭12:00～18:30
ナカマ模型センター	03-3395-9100	〒167-0042	東京都杉並区西荻北2-5-1	年中無休	日～木曜日10:30～22:00、金・土曜日10:30～23:00
ポポンデッタクラスタ	03-5936-2048	〒168-0064	東京都杉並区永福3-23-12	水曜日・木曜日	13:00～18:00
タヴァサホビーハウス	03-3371-2482	〒169-0073	東京都新宿区百人町2-18-8 MKハイツ1F	第2土曜日・日曜日	13:00～20:00
大塚模型	03-3980-2488	〒170-0005	東京都豊島区南大塚3-42-13	水曜日、第3木曜日（祭日は営業）	平日12:00～19:30、日祭10:00～18:00
ストリームライン	03-5391-3321	〒170-0013	東京都豊島区東池袋2-13-12 ハイツ空蝉101	水曜日	平日12:00～20:00、土11:00～20:00、日祭11:00～19:00
カツミ 池袋店	03-5949-4698	〒171-0021	東京都豊島区西池袋3-28-1 藤久ビル西2号館B1F	水曜日	平日11:00～20:00、日祭11:00～19:00
西武百貨店 池袋本店 7Fトイランド内 鉄道模型売場	03-3986-1460	〒171-0022	東京都豊島区南池袋1-28-1		月～土10:00～21:00、日祭10:00～20:00
東武百貨店池袋店プラザ館7階8番地 模型売場	03-5951-8906	〒171-8512	東京都豊島区西池袋1-1-25		月～土10:00～21:00、日10:00～20:00
高島平模型	03-3979-2922	〒175-0082	東京都板橋区高島平7-1-40	木曜日	10:00～20:30
MODELS IMON 池袋店	03-5950-1067	〒171-0021	東京都豊島区西池袋1-18-1 五光ビル6F	年中無休	平日10:00～21:00、土日祭10:00～20:00
ヒルマモデルクラフト	042-369-4503	〒183-0026	東京都府中市南町5-38-33	日曜日、祭日	13:00～19:00
朝倉模型	042-361-4808	〒183-0051	東京都府中市栄町2-1-17	火曜日	平日11:00～20:00、日祭10:00～18:00
ムラタ模型	042-366-8325	〒183-0057	東京都府中市晴見町1-15-27	火曜日	平日10:00～18:30、日祭10:00～18:00
マイホビー キョーサン	042-524-5141	〒190-8506	東京都立川市曙町2-4-9 小町ビル2F	第2・3水曜日	10:00～19:30
町田模型舎	042-789-1750	〒194-0032	東京都町田市本町田2507-7 ハ-13-104	水曜日、木曜日	11:00～20:00
MACモデル アサダ コーナー	044-344-6369	〒210-0847	神奈川県川崎市川崎区浅田3-4-4	毎月8・9日、18・19日、28・29日	平日14:00～19:30、日祭12:00～19:30
らびっとモデル	044-722-1116	〒211-0053	神奈川県川崎市中原区上小田中6-42-8	毎月7・8・17・18・27・28日	平日11:00～20:00、土日祭11:00～19:00
ホビーショップ カシオペア	044-986-6221	〒215-0021	神奈川県川崎市麻生区上麻生5-6-17 岩井ビル202	月曜日・火曜日	平日12:00～20:00　日祭12:00～20:00

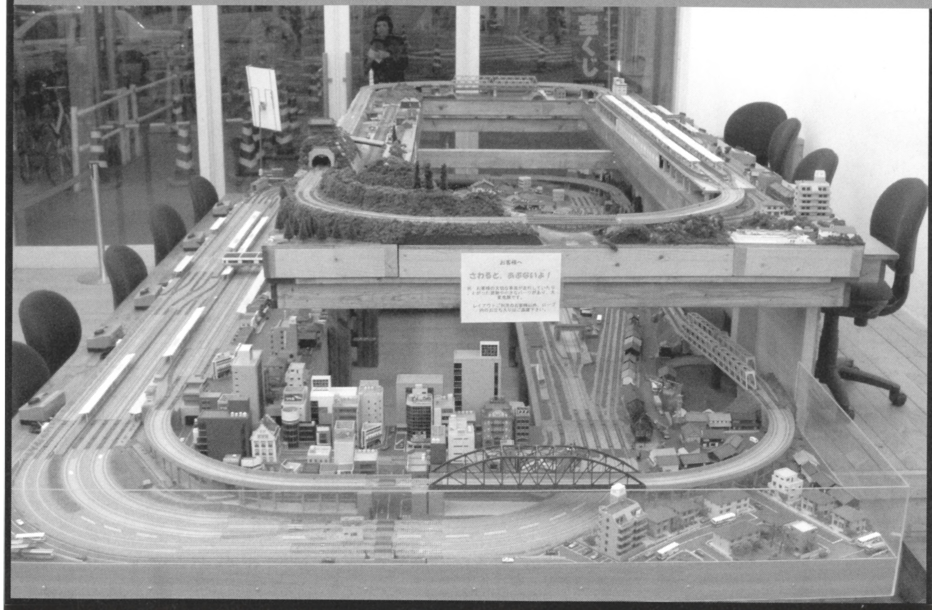
店名	電話番号	郵便番号	住所	定休日	営業時間
ホビーランドぽち 横浜店	045-313-1727	〒220-0005	神奈川県横浜市西区南幸2-12-5 ニッセイ第5ビル4F	年中無休	平日11:00～20:00、土曜日10:00～20:00、日祭10:00～19:30
MODELS IMON 横浜店	045-290-1527	〒220-0005	神奈川県横浜市西区南幸1-11-2 浜西ビル5F	年中無休	平日10:00～21:00、日祭10:00～20:00
カツミ 横浜店	045-222-5510	〒220-8105	神奈川県横浜市西区みなとみらい ランドマークプラザ5階	年中無休 (元日のみ休業)	11:00～20:00
モデルショップダルマヤ	045-432-3086	〒221-0802	神奈川県横浜市神奈川区六角橋1-11-1	水曜日 (祭日は営業)	12:00～19:00
ホビーステーション	045-321-7160	〒221-0834	神奈川県横浜市神奈川区台町17-6 森ビル3F	月曜日(祭日は営業、その翌日は臨時休業)	平日12:30～20:00、土日祭11:30～20:00
モデルランド田中	045-543-4486	〒222-0037	神奈川県横浜市港北区大倉山3-5 大倉山飯田ビル205	水曜日、木曜日 (祭日を除く)	平日12:00～22:00、土日祭11:00～21:00
滝口模型	045-473-0957	〒224-0042	神奈川県横浜市都筑区大熊町138	火曜日 (祭日は営業)	平日10:00～20:00、日祭9:00～19:00
アンドロメダ屋模型店 鴨居店	045-934-3881	〒226-0003	神奈川県横浜市緑区鴨居1-11-2	木曜日、第2水曜日	12:00～21:00
HOBBY SHOP タムタム 相模原店	042-752-2727	〒229-0012	神奈川県相模原相模原市西大沼1-5-5	年中無休	10:00～21:00
ログテン・ショップ	042-755-0128	〒229-0031	神奈川県相模原市相模原3-3-10-202	月曜日～金曜日	土13:00～20:00、日祭11:00～18:00
はやぶさ	045-521-5038	〒230-0025	神奈川県横浜市鶴見区市場大和町5-4	木曜日 (祭日は営業)	平日11:00～20:00、月日祭10:00～20:00
ラッキーベイフォート	045-252-2557	〒231-0033	神奈川県横浜市中区長者町9-175 第10吉田興産ビル4F	年中無休 (年末年始を除く)	平日12:00～21:00、土日祭10:00～20:00
南洋物産株式会社 模型部	045-713-7342	〒232-0071	神奈川県横浜市南区永田北3-18-14	お電話、メールでお問い合せ下さい。	12:00～17:30(お電話は10:00～22:00)
京急百貨店 電車グッズショップ「レッド・トレイン」	045-848-7566	〒233-8556	神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1 京急百貨店5F玩具売場	不定休	10:00～20:00
いそご模型	045-752-2336	〒235-0023	神奈川県横浜市磯子区森1-12-7-103	月曜日、火曜日 (祭日は営業)	平日13:00～19:30、日祭11:30～18:30
ホビーショップ アトム	045-832-3573	〒235-0045	神奈川県横浜市磯子区洋光台3-1-1	年中無休	平日13:00～19:00、土日祭11:00～19:00
フォムラスモデルショップ	046-828-6870	〒238-0012	神奈川県横須賀市安浦町2-11-15 ニックハイム横須賀中央1F	火曜日	平日13:00～19:00、日祭13:00～18:00
ぴっと模型店	070-5369-1413	〒239-0808	神奈川県横須賀市大津町2-9-17	火曜日	13:30～19:00
アライヴ	046-268-5552	〒242-0024	神奈川県大和市福田2-4-7	水曜日、第3火曜日	平日11:00～20:00、日祭10:00～19:00
ファースト・モデル	046-224-7833	〒243-0003	神奈川県厚木市寿町3-4-7	水曜日	11:00～19:00
ポストホビー 厚木店	046-297-7440	〒243-0018	神奈川県厚木市中町1-5-10 厚木ガーデンシティビル(厚木サティ)8F	年中無休	10:00～20:30
グリーンマックス・ザ・ストアー ViNAWALK	046-236-0606	〒243-0432	神奈川県海老名市中央1-4-1 ビナウォーク5番館3階	年中無休	10:00～21:00
赤羽模型玩具店	0466-22-1066	〒251-0052	神奈川県藤沢市藤沢966	火曜日	10:30～20:00
シーサイドホビー	0466-22-8461	〒251-0055	神奈川県藤沢市南藤沢22-3 藤沢オーパ7F	不定期年4回	10:00～21:00
モデルショップさがみ	0463-77-7765	〒257-0003	神奈川県秦野市南矢名1-14-16 産興東海ビル3F	月曜日、火曜日	平日13:00～20:00、土11:00～20:00、日11:00～19:00
プロショップますだ	0463-81-0550	〒257-0035	神奈川県秦野市本町1-1-9	年中無休	平日11:00～20:00、日祭11:00～19:30
甲信越					
レールパル351	0556-27-0222	〒400-0601	山梨県南巨摩郡鰍沢町5535-1	火曜日、水曜日、木曜日(祭日は営業)	10:00～19:00
ピヨピヨランド	026-243-3411	〒381-0014	長野県長野市北尾張部390-1	水曜日	10:00～19:00(日、祭日は18:00まで)
ネット通販専門店gakuroku.net・岳麓堂	090-4158-6963	〒391-0115	長野県諏訪郡原村17217-3473	HPより24時間ご注文可能	ホームページにてご案内しております。URL　http://gakuroku.net
タイムエクスプレス	025-248-3922	〒950-0087	新潟県新潟市中央区東大通り2-4-15 本間ビル2F	月曜日 (祭日の場合は翌日)	平日11:00～20:00、土日祭10:00～19:00
新潟モデル	025-264-4409	〒950-2042	新潟県新潟市西区坂井867 リバティープラザ新大駅前103	不定休	～23:00
東海					
アールクラフト	053-453-5666	〒430-0933	静岡県浜松市中区鍛冶町1ー47	火曜日・第3水曜日 (臨時休業有り)	平日13:00～19:00、日祭12:00～19:00
尾崎模型店	053-471-8858	〒433-8124	静岡県浜松市中区泉2-2-41	第3水曜日	平日10:30～21:00、日祭10:00～20:00
ホビーショップ ムラタ	0532-53-3334	〒440-0076	愛知県豊橋市大橋通3-152	水曜日・第3木曜日	10:00～20:00
Nine Gauge天国 豊橋店	0532-55-4400	〒440-0806	愛知県豊橋市八町通5-55	水曜日	平日・日祭12:00～20:00、土12:00～21:00
ホビーランドぽち 名古屋店	052-454-3568	〒453-0015	愛知県名古屋市中村区椿町9-21 真弓ビル1F	年中無休	平日11:00～19:00、土日祭10:00～19:00
富士模型	052-411-5831	〒453-0847	愛知県名古屋市中村区岩上町102-1	金曜日	11:00～20:00

店名	電話番号	郵便番号	住所	定休日	営業時間
安井模型	052-211-2369	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内1-8-18	水曜日、第2水曜日と翌木曜日は連休	10:30～19:00
ポストホビー 名古屋店	052-264-8542	〒460-0008	愛知県名古屋市中区栄3-29-1 名古屋パルコ東館4F	名古屋パルコ休館日に準ずる	10:00～21:00
グリーンマックス・ザ・ストアー Parts Pro Shop ナゴヤ大須店	052-269-4900	〒460-0011	愛知県名古屋市中区大須3-5-6 矢場町サンコービル2階	年中無休	平日・土12:00～20:00、日祭12:00～19:00
モリヤマホビー	052-793-5023	〒463-0086	愛知県名古屋市守山区永森町88	水曜日	10:00～21:00
振甫模型	052-711-5861	〒464-0096	愛知県名古屋市千種区下方町6-66	木曜日	平日15:00～20:00、土日14:00～20:00
ラディッシュ	052-802-0400	〒468-0011	愛知県名古屋市天白区平針3-606-1F	水曜日	12:00～19:30
HOBBY SHOP タムタム 名古屋店	0568-27-2777	〒481-0045	愛知県北名古屋市中之郷神明7	年中無休	10:00～22:00
センキ模型	0586-24-2929	〒491-0851	愛知県一宮市大江1-6-5	月曜日	10:00～21:00
ポポンデッタ 木曽川キリオ店	0586-84-3622	〒493-0001	愛知県一宮市木曽川町黒田字南ハツケ池25-1 イオンモール木曽川キリオ1F	年中無休	10:00～22:00
ホビーハウス ビッグマン	058-245-7563	〒500-8227	岐阜県岐阜市北一色8-4-5	火曜日	10:00～21:00
東海模型店	058-251-4616	〒500-8851	岐阜県岐阜市大宝町2-6	第2・第4木曜日	10:00～19:00
HOBBY SHOP タムタム 岐阜店	058-240-1212	〒501-6002	岐阜県羽島郡岐南町三宅8-7-1	年中無休	10:00～22:00
アラジン	0577-33-0864	〒506-0011	岐阜県高山市本町3-36	火曜日	9:30～20:00
ジュニア模型店	059-345-2701	〒510-0885	三重県四日市市日永2-11-3	月曜日	10:00～18:00
北陸					
みなと模型 小松店	0761-22-8935	〒923-0832	石川県小松市若杉町2-50	火曜日	平日11:00～21:00、日祭10:00～20:00
近畿					
ユニバース模型	077-537-1808	〒520-0835	滋賀県大津市別保1-11-13	月曜日、木曜日	14:00～20:00
(有)三光堂	075-313-1333	〒600-8852	京都府京都市下京区梅小路東中町42	水曜日、第3火・水・木曜日	10:00～20:00
(株)八条口模型	075-681-8532	〒601-8413	京都府京都市南区西九条春日町 春日ビル1F	木曜日（祭日の場合は翌日）	10:30～20:00
鉄道模型専門店 亜鉄社	075-662-5682	〒601-8437	京都府京都市南区西九条比永城町102-8	日曜日、月曜日、祭日	12:00～19:00
(株)京都模型 三条店	075-841-7098	〒604-8331	京都府京都市中京区三条通堀川西入ル	水曜日、第2・3火曜日（変更有）	10:30～20:00
京鉄 大阪店	06-6359-4655	〒530-0012	大阪府大阪市北区芝田2-1-3 梅仙堂ビル5F	火曜日	平日12:00～19:00、土日祭11:00～19:00
ホビーランドぽち 梅田店	06-6374-3522	〒530-0012	大阪府大阪市北区芝田1-7-9-2F	年中無休	11:00～20:00
マッハ模型	06-6312-3086	〒530-0027	大阪府大阪市北区堂山町1-2 R&Eビル3F	水曜日（祭日は除く）、正月1・2・3日	11:00～20:00
阪急百貨店 大阪・うめだ本店 8F 鉄道模型売場	06-6312-0859	〒530-8350	大阪府大阪市北区角田町8-7	お問い合せ下さい。	10:00～20:00（毎週水・木・金・土曜日は21:00まで）
コスミックRM（有限会社コスミック）	06-6396-8011	〒532-0005	大阪府大阪市淀川区三国本町2-5-14	水曜日（祭日の場合は翌日）	平日13:00～20:00、土日祭10:00～20:00
新大阪模型	06-6320-0320	〒553-0033	大阪府大阪市東淀川区東中島1-19-11 大城ビル502号	火曜日・日曜日・祭日	12:00～20:00
株式会社モリヤスタジオ模型部	06-6933-6901	〒536-0001	大阪府大阪市城東区古市2-3-16	日曜日、祭日	平日15:00～19:00、土10:00～13:00
レールハウス	06-6761-9180	〒540-0004	大阪府大阪市中央区玉造2-25-11	月曜日、第3日曜日	平日12:00～19:00、日祭10:00～16:00
近鉄百貨店 阿倍野店7F 鉄道模型	06-6623-1988（直通）	〒545-8545	大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43	お問い合わせ下さい。	10:00～20:00
レールクラフト阿波座	06-6535-5539	〒550-0005	大阪府大阪市西区西本町3-1-14 松屋レジデンス1F	日曜日、月曜日	13:00～19:00
ホビーランドぽち 塚本店	06-4808-2030	〒555-0022	大阪府大阪市西淀川区柏里3-12-29	年中無休	12:00～21:00
ワイズ模型店	06-6472-3624	〒555-0032	大阪府大阪市西淀川区大和田5-9-22	年中無休（HP）	24時間（HP）
グリーンマックス・ザ・ストアー Parts Pro Shop 大阪日本橋店	06-6641-5771	〒556-0005	大阪府大阪市浪速区日本橋4-5-11 椿本ビル2F	火曜日（祭日は営業）	平日12:00～20:00、土10:00～20:00、日祭10:00～19:00
上新電機株式会社 スーパーキッズランド本店	06-6634-0041	〒556-0005	大阪府大阪市浪速区日本橋4-12-4	不定休	10:00～20:00
T.M.ステーション日本橋	06-6633-2232	〒556-0005	大阪府大阪市浪速区日本橋4-9-9 水上ビル3階	年中無休	10:30～20:00
ポポンデッタ 大阪日本橋	06-4396-5010	〒556-0005	大阪府大阪市浪速区日本橋4-10-3 雅光産ビル3F	第3水曜日	平日12:00～20:00、土日祭11:00～19:00
ホビーランドぽち 日本橋1号店	06-6634-9712	〒556-0006	大阪府大阪市浪速区日本橋4-8-14	年中無休	月～土曜日11:00～20:00、日祭10:00～19:00

店名	電話番号	郵便番号	住所	定休日	営業時間
イチフジモデルショップ	06-6852-8083	〒560-0024	大阪府豊中市末広町2-2-6	水曜日・木曜日	平日10:00～20:00、日祭10:00～19:00
ホビーセンターカトー大阪	06-6339-6171	〒564-0051	大阪府吹田市豊津町12-15	年中無休 (年末年始を除く)	10:00～19:00
トップ模型	072-823-1781	〒572-0824	大阪府寝屋川市萱島東2-13-28	木曜日	10:00～20:00
レールショップ サンライフ	072-889-2826	〒574-0028	大阪府大東市幸町6番7号	水曜日	9:30～18:30
Nine Gauge天国 南茨木店	072-652-3011	〒567-0864	大阪府茨木市沢良宜浜1-16-34	年中無休	10:00～21:00
大谷模型店	072-922-6626	〒581-0802	大阪府八尾市北本町1-3-4	火曜日	10:00～20:00
壱番館	072-246-4747	〒591-8036	大阪府堺市北区百舌鳥本町3-538-1	年末年始・ 盆休み	メール／FAXによる問合せ(24時間受付)
ホビーランドぽち 神戸店	078-393-1315	〒650-0021	兵庫県神戸市中央区三宮町2-11-1 センタープラザ西館2F224号室	1月1日	月～土曜日11:00～20:00、 日祭10:00～19:00
ホビーショップ KOK 三宮店	078-222-3016	〒651-0097	兵庫県神戸市中央区布引町4丁目3-8 谷川ビル2F	水曜日、 第2・3火曜日	12:00～20:00
ライト	078-611-2510	〒653-0038	兵庫県神戸市長田区若松町4-2-15-111	水曜日	10:00～19:00
ホビーハウス垂水	078-708-6366	〒655-0029	兵庫県神戸市垂水区天ノ下町5-1	木曜日	平日13:00～20:30、日祭12:00～19:30
れーるぎゃらりーろっこう	078-841-7199	〒657-0025	兵庫県神戸市灘区高徳町4-1-21	火曜日、第2・3月曜日 (祝日も含む)	平日11:00～20:30、日祭11:00～19:00
コンドル模型 尼崎店	06-6411-5736	〒660-0883	兵庫県尼崎市神田北通り7-196	火曜日	10:00～19:00
ジオラマショップ だいおらま 大阪店	06-6491-3468	〒661-0976	兵庫県尼崎市潮江1-16-1 アミング潮江ウエスト2番館3F	年中無休	10:00～21:00
T.M.ステーションホビスタ 尼崎店	06-6498-2827	〒661-0976	兵庫県尼崎市潮江1-16-1 アミング潮江ウエスト2番館3F	元日のみ	10:00～21:00
HOBBY SHOP タムタム 尼崎店	06-6496-6170	〒661-0976	兵庫県尼崎市潮江1-16-1 アミング潮江ウエスト2番館3F	年中無休	10:00～21:00
TOY吉	072-779-6300	〒664-0846	兵庫県伊丹市伊丹1-10-15-116 アリオ1階	第3火曜日	10:00～20:00
(株)タケモト模型	072-775-1067	〒664-0852	兵庫県伊丹市南本町5-1-9	年中無休	10:00～20:00
ウサギ屋鉄道模型店	0792-72-1109	〒671-1225	兵庫県姫路市網干区福井171-1	月曜日、火曜日	平日・祭日12:00～19:00
コネクション	0794-87-2516	〒673-0551	兵庫県三木市志染町西自由が丘 1丁目618番地	月曜日、火曜日	12:00～18:00
中国					
岡山模型店DAN	086-273-5262 (086-237-8850)	〒703-8236	岡山県岡山市国富973	火曜日、水曜日	12:00～20:00
エラヤ真備店	0866-98-7190	〒710-1313	岡山県倉敷市真備町川辺2126-2	火曜日 (祭日は営業)	10:00～19:00
(株)朗堂	084-943-3711	〒721-0942	広島県福山市引野町5738-2	水曜日、木曜日	15:00～21:00
藤原模型店	082-567-8860	〒732-0052	広島県広島市東区光町2-9-24 広島ロードビル1F	水曜日、 第1・2火曜日	平日12:00～20:00、土日祭11:00～19:00
イーハトーヴォ	082-295-2017	〒733-0011	広島県広島市西区横川町2-5-5 エ・ポイ スペースビル203	水曜日、第1火曜日 日祭11:00～19:00	平日12:00～20:00、土11:00～21:00、
錦林オンラインショップ (株式会社 岩橋商会)	082-270-0070	〒733-0834	広島県広島市西区草津新町1-3-1	土曜日、日曜日、 祭日	9:00～17:00
モデルプラザ山口	083-921-0505	〒753-0081	山口県山口市香山町6-10	水曜日、第2・3木曜日 (祭日の場合は翌日)	平日11:00～19:00、日祭11:00～18:00
四国					
しおかぜ堂本舗	089-982-6009	〒799-3102	愛媛県伊予市宮下1995-1	木曜日、 第2日曜日	平日15:00～21:00、土10:00～21:00、 日祭10:00～18:00
九州					
HOBBY SHOP アトム 小倉店	093-531-4844	〒802-0006	福岡県北九州市小倉北区魚町2-3-7	水曜日(祭日は営業、 前日火曜日へ振替)	平日10:00～20:00、日祭10:00～19:00
鉄見模型店	093-922-7114	〒802-0085	福岡県北九州市小倉北区吉野町11-21	不定休	11:30～20:00
(株)新王様もけい	092-474-4637	〒812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前4-13-27 グランドハイツハカタ1F	年中無休(元旦と 3月に1日だけ休みあり)	平日10:00～19:30、日月祭10:00～19:00
ホビーランドぽち 博多店	092-451-0128	〒812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅前2-2-1 福岡センタービル地下1F	年中無休	11:00～20:00
九州レイルウェイショップ 汽車倶楽部	0949-26-9600	〒822-0002	福岡県直方市大字頓野550-1	月曜日、火曜日、 お盆、年末年始	13:00～19:00
Maxモデル	0942-32-8660	〒830-0033	福岡県久留米市天神町76-2-101	火曜日 (祭日は営業)	12:00～20:00
HOBBY MATE	0944-57-4319	〒836-0873	福岡県大牟田市駛馬町20	不定休	10:00～19:00
明治屋	099-252-5877	〒890-0056	鹿児島県鹿児島市下荒田2-27-3	1月1日、8月15日	11:00～19:30

新品中古Nゲージ・鉄道古書

ポポンデッタ



ポポンデッタは全店巨大レイアウト併設!!

ポポンデッタには巨大レンタルレイアウトが併設されています。ご自身の車輛を走行させるのも良し、レンタル車輛もありますので手ぶらでお越しいただいても運転を楽しめます。料金は1時間600円から。今なら平日はその半額になります。休日に、会社帰りに、ちょっとした空き時間に。都会派Nゲージャーを応援します!!
ただいま秋葉原店では19時以降は夜景レイアウトでの運用を行っています!!

鉄道模型を始めるならポポンデッタへ

Nゲージをはじめるならポポンデッタにおまかせ!!

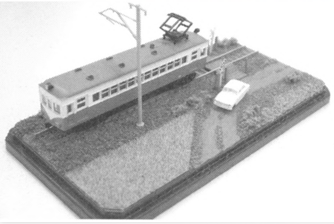
ポポンデッタの新品・中古鉄道模型、ジオラマ用品、レンタルレイアウト、鉄道古書、外国型模型、工具まで豊富に取り揃えています。ご来店頂ければ鉄道模型の可能性は無限大!!

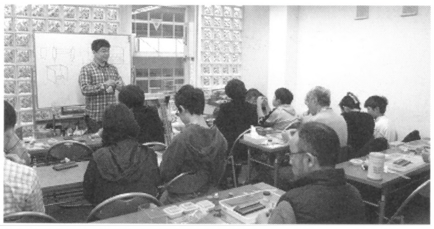
特に「これから鉄道模型を始めたいというお客様」は、まずポポンデッタにお立ち寄りください。

導入から、ちょっとしたテクニックまで、丁寧にお教えします。店内に巨大ジオラマがあるので、それをご覧いただくだけでもきっとイメージが膨らみますよ!オリジナル商品やジオラマ教室もご用意。いつも新しい発見があるお店です。

各種教室をご用意いたしました

ポポンデッタでは、各店で「ジオラマ教室」を開催しています。初級は全くの未経験者を対象とし、道、草、レールの表現を中心に工具の使い方も含めて指導いたします。中級は初級受講経験者を対象としており、より高度なジオラマ作成にチャレンジしていただきます。各コースとも2時間でミニジオラマが完成します。ペアでの参加も可能です。





通販本店

地方の方の鉄道模型ライフをお手伝いします!

Nゲージは中古、新品、日本型、外国型、ストラクチャー、キット、HOゲージや書籍も、とにかく圧倒的な品揃えでお待ちしております。

ポポンデッタはここが違う!

☆商品の状態を3項目(走行、ボディ、付属品)に分けA～Eの5段階で詳しく評価。品質を保証します。
☆利用しやすい送料。さらに、1万円以上お買い上げなら送料が無料に!!
☆丁寧な梱包でお届けいたします。

URL:http://www.popondetta.com

通販店の在庫と秋葉原店の在庫は共通です。現物をご覧になりたい方、インターネットでのご注文が困難な方は、ぜひ秋葉原店に!!

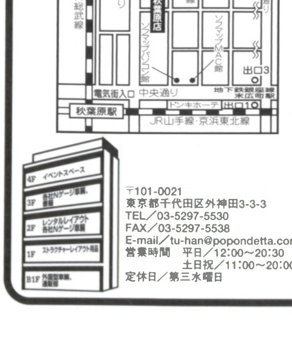
本物の質感を!!
会津砕石(有)共同企画
「合格道床バラスト」

ミニ合格証と本物のバラスト1つ付
N、HO、Z
各サイズ
840円
好評発売中

川口ポポ鉄倶楽部発足!! レイアウトを作製して仲間と走行会をしませんか!? 走行会は川口グリーンシティにて開催予定!! 詳細は川口店まで。

秋葉原店

ビルが丸ごと鉄道模型のお店!!



〒101-0021
東京都千代田区外神田3-3-3
TEL／03-5297-5530
FAX／03-5297-5538
E-mail／tu-han@popondetta.com
営業時間　平日／12:00～20:30
　　　　　土日祝／11:00～20:00
定休日／第三水曜日

大阪日本橋店

4Fに関西最大規模の鉄道関連書籍コーナーが登場しました!!
NHK趣味悠々講師でおなじみの諸星昭弘氏がDVDブックで作製したレイアウトを、期間限定で展示中!! 職人技をご覧いただけるチャンスです!!

〒556-0005 大阪府大阪市浪速区日本橋4丁目10-3 雅光產ビル3F
TEL／06-4396-5010　FAX／06-4396-5110
E-mail／osaka@popondetta.com
営業時間 平日／12:00～20:00　土日祝／11:00～19:00
定休日／毎月第3水曜日

川口グリーンシティ店

もちろん巨大レイアウト併設。
充実の品揃えでお待ちしてます!!

〒333-0834　埼玉県川口市安行領根岸3180
川口グリーンシティ別棟1階
TEL／048-285-7888　FAX／048-285-7898
営業時間／10:00～21:00　年中無休
E-mail　kawaguti@popondetta.com

ポポンデッタ木曽川キリオ店

新規オープン!!
きれいなお店に鉄道がいっぱい!!

〒493-0001
愛知県一宮市木曽川町黒田字南八ツヶ池25-1
イオンモール木曽川キリオ内　1階
TEL／0586-84-3622　FAX／0586-84-3633
営業時間／10:00～22:00　年中無休

2008年7月

千葉県蘇我市と愛知県東浦市にポポンデッタがオープン!!

ご期待下さい!!

ネコ・パブリッシングの鉄道定期誌

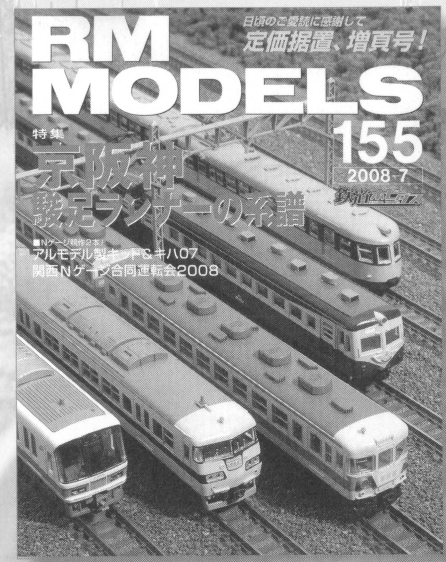
鉄道趣味の専門誌

レイルマガジン

毎月　21日発売

鉄道模型の専門誌

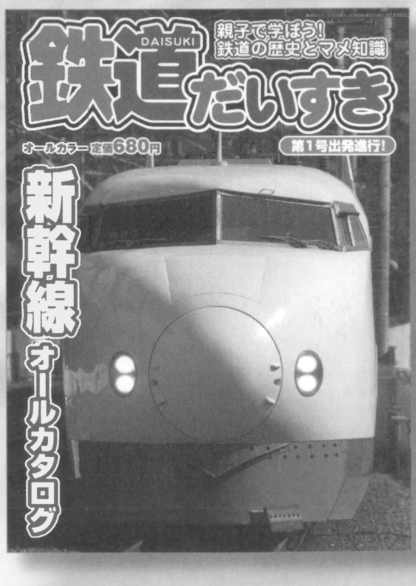
RM モデルズ



毎月　21日発売

家族で楽しむ電車 知識

鉄道だいすき



偶数月　30日発売

家族で楽しむ電車雑誌

鉄道おもちゃ

奇数月　30日発売

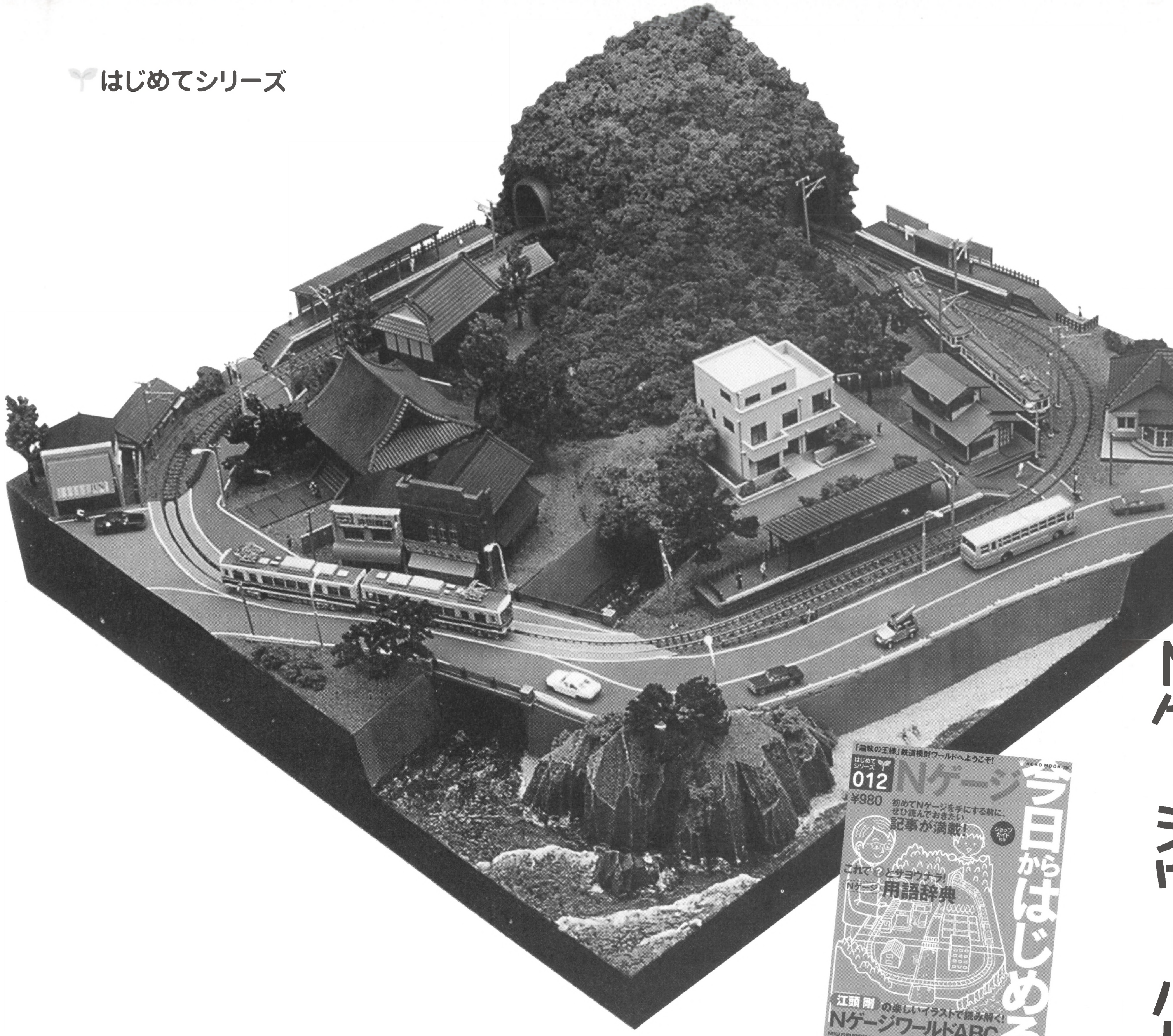
NEKOBOOKS で買える！ ネコ・パブリッシングの雑誌・ムック・書籍などすべての出版物が勢ぞろい！お探しのあの一冊をいち早くお手もとにお届けします。

http://www.hobidas.com から「ネコ・パブリッシングの本」へジャンプ

■1500円以上お買い上げで送料無料！　■対象商品のギフト包装が無料！ご家族やご友人へのプレゼントに最適です。

株式会社ネコ・パブリッシング　〒152-8545 東京都目黒区碑文谷4-21-13　Tel：03-5723-6013（営業部）http://www.neko.co.jp/

はじめてシリーズ



Nゲージワールドの深遠な世界!

"鉄ちゃんマンガ家"こと江頭剛氏を起用し、楽しいイラストと軽妙洒脱なテキストで鉄道模型ワールドを徹底紹介。とかく専門性が高く、ビギナーへの門戸が狭いと捉えられがちな鉄道模型の楽しみ方、その趣味世界の深遠さを初心者にもわかりやすく解説します。さらに、巻末には用語解説や、ショップガイドも収録しました。

今日からはじめる
Nゲージ

ネコ・パブリッシング 51013554 定価:980円(税込)

他にもいろいろ
「ネコ・パブリッシングのはじめてシリーズ」

今日からはじめる
庭園鉄道
定価:980円(税込)
51013643

今日からはじめる
情景模型
定価:980円(税込)
51012674

今日からはじめる
鉄道撮影
定価:980円(税込)
51013434

NEKOBOOKSで買える!

ネコ・パブリッシングの雑誌・ムック・書籍などすべての出版物が勢ぞろい!お探しのあの一冊をいち早くお手もとにお届けします。

http://www.hobidas.com から「ネコ・パブリッシングの本」へジャンプ

■1500円以上お買い上げで送料無料! ■対象商品のギフト包装が無料!ご家族やご友人へのプレゼントに最適です。

NEKO PUBLISHING CO.,LTD. 株式会社 ネコ・パブリッシング 〒152-8545 東京都目黒区碑文谷4-21-13 TEL.03-5723-6013(営業部) URL http://www.neko.co.jp/

読者プレゼント

本書をご覧いただいた読者の皆様へ、各メーカーご協力によるプレゼントを用意いたしました！　下記アンケートにご協力の上、奮ってご応募ください！

アンケート

①希望のプレゼントの記号
②Nゲージを始めてどのくらいになりますか？
A：これから始める　B：1年以内　C：2～5年　D：6年以上
E：数年ぶりにまた始めた
③車輌はどのくらい所有していますか？
A：0～10輌　B：11～50輌　C：51～200輌　D：201輌以上
④運転はどのように楽しんでいますか？（複数回答可）
A：フロアーレイアウトで　B：固定式レイアウトで
C：レンタルレイアウトで　D：クラブのレイアウトで
E：ほとんど運転しない
⑤Nゲージに使う金額は1ヶ月でどのくらいですか？
A：0～2,000円　B：2,001～5,000円　C：5,001～10,000円
D：10,001～20,000円　E：20,001円以上
⑥車輌キットの製作、あるいは車輌の自作に興味はありますか？
A：興味なし　B：興味はあるがほとんどやっていない
C：たまにやっている　D：よくやっている　E：かつてはよくやっていた
⑦レイアウト製作に興味はありますか？
A：興味なし　B：興味はあるがほとんどやっていない
C：たまにやっている　D：よくやっている　E：かつてはよくやっていた
⑧鉄道模型の雑誌は講読していますか？
（毎月でなくても可、複数回答可）
A：RM MODELS　B：鉄道模型趣味　C：とれいん　D：N（エヌ）
E：Nゲージマガジン
⑨本書の感想を自由にお書きください。

応募方法

官製ハガキに、上記アンケートのご回答及び、貴方の住所・氏名・年齢・職業・電話番号・Eメールアドレス（お持ちの場合）をご記入の上、

〒152-8545　東京都目黒区碑文谷4-21-13
（株）ネコ・パブリッシング　RM MODELS編集部
Nゲージ超入門係

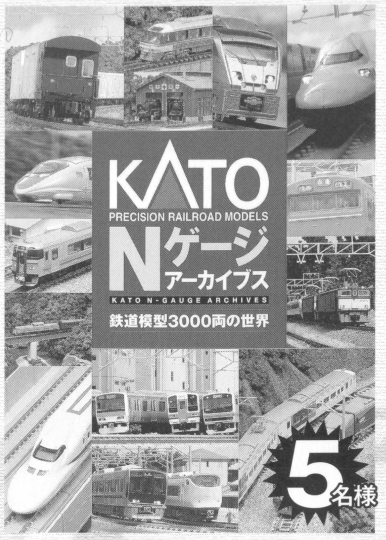
までお送りください。なおアンケートの正確を期すため、お一人様一通でのご応募をお願いします。たくさんのご応募、お待ちしております！

応募締切：2008年7月31日（消印有効）

●KATO様ご提供

1名様

あ スターターセット・スペシャル
700系新幹線〈のぞみ〉



5名様

い （書籍）KATO Nゲージ
アーカイブス

●トミーテック様ご提供

う ベーシックセットSD
500系のぞみ

1名様

1名様

え ベーシックセットSD
山手線

★編集後記★

本書を手に取って下さった皆さん、どうもありがとうございます。そしてNゲージの世界へようこそ！　私自身もNゲージを6歳の頃に手にとって以来数十年、今なお日々新鮮な思いで楽しんでいます。きっと貴方の人生にとっても、生涯楽しめる趣味の一つになることでしょう。そのために本書がお役に立てばこれより嬉しいことはありません。そして次のステップに進みたくなったら、毎月21日発売の月刊『RM MODELS』をどうぞ…！　（羽山　健）

NEKO MOOK 1117
Q&A 鉄道模型 Nゲージ超入門
2008年5月31日発行

発行人：笹本健次
編集人：牧窪真一
発行所：株式会社ネコ・パブリッシング
〒152-8545 東京都目黒区碑文谷4-21-13
TEL 03-5723-6013（営業部）／03-5723-6012（広告部）／03-5723-6066（編集部）
FAX 03-5723-6023（営業部）／03-5723-6022（広告部）／03-5723-6015（編集部）
印刷 図書印刷株式会社

©2008 NEKO PUBLISHING CO.,LTD.　Printed in Japan

日本最大の鉄道専門サイト「鉄道ホビダス」 http://rail.hobidas.com
趣味の総合ポータルサイト「ホビダス」 http://www.hobidas.com

STAFF

編集進行……羽山 健
編集スタッフ……水野宏志
……宇佐美健太郎
……瀧口宜慎
……高橋 隆
協力ライター……佐々木大悟
……佐藤哲朗
……鈴木重幸
写真……青柳 明
……羽田 洋
アートディレクター……遠藤鳥旺
デザイン……筒井純子
……JAPS
……根本貴史
鉄道ホビダス……伊藤真悟
……大森喬志
広告スタッフ……川畑直也
……加藤照章
……佐々木基博
……関 慶子
営業スタッフ……村川卓司
……浦山利史
……大渕俊輔
……小野愛弓
……板谷洋智（JAPS）

本誌掲載の記事・写真等の無断転載・転写を禁じます。

専門店にしかできない、アドバイスがあります。

Nゲージの世界に足を踏み入れようとして、困ったことはありませんか?
そう、あなたのNゲージライフを影で支える、模型店選びです。
Nゲージに詳しい知人がいない場合、
何から揃えたらよいかすら分からないかもしれません。
そんなビギナーのお客様にも、お気軽にご来店いただけるのがModelsIMONです。
ちょっとした疑問・質問も大歓迎です。
当店には模型店特有の敷居の高さや、量販店の騒々しさもありません。
ビギナーからベテランの方まで、あらゆるお客様に
鉄道模型を心行くまで楽しんでいただける、そんなお店づくりを心がけております。
割引+ポイントカード制で、お財布にもやさしいお店です。

お客様持ち込み車輌運転用Nゲージレンタルレイアウト
[大井店][横浜店][池袋店(準備中)]

●お支払について●

- お支払は銀行振込みか現金書留でお願いします。
- お支払いただく金額には、消費税が含まれています。
- 振込手数料はお客様負担でお願いします。

〈現金書留〉
表示４店舗いずれかの住所
〈現金振込〉
りそな銀行 品川支店 普通預金 0106528
株式会社井門コーポレーション

Models IMON
http://www.imon.co.jp

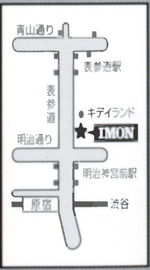
●お届けについて●

- ご入金確認後、商品発送の手続きをおこないます。
- お届け先は、日本国内とさせていただきます。
- 配送料は商品代合計が5万円以上で無料。
- 商品代合計が5万円未満の場合、配送はお客様負担とさせていただきます。

地方発送承ります

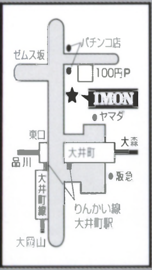
原宿店

〒150-0001
渋谷区神宮前6-3-9-4F
TEL.03-3797-0077
FAX.03-3797-1101
年中無休
平 12:00～21:00
土·日·祭 10:00～19:30
models@imon.co.jp



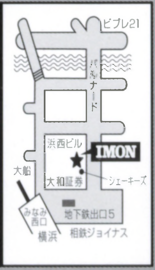
大井店

〒140-0011
品川区東大井5-15-3-3A
TEL.03-3450-1211
FAX.03-3450-1212
年中無休
平 10:00～20:30
土·日·祭 10:00～20:00
ooi@imon.co.jp



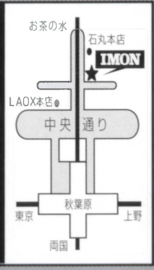
横浜店

〒220-0005
横浜市西区南幸町1-11-2浜西ビル5F
TEL.045-290-1527
FAX.045-290-1590
年中無休
平 10:00～21:00
土·日·祭 10:00～20:00
yokohama@imon.co.jp



秋葉原店

〒101-0021
千代田区外神田1-9-9内田ビル3F
TEL.03-5296-1900
FAX.03-5296-1901
年中無休
平 10:00～21:00
土·日·祭 10:00～20:00
akihabara@imon.co.jp



池袋店

〒171-0021
豊島区西池袋1-18-1五光ビル6F
TEL.03-5950-1067
FAX.03-3983-1435
年中無休
平 10:00～21:00
土·日·祭 10:00～20:00
ikebukuro@imon.co.jp

スターターセット 買ったその日からすぐ運転できる！

車両・線路・パワーパックなど、運転に必要なアイテムをワンセットにまとめました。Nゲージのスタートに最適！

Nゲージスターターセット
スペシャル
700系新幹線〈のぞみ〉
¥16,800税込

500系新幹線〈のぞみ〉やE2系新幹線〈はやて〉、D51 SL列車などのスターターセットや、Mセットシリーズ（車両別セット）もあります。

リアルな街並の鉄道風景を手軽に再現！

＊ジオタウンで作り上げたビル街を快走するE233系中央線編成

Vセットシリーズ 線路プランを大きく拡大！

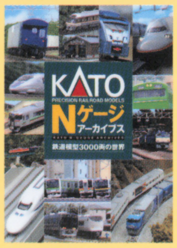
スターターセットにVセットシリーズをプラスして、待避線や複線、引込線、立体交差まで、線路プランをどんどん拡げましょう！

V1～V10セット（¥3,045税込～¥18,060税込）

複線のプランを楽しまれるためには別途パワーパックをご用意ください。

欲しいものを探すなら

KATO鉄道模型
総合カタログ2008
¥1,260税込



KATO Nゲージ車両のフルラインナップを知るなら

KATO
Nゲージアーカイブス
¥1,890税込

製品の詳細はホームページをご覧ください！

KATO鉄道模型 検索

www.katomodels.com

Nゲージ入門ガイド・KATO製品情報・在庫検索・販売店検索・イベント情報 など

KATO 株式会社 関水金属 〒161-0031 東京都新宿区西落合1-30-15

＊各掲載製品の仕様・価格などは予告なく変更することもあります。＊表示価格は消費税（5％）込の標準価格です。

ISBN978-4-7770-0617-5
C9476 ¥933E
9784777006175
1929476009333

RM MODELS ARCHIVE
Q&A 鉄道模型 Nゲージ超入門

発行人／笹本健次 編集人／牧窪真一
発行所 〒152-8545 東京都目黒区碑文谷4-21-13
株式会社ネコ・パブリッシング TEL.03-5723-6013 営業部
TEL.03-5723-6012 広告部
発行日 2008年5月31日
定価980円 本体933円
雑誌 67312-17

NEKO MOO
Q&A 鉄道模型 Nゲージ超入門
Nゲージの本当に知りたかったことすべてがわかる!!